

# リアホナ

## 総大会の 説教

ロナルド・A・ラズバンド長老,  
ゲーリー・E・スティーブンソン長老,  
デール・G・レンランド長老,  
十二使徒定員会会員として支持される



十二使徒定員会

前列左から——ラッセル・M・ネルソン会長, ダリン・H・オークス長老, M・ラッセル・バラード長老, ロバート・D・ヘイルズ長老, ジェフリー・R・ホランド長老, 後列左から——デビッド・A・ペドナー長老, クエンティン・L・クック長老, D・トッド・クリストファアーソン長老, ニール・L・アンダーセン長老,

ロナルド・A・ラズバンド長老, ゲーリー・E・ステイブソン長老, デール・G・レンランド長老。

## 中央女性部会

- 6 内にある神性を見つける  
ローズマリー・M・ウィクソム
- 9 約束された祝福にふさわしくある  
リンダ・S・リーブズ
- 12 義の業に仕えるためここに  
キャロル・F・マッコンキー
- 15 ローズおばさんと過ごした夏  
ディーター・F・ウークトドルフ管長

## 土曜午前の部会

- 20 すばらしく益になっています！  
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 24 神が舵を取っておられる  
M・ラッセル・バラード長老
- 27 キリストを中心とした生活の喜び  
リチャード・J・メインズ長老
- 30 心を神に委ねる  
ニール・F・マリオット
- 33 「ほかに何が足りないのでしょうか。」  
ラリー・R・ローレンス長老
- 36 喜びをもたらす神の御言葉  
フランシスコ・J・ビニヤス長老
- 39 ブリストルの船のように— 順風でも  
逆風でも、神殿にふさわしく  
クエンティン・L・クック長老

## 土曜午後の部会

- 43 教会役員への支持  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 44 今日の世界のチャレンジに立ち向かう  
ロバート・D・ヘイルズ長老
- 47 ごらん下さい。これはあなたの母です  
ジェフリー・R・ホランド長老
- 50 早すぎることも遅すぎることも  
決してありません  
ブラッドリー・D・フォスター長老
- 53 試しや誘惑を受けるとき、  
助けも受ける  
ウーゴ・モントヤ長老
- 55 光を選ぶ  
バーン・P・スタンフィル長老
- 58 主に頼れば答えが見つかる  
ジェームズ・B・マルティノ長老
- 61 イエス・キリストの贖罪により  
強められる  
ダリン・H・オークス長老

## 中央神権部会

- 65 信仰は偶然ではなく、  
選びによって与えられる  
ニール・L・アンダーセン長老
- 69 次の一歩  
ランドール・K・ベネット長老
- 76 恐れることはない。ただ信じなさい  
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 80 あなたは主の業の中で一人ではない  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 83 戒めを守りなさい  
トーマス・S・モンソン大管長

## 日曜午前の部会

- 86 模範となり、光となる  
トーマス・S・モンソン大管長
- 89 主イエスの愛に、ただ驚く  
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 91 分かりやすくして尊い真理  
ゲリー・E・ステューブソン長老
- 93 神の目を通して  
デール・G・レンランド長老
- 95 姉妹たちへの懇願  
ラッセル・M・ネルソン会長
- 98 ラッパを明快に鳴り響かせましょう  
グレゴリー・A・シュワイツァー長老
- 101 いつも御子を覚えていることを  
クラウディオ・R・M・コスタ長老
- 104 あなたの伴侶としての聖霊  
ヘンリー・B・アイリング管長

## 日曜午後の部会

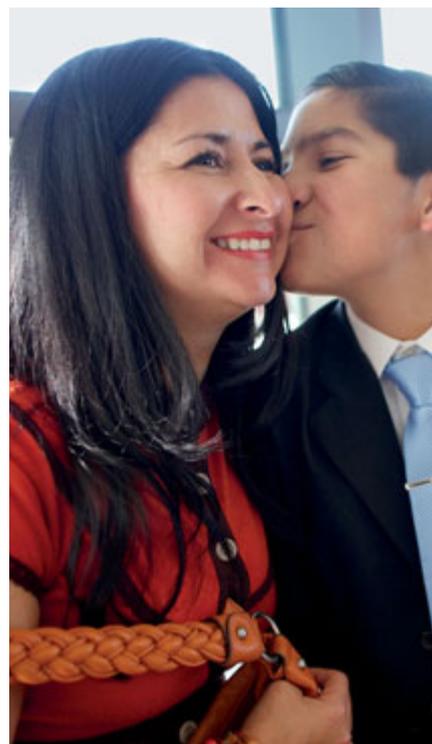
- 108 なぜ教会が  
D・トッド・クリストファーソン長老
- 112 わたしの心はこれらを絶えず  
深く考えている  
デビン・G・デュラント



疑問への答えを  
見いだしましょう

具体的な質問を心に抱いて大会号を学ぶと、個人的な靈感を受けるうえで役立ちます。このQRコードを読み取るか [lds.org/go/answers1015](https://lds.org/go/answers1015) にアクセスすれば、今大会の話者が答えている幾つかの大切な質問や疑問を参照できます。

- 115 神の戒めを守る者の  
祝福された幸福な状態  
ボン・G・キーチ長老
- 118 「もしあなたがたが  
わたしを愛するならば、わたしの  
いましめを守るべきである」  
キャロル・M・ステューブズ
- 121 自分が頼ってきた御方を思い出す  
アレン・D・ヘイニー長老
- 124 見る目と聞く耳  
キム・B・クラーク長老
- 126 あなたの道に踏みとどまりなさい  
青柳弘一長老
- 128 「わたしの名について証を述べる  
ために選ばれて」  
デビッド・A・ベドナー長老
- 72 末日聖徒イエス・キリスト教会の  
中央幹部と中央役員
- 132 指導者の言葉——  
大会を生活に取り入れる
- 134 大会で話された実話や物語の索引
- 135 教会のニュース



# 第185回 半期総大会の概要

## 2015年9月26日土曜夜、中央女性部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ボニー・L・オスカーソン。開会の祈り——アビー・モーガン。閉会の祈り——グレース・テ。音楽——ユタ州サザン・キャッシュ・バレーのステーキに集う初等協会の少女、若い女性、扶助協会の姉妹から成る合同聖歌隊；指揮——クラウディア・ビグラ；オルガニスト——ボニー・グッドリフ；フルート：サラ・ジョンソン。「来たれ、主の子ら」『賛美歌』31番；メドレー、モーマン編曲、未刊。「主の計画にしたがう」『子供の歌集』86、「信じ、進まん」ドーリー、フルートとオルガンによる伴奏；「シオンの若者として」『リアーナ』2000年4月号、24、ケーセン編曲、ジャックマン刊；“Dearest Children, God Is Near You,” Hymns, 96番、ワトキンス編曲、未刊；「信仰もて行け」『賛美歌』168番、ビグラ編曲（ディスクント）、未刊。

## 2015年10月3日土曜午前、一般部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ヘンリー・B・アイリング管長。開会の祈り——メアリー・R・ダラム。閉会の祈り——アドリアン・オチャア長老。音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——クレア・クリスチャンセン “Press Forward, Saints,” Hymns, 81番；「導きたまえよ」『賛美歌』41番、「主はわたしを愛してくださる」クリーマー、マーフィー編曲、ジャックマン刊；「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番；「尊き救い主」『賛美歌』58番、マヌーキン編曲、ジャックマン刊；「恐れず来たれ、聖徒」『賛美歌』17番、ウィルバーク編曲、オックスフォード刊。

## 2015年10月3日土曜午後、一般部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ディーター・F・ウークトドルフ管長。開会の祈り——テレンス・M・ビンソン長老。閉会の祈り——山下和彦長老。音楽——ユタ州リバートン地域のステーキに集う初等協会の子供たちによる聖歌隊；指揮——エミリー・ワド

レー；オルガニスト——リンダ・マーゲッツ、ボニー・グッドリフ「うるわしき救い主」『聖徒の道』1998年10月号「こどものページ」4-5 (Children's Songbook, 62), ケーセン編曲, ジャックマン刊；メドレー, デフォード編曲, 未刊。「いのりながらみ言葉読む時」『子供の歌集』66, 「イエス様のお話を読む時」『子供の歌集』35；「われに來よ」『賛美歌』66番；「救い主の愛」『子供の歌集』42, カードン編曲, ジャックマン刊。

## 2015年10月3日土曜夜、神権部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ヘンリー・B・アイリング管長。開会の祈り——ラリー・S・ケーチャー長老。閉会の祈り——ステイブン・W・オーウェン。音楽——ユタ州オレム地域のステーキに集う父親と息子から成る聖歌隊；指揮——コリー・メンデンホール；オルガニスト——アンドリュー・アンズワース, クレー・クリスチャンセン。“Let Zion in Her Beauty Rise,” Hymns, 41番, マクダビット編曲, マクダビット刊；「主イエスよ, わが胸」『賛美歌』80番, マクダビット編曲, マクダビット刊；「造り主の主」『賛美歌』37番；「われ主を愛して」『賛美歌』134番；「ニーファイのように」『子供の歌集』92, マクダビット編曲, マクダビット刊。

## 2015年10月4日日曜午前、一般部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ディーター・F・ウークトドルフ管長。開会の祈り——黄（サム）志康長老。閉会の祈り——チェリル・A・エスプリン。音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク；オルガニスト——リチャード・エリオット, アンドリュー・アンズワース “Arise, O God, and Shine,” Hymns, 265番；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番, ウィルバーク編曲, ヒンショー刊；「主がそばにいたら」デフォード, カードン/エリオット編曲, 未刊；「主のみ言葉は」『賛美歌』46番；「心に光あり」『賛美歌』139番, ウィルバーク編曲, 未刊；「主のみたまは火のごと燃え」『賛美歌』3番, ウィルバーク編曲, ジャックマン刊。

## 2014年10月5日日曜午後、一般部会

管理——トーマス・S・モンソン大管長。司会——ヘンリー・B・アイリング管長。開会の祈り——

ヨーク・クレビンガット長老。閉会の祈り——スコット・D・ホワイティング長老。音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク, ライアン・マーフィー；オルガニスト——ボニー・グッドリフ, リンダ・マーゲッツ。「たたえよ神を」『賛美歌』38番, マーフィー編曲, 未刊；“Our God Is a God of Love,” クンディック, ジャックマン刊；「喜べ, 主を」『賛美歌』32番；「世はよく働く人求む」『賛美歌』161番, ウィルバーク編曲, 未刊；「共に愛し合え」『賛美歌』192番, ウィルバーク編曲, 未刊。

## ホームティーチングや家庭訪問のメッセージ

ホームティーチングまたは家庭訪問用のメッセージとして、訪問する会員の必要に最も適した総大会説教の一つを選んでください。

## 表紙

表紙——写真/ウェルデン・C・アンダーセン  
裏表紙——写真/クリスティーナ・スミス

## 大会の写真

総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。ソルトレーク・シティー——ウェルデン・C・アンダーセン, カーリー・ベル, コディー・ベル, ヤナイ・ビンガム, エール・ホルベス, ランディー・コリアー, マーク・デービス, ネイト・エドワーズ, ブライアン・ニコルソン, レスリー・ニルソン, マット・レアー, ブラッドリー・スレード, クリスティーナ・スミス。カバルカンテ家族の写真——アロルド・カバルカンテの厚意により掲載。アメリカ合衆国ジョージア州アセンズ——ホイットニー・ゴスリング。アメリカ合衆国カルフォルニア州オレンジ郡——エリック・アイザクソン。オープンショー家族の写真——オープンショー家の厚意により掲載。インド, ムンバイ——ウェンディー・ギブス・キーラー。ノルウェー, ドランメンとオスロ——アシュレー・ラーセン。ウクライナ, キエフ——マリナ・ルカチ。ブラジル, サンパドロー——ホセ・ペーニャ。チリ, アリカ——セルビー・ジーン・ランドール。メキシコ, ドゥランゴ州ベルメヒヨ——アンジェリカ・カスタンヤダ・レイズ。フィリピン, カビテ州カビテシティー——ダニー・ソレタ。



## 総大会の説教の入手

総大会の説教を様々な言語で聞くことができます。インターネットで [conference.lds.org](http://conference.lds.org) にアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウークトドルフ

十二使徒定員会: ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オックス, M・ラッセル・バラード, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラズバンド, ゲーリー・E・スティーブソン, デール・G・レンランド

編集長: ジョセフ・W・スターティ

編集長補佐: ジェームズ・B・マルティン, キャロル・F・マッコンキー

顧問: フライアン・K・アシュトン, ランドール・K・ベネット, クレグ・A・カドーン, チェリル・A・エスプリン, クリストフェル・ゴールデン, ダグラス・D・ホームズ, ラリー・R・ローレンス, キャロル・M・スティーブンス

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワーナー

業務ディレクター: ビンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: リアン・カー

出版補佐: メーガン・バーホフ

執筆・編集: フリットニー・ピーティ, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ローリー・フラー, ギャレット・H・ガーフ, ラリー・ポーター・ガート, ジル・ハッキング, シャーロット・ラーカバル, ミンディ・アン・リービット, マイケル・R・モリス, サリー・ジョンソン・オテカーク, ジョシュア・J・パーキー, ジェン・ピンボロー, リチャード・M・ロムニー, ボール・パンデンバーグ, マリッサ・ウイティン

編集インターン: エミリー・ホームズ

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ビーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, マンディー・ベントレー, C・キンボール・ボット, トーマス・チャイルド, ネット・ギネス, コリーン・ヒンクレ, エリック・P・ジョンソン, スーザン・ロフグレン, スコット・M・ムーイ, マーク・W・ロビンソン, ブラッド・テアー, K・ニコール・ウォーケンホースト

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェン・アン・ビーターズ

制作: コニー・パウソフ・ブリッジ, ジュリー・バーデット, ケイティ・ダンカン, フライアン・W・ギュグ, デニス・カービー, ギニー・J・コルソン, ゲイル・テイト・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティーブ・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳・制作課長: 森田康貴

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会 〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30 電話 03-3440-2351

価格 年間購読: 国内1,030円(送料込み) 海外1,030円(+送料実費) 海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。普通号/大会号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は liahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書)に出てる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ヒスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キルギス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2015 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用される場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.orgにご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

November 2015 Vol. 39 No. 11. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store. lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).

NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



話者リスト(50音順)

アイリング, ヘンリー・B ..... 43, 80, 104
青柳, 弘一 ..... 126
アンダーセン, ニール・L ... 65
ウィクソム, ローズマリー・M 6
ウークトドルフ, ディーター・F ..... 15, 20, 76
オックス, ダリン・H ..... 61
キーチ, ボン・G ..... 115
クック, クエンティン・L ..... 39
クラーク, キム・B ..... 124
クリストファーソン, D・トッド 108
コスタ, クラウディオ・R・M 101
シュワイツァー, グレゴリー・A 98
スタンフィル, バーン・P ..... 55
スティーブズ, キャロル・M 118
スティーブソン, ゲーリー・E 91
デュラント, デビン・G ..... 112
ネルソン, ラッセル・M ..... 95
バラード, M・ラッセル ..... 24
ビニヤス, フランシスコ・J ... 36
フォスター, ブラッドリー・D 50
ヘイニー, アレン・D ..... 121
ヘイルズ, ロバート・D ..... 44
ベドナー, デビッド・A ..... 128
ベネット, ランドール・K ..... 69
ホランド, ジェフリー・R ..... 47
マッコンキー, キャロル・F 12
マリオット, ニール・F ..... 30
マルティン, ジェームズ・B ... 58
メインズ, リチャード・J ..... 27
モンソン, トーマス・S ... 83, 86
モントヤ, ウーゴ ..... 53
ラズバンド, ロナルド・A ... 89
リープズ, リンダ・S ..... 9
レンランド, デール・G ..... 93
ローレンス, ラリー・R ..... 33

テーマ別索引

あ愛 ..... 6, 15, 47, 89, 118
証 ..... 24, 89, 91, 93
アロン神権 ..... 76, 80
安息日 24, 36, 39, 69, 101
イエス・キリスト ..... 24, 27, 30, 39, 47, 55, 61, 69, 83, 86, 89, 91, 93, 98, 101, 115, 118, 121, 124
依存症 ..... 61, 83
祈り ..... 30, 58
戒め ... 24, 83, 115, 118
癒やし ..... 30, 61
親の務め ..... 50
か改宗・改心 ..... 27, 30, 50, 58, 80, 95, 115
回復 ..... 65
家族 12, 24, 47, 89, 91
活発化 ..... 80
神の王国 ..... 108
神の属性 ... 6, 12, 20, 50, 93
義 ..... 39, 65, 83, 95
逆境 9, 15, 27, 30, 36, 44, 53, 58, 124, 126
教育 ..... 6, 44
教会員であること ..... 20
教会指導者 ..... 24, 128
教会組織 ..... 108, 128
教会の集会 ..... 108
教会の召し ..... 89, 91, 93
悔い改め 9, 12, 36, 69, 83, 121
啓示 ..... 58, 101, 104
結婚 ..... 44, 95
幸福 ..... 39, 83
子供 ..... 9, 50
さ財政管理 ..... 44, 112
サタン ..... 9, 83
死 ..... 24, 30, 104
自制 ..... 39
使徒 ..... 24, 65, 128

従順 58, 65, 83, 115, 118, 124
祝福 ..... 83, 118
贖罪 ..... 24, 33, 36, 53, 61, 69, 83, 121
女性 ..... 95
ジョセフ・スミス 24, 36, 65, 108
神権 ..... 65, 80, 83, 108
信仰 ..... 15, 55, 58, 65, 69, 76, 86, 91, 126
真実 ..... 20, 24, 76, 104
神殿活動 ..... 53
信頼 ..... 118, 121
救いの計画 9, 12, 20, 24, 30, 118, 121, 126
聖餐 30, 69, 101, 104, 118
聖餐会 ..... 24
聖典 ..... 58, 86, 112
聖文研究 ..... 112
聖約 ..... 9, 12, 24
聖霊 ..... 15, 33, 36, 39, 65, 104, 118, 124
選択の自由 ..... 39, 83
た堪え忍ぶ ..... 126
断食 ..... 58
デート ..... 44
弟子の務め 20, 33, 86, 98
天の御父 ..... 80, 118
道徳 ..... 9, 86
は母親の務め ..... 47
光 ..... 55, 86
ふさわしさ ..... 39, 44
平安 ..... 83
奉仕 ... 6, 12, 53, 80, 93
ま恵み ..... 20
模範 ..... 80, 86
モルモン書 27, 58, 65, 98
や勇気 ..... 76, 80, 83, 98
誘惑 ..... 39, 53
預言者 24, 36, 65, 118, 124, 128
喜び ..... 15, 27, 39
ら靈感 ..... 80



## 末日聖徒イエス・キリスト教会 第185回半期総大会の見どころ

トーマス・S・モンソン大管長は総大会日曜午前の部会において、「皆さん一人一人は、天の御父の息子娘です」と語った。「皆さんは、しばらく地上で生活し、救い主の愛と教えに倣い、全ての人の前で雄々しく自らの光を輝かすために、御父のみもとから来たのです。地上の生活を終えるとき、自らの務めを果たしてきたのであれば、御父のみもとに帰り、御父とともに住むという輝かしい栄光にあずかることができます。」(88 ページ)

今回の総大会で、最近亡くなった十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長、L・トム・ベリー長老そしてリチャード・G・スコット長老について特に言及された。教会員は3人の新しい使徒——

ロナルド・A・ラズバンド長老、ゲアリー・E・ステープンソン長老、そしてデール・G・レンランド長老を支持した。

その他の見どころ——

- 十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老、デビッド・A・ベドナー長老そしてD・トッド・クリストファーソン長老は話の中で、なぜ主は預言者や使徒を土台とする教会を作られ、御業を行わせ、わたしたちが主のみもとに戻るために権能をお与えになったのかということ 강조했다 (24, 128, 108 ページを参照)。
- 十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長とジェフリー・R・ホランド長

老は話の中で、女性の役割がきわめて重要であることについて説明した。ネルソン会長は次のように強調した——「神聖な聖約を交わし、それを守る女性、神の力と権能をもって語ることで、女性がいなければ、神の王国は完全ではありませんし、そうならないのです。」(96 ページ)

- 十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、次のように断言した。「救い主は、……死すべき状態に含まれるあらゆる試練を受けられました。……それゆえに、主の贖罪を通して、主は人を救うことができになります。すなわち、全てに耐える強さを人にお授けになるのです。」(61 - 62 ページ)



THE CHURCH OF JESUS CHRIST OF LATTER-DAY SAINTS CONFERENCE CENTER



中央初等協会会長  
ローズマリー・M・ウィクソン

# 内にある神性を見つける

わたしたちは、わたしたちの内にある神の属性の種を見つけ、育てるために地上に来ます。

**姉** 妹の皆さん、皆さんを愛しています。人生は賜物であると証します。神はわたしたち一人一人のための計画をお持ちです。一人一人の生涯の目的は、生まれるずっと前から定まっています。

最近わたしは、人がこの世に誕生するという奇跡は、主の計画の一部だと分かるようになりました。わたしたちは皆、母親のおなかの中で、母親から栄養をもらいながら、何か月もかけて成長しました。しかし、時が来ると、誕生という両者にとって劇的な過程を経て、わたしたちは別個の存在となりました。

この世に生まれ出るとき、温度や光が変化し、胸に掛かっていた圧力から急激に解放されるため、赤ちゃんはあえぎながら初めて空気を吸い込みます。小さな肺が初めて急に空気でいっぱいになると、肺が素早く動き出し、赤ちゃんは呼吸を始めます。へその緒が切断されると、母親と赤ちゃんをつなぐライフラインは永久に切り離されて、地上における赤ちゃんの生涯が始まるのです。

ヨブは、「神の霊はわたしを造り、全能者の息はわたしを生かす」と言いました。<sup>1</sup> わたしたちは「栄光の雲を曳きつつ」こ

の世にやって来ます。<sup>2</sup>「家族——世界への宣言」では、わたしたちは皆、「天の両親から愛されている霊の息子、娘」であり、「神の属性と神聖な行く末とを受け継いでい[る]」と教えています。<sup>3</sup> 天の御父は御自身の神性の一部を、惜しみなくわたしたちにお与えになります。その神の属性は、親のみが感じられる愛によって、神が与えてくださる賜物です。

わたしたちは、わたしたちの内にある神の属性の種を見つけ、育てるために地上に来ます。

## わたしたちはその理由を知っている

元中央若い女性会長のイレイン・キャン姉妹はこう言っています。「女性の生涯には大事な日が2日あります。自分が生まれた日と、自分がなぜ生まれたのかを理解した日です。」<sup>4</sup>

わたしたちはその理由を知っています。わたしたちは神の王国の建設を助け、御子イエス・キリストの再臨に備えるためにこの地上へやって来ました。わたしたちは息を吸うたびに、主に従おうとしているのです。御父と御子にさらに近づこうと努めるとき、わたしたち一人一人の内にある神の属性は磨かれ、強められます。

わたしたちの神の属性は、個人的な業績や社会的地位、走ったマラソンの回数、人気の度合い、自尊心の有無とは何の関係もありません。神の属性は、神から来ます。生まれる前の世において定められたもので、永遠にわたって続くものなのです。

## わたしたちは愛されている

天の御父の愛を感じ、その愛を人々に示すとき、わたしたちは神の属性にふさわしい行いをしています。わたしたちは選択の



フィリピン、カビテ州カビテシティ

自由を使ってその属性を養い、花開かせ、伸ばすのです。ペテロは、わたしたちには「神の性質にあずかる者となる」という「尊く、大いなる約束」が与えられていると言っています。<sup>5</sup> 自分が何者かが、すなわち神の娘であると分かるにつれ、その大切な約束を理解し始めます。

自分しか映らない鏡を見るだけでなく、窓の外にいる人たちに目を向けましょう。そうすれば自分が神の子であると感じられるようになります。するとおのずと、祈りを通して神と語り、熱心に神の御言葉を読み、御心を行いたいと思うようになります。自分に価値があるという確証を、横のつながり、つまり世の人々やフェイスブック、インスタグラム〔訳注——写真・動画に特



化したソーシャル・ネットワーク・サービス]の書き込みから得るのではなく、縦のつながり、つまり天の御父から得られるようになります。

自分に神性の種があることが信じられなければ、ひざまずいて祈り、天の御父に尋ねてください。「わたしは本当にお父様の娘ですか。わたしを愛しておられるのですか」と。M・ラッセル・バラード長老はこう言っています。「御霊が伝える最も素晴らしいメッセージの一つは、主が皆さんにどのような思いを抱いておられるかというメッセージです。」<sup>6</sup>

わたしたちは神の子です。パウロは、「御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる」と言っています。<sup>7</sup> 最初に学んだ初等協会の歌が「神の子です」だったという人は少なくありません。<sup>8</sup> 「神の子です」という歌詞に「ですから、何をすればよいのですか」と付け加えたらどうでしょう。さらに、「神の子として生きるにはどうしたらよいのですか」「自分の内にある神の属性をどう伸ばせばよいのですか」と尋ねるのもいいでしょう。

ディーター・F・ワークトドルフ管長はこう言っています。「神が皆さんをここへ送られたのは、想像できないほど素晴らしい未来に皆さんを備えるためです。」<sup>9</sup> 一日ずつやって来るその未来は、皆さんがただ存在するだけでなく何か行動を起こすとき、すなわち、自身の創造の目的を果たせるように生活するときに実現します。そうすると、主を生活に招き、主の御心を自分のものとして受け止めるようになります。

#### わたしたちは神の属性のゆえに学ぶ

神の属性が、わたしたちに永遠の真理を知りたいという望みを吹き込みます。

最近、エイミーという若い女性からこのことを教えられました。エイミーはこう書いています。「今の時代、ティーンエージャーであることは簡単ではありません。道は狭まっています。サタンは本気です。物事には正しいか誤りかのどちらかしかありません。

中間などないのです。良い友達がなかなか見つからないこともあります。ずっと仲良くできる親友がいると思っていても、さまざまな理由で状況が変わることがあり

ます。だからこそわたしは、友人関係に問題があるときはいつも、家族がいてくれること、天の御父、イエス・キリスト、そして聖霊がいつもそばにいてくださることに心から感謝するのです。」

エイミーは続けます。「ある晩、悩みがあっただうしたらいいか分からなかったわたしは、姉に相談しました。」

その晩、お姉さんはエイミーにジェフリー・R・ホランド長老の言葉を引用したメールを送りました。「諦めるな。やめちゃいけない。歩くんだ。頑張る。助けも得られるし幸せにもなれる。……必ず良くなる。神を信頼して、祝福が来ることを信じるんだ。」<sup>10</sup>

エイミーはこう説明します。「それを読み、神が本当にわたしのためにそこにおられるなら、神の愛を感じられますように、と祈ったことを覚えています。

わたしが尋ね、神がそこにおられるのだと信じたとき、驚くほど幸せな、温かい気持ちになりました。言葉では表現できません。神がそこにおられ、わたしを愛していてくださることが分かったのです。」

皆さんは神の子ですから、神は皆さんが



どのような者になれるかを御存じです。皆さんの恐れや夢も御存じです。神は皆さんの可能性を喜んでおられます。皆さんが祈りによって御自身のみもとに来るのを待っておられます。皆さんは神の子ですから、皆さんには神が、神には皆さんが必要です。この集会で今周りに座っている人たちも皆さんを必要としています。世は皆さんを必要としています。皆さんは神の属性によって主に信頼される弟子となり、神の全ての子供たちに仕えるようになるのです。自分の内にある神性が分かり始めれば、他人の神性も分かるようになります。

### わたしたちは神の属性のゆえに仕える

神の属性が、わたしたちに人に仕えたいという願いを吹き込みます。

最近、人道支援部門およびLDS慈善事業団のディレクターであるシャロン・ユー

バンク姉妹が、グレン・L・ベイス長老の経験について話しました。1980年代の中頃、エチオピアは広い地域で干ばつとひどい飢饉に見舞われました。当時、救援のために、水と食糧を配るセンターがあちこちに設けられましたが、人々はそのまで自力で行かなければなりません。飢えた老人が、センターまでの遠い道のりを歩いていました。ある村を通りかかったとき、赤ちゃんの泣き声が聞こえました。探してみると、死んだ母親の傍らで地面に座り込んでいる赤ちゃんを見つけました。老人はその子を抱き上げ、センターまでの40キロを歩き続けたのです。センターに到着した彼が発した最初の言葉は、「何か食べ物を」でも「助けてくれ」でもなく、「この子のために、何かしてあげてください」でした。<sup>11</sup>

内にある神の属性はわたしたちに、助けの手を差し伸べたいという気持ちを起こさ

せ、実行するよう促します。天の御父とイエス・キリストの助けを通して、実行する強さを見いだすことができます。主はもしかしたら、「この娘、この兄弟、この父親、この友人のために、何かしてあげてください」とわたしたちに頼んでおられるのかもしれませんが。

疑念を抱く人の内にある神の属性が、苦しみにあえいだ後に、御霊のささやきを通して、平安を見だし、息を吹き返すのです。

預言者が語る言葉は、わたしたちの内にある神の属性に共鳴し、その言葉に従う強さをわたしたちに与えてくれます。

毎週聖餐を受けることで、内にある神性に希望の息が吹き込まれ、わたしたちは救い主イエス・キリストを覚えます。

皆さんの内にある豊かな神の属性を見つめる努力をするとき、皆さんの賜物はさらに大なるものになっていくことを約束します。その属性によって、神の娘として神のみもとに戻る道へと導かれ、「[わたしたちに] 息をお与えになった……神のみもとに連れ戻され」ますように。<sup>12</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. ヨブ 33:4
2. 田部重治訳、ウィリアム・ワーズワース「幼年時代を追想して不死を知る頌」『ワーズワース詩集』167、岩波文庫
3. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
4. イレイン・キャノン、「Let Me Soar,’ Women Counseled,’ *Church News*, 1981年10月17日付、3で引用
5. 2ペテロ1:4
6. M・ラッセル・バラード「義にかかった女性たち」『リアホナ』2002年12月号、42
7. ローマ8:16
8. 「神の子です」『賛美歌』189番参照
9. ディーター・F・ワークトドルフ「喜んで福音に生きる」『リアホナ』2014年11月号、121参照
10. ジェフリー・R・ホランド「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号、44
11. グレン・L・ベイス「限りない求めと限りある力」『聖徒の道』1995年3月号、18-19参照
12. 2ニーファイ9:26



中央扶助協会会長会第二顧問  
リンダ・S・リーブズ

# 約束された祝福に ふさわしくある

御父が将来大いなる祝福を約束しておられることに、日々、焦点を定める必要があります。

**今**の動画の姉妹、すてきだと思いませんか。自身の子供を持つ機会がなかった皆さんの多くが、他の人の子供たちを愛し、教え、祝福していることを、わたしたちは知っています。天の御父と、皆さんの姉妹であるわたしたちは、そのような皆さんを心から愛しています。

初等協会や若い女性の姉妹たちも含め、わたしたちは皆、生まれたばかりの赤ちゃんを腕に抱き、目と目を合わせたことがあるのではないのでしょうか。ほんの少し前に天の御父のみもとから送り出され、造られたばかりの新しい、清らかな、小さな体に入った日の栄えの霊を包んでいる神聖な雰囲気を感じたことがあるのではないのでしょうか。こんなにも快く、穏やかで、霊的な雰囲気を感じることはめったにありません。

わたしたちの肉体は、天の御父からの神聖な賜物であり、個人の神殿です。肉体を清く汚れない状態に保つことにより、わたしたちは御父が愛する霊の子供たちのために肉体を創造されるのを手伝うのにふさわしくなるのです。

「クッキーとキス」で覚えているかもしれませんが、ボイド・K・パッカー会長の最後

の総大会の説教で、パッカー会長はこのように証しました。「増えて地を満たすよう



にという戒めは……不可欠であり、人類の幸福の源なのです。この〔創造の〕力を正しく行使することにより、わたしたちは天の御父に近づき、完全な喜び、そして神の属性さえも受けることができます。創造の力は、幸福の計画に後から付け加えられたものではありません。それ〔が〕計画……なのです。」

そしてこう続けました。

「真の愛を育てるには、神聖な力を解き放って二人の愛を分かち合うことを、結婚するまで待たなければなりません。……肉体的な欲求に支配されないようにするためです。

……この世の生活における幸福や喜び、そして昇栄は、人を常に駆り立てる、この肉体的欲求にどう応えるかに懸かっています。」<sup>1</sup>

親愛なる、若い、あるいは、それほど若くない姉妹の皆さん、このお話を準備し始めてからずっと、わたしの心は強い願いに満たされてきました。息子アルマが言ったように「わたしが……心の底から願っていること……は〔皆さん〕が……主の聖なる御名を呼び、自分が耐えられないような誘惑を受けないように、目を覚ましていて絶えず祈り……終わりの日に上げられて……ほしい」<sup>2</sup>ということです。

アルマの時代には、反キリストのコリホルが「説いて……多くの……女を惑わし……た」<sup>3</sup>と、後にモルモンも証しています。

姉妹の皆さん、サタンはコリホルのような影響を用いて、今日成功を取っています。サタンの道具とはどのようなものでしょうか。魅惑的な恋愛小説、テレビのメロドラマ、ソーシャルメディアでつながっている既婚女性と昔の恋人、ボルノグラフィーなどが挙げられます。親愛なる姉妹の皆さん、わたしたちは実に気をつけなければなりません。サタンの火の矢をもてあそべば必ずやけどを負うのです。わたしの知る限り、徳以上に、聖霊を常に伴侶とする資格を与えてくれるものはありません。

今日の世の中の多くの人々は、インターネットで即席の満足と即席の知識を探しています。反対に、信仰と忍耐を働かせて、あら

ゆる真理の源である天の御父のみもとへ、心に懸かっている事柄を携えて行くなら、大いに祝福されることでしょう。日々聖文を研究し、真心から祈り懇願するなら、とても多くの答えや確信が得られますが、インターネットからはそのような約束はまったく得られません。預言者ヤコブはこのように証しています。「御霊は真実を語り、偽りを言われることがない。したがって、御霊は現在のことをありのままに示し、未来のこともまた、ありのままに述べられる。」<sup>4</sup>

何であろうと、天の御父の標準より低いものを見たり、読んだり、経験したりするなら、わたしたちは弱められます。年齢に関わりなく、見るもの、読むもの、聞くもの、行うことが、『若人の強さのために』にある主の標準を満たしていなければ、それを消し、破り捨て、投げ捨て、そしてドアを勢

いよく閉めてください。

わたしたちのうちに、完璧な人は一人もいません。しかし、罪を犯したときにはバッカー会長の言葉を思い出してください。

「主はこのように約束されています。『見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。』(教義と聖約 58:42)

わたしたち一人一人を取り戻すことのできる贖罪には欠けるところがありません。つまり、わたしたちがこれまでどこで何をしてきたか、あるいは何が起こったかにかかわらず、わたしたちが心から悔い改めるならば、主は贖うと約束してくださったのです。そして、主が贖ってくださったとき、その約束が現実のものとなりました。大勢の人が罪悪感から逃れる方法が分からずに……もがき苦しんでいます。キリストの



贖罪を受け入れることにより逃れることができます。そして、あらゆる心痛は美しさ  
と愛と永遠へと姿を変えるのです。』<sup>5</sup>

悔い改めに加えて、清く、徳高くあるためにどのような助けが与えられている  
でしょうか。初等協会の子供たちや若い女性  
の皆さんは「聖文の力」<sup>6</sup>という曲を  
知っていて、歌えますね。わたしたちは  
それに「祈りの力」「神殿の力」「聖約の力」  
「安息日の力」「預言者の力」「徳の力」  
を加えることができます。

神殿のガーメントを適切に着ることで、  
すばらしい祝福と守りの約束が伴います。  
わたしは象徴的に、天の御父から受けた  
王家の礼服をまとっていると感じるよう  
になりました。姉妹の皆さん、わたしたちが  
ガーメントを適切に着る努力をするとき、  
天の御父はその努力を御父に対する愛と  
献身の大いなるしるしとみなしてくださる  
ことを証します。それはわたしたちが神と  
交わした聖約のしるしです。神はこう約束  
されました。「あなたがたがわたしの言う  
ことを行うとき、主なるわたしはそれに対  
して義務を負う。しかし、あなたがたがわ  
たしの言うことを行わないとき、あなたが  
たは何の約束も受けない。」<sup>7</sup>

最近、わたしは2度の離婚を経験した古  
くからの友人と話しました。離婚の原因は  
2度とも夫の依存症と不貞でした。彼女と  
3人の子供は大きな苦しみを味わってき  
ました。彼女はこう訴えました。「これまで  
正しく生きようと、一生懸命やってきたわ。  
なぜこんなにたくさん試練が来るの。わた  
しのどこがいけなかったの。天のお父様  
はわたしに何をしろとおっしゃるの。祈り  
も聖典勉強も子供の世話もしているし、神  
殿にもよく行っているのよ。」

この姉妹の言葉を聞きながら、わたしは  
こう叫びたくなりました。「あなたは十分  
しているわ。天のお父様があなたに望ん  
でいらっしゃることを全部している。」

無理もないことですが、多くの人が、特  
に試練が次から次へと押し寄せてくるとき



ほど、御父の約束された祝福は「あまりに  
も遠い」ところにあると言います。しかし、  
アミュレクは「現世は……神にお会いする  
用意をする時期である」<sup>8</sup>と教えています。  
全ての祝福を受ける時期ではないのです。  
パッカー会長は、このように説明していま  
す。「第2幕では、『それからみんなずっと  
幸せに暮らしました』というせりふはあ  
りません。そのせりふは、謎が解け、全て  
が正される第3幕のものなのです。」<sup>9</sup>と  
はいえ、御父が将来大いなる祝福を約束し  
ておられることに、日々、焦点を定める必要  
があります。それはちょうど、「主が深い  
あわ憐れみを豊かに」<sup>10</sup>下さっているのを毎日  
気づく必要があるのと同じです。

姉妹の皆さん、わたしたちがなぜこれほ  
ど多くの試練に遭うのか、わたしには分か  
りません。しかし、これは個人的な考えで  
すが、報いがとても偉大で永遠で終わり  
がなく、報いを受ける日はとてもうれしく  
理解を超えるほどなので、憐れみ深く愛に  
あふれた御父に「本当に試練はあれで全  
部だったのですか」と尋ねたくなるのでは  
ないでしょうか。天の御父と救い主がわた  
したちをどれだけ深く愛しておられるかを  
毎日思い起こすことができるなら、みもと  
へ<sup>おふたかた</sup>戻り、永遠に御二方の愛に包まれるため

に求められることは喜んで何でもできるで  
しょう。愛する姉妹の皆さん、これらの試  
練が、まさに、最後に、御父や救い主とも  
に神の王国で永遠の命と昇栄を得る資格  
を与えてくれるものだとしたら、ここで苦し  
むことは一体どれほどのものでしょうか。

わたしは証します。わたしたちの肉体は  
天の御父からの神聖な賜物です。救い主  
の贖いの犠牲によって清らかな生活を送  
り、御父が約束された報いを毎日ありあり  
と思い描くならば、わたしたちはいつの日  
か「わたし[たち]の父が持っておられる  
すべて」<sup>11</sup>を受けられるのです。イエス・  
キリストの聖なる御名により、アーメン。■

#### 注

1. ボイド・K・パッカー「幸福の計画」『リアホナ』2015年5月号、26-27
2. アルマ13:27-29
3. アルマ30:18
4. モルモン書ヤコブ4:13
5. ボイド・K・パッカー『リアホナ』2015年5月号、28
6. クライヴ・ロムニー「聖文の力」lds.org/callings/primary/sharing-time-music
7. 教義と聖約82:10、強調付加
8. アルマ34:32
9. ボイド・K・パッカー、「The Play and the Plan」(ヤングアダルト対象の教会教育システムファイヤサイド、1995年5月7日)、3、si.lds.org
10. エテル6:12
11. 教義と聖約84:38



中央若い女性会長会第一顧問  
キャロル・F・マッコッキー

# 義の業に仕えるため ここに

わたしたちが主イエス・キリストの雄々しい代理人となって義の業に仕えることを選ぶことができますように。

**先**ほどのビデオに登場した、心が清く、試練の中にあっても主を愛し、主に仕える、リサのような忠実な女性とともに集えることに感謝しています。リサのことを知ると、互いに愛し合って相手の心の美しさを見なければならぬことに気づかされます。救い主は教えられました。「人の価値が神の目に大いなるものであることを覚えておきなさい。」<sup>1</sup> 8歳であろうと108歳であろうと、わたしたち一人一人は「[主の]目に尊[い]」<sup>2</sup>のです。主はわたしたちを愛しておられます。わたしたちは神の娘であり、シオンの姉妹です。わたしたちは神の性質を受け継いでおり、それぞれに果たすべき輝かしい業があります。

この夏、娘を持つ若く美しい母親と話しました。若い女性には、自分の価値が感じられるような業が必要だと思うと話してくれました。この世における神の目的に沿った行動を取ることで、個人の永遠の価値が見いだせることをこの母親は知っていました。今晚、この美しく、すばらしい聖歌隊が、わたしたちの目的を教える歌を歌ってくれました。試しや試練を経験し、恐れや絶望を感じても、わたしたちは気高い心を持ち、断固として自分の務めを果た

します。わたしたちは義の業に仕えるためここにいます。<sup>3</sup> 姉妹の皆さん、この業においてわたしたちは皆、重要であり、必要とされているのです。

わたしたちが仕える義の業は、キリストの業であり、救いの業です。<sup>4</sup> 主はこう教えられました。「見よ、人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。」<sup>5</sup> イエスが苦しみ、あらゆる毛穴から血を流し、完全な愛をもって命をささげられたのは、全てわ

たしたちのためでした。キリストの業は、良きおとずれです。「喜びのおとずれはこれである。『彼、すなわちイエスは、世のために十字架につけられ、世の罪を負い、世を聖め、それをすべての不義から清めるため世に来た。……すべての者が、彼によって救われるためである。』」<sup>6</sup> 救い主は「道を示し……導[いて]」<sup>7</sup> されました。<sup>7</sup> 主の模範に従い、神を愛し、思いやりと哀れみの中で仕え合うならば、わたしたちは清くなり、「終わりの日に神の前に罪のない状態で立てる」ことを、わたしは証します。<sup>8</sup> わたしたちは、主の義の業にあつて主に仕えることを選びます。それは、御父と御子とともに一つとなるためです。<sup>9</sup>

預言者モルモンは、雄々しく宣言しました。「わたしたちには、あらゆる義の敵を打ち破って、神の王国で安息を得るために、この土の幕屋に宿っている間に果さなければならぬ務めがあるからである。」<sup>10</sup> 初期の教会の指導者や開拓者たちは、英雄的勇気と確固たる忠誠心をもって押し進み、回復された福音を確立し、昇栄の儀式を施すための神殿を建てました。現代の開拓者、つまり皆さんとわたしも信仰をもって押し進み、「人々の霊の救いのために主のぶどう園で働[いて]」<sup>11</sup> います。



ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこう教えました。「全能者が推し進めておられるこの輝かしい御業の行く末は、何とすばらしいものになることでしょうか。……世の贖い主への愛で心を満たしている人々の無私の働きにより、〔この業は進められています。〕」<sup>12</sup> わたしたちは過去と現在の忠実な姉妹たち、また、若者たちとともに救いの業を進めています。

わたしたちは生まれる前に、天の御父の計画を受け入れました。「その計画によって、〔わたしたち〕は肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。」<sup>13</sup> 前世で交わしたこの聖約について、ジョン・A・ウィットナー長老は次のように説明しています。「わたしたちは、そのとき、その場で、自分自身のためだけに救う者となるのではなく、……全人類のためにも救う者となることに同意しました。わたしたちは主と共同事業を始めたのです。その計画に従って実践していく業は、単に御父の御業、救い主の御業となっただけではなく、わたしたちの業ともなりました。わたしたちはどれほど小さな存在であろうとも、永遠の救いの計画の目的を達成するという点では、全能の神との共同事業者なのです。」<sup>14</sup>

わたしたちはこの世で、救いの業において救い主に仕えるという聖約を改めて交わしました。聖なる神権の儀式に携わることにより、心と、勢力と、思いと、力を尽くして神の務めに出で立つことを誓います。<sup>15</sup> わたしたちは聖霊を受け、この業を進めるための導きを得るために聖霊の促しを求めます。神が望んでおられることをわたしたちが理解して行うなら、義は世界に広まります。

バス停で友達に「ねえ、いっしょに教会に来て、イエスさまについて学んだ方がいいよ」と言った初等協会の子供を知っています。



若い女性のクラスで少女たちが団結し、互いに仕え合うことを誓い、次に、依存症に苦しんでいる若い女性を助けるために適切な方法を計画するのを、わたしは見ました。

自分の時間や才能、体力を全て使って福音の原則を教え、模範を示すことによって、ヒラマンの息子たちのように勇気と信仰をもって、試練や誘惑、逆境に立ち向かうことができるように子供たちを備える若い母親たちを、わたしは見てきました。

しかし、おそらく最も謙虚にさせられたのは、あるシングルアダルトの姉妹が純粋な証の炎を燃え立たせて、自分たちにできる最も大切なことは、結婚して家庭を築けるよう備えることだと断言するのを聞いたときだったと思います。この姉妹は家庭を築くことに関して未経験でしたが、家族が救いの業のまさに中心にあることを知っていたのです。「神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。」<sup>16</sup> 結婚という新しくかつ永遠の聖約で結ばれた家族の結びつきを堅固なものにし、大切にすると、わたしたちは御父の計画を尊び、神をたたえているのです。わたしたちは清く徳高い生活をするを選びます。それは、機会が来たときに、主の宮で神聖な聖約を交わし、永遠に守る備



エラ・ホスキンス姉妹とワードの二人の若い女性

えができていようにするためです。

誰の人生にも、時と季節があります。しかし、学校や職場、地域社会、特に家庭において、わたしたちは主の代理人であり、主の用向きを受けています。

救いの業には人との比較や批判、非難が入る余地はありません。年齢も経験も、世の称賛も関係ありません。この聖なる業は、打ち砕かれた心と悔いる霊を育み、神から頂いた賜物たまものと自分にしかない才能を喜んで使い、主の御業を主の方法で行うことです。ひざまずき、「わが父よ、……わたしの思いのままにはなく、みこころの



ままになさって下さい」<sup>17</sup> と言う謙遜さを持つことなのです。

わたしたちは主の力によって「何事でもすることができ[ます]」<sup>18</sup> わたしたちは常に、祈りと聖文、聖霊のささやきの中に主の導きを求めています。ある姉妹は、とうていできそうにもない割り当てを受けて、次のように書いています。「初期の教会歴史に出てくる姉妹たちも、夜ベッドに入って、『明日何が起ころうと、乗り越えられるように助けていただけますか』と、わたしたちと同じように祈ったのではないかと思うことがときどきあります。」続けてこう書いています。「祝福の一つはわたしたちには仲間がいて、どんなときでも一緒だということです」<sup>19</sup> 状況がどうあろうと、救いに至る道のどの段階にしよう、わたしたちは救い主に仕えるという決意の下で一つとなります。お互いに助け合いながら主に仕えるのです。

最近、エラ・ホスキンス姉妹の記事を読んだ人もいることでしょう。ホスキンス姉妹は100歳のときに、ワードの若い女性の組織で「成長するわたし」を指導する責任に召されました。<sup>20</sup> それからおよそ2年後、102歳のときに、「若い女性表彰」を受けたのです。若い女性たちやワードとス

テークの若い女性と扶助協会の会長会、それに家族が集まってこの偉業を祝いました。忠実な奉仕においては、年齢や組織、独身か既婚といった垣根は消え去ったのです。若い女性たちはホスキンス姉妹が教え、義の模範を示してくれたことに感謝の意を表しました。彼女たちはホスキンス姉妹のようになりたがっています。その後、「どうやってこの偉業を達成したのですか」とホスキンス姉妹に尋ねました。

すぐに返ってきた答えはこうでした。「毎日悔い改めていますからね。」

主の御霊に満たされて汚れのない光を放つ、物腰の穏やかな一人の女性が教えてくれたのは、神聖な美しさを輝かせて主とともに立ち、他の人に祝福を与えるためには、清くなければならないということでした。神の御心に添わないものを拒み、勢力と思いと力を尽くして神を愛するを選ぶならば、キリストの恵みによって清くなることが出来ます。<sup>21</sup> 使徒パウロはこう教えています。「あなたは若い時の情欲を避けなさい。……きよい心をもって主を呼び求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい。」<sup>22</sup> 完全な人はいません。皆、間違いを犯してきました。しかし、わたしたちは悔い改めることでさらに

善い人になり、「[キリストの] 名をいつも心にしっかりと記[す]」<sup>23</sup> ことができます。汚れのない心で主の名によって仕えるとき、わたしたちは救い主の愛と、天国を人々に垣間見せているのです。

わたしたちが主イエス・キリストの雄々しい代理人となって義の業に仕えることを選ぶことができますように。ともに立ち、「心に歌を忘れずに前進し、福音に生き、主を愛し、王国の建設に励[みましよう。]」<sup>24</sup> この輝かしい業の中で、神の純粋な愛を知ることができると証します。わたしたちが真の喜びを受け、あらゆる永遠の栄光を得ることができますように。イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■

#### 注

1. 教義と聖約 18 : 10
2. イザヤ 43 : 4
3. 「シオンの若者として」『リアホナ』2000年4月号, 24 参照
4. 「この救いの業には、会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない会員の活発化、神殿・家族歴史活動、福音を教えることが含まれる。」(『手引き第2部——教会の管理運営』[2010年], 第5章序文)
5. モーセ 1 : 39
6. 教義と聖約 76 : 40 - 42
7. 「高きに満ちたる」『賛美歌』112 番
8. 教義と聖約 4 : 2
9. ヨハネ 17 : 20 - 23 ; 4 ニューフェイス 1 : 15 - 17 ; 教義と聖約 35 : 2 ; 38 : 27 ; モーセ 6 : 68 参照
10. モロナイ 9 : 6
11. 教義と聖約 138 : 56
12. ゴードン・B・ヒンクレー「この道を歩み続け、信仰を保つ」『聖徒の道』1996年1月号, 78
13. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
14. ジョン・A・ウイツォー, "The Worth of Souls," *Utah Genealogical and Historical Magazine*, 1934年10月号, 189
15. 教義と聖約 4 : 2
16. 「家族—世界への宣言」129
17. マタイ 26 : 39
18. アルマ 26 : 12
19. 個人的な書簡
20. マリアン・ホルマン・プレスコット, "She Just Doesn't Quit," *Church News*, 2015年9月6日付, 15 参照
21. モロナイ 10 : 32 参照
22. 2 テモテ 2 : 22
23. モーサヤ 5 : 12
24. ゴードン・B・ヒンクレー『聖徒の道』1996年1月号, 78



大管長会第二顧問  
ディーター・F・ワークトドルフ管長

# ローズおばさんと 過ごした夏

皆さんが主の弟子として明るい道を歩むとき、信仰によってその一歩一歩が強められるように祈ります。

**愛**する姉妹と友人の皆さん、皆さんとともに過ごせることをうれしく思います。また、わたしたちの愛する預言者トーマス・S・モンソン大管長がいらっしゃることに感謝しています。大管長、皆、あなたを愛しています。わたしたちの貴い友人であり、主の真の使徒であった3人が亡くなったことを悲しく、また寂しく思います。わたしたちはバックカー会長、ペリー長老、そしてスコット長老を愛しています。また、彼らの家族と友人のために祈っています。

わたしはいつも大会のこの部会を楽しみにしています。美しい音楽と靈感を受けた姉妹たちの勧告によりあふれる御霊が注がれます。皆さんと過ごすことで、さらに良い人になれます。

今日話すべきことについて考えていると、救い主が教えられた方法が思い浮かびました。興味深いことに、主は単純な物語を使われて最も高尚な真理を教えることがおできになりました。主のたとえを通して、主の弟子たちは頭だけでなく心で真理を受け入れ、永遠の原則を日々の生活と結びつけることができました。<sup>1</sup> 愛するモンソン大管長もまた、心を打つ個人的な経験をういて教えることに優れています。<sup>2</sup>

今日、わたしも物語をお話することによって、わたしの考えや思いをお伝えしたいと思います。御霊の導きを受けながら聞いてください。聖霊の助けによって、このたとえの中に自分に当てはまるメッセージが見つかることでしょう。



## ローズおばさん

これはエバという名の少女の物語です。エバについて皆さんに知っていただきたい大切なことが二つあります。一つは、エバが当時11歳だったということ、そしてもう一つは、エバが、大叔母にあたるローズおばさんの家へ行って一緒に住むことをまったく望んでいなかったということです。話にならないほど嫌がっていました。

ところが、エバの母親が手術を受けることになり、快復までには長い時間がかかるため、両親は夏の間エバをローズおばさんに預けることにしたのです。

エバにとっては、これが最悪な考えである理由は幾らでもありました。母親とは離れ離れになってしまいますし、家族や友達とも別れなければなりません。しかも、ローズおばさんのことは何も知りません。大変ありがたいのですが、今のままでも何も不自由はないのです。

しかし、言葉や表情でいくら訴えても、その決定を変えることはできませんでした。エバはスーツケースに荷物を詰めると、ローズおばさんの家までの長い道のりを父親が運転する車で向かったのです。

エバは、おばさんの家に足を踏み入れた瞬間から、そこが大嫌いになりました。

あらゆるものが古めかしいのです。古い本、変な色のビン、ビーズやリボン、ボタンであふれそうなプラスチックの箱が部屋中に所狭しと置かれていました。

独り暮らしのローズおばさんはずっと独身で、唯一の同居者は灰色の猫でした。その猫は、どの部屋でも一番高い場所を見つけては、そこにじっとして、お腹を空かせた虎のように下にあるもの全てををにらみつけていました。

家そのものも寂しげでした。田舎にあり、どの家も隣の家から随分離れていました。エバと同年齢の子は半径1キロ以内に1人もいませんでした。エバが寂しく感じたのは、そのせいでもあったのです。

最初のうち、エバはローズおばさんにあ

まり注意を向けず、母親のことばかり考えていました。夜遅くまで起きて、母親が回復するよう心から祈ることもありました。その願いはすぐにはかないませんでした。神様が母親を見守ってくださっていると感じるようになりました。

ついに、手術が成功したという知らせが来ました。今やエバがすべきことはただ一つ、夏の終わりまで耐え忍ぶことでした。でも、エバは耐え忍ぶなんて絶対に

嫌だったのです。

母親のことは一安心したので、エバはローズおばさんに前よりも少し注意を向けるようになりました。ローズおばさんは大柄な女性で、声も大きく、笑顔も人柄も大らかでした。出歩くことは難しくなりましたが、家事をしながらいつも歌ったり笑ったりしていたので、家の中には笑い声があふれていました。毎晩、ふかふかのソファに座り、聖典を取り出して声に出して

読んでいました。そして読みながら、「まあ、そんなことしちゃだめだわ」「わたしもその場にいられたらどんなによかったかしら」「そんなにすばらしいことって聞いたことがないわね」などと独り言を言っていました。毎晩二人はエバのベッドのそばでひざまずいて祈りました。ローズおばさんの祈りは本当にすばらしいものでした。青い鳥や緑の木々、夕日や星、そして生きていることのすばらしさについて天の御父に感謝をささげました。おばさんは神様を友達としてよく知っているのではないかと思えるほどでした。

やがて、エバは驚くべき発見をしました。ローズおばさんはエバが知っている中でおそらく一番幸せな人だと分かったのです。

でも、どうしてそんなことがあり得るのでしょうか。

おばさんが幸せである理由などあるのでしょうか。

ローズおばさんはずっと独身で子供もなく、話し相手と言えば、あの気味悪い猫だけです。靴ひもを結んだり階段を登ったりというような単純なことさえ難しいのです。

町へ出かけるときには、見ていて恥ずかしくなるほど大きくて色鮮やかな帽子をかぶりました。でも、町の人々は笑み者にするどころか、周りに集まってきて話しかけようとするのです。ローズおばさんは学校の先生をしていたので、今は大人になって子供もいる昔の教え子が、足を止めておしゃべりを楽しむのはよく見かける光景でした。自分の人生に良い影響を与えてくれたことに感謝し、よく笑い、ときには涙さえ流すのでした。

夏が過ぎていくにつれて、エバがローズおばさんと一緒に過ごす時間は長くなっていきました。長い散歩の間に、エバはズメとホオジロの違いが分かるようになりました。野生のニワトコの実を摘んだり、オレンジでマーメイドを作ったりしました。ひいひいおばあさんが、愛する故郷を離





れ、海を渡り、平原を歩いて横断して聖徒たちと合流したことも教えてもらいました。

やがて、エバはもう一つ、驚くべき発見をしました。自分が知る限りローズお婆さんは最高に幸せな人だというだけでなく、お婆さんのそばにいつもエバ自身ももっと幸せになることが分かったのです。

夏はさらに足早に過ぎ、エバはローズお婆さんから、もうすぐ家へ帰る日が来ることを知らされました。エバは初めて来た日から家に帰れる日を楽しみにしていたのですが、今では何とも言えない複雑な気持ちになりました。気味悪い猫のいるこの奇妙な古い家と、大好きなローズお婆さんが実のところ恋しくてたまらなくなるだろうと気づいたのです。

父親が迎えに来る前日、エバは数週間ずっと気に掛かっていた質問をしました。「ローズお婆さんは、どうしてそんなに幸せなの？」

ローズお婆さんはじっとエバの顔を見ると、居間に掛かっている絵を指しました。それは才能ある親しい友人からの贈り物でした。

「あそこには何が見える？」ローズお婆さんは尋ねました。

エバは前からその絵に気づいていましたが、近くでよく見たことはありませんでした。開拓時代の服を着て、明るい青い道を軽快に歩く少女の絵でした。草木は鮮やかな緑色でした。エバは言いました。「女の子の絵ね。スキップしているみたいだわ。」

「そうね。開拓者の女の子がうれしそうにスキップしている絵だわ。」ローズお婆さんが言いました。「開拓者たちにとっては暗くて悲しい日がたくさんあったと思うの。わたしたちには想像もできないほど、ひどく苦しい生活だった。でも、この絵では、全てが明るく希望に満ちているし、この女の子は楽しげに歩いているわ。前に向かって、そして上に向かって。」

黙って聞いているエバに、ローズお婆さんは語り続けました。「人生にはうまくいかないことがいっぱいあるわ。だから、誰だって暗い気持ちになって落ち込むこともある。でもね、物事が思いどおりに行かなくても人生のすばらしいことや驚きに満ち

たことに目を向ける人々を知っているけれど、彼らはわたしが知る中で最高に幸せな人たちなのよ。」

「でも、悲しんでいる人が急に幸せになるなんて無理だわ」とエバは言いました。

「そうかもしれないね。」ローズお婆さんは優しくほほえみました。「でも、神様が人をお造りになったのは、わたしたちが悲しむためではなく、喜びを得るためなのよ。<sup>3</sup>だから、もしわたしたちが神様を信頼するなら、人生の良い面、明るく希望に満ちた面に気づけるよう助けてくださるの。きっと世界はもっと明るくなる。すぐにはそうならないかもしれないけれど、良いことがたくさん起きているのは間違いないわ。わたしの考えでは、最高のものには忍耐と労力が必要よ。手作りのパンやオレンジマーレードのようにね。」

エバは少し考えてから言いました。「それって、全てが完璧な人生を送っているわけじゃない人にとっては、それほど簡単なことじゃないと思うけど。」

「かわいいエバ、あなたは本当にわたしの人生が完璧だとでも思っているの？」ローズお婆さんは、ふかふかのソファにエバと一緒に座りました。「あまりにもひどく





JOY IN THE JOURNEY BY SALVADOR ALVAREZ

この絵に描かれている開拓者の少女のように、皆さんが主の弟子として明るい道を歩むとき、信仰によってその一歩一歩が強められるように祈ります。

たからである。』<sup>4</sup>

ローズおばさんはエバの顔を見て、にっこり笑いました。そして、声を震わせながら、こうささやきました。「こんなすばらしいこと、聞いたことがある？」

本当にすばらしいことだとエバは思いました。

ローズおばさんは数ページめくり、一つの聖句を指して、エバに読ませました。「『目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた。』」<sup>5</sup>

ローズおばさんは言いました。「そのようにすばらしい将来が待っているなら、自分の計画どおりにならなかった過去や現在の悲しみに沈み込んでしまうなんてこと

落ち込んで、もうこれ以上やっていけないと思える時が、わたしにもあったわ。」

「おばさんが？」エバは尋ねました。

ローズおばさんは、うなずきました。「人生で望んでいたことがたくさんあったわ。」そう語る声は、エバがこれまで聞いたことのないほど悲しげでした。「そのほとんどは決して実現しなかった。がっかりすることが何度も起きて、ある日、分かったの。人生は決して願いどおりにはならないって。本当に暗い気持ちになったわ。諦めて、打ちひしがれてしまいそうにもなったのよ。」

「それで、どうしたの？」

「しばらくは何もしなかったわ。ただ怒りが込み上げてきて、周囲に当たり散らしていたの。」そして、ローズおばさんは少し笑いましたが、それはいつものように部屋中に響きわたるような大きな笑い声ではありませんでした。「『不公平だ』という言葉業を頭の中で何度も繰り返したわ。でもとうとう、わたしの人生を大きく変えるものを見つけたのよ。」

「何を見つけたの？」

「信仰よ」と言ってローズおばさんはほほえみました。「信仰を見つけると、信仰から希望が生まれたの。そして信仰と希望の力で、きっといつの日か全てが明らかになって、救い主のおかげで全ての間違いが正されると確信できたの。それからは、自分が進む道は思ったほど暗く苦しいものではないと分かったわ。明るい青空や緑

の草木、燃えるような赤い花などに気づくようになってね。自分の道は自分で選ぶと心に決めたの。悲しみに沈んで、自分を憐れみながら足をひきずって進むのか、それとも少し信仰を持って、明るいドレスを着て、ダンスシューズをはいて、歌いながら人生の道を軽快に進むのか。」次第に、ローズおばさんの声は絵の中のスキップしている少女のように明るく弾み始めました。

ローズおばさんはサイドテーブルへ手を延ばすと、使い古した聖典を膝の上に乗せました。「うつ病と診断されるほどの状態ではなかったと思うわ。もしそうだったら、自分でどうにかできたかどうかは分からない。でも、そのときはどうしても、惨めな気持ちになるような考えしか持てなくて、しばらくは暗い日々だったわ。でも、悲しんだり心配したりしていても、何も変わらないし、ますます悪くなるだけ。救い主への信仰を持つことによって、過去にどんなことがあったにせよ、最終的には幸せになれると教えられたの。」

「どうやってそれが分かったの？」エバは尋ねました。

ローズは聖書のある1ページを開いて言いました。「ここに書いてあるわ。」

『神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまて、

人の目から涙を全くぬぐいとって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のが、すでに過ぎ去

があっていいかしら?」

エバは眉間にしわを寄せて言いました。「でも、ちょっと待って。幸せになるってことは、ただ将来の幸せを楽しみに待つという意味なの? 幸福は全部、永遠の中にあるの? 今、少しでも幸せになれないの?」

「もちろん、なれるわ。」ローズおばさんは大きな声ではっきりと言いました。「あのね、今は永遠の時間の一部なの。永遠は死んだ後に始まるわけじゃないわ。信仰と希望が、目の前にある幸福に気づかせてくれるのよ。」

『永遠とは今という時間の積み重ね』<sup>6</sup>という詩を読んだことがあるわ。わたしは自分が迎える永遠の時間を、暗く恐ろしい『今』という時間の積み重ねにしたいくなかったの。暗闇に押し込まれ、歯を食いしばり、目を閉じて、憤りながら苦しい最後まで耐えるような人生を送りたくなかった。信仰は、喜びをもって今を生きるのに必要な希望を与えてくれたわ。」

「それで、それから何をしたの?」とエバは聞きました。

「神様の約束を信じる信仰を行使して、有意義なことをして人生を過ごしたの。学校へ行って、教育を受けて、その結果、大好きな職業につけたわ。」

エバは少し考えて、こう言いました。「でも、忙しくしていたから、幸せになったわけじゃないでしょう? 忙しくても幸せじゃない人はたくさんいるもの。」

「その年で、どうしてそんなに賢くなれるのかしらね?」とローズおばさんは聞きました。「そのとおりよ。忙しくて不幸な人のほとんどが、主の福音の中心にあるとイエス様がおっしゃった、世界中で一番大切なものを忘れてるわ。」

「それは何?」とエバは聞きました。「それは愛、キリストの純粋な愛よ」とローズおばさんが言いました。「そうね、福音の中にある他のものは全て、つまりあらゆるすべきことやしなくてはならないことは皆、愛に通じているわ。神様を愛して

いると、神様に仕えたい、神様のようになりたいと思うし、隣人を愛していると、自分の問題についてばかり考えるのをやめて、他の人がその問題を解決できるように助けたいと思うでしょう。」<sup>7</sup>

「そうすると、幸せになれるの?」とエバは尋ねました。

ローズおばさんはうなずいて、ほほえみました。目には涙があふれていました。「そうよ。そうすれば、幸せになれるのよ。」

### 前と同じではなく

翌日、エバはローズおばさんを抱き締めて、いろいろとしてくれたことに感謝の気持ちを伝えました。そして、家族が待つ家、友達が住む町へ戻りました。

でも、エバは前とまったく同じではありませんでした。

エバは成長するにつれて、ローズおばさんの言葉についてよく考えるようになりました。やがて、結婚し、子供を育て、長い間すばらしい人生を送りました。

ある日、エバは自宅で、ある少女の絵を見詰めていました。開拓者時代の服を着て、青く明るい道を軽快に歩いている少女の絵です。そのとき、今の自分が、あのすばらしい夏と一緒に過ごしたローズおばさんと同年代になっていることに気づき



ました。

そう気づいたとき、エバの心に特別な祈りの気持ちが湧き上がってきました。また、自分の人生と家族、イエス・キリストの回復された福音、そして信仰と希望と愛について教えてくれた<sup>8</sup>ローズおばさんと一緒に過ごした、はるか昔のあの夏に対する感謝の気持ちを感じたのです。<sup>9</sup>

### 祝福

キリストに従う、愛する姉妹と友人の皆さん、この話を聞いて、皆さんの心に響き、霊を鼓舞する何かがあったことを願い、祈ります。わたしは神が生きておられ、皆さん一人一人を愛しておられることを知っています。

皆さんが主の弟子として明るい道を歩むとき、信仰によってその一步一步が強められ、希望の力によって、天の御父が皆さんのために備えておられる栄光に気づくことができますように。皆さんの心が神と神の全ての子供たちに対する愛で満たされますように。主の使徒として、以上のことを証と祝福として残します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. 例として、マタイ 13:24 - 30; 18:23 - 35; 20:1 - 16; 22:1 - 14; 25章; ルカ 10:25 - 37; 15:11 - 32 参照
2. 例として、トーマス・S・モンソン「故郷へ安全に導かれる」『リアホナ』2014年11月号、67 - 69; 「愛—福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号、91 - 94; 「決して独りで歩いているのではない」『リアホナ』2013年11月号、121 - 124; 「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号、89 - 92 参照
3. 2ニーファイ 2:25 参照
4. 黙示 21:3 - 4
5. 1コリント 2:9
6. “Forever — is composed of Nows”, *Final Harvest: Emily Dickinson's Poems*, トーマス・H・ジョンソン選 (1961年), 158 で引用; poetryfoundation.org/poem/182912 も参照
7. ルカ 9:24 参照
8. モロナイ 7:42 参照
9. “Often the prickly thorn produces tender roses” (Ovid, *Epistulae ex ponto*, 第2巻, 書簡 2, 34 行目; “Saepe creat molles aspera spina rosas”)



大管長会第二顧問  
ディーター・F・ワークトドルフ管長

# すばらしく 益になっています！

「キリストがお持ちの簡潔さ」に目を向けることができるように祈ります。そして、旅路の間、主の恵みによってわたしたちが高められ、導かれますように。

**愛** する兄弟姉妹と友人の皆さん、今日皆さんとともに集えるのは大きな喜びです。壇上の3つの空席を見ると悲しみを覚えます。パッカー会長、ペリー長老、そしてスコット長老が一緒でないことを寂しく思います。3人を愛しています。またご家族の幸せをお祈りします。

この大会が開かれる週末に、わたしたちは、十二使徒定員会の空席を埋めるよう

に主によって召された3人の使徒を支持する特権にあずかります。

彼らが使徒としての神聖な召しと責任を受けるに当たり、わたしたちの祈りによって彼らは強められるでしょう。

## 福音は皆さんにとって益となっていますか

しばらく前、わたしは次のような引用を見て立ち止まり、考えさせられました。「宇宙には1兆の星があると言えば、人は

それを信じるでしょう。壁はペンキ塗りでだと言えば、確かめようと触ってみましょう。』

誰しも、多少同じようなところがあるのではないのでしょうか。最近わたしはある治療を終えた後、有能な医師たちからきちんと治すために何をすべきか説明を受けました。そこで再確認したのは、自分はあまり忍耐強くない患者だということでした。

わたしは、インターネットで調べて、もっと早く治そうと決めました。医師たちが気づいていない、あるいはわたしに知らせないでいる真理を見つけようとしたのです。

自分のしていることの愚かさに気づくまでに少し時間がかかりました。もちろん、自分で調べるのは悪いことではありませんが、本来頼るべき真理をないがしろにし、根拠のない主張が多いインターネット情報にばかり注意を向けていたのです。

真理があまりにストレートで、あまりに飾り気がなく、あまりにシンプルすぎるように思えて、その偉大な価値を十分に味わえないことがあります。そのため、すでに経験済みで真実だと知っていることを脇に置いて、もっと神秘的で複雑な情報を追い求めるのです。自分が真理に基づかない幻想を追いかけ続けているとき、実体や価値のないものを追求していることに気がつけば幸いです。

霊的な真理について、自分が正しい道にいることはどのように分かるのでしょうか。

一つの方法は正しい問い掛けをすることです。自分の進み具合について思い巡らし、物事が自分にとってどう進んでいるかを評価するために、次のように問い掛けます。

「わたしの人生には意味があるだろうか。」

「わたしは神を信じているだろうか。」

「神がわたしを御存じで、愛してくださっていることを信じているだろうか。」

「神がわたしの祈りを聞き、こたえてくださることを信じているだろうか。」

「わたしは本当に幸せだろうか。」





「自分の努力によって、人生で最も靈的に高い目標や価値に近づいているだろうか。」

このような人生の目的に関する深遠な問い掛けにより、世界中の多くの人や家族が真理を探し求めるようになりました。その結果として、末日聖徒イエス・キリスト教会と回復された福音に導かれた人もいます。

わたしたち教会員も、折にふれて次のように自分に問い掛けることが役に立つでしょう。「教会員としての経験は自分に益となっているだろうか。それによってわたしはキリストに近づいているだろうか。わたしや家族は福音で約束されたとおりの平安や喜びを味わっているだろうか。」

アルマは同じような問いをゼラヘムラの教会員に投げ掛けました。「あなたがたは心の中に、この大きな変化を経験したか。……〔そして〕今でもそのように感じられるか……。」<sup>1</sup> そのように思い巡らすことにより、神聖な救いの計画における日々の努力を再び見直し、決意を新たにすることができよう。

多くの会員の皆さんが、教会員としての経験から、実に大きな益を受けていると喜

んで答えるでしょう。貧しいときも富めるときも、順調なときも苦境にあるときも、主に従う決意と教会での献身的な奉仕によって、人生においてすばらしい意義と平安と喜びを見いだしていると証するでしょう。わたしは毎日、輝く喜びに満たされた教会員と会います。彼らは、自分の人生がイエス・キリストの回復された福音によって計り知れないほど豊かにされていることを言葉でも行いでも示しています。

しかし、あまり満たされていない経験をしている皆さんがいることにも気づきます。教会員であることが、自分が望んでいた状態と違うと感じているのです。

これには悲しみを覚えます。なぜなら、わたし自身、福音がいかにか人の霊を強め、新たにし、心を希望で満たし、思いを光で照らすかを知っているからです。イエス・キリストの福音の実が、ありきたりで退屈な生活を特別で崇高なものにどのように変えることができるかを個人的に知っているからです。

では、ある人は他の人よりも福音から益を得ているように思われるのはなぜでしょ

う。贖い<sup>あがな</sup>をもたらす愛の歌<sup>2</sup>で心満たされる経験をする人がいる一方で、何か欠けていると感じる人がいる、この違いは何でしょうか。

これらの問いについて深く考えたとき、実にさまざまな考えが浮かびました。今日はその中の二つをお話したいと思います。

### シンプルにする

第1に、主の弟子としての道をあまりに複雑にしてはいないでしょうか。

この美しい福音は非常にシンプルで子供でも理解できます。同時に、非常に深遠で複雑でもあり、それを完全に理解するためには、一生、あるいは永遠をかけて研究し、発見していく必要があります。

しかしわたしたちは、神の真理という美しいユリの花を手に取り、人が思いついた良い考えやプログラム、期待などをそれに次々と重ねていることがあります。それぞれ、ある時期や状況においては役立ち、ふさわしいものかもしれませんが、幾重にも重なっているために、厚く、重い層と



なり、かつては心から愛した貴重な花を見失ってしまう危険があります。

ですから、わたしたちは指導者として教会と福音が純粋で簡潔なまま保たれるように厳密に守り、会員に不必要な重荷を背負わせることがないようにしなければなりません。

そして教会員として、わたしたちは全員、仲間を鼓舞し、神の王国を築きながら、自分の労力と時間を真に重要なことにささげる必要があります。

扶助協会の教師をしているある姉妹は、完全なレッスンを準備することで有名でした。あるとき彼女は、レッスンのテーマを伝える完璧な横断幕として、美しいキルトを作ろうと決めました。でも、学校に子供を迎えに行ったり、近所の引っ越しの手伝いをしたり、熱を出した夫や寂しい思いをしている友人を助けたりして、作業は何度も中断しました。レッスンの日が近づいてもキルトは完成せず、ついにレッスンの前日の夜、ほとんど眠らずに一晩中キルト作りをしたのでした。

翌日、彼女は疲れ切ってしまう、考えをまとめることができないほどでしたが、勇敢に立ってレッスンを終えました。

キルトは感動的な出来栄でした。縫い目も完璧で、色も鮮やかで、デザインも凝っていました。しかしキルトの中央に華々しく輝いていたのは、レッスンのテ-

マである「シンプルにする」という言葉でした。

兄弟姉妹の皆さん、福音に従った生活は複雑である必要がないのです。

実に簡単でまっすぐな道なのです。次のように説明できるでしょう。

- 神の言葉を熱心に聞くことにより、神を信じ、神の約束を信頼できるようになります。<sup>3</sup>
- 神を信頼すればするほど、わたしたちの心は神と互いに対する愛で満たされます。
- 神を愛しているのです、神に従い、神の言葉と一致した行動を取りたいと願うようになります。
- 神を愛しているのです、神に仕えたいと望み、人々の生活を祝福し、貧しい人や助けが必要な人々を助けたいと願うのです。
- 主の弟子としての道を歩めば歩むほど、神の言葉をさらに学びたいと願うようになります。

このようにして、一步がまた次の一步につながり、ますます信仰と希望と慈愛が増し加えられていきます。

福音は美しいまでにシンプルであり、美しいほどにわたしたちに益を与えてくれます。

兄弟姉妹の皆さん、福音はあまり自分の益になっていないと考えたことが一度でも

あるなら、一步下がって少し高いところから自分の生活を吟味し、主の弟子としての取り組み方をシンプルにしてください。福音の基本的な教義や原則に目を向け、それを生活に応用することに集中してください。神は皆さんが充実した人生を送れるように導き、祝福して下さること、また福音が皆さんにもっと益を与えてくれることを約束します。

## 今いる所から始める

第2の提案は、今いる所から始めることです。

ときどきわたしたちは、「もっと」何かに優れていないからと言って落胆することがあります。もっと霊的で、もっと尊敬されて、もっと知的で、もっと健康で、もっとお金持ちで、もっと親しみやすく、もっと能力があつたらと思うのです。もちろん、もっとよくなりたくて望んでも何も問題はありませぬ。神はわたしたちを成長し進歩する者として創造されました。しかし忘れないでください。わたしたちは弱さがあるおかげで、謙遜になり、キリストに頼ることができます。そして、キリストは「[わたしたちの]弱さを強さに変え」られます。<sup>4</sup> 反対にサタンは、わたしたちの弱さを使って、落胆のあまり努力することさえやめてしまおうかと考えさせます。

自分は人生で神が望んでおられるような人になる道を歩み始めるのに、何かに



もっと優れている必要などないと言うことを学びました。

神は、今この瞬間にありのままのあなたを受け入れ、ともに働き始めてくださいます。あなたに必要なのはただ、進んで行く心と、信じたいという望みと、主への信頼です。

ギデオンは自分のことを貧しい農夫であり、父の家族のうちで最も小さな者であると考えていました。しかし、神は彼を大勇士として御覧になりました。<sup>5</sup>

サムエルがサウルを王に選んだとき、サウルはそれを考え直してもらえるように話しました。イスラエルのうちの最も小さな部族出身である自分がどうして王になどなれるだろうかと考えたのです。<sup>6</sup> しかし、神はサウルを「若くて麗し〔い〕」特別な者として御覧になったのです。<sup>7</sup>

偉大な預言者モーセでさえも、一度は圧倒され、やる気をなくし、あきらめて死にたいとさえ思いました。<sup>8</sup> しかし、神はモーセをあきらめることはされませんでした。

愛する兄弟姉妹の皆さん、不完全な肉体の目だけを通して自分自身を見るとき、十分よいとは思えないかもしれません。しかし、天のお父様はわたしたちの本当の姿を御覧になっておられ、将来どのようになれるかも御存じです。御父の息子、娘として、永遠の光と永遠の可能性と神聖な特質を持った存在として見ておられるのです。<sup>9</sup>

救い主の犠牲により、全ての人に救いの扉が開かれ、神のみもとに帰ることが可能になりました。「〔神〕の前にへりくだるすべての者に対して、〔主の〕恵みは十分です」<sup>10</sup> 主の恵みは人に能力を与える力であり、神の王国で救いを得るための道を開きます。主の恵みにより、わたしたち全ての人々が復活し、栄光の王国に救われるのです。

最も低い栄光の王国である星の栄えの王国でさえ、「人知ではとうてい計り知れないもので」<sup>11</sup> あり、数限りない人々がこの



救いを受け継ぐ<sup>12</sup> と言われています。

しかし、救い主の恵みによりもっと多くのことが可能になります。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるわたしたちは、想像をはるかに超えたことを熱望しています。それは、日の栄えの王国で昇栄することであり、天の御父のみもとで、永遠の命を得ることです。これは神の最も偉大な賜物です。<sup>13</sup> 日の栄えの王国では、御父の完全と御父の栄光を受けます。<sup>14</sup> 確かに、御父が持つておられる全てがわたしたちに与えられるのです。<sup>15</sup>

わたしたちは昇栄というゴールを目指して、主の弟子として歩み続けるのです。

ほんの少しの信仰を働かせ、主イエス・キリストに穏やかに従う者として歩み始めるなら、皆さんの心に変化が起こるでしょう。<sup>16</sup> 全身が光に満たされるでしょう。<sup>17</sup>

神は皆さんが自分で考えるよりはるかに素晴らしい人物になれるように助けをくださいます。そのとき皆さんは自分の人生でイエス・キリストの福音が確かに益となっていることに気づくでしょう。実に、益になっているのです。

### 益になっています！

兄弟姉妹、そして友人の皆さん、キリストがお持ちの簡潔さに目を向けることができるように祈ります。<sup>18</sup> そして、今いる場所から御父のみもとという栄えある目的地ま

での旅路の間、主の恵みによってわたしたちが高められ、導かれますように。

誰かから「末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることはあなたにとって益になっていますか」と聞かれたら、わたしたちは心からへりくだり、誇りと大きな喜びをもって「すばらしく益になっています。聞いてくださってありがとうございます。もっとお知りになりたいですか」と答えることができるでしょう。

これがわたしの希望であり、祈り、証、祝福です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. アルマ 5 : 14、26
2. アルマ 5 : 26 参照
3. ローマ 10 : 17 参照
4. エテル 12 : 27
5. 土師 6 : 12 - 16 参照
6. サムエル上 9 : 21 参照
7. サムエル上 9 : 2
8. 民数 11 : 14 - 15 参照
9. 1ヨハネ 3 : 1 - 3 参照
10. エテル 12 : 27
11. 教義と聖約 76 : 89
12. 教義と聖約 76 : 109 参照
13. 教義と聖約 14 : 7 参照
14. 教義と聖約 76 : 56
15. 教義と聖約 84 : 38 参照
16. サムエル上 10 : 9 参照
17. マタイ 6 : 22 参照
18. 2コリント 11 : 3 参照 (訳注 — 欽定訳聖書〔英文〕では、“Simplicity of Christ”となっていますが、日本語の口語訳では「キリストの純情」と訳されており、本文で意図された意味は含まれていません。)



十二使徒定員会  
M・ラッセル・バラード長老

# 神が舵を取っておられる

戒めと聖約は、神が舵を取っておられる古からあるシオン号と言う名の船に見いだされる貴い真理であり教義です。

昨年10月の総大会で、わたしは、シオン号、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会にとどまり、両手でつかまっているようにというブリガム・ヤングの勧告に従うよう聴衆に勧めました。<sup>1</sup>その後、うれしいことに、その話を聞いていたわたしの家族の数人とその他の人々からこう尋ねられました。「しっかりつかまっていなければならない古の船にあるのは何?」と。わたしはブリガム・ヤング大管長が語った言葉を思い出してもらいました。「わたしたちはシオン号の上にあります。……〔神〕が舵を取り、ともにおられます。……主が命じ、導き、指図されます。神に絶対の信頼を置くなら、聖約も神も捨ててはいけません。神は正しく導いてくださいます。」<sup>2</sup>

確かに、天の御父と主イエス・キリストは、シオン号に明瞭かつ簡潔な永遠の真理を装備しておられます。それらの真理は、死すべき生涯の荒海で進路を保持する助けとなります。その一部は次のとおりです。

イエス・キリストの教会は常に、生ける預言者と使徒によって導かれてきました。主の僕たちは、死すべき状態しよべきで人間として不完全でありながら、靈感を受けて、わたしたちが霊的に命を危うくする障害物を避けられるように、また死すべき世を無事に通り抜けて最後の究極の目的地であ

る天に行けるようにわたしたちを助けています。

ほぼ40年間の親しい交流の中で、わたしは、静かな靈感と深遠な啓示の両方が預言者と使徒、その他の中央幹部、また補助組織指導者あかしに行動を起こさせているという個人的な証を得てきました。これらの善良な男女は、完全ではなく、間違いを犯すこともあります。主から指示されるままに主の業を進めるため全てをささげました。

また、次のことは確かです。すなわち、

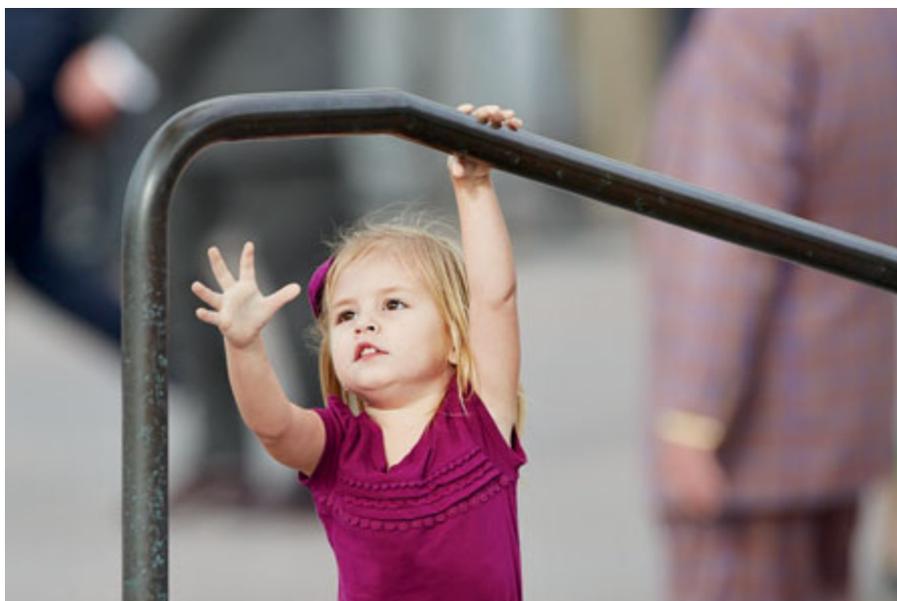
主は、生ける預言者と使徒を通して御自分の教会を導いておられます。この方法で常に御業みわざを行ってこられました。実際、救い主はこう教えておられます。「よくよくあなたがたに言うておく。わたしがつかわす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。」<sup>3</sup>わたしたちは僕からキリストを切り離すことはできません。最初の使徒たちがいなければ、わたしたちは、キリストの多くの教え、教導の業、ゲツセマネの園における苦しみ、十字架上での死に関する目撃の記録を得られなかったでしょう。彼らの証がなければ、空の墓と復活に関する使徒の証を得られなかったでしょう。

主はそれら最初の使徒たちに次のように命じられました。

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

あなたがたに命じておいたいっさいの事を守るように教えよ。」<sup>4</sup>

この任務は、主がジョセフ・スミスを召して教会を回復されたわたしたちの時代に更新され、それに伴い、主が再びおいで



になる前の最後の時代に主の福音を告げ知らせるために使徒が聖任されました。

生ける預言者と使徒を受け入れることは、世の人々にとって常にチャレンジでした。しかし、イエス・キリストの贖罪と教えを十分に理解して、キリストから召された人々に与えられている神権の祝福を余すことなく受けるためには、それが不可欠です。

教会指導者と会員は完全であるか、完全に近くなければならないと、非常に多くの人が考えています。彼らは、主の恵みが十分であり、死すべき者を通じて御業が成し遂げられるということを忘れているのです。教会の指導者は誠意がありますが、わたしたちは時折間違いを犯します。これは教会での関係に限ったことではなく、同じことが友人、隣人、職場の同僚、配偶者と家族の关系到さへも起こります。

他の人の中に人間としての弱さを探すことは、割に容易です。しかし、わたしたちは、互いの人間性にのみ目を向け、神から召された者を通して働く神の御手を見ようとしないことによって、重大な間違いを犯します。

主が御自分の選んだ指導者にどのように靈感を与え、またどのように聖徒たちを促して、彼らの人間性にもかかわらず並外れた特別なことを行わせておられるかに焦点を当てることは、わたしたちがイエス・キリストの福音にしっかりつかまり、シオン号に安全にとどまるための一つの方法です。

第2の真理は、救いの計画の教義です。預言者ジョセフ・スミスを通して、神は、モルモン書、教義と聖約、その他数多くの教えを教会に与えられました。これらには、救いの計画の情報が記されています。救いの計画では、わたしたちはどこから来て、この地上にいる目的は何で、死後にどこへ行くかが記されています。この計画によって、わたしたちは神の霊の子供であるという独特の永遠の展望も与え



られています。天の御父はどのような御方であるかを理解し、また御父や御父の愛する御子イエス・キリストとわたしたちとの関係を理解することによって、わたしたちは、戒めを受け入れ、永遠のみもとに帰れるように導いてくださる御二方と聖約を交わすのです。

わたしは生まれたばかりの子供を抱くたびに、心の中でこう問いかけます。「幼子よ、あなたは何者か。キリストの贖罪によってどんな人物になるのか」と。

同様に、愛する人が亡くなる時、人は反射的にこういう疑問を持ちます。「彼らはどこにいるのか。何を見て、どんな経験をしているのか。命は続くのか。死者の霊の大いなる世界で、わたしたちの最も大切な関係の本質はどうなるのか」と。

その世界に、わたしたちの二人の孫娘サラとエミリー、また孫息子ネイサンがいます。それぞれの孫の死に際して、わたしたちは家族として、両手で福音の真理をしっかりとつかみました。わたしたちの疑問は、救い主の贖罪によって慰めと確

信という形で答えられました。孫たちがいなくなったのは寂しいですが、彼らが生きていることを知っています。再び会えることを知っています。個人と家族に混乱がある時代にこの霊的な理解があることに、わたしたちはどれほど感謝していることでしょうか。

教会におけるもう一つの重要な真理は、天の御父が気高い目的をもってアダムとエバを創造されたことです。神の霊の子供たちが死すべき状態を経験できるように、彼らのために死すべき体を創造することが、アダムとエバの責任でした。そして、その後の子孫の責任です。この方法で、天の御父は、地上の生活という経験を通じて学び成長できるように霊の子供たちを地球に送られます。神は御自分の子供たちを愛しておられるので、救い主としてのイエス・キリストの中心的な役割について教えるために、天の使者と使徒を遣わされるのです。

何世紀にもわたって、預言者たちはその義務を果たし、人々の前にある数々の危



険について警告を發してきました。主の使徒は、人生の疑問に対する答えを求めている人々を見守り、彼らに警告し、手を差し伸べる義務を負っているのです。

20年前に、大管長會と十二使徒定員會は「家族——世界への宣言」を發表しました。靈感に基づくその文書は、次の言葉で結ばれています。「わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょ

う。』<sup>5</sup>  
使徒として、わたしたちは、今日もう一度この厳肅な警告を再確認します。どうぞ、戒めと聖約は神が舵を取っておられるシオン号に見いだされる貴い真理であり教義であることを思い出してください。

しっかりつかんでいなければならないもう一つの重要な教義は、安息日を守ることです。これは、わたしたちが世の汚れに染まらずにいる助けとなり、わたしたちに肉体の休息を与え、また毎週日曜日に御父と御子を礼拝することでもたらされる靈的な活力を一人一人に与えます。<sup>6</sup> 安息日に喜びを感じる時、それは御二方に対するわたしたちの愛のしるしです。<sup>7</sup>

安息日を喜びの日とする取り組みとし

て、わたしたちは地元の指導者と教員に、聖餐會が主の集會であり、主の教えに根ざし、基づいたものでなければならないということを思い起こすように告げました。聖餐の儀式を執行するとき、わたしたちは聖約を新たにし、救い主に対する愛を再確認し、救い主の犠牲と贖罪を思い出します。

この同じ礼拝の精神が、毎月の断食証會に満ちていなければなりません。この聖餐會で、會員は、天の御父とイエス・キリストと回復された福音に対する感謝と愛と謝意を簡潔に表明し、これらについて個人的な証を述べます。断食証會は、心を鼓舞する思いを簡潔に分かち合い、嚴肅な証を述べる時間です。演説をする時間ではありません。

幼い子供たちは、証の重要な意味を理解するまで、初等協会で、また家庭の夕べの場で親と一緒に、証を述べる練習をすべきです。

安息日を喜びの日とすることが最近強調されていますが、それは、教会の指導者を通して主から直接の靈感によって与えられたものです。ワード評議會會員は、各聖餐會のために推薦された音楽とテーマを再検討することによって、その聖餐會の数週間前にビショップリックを支援するようにしなければなりません。

家庭と教会で、安息日が主に対する愛によって満たされる時、わたしたち全員

が祝福されます。子供たちは、主の方法によって教えられる時、主の御靈を感じ、御靈に應えるようになります。わたしたちは皆、主の御靈を感じるとき、毎週日曜日に出席して聖餐を受けたいと望むことでしょ

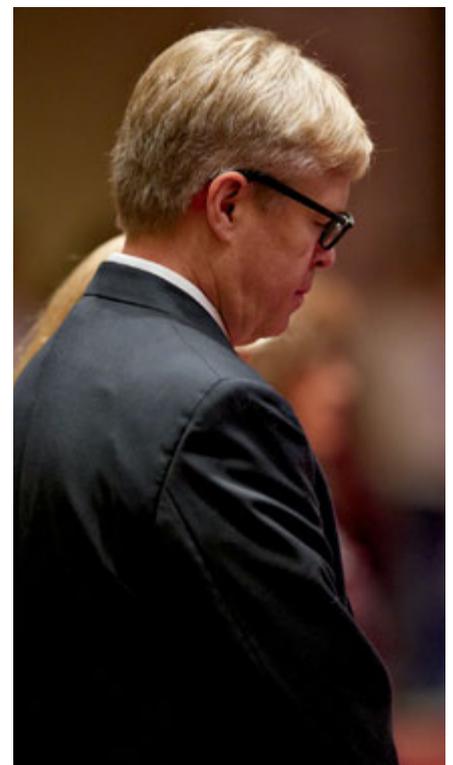
う。重荷を負っている人は皆、年齢を問わず、天の御父と主イエス・キリストについて深く考える安息日を過ごすことから得られる、靈的な高揚と慰めを感じることでしょ

う。有り難いことに、わたしたちが祈り求め、進んで悔い改め、キリストのもとに来るとき、キリストは常にわたしたちの近くにおいて、待ち、快く助けてくださいます。さて、シオン号にあるこれら幾つかの真理だけを深く考えながら、船にとどまりましょ

う。当然のことながら、船は乗り物であり、乗り物の用途は目的地にわたしたちを連れて行くことであるということを覚えておきましょう。

わたしたちの船の目的地は、福音の全ての祝福、天の王国、日の栄えの栄光、神のみもとなのです。

神の計画は設けられており、神が舵を取っておられます。神の大いなる力強い船は、救いと昇栄に向かっています。わた





七十人会長会  
リチャード・J・メインズ長老

私たちは船から飛び降りて自分で泳いで行こうとしても、そこには到達できないということを覚えておいてください。

昇栄は、この死すべき世の旅のゴールです。そして、イエス・キリストの福音の手段、すなわち、贖罪、儀式、教会に見いだされる指針となる教義と原則がなければ、そこに到達できる人は誰もいないのです。

わたしたちが神の業を学び、わたしたちに救いをもたらす主イエス・キリストの恵みを受け入れる場所は、教会です。わたしたちが昇栄へのパスポートとなる永遠の家族に関わる決意と聖約を行うのは、教会です。死すべき世の予測できない海域を進むために、神権が装備されているのが教会です。

わたしたちの美しいシオン号に感謝しましょう。これがなければ、わたしたちは、独りで力なく流れに身を任せ、舵もオールもない状態で押し流され、敵対する者の風と波の強い流れに巻き込まれてしまうからです。

兄弟姉妹の皆さん、しっかりつかまり、この栄光ある船、末日聖徒イエス・キリスト教会号で航海を続けてください。そうすれば、永遠の目的地に到達することでしょう。これがわたしの証であり、全ての人のための祈りです。古からあるシオン号の名の由来である御方、すなわち主なる救い主、イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. M・ラッセル・バラード「船にとどまり、つかまっていなさい」『リアホナ』2014年11月号、89-92参照
2. ブリガム・ヤング、"Remarks," *Deseret News*, 1857年11月18日付、291
3. ヨハネ13:20
4. マタイ28:19-20
5. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
6. 教義と聖約59:9-23参照
7. イザヤ58:13-14参照

# キリストを中心とした生活の喜び

わたしたちがこの人生で真の喜びと平安を見いだしたいと望むならば、その生活は厳密にキリストを中心としたものとする必要があります。

**わ** たしたちが住んでいるこの世界では、どこであっても、義になかった生活をしようとする善良な人々に対して、その標準を下げさせたり、捨てさせたりする大きなプレッシャーがあります。しかし、日々わたしたちを取り囲む悪や誘惑があるにもかかわらず、キリストを中心とした生活の中で、現在と将来にわたって真の喜びを見いだすことができます。

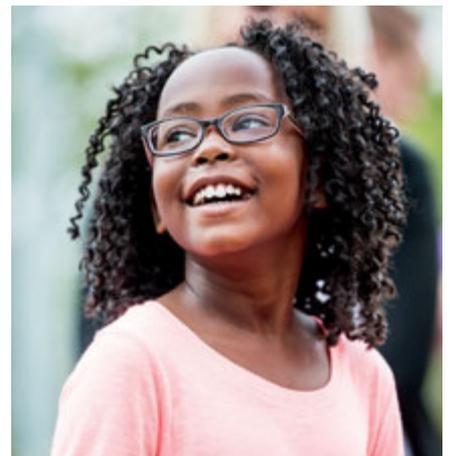
イエス・キリストとその福音を中心とした生活をすることによって、わたしたちの生活には安定と幸福が生まれます。次の例を紹介しましょう。

日本の四国の小さな山村に住む七十人の青葉太一長老は、あるユースカンファレンスで一つのクラスを教えるように割り当てを受けました。「あなたがたは聖なる場所に立ちなさい」という聖句が、そのカンファレンスのテーマとして選ばれていました。そのテーマと何を教えるべきかについて深く考えた青葉長老は、自分の職業を教材として使うことにしました。彼は陶芸家です。

青葉長老は、彼が手の中の粘土の塊を、皿や鉢や茶碗へと魔法のように変えてい

く様子をクラスの青少年たちは目を輝かせて見ていたと話しています。実演の後で、やってみたい人はいるか尋ねると、全員が手を挙げました。

青葉長老は、数人を選び、前に来て彼らが新しく興味を持った陶芸を試してみるように言いました。彼らは長老が行ったことを見ていたので、ごく簡単にできるものと考えていました。しかし、誰一人として、簡単な鉢一つさえ作ることができませんでした。彼らは次々に叫びました。「できないよ。」「どうしてこんなに大変なの?」



「これ、すごく難しいよ。」そう叫ぶ頃には、部屋中に粘土が飛び散っていました。

長老は、陶器を作るのがどうしてそんなに難しかったのか尋ねました。するとさまざまな答えが返ってきました。「経験がないからだよ。」「何も訓練を受けていないもの。」「自分には才能がないよ。」結果から見れば、皆当たっています。しかし、失敗した一番大切な理由は、粘土がろくろの中心に置かれていなかったことです。彼らは、自分なりに粘土を中心に置いたつもりでした。しかし、プロの目から見たら、厳密に中心に置かれていなかったのです。その説明の後、長老は青少年たちに言い



わたしたちがこの人生で喜びと平安を見つけるには、青葉太一長老の、ろくろの上の粘土のように、厳密にキリストを中心として生活しなければいけません。

ました。「もう1回やってみましょう。」

今度は、青葉長老が粘土を正確に中心に置いて、ろくろを回し始め、粘土の真ん中に穴を開けました。何人かの青少年が再び挑戦しました。今度は、皆が拍手をしてこう言ったのです。「すごい、揺れてないよ。」「ほくにもできるぞ。」「やったー!」もちろん、形は完璧ではありませんでした。しかし、出来上がったものは、最初のものとはまったく違っていました。今回うまく

いったのは、粘土が完全にろくろの中心に置かれていたからでした。

わたしたちが住んでいるこの世界は、陶芸家の使うろくろと似ています。そして、そのろくろの速度も速くなっています。ろくろの上の粘土のように、わたしたちも中心をしっかりと定める必要があります。わたしたちの核、すなわちわたしたちの生活の中心は、イエス・キリストとその福音でなければなりません。キリストを中心とした生活とは、イエス・キリストとその福音について学び、次に、キリストの模範に倣い、その戒めに厳密に従うことです。

古代の預言者イザヤはこう述べています。「されど主よ、あなたはわれわれの父です。われわれは粘土であって、あなたは陶器師です。われわれはみな、み手のわざです。」<sup>1</sup>

わたしたちの生活の中心をイエス・キリストにするなら、日の栄えの王国においてイエス・キリストと天の御父のみもとに戻ることができるように、主はわたしたちを上手に形作ってふさわしい者とするのが

おできになります。この世の生涯で経験する喜びは、わたしたちの生活がどの程度イエス・キリストの教えや模範や贖いの犠牲を中心とした生活になっているかということと密接に関係しています。

兄弟姉妹の皆さん、わたしは幾世代にもわたる末日聖徒の家庭に生まれました。ですから、イエス・キリストの福音を基盤とする家風による祝福や喜びが、日常生活の中に編み込まれていました。イエス・キリストの完全な福音の祝福を知らなかった人がそれを経験したときに信じられないほどすばらしい影響を受けるといふことについて、わたしは青年時代に専任宣教師として奉仕するまで知りませんでした。マタイの次の聖句は、イエスの福音に改宗した人々が経験するプロセスを示しています。「天国は、畑に隠してある宝のようなものである。人がそれを見つけると隠しておき、喜びのあまり、行って持ち物をみな売りはらい、そしてその畑を買うのである。」<sup>2</sup>

モルモン書の中から一つの例を紹介し



ましよう。これは、一人の改宗者が、畑に隠された宝のたとえの中でイエスが話された宝を見つける喜びを得るために喜んで代価を払うという話です。

アルマ書第20章の、アンモンとラモーナイがアンモンの兄弟であるアロンを牢から救い出すためにミドナーイの地へ旅をする話を思い出してください。その旅の途中で、二人は全地を治めるレーマン人の王であるラモーナイの父親に出会います。

王は、息子のラモーナイがアンモンと一緒に旅をしていることに腹を立てます。アンモンは、王が敵だと考えるニーファイ人の宣教師だったからです。王は、自分が息子たちや民のために催した宴会にラモーナイも出席するべきであったと思っていました。このレーマン人の王は非常に怒って、剣でアンモンを殺すように息子のラモーナイに命じます。ラモーナイがこれを拒むと、王は自分の剣を抜いて、不従順な息子を殺そうとしますが、アンモンがラモーナイの命を救うために立ちはだかります。最終的にアンモンは王をしのぐ力を発揮し、王を殺すことさえできる状態になりました。

次の言葉は、そのような生死がかかった場面で、王がアンモンに向かって語った言葉です。「わたしの命を助けてくれれば、おまえの求めるものは何でも与えよう。王国の半分でも与える。」<sup>3</sup>

こうして王は、自分自身の命を助けてもらうために、王国の半分を代価として喜んで支払おうとしました。ですから、アンモンが兄弟のアロンとその同僚たちを牢から解放し、王の息子であるラモーナイを王位にとどめてくれるだけでよいと言ったときには、ひどく驚いたに違いありません。

その後、この出会いのおかげで、アンモンの兄弟のアロンはミドナーイの牢から解放されました。解放された後、アロンは靈感を受けて、レーマン人の王が統治している地へ出かけて行きます。アロンは王に面会し、偉大な贖いの計画を含む、イエ



ス・キリストの福音の原則を教える機会にあずかりました。アロンの教えは王の心を深く揺り動かします。

アロンの教えに対する王の答えは、アルマ書第22章15節に記されています。「さて、アロンがこれらのことを王に説き明かした後、王は言った。『あなたの語ったこの永遠の命を得るには、わたしは何をすればよいのか。まことに、わたしは何をすれば、この悪い霊をわたしの胸からことごとく取り除いて、神から生まれ、神の御霊を受けて、喜びに満たされ、終わりの日に捨てられなくて済むのか。見よ、この大きな喜びを得るために、わたしは持ち物をすべて捨てよう。まことに、王位も譲ろう。』」

驚いたことに、自分の命を助けてもらうためなら王国の半分を差し出してもよいと言っていたレーマン人の王が、今度はイエス・キリストの福音を理解し、受け入れ、それに従って生きることから生まれる喜びを受けるためなら、自分の王国の全てを喜んで捨ててもよいと言ったのです。

妻のナンシーも教会に改宗した一人です。妻はこれまで何年にもわたって幾度となく、イエスの福音を見だし、受け入れ、それに従って生活することから、生涯にわたって喜びを感じてきたと言っています。妻は自分自身の経験を次のように語っています。

「20代初めのヤングアダルトの頃、自分

がもっと幸せな人間になるために、何かを変える必要があることに気づきました。その頃わたしは、本当の目的も方向も見いだせないままさまよっているように感じていました。でも、どこへ行ったらそれを見つけれられるのか分かりませんでした。天の御父が存在することは常に分かっていましたし、生活の中でときどき祈ったりするときに、天の御父がお聞きになっていることも感じていました。

答えを探し始め、幾つかの異なった教会に出席しましたが、いつも同じような気持ちになり、がっかりしていました。ですから、人生の方向や目的を探し求める祈りが最終的に答えられ、イエス・キリストの完全な福音が生活にもたらされたとき、本当に祝福されたと感じました。生まれて初めて、人生には目的があり、幸福の計画は真の喜びをもたらしてくれると感じたのです。」

また、モルモン書にある別の話では、キリストを中心とした生活をしているなら、たとえ信じられないような困難に遭っていても、大きな幸福で自分を満たすことが可能であると明確に教えています。

預言者リーハイとその家族が紀元前600年にエルサレムを出た後、およそ8年にわたって荒野をさまよい、ようやく海岸に近いバウンティフルと呼ばれる地に到着しました。ニーファイは荒野での苦難に満ちた生活を振り返って、このように言っ



中央若い女性会会長第二顧問  
ニール・F・マリオット

ています。「わたしたちはこれまで多くの苦難や困難に、まことに書き尽くせないほど多くの苦難や困難に遭った……。」<sup>4</sup>

バウンティフルに住んでいたとき、ニーファイは主から命じられて、約束の地を目指して海を渡れるように、船を建造する責任が与えられました。約束の地に到着した後も、キリストを中心に生活する人々と、レーマンやレムエルの悪い手本に従った不信者との間で、大きな争いが絶え間なく起こりました。最終的には、この二つのグループの間で暴力行為が起こる危険性があったので、ニーファイと主の教えに従う人々はそこから離れ、安全を求めて荒野へ出て行きます。その時点で、リーハイとその家族がエルサレムを出てから約30年が経過していますが、ニーファイはきちんと文書に記録し、幾分驚くような言葉を残しています。特に、長い間直面してきた多くの苦難や艱難<sup>かんなん</sup>を聖文に記録した後にごう述べています。「わたしたちは幸福に暮らした。」<sup>5</sup> 数々の困難にもかかわらず、キリストとその福音を中心としてきたために、幸福になる方法に従って生活することができたのです。

兄弟姉妹の皆さん、ちょうど陶器師のろくろの上の粘土のように、わたしたちがこの人生で真の喜びと平安を見いだしたいと望むなら、その生活は厳密にキリストを中心としたものとする必要があります。レーマン人の王、わたしの妻、そしてニーファイの民の模範は、皆その原則が真実であることを示しています。

キリストを中心とした生活を選ぶなら、わたしたちもその平安、その幸福、その真の喜びを見いだすことができることを今日ここで証<sup>あかし</sup>します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

- 1. イザヤ 64:8
- 2. マタイ 13:44
- 3. アルマ 20:23
- 4. 1ニーファイ 17:6
- 5. 2ニーファイ 5:27

# 心を神に委ねる

御<sup>み</sup>霊<sup>たま</sup>に対して心を開くとき、わたしたちは神の方法を学び、御<sup>み</sup>心<sup>こころ</sup>を感じ取ります。

**ダ**リン・H・オクス長老は4月の総大会で、「わたしたちが自分の生活を変え」る必要があることについて話しました。<sup>1</sup> 自分の生活を変えることは、心の変化によって始まるとわたしは思います。人生経験や生まれた場所は関係ありません。

わたしは合衆国の南部出身で、青少年の頃に聞いたプロテスタントの賛美歌の歌詞から真の弟子の心、すなわち変化を経験した弟子の心について教えられました。わたしが大好きな次の歌詞について考えてください。

御心のままになさってください、  
主よ、御心のままに！  
主は陶器師、  
わたしは粘土  
御心のままに、わたしを形作り、  
お変えください  
わたしは待ち、  
静かに身を委ねます<sup>2</sup>

現代人として多忙で競争の激しい生活を送っているわたしたちは、どうすれば静かに身を委ねられるのでしょうか。どうすれば主の道を自分の道とすることができるのでしょうか。主について学び、理解できるように祈ることから始められる、とわたしは思います。主を信頼すればするほど、

わたしたちは心を開き、御心を行おうと努め、理解を助けてくれる答えを待ちます。

わたしが初めて心の変化を経験したのは、12歳になって、神を探し求め始めたときでした。わたしは主の祈り<sup>3</sup>を唱える以外に、本当に祈る方法を知りませんでした。主の愛を感じたいと願いながらひざまずいて、こう尋ねたのを覚えています。「天のお父様、どこにおられますか。きっとどこかにいらっしゃると思うのですが、どこなのでしょう。」10代の間、ずっと同じことを尋ね続けました。わたしはイエス・キリストがおられることは何となく感じていましたが、天の御父は、その知恵により10年間わたしが求め、待つままにされました。

1970年に宣教師が御父の救いの計画





と救い主の贖罪しよくざいについて教えてくれたとき、ようやく答えを受けることができました。わたしはこれらの真理を喜んで受け入れ、バプテスマを受けました。

主の憐れみと力を知っているわたしと夫と子供たちは、家族のモットーとして「きつとうまくいく」という言葉を選びました。しかし、深刻な問題が起きて、すぐに答えを得られないとき、どうすれば互いに「うまくいく」と言えるでしょうか。

わたしたちの愛らしく、貴い21歳の娘、ジョージアが自転車事故に遭い、重体で入院したとき、わたしたち家族は「きつとうまくいく」と言いました。赴任していたブラジルの伝道部からすぐに飛行機でアメリカ合衆国インディアナ州インディアナポリスに駆けつけたわたしは、家族のモットーを心のよりどころとしました。ところが、愛娘まなむすめは飛行機が到着する数時間前に霊界へ旅立ってしまいました。家族の中に悲しみと衝撃が広がる中、それでも互いを見合わせながら、「きつとうまくいく」と言えるでしょうか。

ジョージアの肉体の死が起きた後、わたしたちは悲しみに暮れ、苦しみました。今でも深い悲しみに包まれることがありますが、人は本当に死ぬわけではない

という知識にしっかりつかまっています。ジョージアの肉体の働きが停止したとき、悲しみに打ちひしがれましたが、彼女が霊として生き続けているという信仰を持っていました。そして、神殿で交わした聖約を固く守るなら、ジョージアとともに永遠にいられると信じています。贖い主と贖い主の復活、神権の力、永遠の結び固めに対する信仰により、自信をもってモットーを述べることができます。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこう述べています。「最善を尽くすなら、全てがきつとうまくいきます。神を信頼してください。……主はわたしたちをお見捨てになりません。」<sup>4</sup>

我が家のモットーは「きつと今うまくいく」という意味ではありません。必ずしも今見える結果ではなく、永遠に関わる結果に希望を抱いているという意味です。聖典には「熱心に探し、常に祈り、そして信じていなさい。……万事があなたがたの益となるようにともに働くであろう」とあります。<sup>5</sup> 万事が良いものであるという意味ではありませんが、柔和で忠実な人々にあっては、良いことも良くないことも、ともに益となるように働きます。そして、そのタイミングは主が決められます。

わたしたちはときどき、ヨブのように苦しみ、神が「傷つけ、また包み、撃ち、またその手をもっていやされる」ことを知りながら、主を待ち望みます。<sup>6</sup> 柔和な心を持つ人は試練を受け入れ、癒やしと完全が与えられるまで辛抱強く待つのです。

御霊に対して心を開くとき、わたしたちは神の方法を学び、御心を感じ取ります。わたしは聖餐式せいさんしきを安息日の中心と呼んでいます。聖餐式の間、罪の赦しゆるを祈り求めた後に、「御父よ、他にも何かあるでしょうか」と天の御父に尋ねるのがわたしにとって有益であることを発見しました。心を神に委ね、静かであるとき、霊的な導き、癒やし、助けを遮るさらに改善するべき点に目を向けることができるのです。

例えば、わたしが心の片隅で誰かにわだかまりを持っているかもしれません。他に告白すべきことはあるでしょうかと尋ねると、隠されていた「秘密」がはっきりと思い出されます。本質的には、聖霊がこうささやかれるのです。「他にあるかとあなたが正直に尋ねたので、それを示しましょう。わだかまりはあなたの成長を遅くし、健全な人間関係を築く力を損ないます。あなたはこの思いを捨てられます。」これは実につらい作業です。敵意を持つ



ことが正当に思えるかもしれませんが、永続する幸福を得るには主の方法に従うのが唯一の方法なのです。

やがて、そして少しずつ、わたしたちは主の恵み深い力と導きを受けます。神殿にさらに頻繁に参入するように、あるいは救い主の贖罪についてより深く学ぶように導かれるかもしれません。または、友人やビショップ、専門のカウンセラー、医師に相談するように導かれるかもしれません。心が癒やされ始めるのは、自分の心を神に従わせ、神を礼拝するときです。

真の礼拝は、わたしたちの心が御父と御子の前に正しいときに始まります。今日、わたしたちの心はどういう状態でしょうか。一見矛盾するように思えますが、癒やされた忠実な心を持つには、まず主の前でそれが打ち砕かれるようにしなければなりません。主は、「あなたがたは打ち砕かれた心と悔いる霊を、犠牲としてわたしにささげなさい」<sup>7</sup>と宣言されました。自分の心、すなわち意志を主にささげた結果として、わたしたちは必要な霊的な導きを受けるのです。

主の恵みと憐れみを理解するにつれ、利己心が感謝の思いによって崩され、打ち砕かれていくのが分かるでしょう。そして、主に助けを求め、神の独り子とともにくびきを負いたいと願うようになります。打ち砕かれた心で助けを求め、くびきを負う中で、わたしたちは聖霊を通して新たな希望と新しい導きを受けます。

わたしは、*自分の方法*で物事を行いましたという肉の思いを消し去ろうと努めてきました。そうするうちに、自分の方法がイエス・キリストの方法と比べて非常に欠陥だらけで、視野が狭く、劣っていることを実感しました。「イエス・キリストの道は、この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る道です」<sup>8</sup> わたしたちは自分自身や自分の立てた予定表よりもイエス・キリストとキリストの道を愛することができるでしょうか。

ある人は、失敗を繰り返すすぎたと思ったり、罪深い行いやこの世的な欲望を変えるほどの強さがないと感じたりするかもしれません。しかし、イスラエルの聖約の民であるわたしたちは、ただ努力をするだ

けで、あるいは自分の力だけで変わるわけではありません。神に熱心に願い求めるなら、神はありのままのわたしたちを受け入れ、想像をはるかに超えた人物へと変えてくださいます。著名な神学者であるロバート・L・ミレーは、イエス・キリストにより、「イエス・キリストを通して成功できる」という霊的な確信を適度に備えた「健全な向上心」について書いています。<sup>9</sup> それを理解している人は、天の御父に向かって正直にこう言うことができます。

主の愛を知りては  
すべてをゆだねて  
心の誠尽くさん  
みこころのままに<sup>10</sup>

わたしたちが打ち砕かれた心をイエス・キリストにささげるとき、キリストはそれを受け入れ、わたしたちを回復させてくださいます。わたしたちがどんなものを失い、どんなに傷つき、どんなに苦しい拒絶を味わっても、主の恵みと癒やしは全てをしのぐほど強力です。救い主とともに真のくびきを負ったわたしたちは確信を持ちながら「きつとうまくいく」と言えることでしょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. ダリン・H・オックス「種まきのたとえ」『リアホナ』2015年5月号, 32
2. "Have Thine Own Way, Lord" *The Cokesbury Worship Hymnal*, no. 72
3. マタイ6:9-13 参照
4. ゴードン・B・ヒンクレイ、ユタ州ジョーダン南地区大会、神権部会、1997年3月1日。"Excerpts from Addresses of President Gordon B. Hinckley," *Ensign*, 2000年10月号, 73も参照
5. 教義と聖約 90:24
6. ヨブ 5:18
7. 3 ニューファイ 9:20
8. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号, 3, 強調付加
9. ロバート・L・ミレー, *After All We Can Do: Grace Works* (2003年), 133
10. 「み旨のまま行かん」『賛美歌』172番



七十人  
ラリー・R・ローレンス長老

# 「ほかに何が 足りないのでしょうか。」

謙虚で素直であれば、聖霊はわたしたちを強め天の家へと導いてくれます。しかし、わたしたちは度々主に道を尋ねる必要があります。

**わ**たしはヤングアダルトだった頃、教会について学び始めました。初めは末日聖徒の友人の模範を通して福音に興味を持ち、最終的にはその独特な教義に引き付けられました。忠実な男性と女性が進歩し続けて、ついには天の両親のようになれるということを選んで、心から驚きました。その考えはすばらしいと思いました。それが真実だと心に鳴り響いたのです。

バプテスマを受けて間もなく、山上の垂訓を学んでいたときに、永遠の進歩に関するこの同じ真理を聖書の中でもイエスが教えておられることに気がつきました。主は、「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい」<sup>1</sup>と教えられました。

今では教会員になって40年以上たちますが、この聖句を読むたびに、わたしたちがこの地上に来た目的を思い起こします。わたしたちは、少しずつ聖められキリストによって完全になるまで、学び、進歩するためにここに来たのです。

弟子としての道は決して楽なものではありません。それは「着実な進歩の道」<sup>2</sup>と呼ばれています。わたしたちがその細

くて狭い道に沿って歩むときに、御霊は常にわたしたちがより良い者となり、より高く登れるように叱咤激励されます。聖霊は旅の理想の伴侶となってくださいます。わたしたちが謙虚で素直であれば、聖霊は手を取って天の家へと導いてくださるのです。

しかし、わたしたちは度々主に道を尋ねる必要があります。時には「わたしは何

を変えればよいでしょうか」「自分はどのように進歩できるでしょうか」「どの弱さを強さに変える必要があるでしょうか」というような難しい質問をしなければなりません。

新約聖書にある、金持ちの若い役人の話について考えてみましょう。彼は既に十戒を守っている義にかかった若者でしたが、もっと良い人になりたいと望みました。彼の目標は永遠の命でした。

彼は救い主に会うと、「ほかに何が足りないのでしょうか」<sup>3</sup>と尋ねました。

イエスはすぐにこの金持ちの若者のために明確な勧告を与えられました。「イエスは彼に言われた、『もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。……そして、わたしに従ってきなさい。』」<sup>4</sup>

この若者は大変驚きました。これほどの犠牲をかつて考えたことがなかったからです。彼は主に尋ねるほど十分に謙虚でしたが、主が与えられた勧告に従うほどの十分な忠実さはありませんでした。わたしたちは答えを受けたときに喜んで従う必要があります。

ハロルド・B・リー大管長は次のように





教えました。「もし完成を目指そうとするならば、……わたしたち一人一人が、一度次のように自問してみなければなりません。『わたしにまだ欠けているものは何か。』」<sup>5</sup>

わたしは、謙虚に「わたしの進歩を妨げているものは何でしょうか」と尋ねた、ある忠実な母親を知っています。彼女の場、御霊の答えはすぐに来ました。「不平を言うのをやめなさい。」彼女はこの答えに驚きました。自分が不平を言っていると思ったことはなかったからです。しかし、聖霊からのメッセージはとても明確なものでした。それから数日間、数週間、彼女は不平を言う自分の癖に意識を向けるようになりました。進歩するよう促されたことに感謝し、試練よりも祝福を数えることに決めました。すると数日のうちに御霊の温かい承認を心に感じました。

結婚相手をなかなか見つけられなかったある謙虚な若者は、助けを求めて主にこう尋ねました。「自分が誰かの結婚相手としてふさわしくするには何が足りないのでしょうか。」彼は思いと心に「下品な言葉遣いを直しなさい」という答えを受けました。その瞬間に、自分が下品な表現をいくらか使っていることに気がつき、変わろうと決意しました。

ある独身の姉妹は、勇敢に「自分の何を変えればよいでしょうか」と尋ね、「人が話しているのを遮らないようにしなさい」という御霊のささやきを受けました。聖霊は実に一人一人に合った勧告を与えてくださるのです。聖霊は完全に正直な助け手であり、他に誰一人知らないことや思い切って言わないことを教えてください。

ある帰還宣教師は多忙なスケジュールにストレスを感じました。仕事や学業、家族や教会の召しのために時間を見つけようとしていました。彼は導きを求めて主に尋ねました。「やるべきことに奔走する中で、どのように平安を感じられますか。」その答えは予想外なものでした。安息日をもっと注意深く守り、聖く保つべきだと心に感じたのです。そこで日曜日を神の務めにささげ、勉強する代わりに、福音を研究する決心をしました。この微調整により、求めていた平安とバランスがもたらされたのです。

何年も前に、わたしは教会機関誌で、大学に行くために家を離れて生活している女性の話を読みました。授業に付いていけず、人間関係も期待どおりではなく、総じて心が沈んでいました。ついにある日、ひざまずいて叫び求めました。「生活を

改善するにはどうすればよいでしょうか。」聖霊は「起き上がって部屋の片付けをしなさい」とささやきました。この促しはまったく予期せぬものでしたが、これこそ彼女に必要なきっかけだったのです。部屋を整理して、全てを整える時間を取った後、彼女は部屋が御霊で満たされるのを感じ、心も晴れました。

聖霊はわたしたちに全てを一度に改善するようには言われません。もしそうなれば、わたしたちは落胆し諦めてしまうでしょう。御霊はわたしたちのペースに合わせて一歩一歩、主が「教えに教え、訓戒に訓戒を加えて」お教えになるのと同じように、わたしたちに働きかけられます。主は「わたしの訓戒を聴〔く〕者は、……幸いである。わたしは受け入れる者にさらに多く与え〔る〕」<sup>6</sup>と言われました。例えば、もっと頻繁に「ありがとう」を言うようにと聖霊に促され、すぐにその促しに従うと、次はもう少し難しいステップ、例えば「すみません。それはわたしの責任です」と言えるように導いてくださいます。

「わたしにまだ欠けているものは何でしょうか」と尋ねる最善の時は、聖餐を取るときです。使徒パウロは聖餐を取るときにわたしたち一人一人にとって自分を吟味するときだと教えています。<sup>7</sup> この敬虔な雰囲気の中で、わたしたちの思いが天に向くときに、主は次のステップが何かをそっと教えてくださるのです。

皆さんと同じように、わたしも自分をどう改善できるかを示す御霊からのメッセージをこれまでに何度も受けてきました。わたしが心に留めた個人的なメッセージの例をいくつか紹介したいと思います。次のような促しでした。

- 声を張り上げてはいけない。
- 予定を整理する — 毎日の「やることリスト」を作る。
- 体調管理に気をつけて、果物や野菜をもっと食べるようにする。

- 神殿にもっと頻繁に参入する。
- 祈る前に、深く考える時間を取る。
- 妻に助言を求める。
- 運転中に忍耐を持つ——制限速度を超えない。(この最後の例は、今も取り組んでいるところです。)

完成や聖めは、救い主の贖いの犠牲によって可能となります。自分の力だけでは不可能ですが、神の恵みはわたしたちを助けるのに十分なのです。デビッド・A・ベドナー長老は以前に次のように述べました。「大半の人は、贖罪が罪人のためにあることを明確に理解しています。しかし、わたしたちは贖罪が聖徒のためにもあること、すなわち、従順で良心的でふさわしい人、また、より善い人になり、より忠実に仕えようと努力している善良な男女のためにもあることを理解しているでしょうか。」<sup>8</sup>

皆さん一人一人が、近いうちに、あるいは今夜祈るときにでも霊的な訓練をするように勧めたいと思います。謙虚に次のように主に尋ねてください。「わたしの進歩を妨げているものは何でしょうか。」つまり、「わたしにまだ欠けているものは何でしょうか」という問いです。それから静かに答えを待つのです。それが心からの問いであれば、答えはすぐに明確になることでしょう。それはあなただけに与えられる啓示なのです。

おそらく御霊は誰かを救うように促されるかもしれませんが、また、皆さんは見る映画や聴く音楽をもっと注意深く選ぶようにというメッセージを受けるかもしれません。仕事においてもっと正直になるように、または断食献金をもっと惜しみなく納めるようにと強く心に感じるかもしれません。御霊の答えは無限に考えられます。

御霊はわたしたちの弱さを示されることもあります。強さも示してくださいませ。時には、主がわたしたちを高め、勇気づけてくださるように、自分が正しくでき

ていることは何かを主に尋ねる必要もあります。わたしたちは祝福文を読むときに、天の御父がわたしたちの内にある神聖な可能性を御存じであるということをお思い起こします。主はわたしたちが一步前進するときはいつもお喜びになるのです。主にとっては、わたしたちが進むスピードよりも進む方向の方がきわめて重要なのです。

兄弟姉妹の皆さん、継続して行きましょう。決してがっかりしないでください。実際に完成に至るのは墓の向こう側のことなので、この死すべき世ではその基盤を築くのです。「わたしたちは昨日よりも今日、今日よりも明日と善くなっていく義務があります。」<sup>9</sup>

もしわたしたちが人生において霊的な成長を優先しなければ、つまり着実な進歩の道を歩んでいなければ、神がわたしたちに与えようと望んでおられる重要な経験を逃してしまうことでしょう。

何年も前に、スペンサー・W・キンボール大管長の次の言葉を読みました。それは今でもわたしに影響を与えているものです。「わたしが学んだことは、祈りの心があり、義を渴望し、罪を捨て、神の戒め

に従順である人には、主はますます豊かに光を注がれ、ついには天の幕を貫いて……力を授けられるということです。そしてこのような高潔な人には、主の御顔を拝し、主の存在を知るという金銭では買うことのできない約束が与えられるのです。」<sup>10</sup>

わたしたちが聖霊によって天の家へと導かれるときに、この究極の経験がいつかわたしたちのものとなりますよう祈ります。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

#### 注

1. マタイ 5:48
2. ニール・A・マックスウェル「偉大な栄えある贖罪を証する」『リアホナ』2002年4月号, 9
3. マタイ 19:20
4. マタイ 19:21
5. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』197
6. 2ニーファイ 28:30
7. 1コリント 11:28 参照
8. デビッド・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 14
9. ジョセフ・フィールディング・スミス, *Doctrines of Salvation*, ブルース・R・マッコスキー編, 全3巻(1954-1956年), 第2巻, 18
10. スペンサー・W・キンボール「主に忠誠を尽くしなさい」『聖徒の道』1980年11月号, 3





七十人  
フランシスコ・J・ビニヤス長老

# 喜びをもたらす 神の御言葉

喜びをもたらす神の御言葉は、できるだけ長く聖霊の影響を保つには日々の生活で悔い改め続ける必要があることを教えてくれます。

この大会のために集まった人々の多くは、「喜びをもたらす神の御言葉、まことに傷ついた心を癒す御言葉を聞こうとして」ここに来られたと思います（モルモン書ヤコブ2:8）。その言葉は、聖文や指導者のメッセージの中にあり、先の見えない試練の中であって、わたしたちに希望と慰めを与えてくれます。

人生のさまざまな経験を通して、この世ではわたしたちの喜びは満たされないが、イエス・キリストにあって喜びは満たされるということを、学びます（教義と聖約101:36参照）。主は、わたしたちに力を与え、キリストの喜びにのまれてしまう苦難の外、わたしたちがどのような苦難も受けることがないようにしてください。（アルマ31:38参照）。

愛する人が恐ろしい病に苦しむ姿を見ると、きっとわたしたちの心も苦悩に満ちたものとなることでしょう。

愛する人が亡くなると、心の中にぽっかりと穴が開いてしまったような気分になることがあります。

また、福音の道からそれる子供がいると、親として罪悪感を抱いたり、その子供たちの永遠の行く末を思って不安になったりするかもしれません。

日の栄えの結婚を果たし、現世で家族を築くという希望も、時がたつにつれて、消え入りそうになることがあります。

愛してくれるはずの人から虐待を受け、心に深い痛手を負う場合もあります。

伴侶の不貞により、永遠に続いてほしいと願っていた関係が崩れることもあります。

現世という試しの状態に付き物の、こうした苦しみや他の多くの苦しみを経験すると、時折、預言者ジョセフ・スミスと同

じ問いかけをしなくなります。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。」（教義と聖約121:1）

人生におけるそのようなつらい時期に、傷ついた心を癒やし、喜びをもたらす神の御言葉は、わたしたちの心と思いに次のような慰めのメッセージを与えてくれます。

「あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。

その後、あなたがそれをよく堪え忍ぶならば、神はあなたを高い所に上げるであろう。」（教義と聖約121:7-8）

喜びをもたらす神の御言葉により、わたしたちは希望に満たされます。それは苦難の中であって忠実な者は天の王国でより大きな報いを受けること、また「多くの艱難の後に祝福は来る」ことを知っているからです（教義と聖約58:3-4参照）。

永遠の結び固めは、わたしたちが真理のために雄々しく仕えることを条件として与えられる神聖な約束を忠実に守ることで維持できます。わたしたちと子孫はそれにより祝福を得ます。そのことを預言者を通して語られる喜びの神の言葉は確信させてくれるのです（オーソン・F・ホ





イトニー, Conference Report, 1929年4月, 110参照)。

この御言葉は、忠実な人生を送るならば、たとえあることを行う機会がなかったとしても、そのことを行わなかったという理由で失う祝福は一つもないという確信も与えてくれます。死に至るまで忠実な人生を送った人は、自分にはそのことを行う機会が与えられなかったとしても、「〔行う機会のあった〕人に授けられる全ての祝福、昇栄、栄光を享受することになるでしょう」(The Teachings of Lorenzo Snow, クライド・J・ウィリアムズ編〔1984年〕, 138参照)。

さて、苦しみや悩みは、わたしたちが自らの罪を心から悔い改めない場合にも、わたしたちの生活に入り込んで来ることを理解するのは大切なことです。マリオン・G・ロムニー管長は、そのことについて次のように教えています。「この地上に住む人々が耐える苦しみや悩みのほとんどは、悔い改めなかったために赦されていない罪の結果です。……苦しみや悲しみが罪によってもたらされるのとまったく同じように、幸福や喜びは罪の赦しによってもたらされるのです。」(Conference Report, 1959年4月, 11で引用)

悔い改めないと苦しみや痛みを感じる

のはなぜでしょうか。

「罰が定められ、公正な律法が与えられて、それらが人に良心のとがめを生じさせ」というのが、考えられる答えの一つです(アルマ42:18。16節も参照)。預言者ジョセフ・スミスは、人は自分で自分を罪に定めるのであり、失望という苦痛は、火と硫黄の燃える池と同じくらいに激しいものであると教えています(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』224参照)。

良心をなだめるために、どんなささいなことでも罪の言い訳をしようとしたり(アルマ42:30参照)、自分の罪を覆い隠そうとしたりするならば、わたしたちは御霊を傷つけ(教義と聖約121:37参照)、悔い改めを遅らせることしかできないでしょう。このような方法で安堵感を抱いても、その安堵感は一時的なものであり、結局、生活の中で感じる痛みや悲しみは深まるばかりで、罪の赦しを受けられなくなってしまいます。

このような苦しみに対しても、喜びをもたらず神の御言葉は、慰めと希望を与えてくれます。罪が引き起こす痛みからの解放が存在するのです。この解放は、イエス・キリストの贖いの犠牲によりもたらされ、わたしたちがキリストを信じる信仰を

働かせ、悔い改め、主の戒めに従順であるときに、その効力が発揮されます。

罪の赦しと同様に、悔い改めも一つの過程であって、何かある特定の一瞬に起こるものではないことに気づくのは大切なことです。悔い改めには、その各段階において、一貫性が求められます。

例えば、聖餐を取るとき、いつも主を覚え、主が与えてくださった戒めを守ることを主に示します。それはわたしたちの心からの思いが表に出たものです。

安息日に限らず、毎日、主を覚え、主が与えてくださった戒めを守るようになると、罪の赦しが次第にその効力を発揮し、主の御霊がわたしたちとともにあるという主の約束が成就し始めます。

わたしたちの思いにはしかるべき従順が伴わなければなりません。そうでなければ、赦しの効果はやがてなくなり、ともにあった御霊も退き去るようになります。唇では主をあがめるが心は主から遠く離れるという危険を冒すこととなります(2ニーファイ27:25参照)。

慰めに加えて、喜びをもたらず神の御言葉は、警告も与えます。罪の赦しを受けるまでのこの過程は、わたしたちが「世の虚栄」に巻き込まれるときに妨げられる「おそれ」があるという警告です。また、



ペリズ, サン・ペドロ

同じ過程は、心から悔い改め、へりくだるならば、信仰によって回復される可能性もあります(教義と聖約 20:5-6 参照)。

罪の赦しを受ける過程を妨げ、安息日を聖とすることに関連する虚栄には、どのようなものがあるでしょうか。

例えば、正当な理由もなく聖餐会に遅刻してくることがそうです。前もって自ら顧みることなく到着し、ふさわしくないままにパンを食べたり杯から飲んだりすることです(1コリント 11:28 参照)。また、まず自らの罪を告白し、神にその罪を赦していただくようお願い求めることなく到着するということです。

他の例としては、電子機器を使ってメッセージのやり取りをしたり、聖餐を取った後に帰ったり、聖なる日にふさわしくない活動を家庭で行ったりという敬虔さに欠ける行為が挙げられます。

こうしたことを知りながら、安息日を聖とすることが往々してできない理由の一つ挙げるとすれば、それは何でしょうか。

イザヤ書に、安息日について記されていますが、「もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさ……ないならば」という聖句に(イザヤ 58:13 参照)、わたしたちが守らなければならない他の戒めにも当てはまる答えを見いだすことができます。

鍵の言葉は、「あなたの楽しみをなさ

[ない]」、言い換えれば、神の御心<sup>みこころ</sup>をなすということです。しばしば、わたしたちの思いは、生まれながらの人であるがゆえに起こるさまざまな欲求<sup>みこころ</sup>、渴望、感情によって形作られ、神の御心とは相いれません。預言者ブリガム・ヤングは次のように教えています。「ある人の思い、感情、および考えが神と神の要求に完全に従っているなら、その人は聖められています。わたしの願いは神の御心にのみ込まれることであり、それはわたしをあらゆる義へと導き、ついには不死不滅と永遠の命を授けてくれることでしょう。」(Deseret News, 1854年9月7日付, 1)

喜びをもたらす神の御言葉は、わたしたちが神の恵み<sup>めぐみ</sup>によって救われるよう、キリストの贖罪の力を自分自身に適用し、悪魔の意志や肉の思いではなく、神の御心と和解するよう促してくれます(2ニーファイ 10:24-25 参照)。

わたしたちが今日ともに耳を傾けている喜びをもたらす神の御言葉は、できるだけ長く聖霊の影響を保つには日々の生活で絶えず悔い改める必要があることを教えてくれます。

御霊とともにいることで、わたしたちはより善い人となれます。「御霊は[わたしたち]の平安と喜びをささやき、悪意や憎しみ、ねたみ、争い、そしてあらゆる悪を[わたしたち]の心から取り除いてくれる

でしょう。そして[わたしたち]は善を行い、義をもたらし、神の王国を築き上げることを望むようになるでしょう。(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』98 参照)

聖霊の影響を受けると、わたしたちは人に傷つけられたり、人を傷つけたりしな



くなります。もっと幸せな気持ちになり、もっと清い思いを抱くようになります。もっと人を愛し、もっと周囲の人々を喜んで赦し、幸せにするようになります。

他の人々が成長する姿を見て感謝の念を抱き、他の人々が持っている良い点を見いだすようになります。

わたしたちが義にかなった生活を送ろうと努力することでもたらされる喜びを経験できますように、また、心から絶えず悔い改めることで、聖霊が日々ともにいてくださるよう祈ります。わたしたちがより善い人物となることで、家族も祝福を受けることでしょう。これらの原則について、イエス・キリストの聖なる御名<sup>みなあかし</sup>によって証します、アーメン。■



十二使徒定員会  
クエンティン・L・クック長老

# ブリストルの船のように —— 順風でも逆風でも、 神殿にふさわしく

神聖な福音の原則を忠実に守ることで、わたしたちは神殿にふさわしくあり、現世で幸福を見だし、導きを受けて天の家に戻ることができるのです。

**預**言者リーハイはこう宣言しています。「もし義がなければ、幸福はない。」<sup>1</sup>

サタンは、多くの人々に大きな作り話をうまく信じ込ませています。サタンとその僕たちは、わたしたちに与えられている実際の選択は、この現世における幸福と快楽か来世における幸福かの二つしかないと言いつちます（さらにサタンは来世の存在など怪しいものだと主張します）。サタンが主張する選択肢は間違っていますが、実に魅力的です。<sup>2</sup>

神の幸福の計画が持つ究極的かつ気高い目的とは、義にかなった弟子と聖約を交わした家族が、この世においては、愛と調和、平安によって結ばれ、<sup>3</sup> 永遠の世においては、日の栄えの栄光を勝ち得て、創造主である父なる神、そして救い主である愛する御子イエス・キリストとともに住むことです。<sup>4</sup>

若い宣教師としてイギリス伝道部に召されたときの最初の任地は、当時、ブリストル

地区と呼ばれていた所でした。ある地元の教会指導者は、その地域で奉仕する宣教師は「ブリストルの船のようにきちんと」していなければならないと強調しました。

最初は、この指導者の言っている意味が理解できませんでしたが、程なくして「ブリストルの船のようにきちんと」という海に関係した言葉の歴史と意味が分かり

ました。ブリストルは、かつてイギリスで2番目に多くの船が行き交う港でした。この港は、干満の差が非常に大きく、その差は世界第2位で、43フィート（13メートル）もありました。干潮時には潮が引き、古い船は船底が海底に当たって横倒しとなり、船の構造が不完全だと、損壊することもありました。加えて、何でも、安全な場所にしまったり、くくりつけたりしておかないと、ばらばらに放り出され、壊れてしまいました。<sup>5</sup> この言葉の意味が理解できると、先ほどの指導者が言っていた意味も分かりました。宣教師たる者、義にかなない、規律を守り、困難な状況に備えていなければならないということだったのです。

同じチャレンジがわたしたち一人一人にも当てはまります。「ブリストルの船のようにきちんと」という言葉を、順風でも逆風でも、「神殿にふさわしく」という言葉に置き換えたいと思います。

ブリストル海峡の干満の差は、ある程度は予測でき、備えることができますが、現世で経験する嵐や誘惑は、ほとんどの場合、予測が不可能です。しかし、これだけは言えます。それは避けられません。わたしたちの誰もが必ず直面するチャレンジや誘惑を克服するには、義にかなった備えと神から授かる守りが必要です。わたしたちには何が起ころうとも神殿にふさわしくあろうという決意が必要です。備えていれば恐れることはありません。<sup>6</sup>

現世と来世における幸福は、正義に基づいて相互につながっています。死と復活の間においてすら、「義人の霊はパラダイスと呼ばれる幸福な状態、すなわち安息の状態、平安な状態に迎え入れられるのです」。<sup>7</sup>

地上における教導の業をイスラエルで、またその後、ニーファイ人の間で始めたとき、救い主は現世と永遠の世における幸福という問題について語られました。主は儀式を強調されましたが、同時に、道徳的な行いも大いに重視されました。例えば、





上—ブリストル港の古い船のように、潮が引き、わたしたちを沈まないようにしてくれていたものがなくなってしまう時が来るでしょう。そのような試練の中にあっても、神殿にふさわしい生活を送り、そのような生活を送り続けるならば、本当に大切なものは保たれます。

右—自制を働かせ、義になかった生活を送ることで、誘惑に立ち向かう能力は高まります。

弟子たちに、義に飢え渴き、<sup>あわ</sup>憐れみ深くあり、心を清くし、平和を作り出し、その他の道徳的な原則に従うならば祝福を受けると言われました。明らかに、基本的な教義に関わるメッセージとして、主イエスは日々の生活における義になかった態度と行いを強調されたのです。主の教えは、モーセの律法を構成する要素<sup>8</sup>に取って代わり、それを<sup>りようが</sup>凌駕したのみならず、人間の誤った哲学を払拭しました。

何世紀にもわたって、イエス・キリストの福音は、信仰を鼓舞し、何が義にかなない、望ましく、道徳的か、また何が幸福と無上の喜びをもたらすのかに関する行動の基準を確立してきました。ただ、救い主が教えられた原則と基本的な道徳的規範は、今日の世界において、激しい攻撃を受けています。キリスト教が攻撃を受けているの

です。道徳的なものが根本から変わってしまったと考える人が大勢います。<sup>9</sup>

わたしたちは困難な時代に生きています。「悪を善と呼び、善を悪と呼ぶ」傾向はひどくなる一方です。<sup>10</sup> 自己強化と世俗主義を強調する世界が大きな心配の原因です。わたしたちとは異なる信仰のある著名人が、次のように述べています。「新たな時代において、実際的に、人々はより幸福になっているだろうか、その子供たちを取り巻く環境は良くなっただろうか、あるいは社会的正義という大義は十分に果たされているだろうか、あるいはまた、減少し続ける婚姻率や小規模化する家族……は、大多数の人々が感じるより深い孤独、そして全体的な停滞以外の何かを約束してくれるだろうか。残念ながら、わたしはその証拠をほとんど見いだすことができない。」<sup>11</sup>

救い主の弟子として、わたしたちは計画し、備えるよう期待されています。幸福の計画において、道徳的な選択の自由は中心を成す原則であり、善悪のいずれかを選ぶのが重要になってきます。<sup>12</sup> 救い主は、その教導の業を通じて、このことを強調されました。その中には、愚かなおとめやタレントのたとえも含まれます。<sup>13</sup> そのいずれにおいても、主は備えと行動を称賛し、引き延ばしと怠慢を非難されました。

神の神聖な計画に圧倒されんばかりの幸福が見いだされるにもかかわらず、そのよう



な幸福は現状からは程遠く、関係ないものと感じられることがあるのをわたしは理解しています。悪戦苦闘する弟子として、手の届かないものと感じられることがあります。わたしたちの限られた物の見方では、目の前の誘惑や娯楽は、魅力的に見えるかもしれませんが、その反面、誘惑に立ち向かったことで得られる報いは、高嶺の花で自分のものにできないと感じられるかもしれません。しかし、御父の計画を真に理解すれば、義になかった生活による報いは、今すぐにでも手に入れることができるのです。不道徳な行為などの罪悪が幸福をもたらすことは決してありません。アルマは息子のコリアントンにこう明言しています。「悪事は決して幸福を生じたことがない。」<sup>14</sup>

わたしたちの教義について、アミュレクはアルマ書第34章32節で明確に述べています。「見よ、現世は人が神にお会いする用意をする時期である。まことに、現世の生涯は、人が各自の務めを果たす時期である。」

では、このような困難な時代に、どのように備えればいいでしょうか。神殿にふさわしくなることに加えて、義にかなった生活を送るのに役立つ原則がたくさんあります。次のことを強調したいと思います。

### 1. 義にかなった自制心と行動

わたしたちは自分自身の小さな子供たちが学び、成長する姿を見守るときに喜びを感じます。その同じ喜びをもって、愛にあふれる天の御父は、わたしたちを眺めておられると思います。わたしたちは皆、転んだり、倒れたりしながら、経験を積んでいきます。

わたしはディーター・F・ウークトドルフ管長が2010年に行った大会説教を聞いて、すばらしいと思いました。<sup>15</sup> 1960年代にスタンフォード大学で行われた有名なマシュマロの実験に関する話です。4歳の子供たちに、マシュマロを1個あげたときのことを思い出すでしょう。15分から20分、食べずに我慢できたら、二つ食べることができるということです。マシュマロを食べないために多くの子供たちが行った動作を示すビデオも作成されました。中には食べてしまった子もいます。<sup>16</sup>

昨年、この最初の実験を行った教授、ウォルター・ミッシュル博士は、1冊の本を書きました。彼は、その中で、この研究の発端となったのは、一つに、自らの自制心と喫煙依存症に関する懸念だったと語っています。同教授は、合衆国公衆衛生局長官が肺がんの原因は喫煙であると結論づけた1964年の報告後、特に、不安を抱いたのです。<sup>17</sup> 何年もの研究に基づき、彼の教授仲間の一人が、次のように報告しています。「自制心は筋肉のようなも

のである。それは使えば使うほど丈夫になる。何らかの誘惑を一度避けることで、将来直面する他の誘惑に抵抗する能力を伸ばすことができる。」<sup>18</sup>

永遠の進歩に関する一つの原則は、自制心を働かせ、義にかなった生活を送ることで、誘惑に立ち向かう能力は高まるということです。この原則は霊的な事柄にも、肉体的な事柄にも当てはまります。

教会の宣教師が、そのすばらしい模範です。彼らはキリストのような特質を伸ばし、従順と霊性を重んじます。厳しいスケジュールを守り、毎日、周囲の人々に奉仕します。見た目も控えめで、目立ちません。最近の流行を追った普段着のようなだらしのない服装はしていません。その行動と外観は、道徳的で、真剣なメッセージを人々に伝えます。<sup>19</sup>

現在、宣教師として奉仕している若人、あるいは過去5年間に、伝道の奉仕から帰還した若人は、およそ23万人います。彼らは、すばらしい霊性と自制心を身につけています。こうした特質は、これからも働かせ続ける必要があります。さもなければ、使わない筋肉のように退化していくからです。わたしたちは誰もが、キリストに真に従う者であることを宣言する行動と外観を身につけ、実践しなければなりません。義にかなった行動あるいは健全で、控えめな外観を顧みない人は、喜びも幸福ももたらさない生き方に自らをさらすこととなります。

回復された福音は、幸福の計画の詳しい内容を教えるとともに、それを理解し、自制心を働かせ、誘惑を避けるきっかけを与えてくれます。また、罪を犯したとき、どのように悔い改めればよいかを教えてください。

### 2. 安息日を尊ぶことで、より義にかなった生活を送れるようになり、家族を守ることができる

初期のキリスト教会は、主の復活を記念するために、安息日の遵守を土曜日から日

曜日に変更しました。それ以外、安息日の基本的かつ神聖な目的に関する変更は加えられませんでした。ユダヤ人とキリスト教徒にとって安息日は大いなる神の業を象徴するものです。<sup>20</sup>

妻とわたしは、二人の同僚とそれぞれの伴侶とともに、最近、ユダヤ人の安息日、シャバットに参加しました。親しい友人のロバート・アブラムズとダイアン夫人のニューヨークにある自宅に招待されたのです。<sup>21</sup> それはユダヤ人の安息日の初めの日に当たる、金曜日の夕方に始まりました。焦点は、創造主である神を尊ぶことに当てられていました。家族の祝福と安息日の賛美歌で始まりました。<sup>22</sup> わたしたちは、お祝いの雰囲気の中、儀式として行う手洗い、パンの祝福、祈り、律法にのっとった食事、聖文の暗唱、安息日の歌に参加しました。わたしたちは英語の翻訳を目で追いつながらヘブライ語の言葉を聞きました。最も心温まる聖文は、旧約聖書から読み上げられた安息日を喜びの日と宣言する、わたしたちにとっても親しみのあるイザヤ書からの引用と<sup>23</sup> エゼキエル書からの次の引用でした。安息日は「わたしとあなたがたの間のしるしとなって、主なるわたしがあなたがたの神であることを、あなたがたに知らせるためである。」<sup>24</sup>

このすばらしい夜に受けた圧倒されんばかりの印象は、家族愛、献身、神への責任を忠実に果たそうとする態度から来るものでした。この集会について考えているとき、わたしはユダヤ人が何世紀にもわたって受けた極端なまでの迫害に思いをはせました。確かに、安息日を尊ぶことは「永遠の契約」であり、聖文に記された約束の成就として、ユダヤ人に守りと祝福を与えてきました。<sup>25</sup> また、この戒めは、多くのユダヤ人の生活を見れば明らかですが、彼らのすばらしい家庭生活や幸福に貢献してきました。<sup>26</sup>

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって、安息日を尊ぶことは、義にかなっ



た生活の一形態であり、家族を強め、祝福し、創造主とのつながりをもたらし、幸福を増し加えてくれます。安息日は、取るに足りない、不適切な、あるいは不道徳的なものとの関係を断つのに役立ちます。この戒めにより、わたしたちは世の中にあっても、世のものとならずに済むのです。

これまでの6か月間に、最も特筆すべき変化が教会で起こりました。このような変化が起こったのは、大管長会と十二使徒定員会が安息日を改めて重視し、ラッセル・M・ネルソン長老が安息日を喜びとするようチャレンジしたからです。<sup>27</sup> 安息日を心から聖く守ることは、この世の嵐を経験するときに守りとなることを多くの会員は理解しています。またそうすることは、天の御父に対するわたしたちの献身のしるしであり、聖餐会せいさんの神聖さに関する理解が深まったことを意味します。まだ、なすべきことは多いですが、良いスタートを切りました。皆さんが、続けて勧告に従い、安息日の礼拝をより良いものとするようお勧めします。

### 3. 神の守りは、わたしたちが義にかなった生活を送るときに与えられる

神の神聖な計画の一環として、わたしたちは聖霊たまものの賜物を授かります。この賜物は「ふさわしいときにはいつでも、聖霊がともにおられるという権利です。」<sup>28</sup> 神会の一員であるこの御方は、福音を最優先する人の霊を清める役割を果たされます。この御方は、罪悪に対する警告の声、危険に対する防御の声を発してください。人生の海原を航海するとき、聖霊が与えてくださる印象に従うことは、実に大切なことです。御霊は誘惑や危険を避けられる

ようわたしたちを助け、試練を乗り越えられるよう慰め、導いてくださいます。「御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実で〔ある。〕」<sup>29</sup>

神聖な福音の原則を忠実に守ることで、わたしたちは神殿にふさわしくあり、現世で幸福を見だし、導きを受けて天の家に戻ることができるのです。

愛する兄弟姉妹、人生は生易しいものではありませんし、そのように意図されてもいません。人生は試練や苦難を経験する時期なのです。ブリストル港に浮かぶ古い船のように、潮が引き、自分たちをいつも浮かばせてくれるはずのものが全て消えてなくなるように思われることもあるでしょう。船底が海底に着いてしまったり、横倒しになったりすることすらあるかもしれません。そのような試練の中にあっても、わたしは皆さんに約束します、神殿にふさわしい生活を送り、そのような生活を送り続けるならば、本当に大切なものは全て保たれます。心地よい平安、幸福、そして喜びの祝福が、天の御父と御子イエス・キリストとともに住むことのできる永遠の命と日の栄えの祝福に加えて、実現されるでしょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 2ニーファイ2:13。この聖句は、モルモン書の中に見られる対句法の一つである。興味深いことだが、モルモン書に収められている文書や説教を記した預言者の多くがこの文学的なアプローチを用いて、重要な教義的概念を強調している。例えば、2ニーファイ9:25(ヤコブ)；2ニーファイ11:7(ニーファイ)参照
2. 2ニーファイ28章参照
3. 4ニーファイ1:15 - 17参照
4. 教義と聖約59:23参照
5. ウィクシヨナリー, "shipshape and Bristol

fashion" wiktionary.org 参照

6. 教義と聖約38:30参照
7. アルマ40:12, 強調付加
8. 末日聖徒版聖書(英語)マタイ5章の章の要約文参照
9. カール・シダーストロム, "The Dangers of Happiness", *New York Times*, 2015年7月19日付, Sunday Review の項, 8参照
10. 2ニーファイ15:20
11. ロス・ダウサット, "Gay Conservatism and Straight Liberation", *New York Times*, 2015年6月28日付, Sunday Review の項, 11
12. 2ニーファイ2章参照
13. マタイ25:1 - 30参照
14. アルマ41:10
15. ディーター・F・ウークトドルフ「忍耐し続ける」『リアホナ』2010年5月号, 56参照
16. ウォルター・ミッシュェル, *The Marshmallow Test: Mastering Self-Control* (2014年)参照。ジャコバ・リスト, "What the Marshmallow Test Really Teaches about Self-Control", *Atlantic*, 2014年9月24日, theatlantic.comも参照
17. ミッシュェル, *The Marshmallow Test*, 136 - 138参照
18. マリア・ニコバ, "The Struggles of a Psychologist Studying Self-Control," *New Yorker*, 2014年10月9日付, newyorker.com参照。フロリダ州立大学の心理学教授で、意志の力と自制心について研究しているロイ・パウマイスターに言及
19. マリア・ウォラン, "How to Proselytize", *New York Times Magazine*, 2015年7月19日, 21。ブラジル宣教師訓練センターのマリオ・ディオスに言及
20. 『聖句ガイド』「安息日」の項参照
21. 2015年5月8日, ボン・G・キーチ長老とバーニス夫人, そしてジョン・テラーとジャン夫人は、わたしたちに加わり、ロバート・アブラムズとダイアン夫人とともに、すばらしいシャバット(安息日)を過ごした。アブラムズ氏はニューヨーク州検事総長を4期にわたって務めた人物で、何年にもわたる教会の友人でもある。アブラムズ氏は、二人のユダヤ人同僚およびその夫人も招待した。
22. 安息日の食卓で、賛美歌「シャローム・アレイヘム」(「汝に平安あれ」)が歌われた
23. イザヤ58:13 - 14参照
24. エゼキエル20:20
25. 出エジプト31:16 - 17参照
26. ジョー・リバーマン, *The Gift of Rest: Rediscovering the Beauty of the Sabbath* (2011年)参照。リバーマン議員のすばらしい本は、ユダヤ人の安息日について説明し、靈感あふれる洞察を提供している。
27. イザヤ58:13 - 14参照。ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号, 129 - 132も参照
28. 『聖句ガイド』「聖霊」の項参照
29. ガラテヤ5:22



大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長による提示

# 教会役員の支持

**兄** 弟姉妹の皆さん、モンソン大管長の依頼により、わたしがこれから教会の中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会の名前を皆さんの賛意の表明を頂くために提示いたします。

わたしたちは預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてトーマス・スペンサー・モンソンを、大管長会第一顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを、大管長会第二顧問としてディーター・フリードリッヒ・ワークドルフを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

ただいまの表明が記録されました。

十二使徒定員会会長としてラッセル・M・ネルソンを、また同定員会会員として、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、そして十二使徒定員会の新しい会員として、ロナルド・A・ラズバンド、ゲーリー・E・ステープンソン、デール・G・レンランドを支持するよう提議します。

賛成の方は挙手をもってその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してく

ださい。

ただいまの表明が記録されました。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

ただいまの表明が記録されました。

十二使徒定員会の会員としての召しに伴い、わたしたちは、ロナルド・A・ラズバンドを七十人会長会の会員から、また、ロナルド・A・ラズバンドとデール・G・レンランドを七十人第一定員会会員から解任いたします。

感謝して下さる方は、その意を示してください。

わたしたちは、七十人第一定員会会員のドン・R・クラーク長老および、七十人第二定員会会員の青柳弘一長老とブルース・A・カールソン長老を、その献身的な奉仕に対する心からの感謝をもって解任するとともに、名誉中央幹部として任命す





十二使徒定員会  
ロバート・D・ヘイルズ長老

るよう提議いたします。

彼らの卓越した働きに対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

わたしたちはまた、ゼーキー・A・コバロフ兄弟が地域七十人から解任されたことをお伝えします。

彼の奉仕に対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

ここで、中央日曜学校会長会第一顧問のジョン・S・タナー兄弟と第二顧問のデビン・G・デュラント兄弟の解任をお伝えします。以前に発表があったように、タナー兄弟は、ブリガム・ヤング大学ハワイ校の学長として任命されました。

これらの兄弟たちの奉仕と献身に対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

デビン・G・デュラント兄弟は中央日曜学校会長会第一顧問として、ブライアン・K・アシュトン兄弟は第二顧問として奉仕するよう召されました。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

その他の中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会を現在のまま支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

ただいまの表明が記録されました。これまでの提議のいずれかに反対の方は御自分のステーキ会長に連絡してください。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの信仰と教会の指導者のための祈りに感謝します。

十二使徒定員会の新しい会員は、壇上のそれぞれの場所に着席してください。彼らには明日の午前の部会で話していただくことになっています。■

## 今日の世界のチャレンジに立ち向かう

伝道、教育、結婚、教会での奉仕など、皆さんの選択は、皆さんの永遠の行く末を決めます。

今日のヤングアダルトの世代については多くのことが書かれ、語られています。調査によれば、彼らの多くは宗教団体を拒絶しています。彼らの多くは負債を抱え、仕事に就いていません。大多数が結婚という概念を好んでいますが、多くはその一歩を踏み出すのを嫌がっています。ますます多くが子供を望まなくなっています。福音と靈感された指導がないため、彼らの多くは見知らぬ道に迷い行く先を見失っています。

幸いなことに、教会のヤングアダルトはそのような困った流行に遅れを取っています。その理由の一つは、彼らが福音の計画によって祝福されているからです。その永遠の計画には、しっかり鉄の棒につかまること、つまり、神の御言葉と預言者の言葉に堅くつくことが含まれています。わたしたちは、神のみもとに帰るように導くその棒にしっかりつかまる必要があります。わたしたち全員にとって今日は「選びの日」<sup>1</sup>です。

子供のころ、軽率な選択をしようとしたときに、父はときどき「ロバート、真面目に。正しいことをしなさい! (訳注 — 英文は“Fly right”で「正しく飛ぶ」と「正しく生きる」の意味がある)」と言ったものです。皆さんも同じような経験がある

かもしれません。父の率直な話し方に倣って、特に教会の若人、すなわちすばらしい青少年と、すばらしいヤングアダルトの皆さんに話したいと思います。なぜならわたしは、「[ともに]学べるように分かりやすい言葉で話すことを喜びとしている」<sup>2</sup>からです。

皆さんは人生でとても重要な時期を生きています。伝道、教育、結婚、教会での奉仕など、皆さんの選択は、皆さんの永遠の行く末を決めます。それは、皆さんがいつも前を、未来を見据える必要があるという意味です。

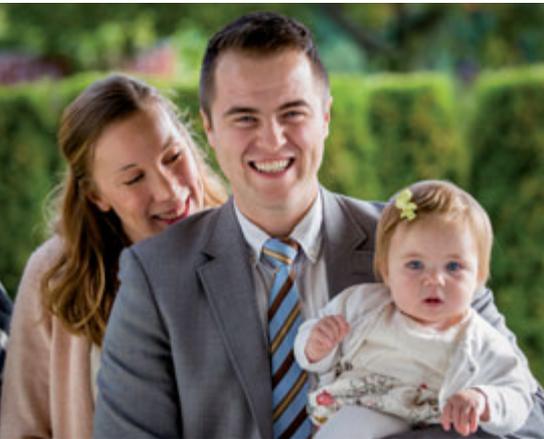
空軍パイロットとして、わたしは次の原則を学びました。「わざわざ嵐の中に入っていくな。(わたしがどうやってこの原則を学んだかはあえて話しません。)迂回しろ、他のルートを取れ、さもなくば、嵐がやむまで着陸するな。」

愛するヤングアダルトの兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんが終わりの時の嵐の中を「正しく飛べる」ように助けたいのです。皆さんはパイロットです。皆さんには、自分がする一つ一つの選択の結果を考える責任があります。自分にこう問いかけてください。「この選択をしたら、起こり得る最悪の事態は何だろうか。」義にか

なった選択をすれば、道からそれることはありません。

考えてみてください。「アルコール飲料を口にしないことを選択すれば、アルコール依存症にはなりません！ 借金をするという選択を絶対にしなければ、破産の心配はありません！」

聖文の一つの目的は、義人がどのように誘惑と悪に対処したかを示すことです。



ノルウェー、ドランメン

一言で言えば、彼らは避けたのです。ヨセフはボテパルの妻から逃げました。<sup>3</sup> リーハイは家族を連れてエルサレムを去りました。<sup>4</sup> マリヤとヨセフはヘロデの邪悪な計画を逃れるためにエジプトに行きました。<sup>5</sup> どの場合も、天の御父は信仰深い彼らに警告を発せられました。同様に、御父は、戦うべきか、逃げるべきか、これから明らかになる状況を受け入れるべきか分かるように助けてくださいます。御父は祈りを通して話し掛けてくださいます。そして、わたしたちが祈るとき、聖霊の導きを受けます。わたしたちには、聖文、生ける預言者の教え、祝福師の祝福、靈感を受けた親や神権指導者や補助組織指導者、中でも、御霊の静かな細い声が与えられているのです。

「わたしがあなたがたを導いて行くから



である」<sup>6</sup> という約束を主は常に守ってくださいます。ただ一つの問題は、わたしたちは導かれることを選ぶだろうか、神の御声と神の僕たちの声を聞くことを選ぶだろうか、ということです。

皆さんが主に近づけば、主は皆さんに近づいてくださることを証します。<sup>7</sup> 主を愛し、主の戒めを守るなら、御子の御霊が皆さんのそばで導いてくださるでしょう。「善を行うように導く……御霊を信頼なさい。……これによってあなたは、……義にかかわることは何であろうとすべて知るであろう。」<sup>8</sup>

これらの原則を土台として、皆さんに具体的な助言をしたいと思えます。

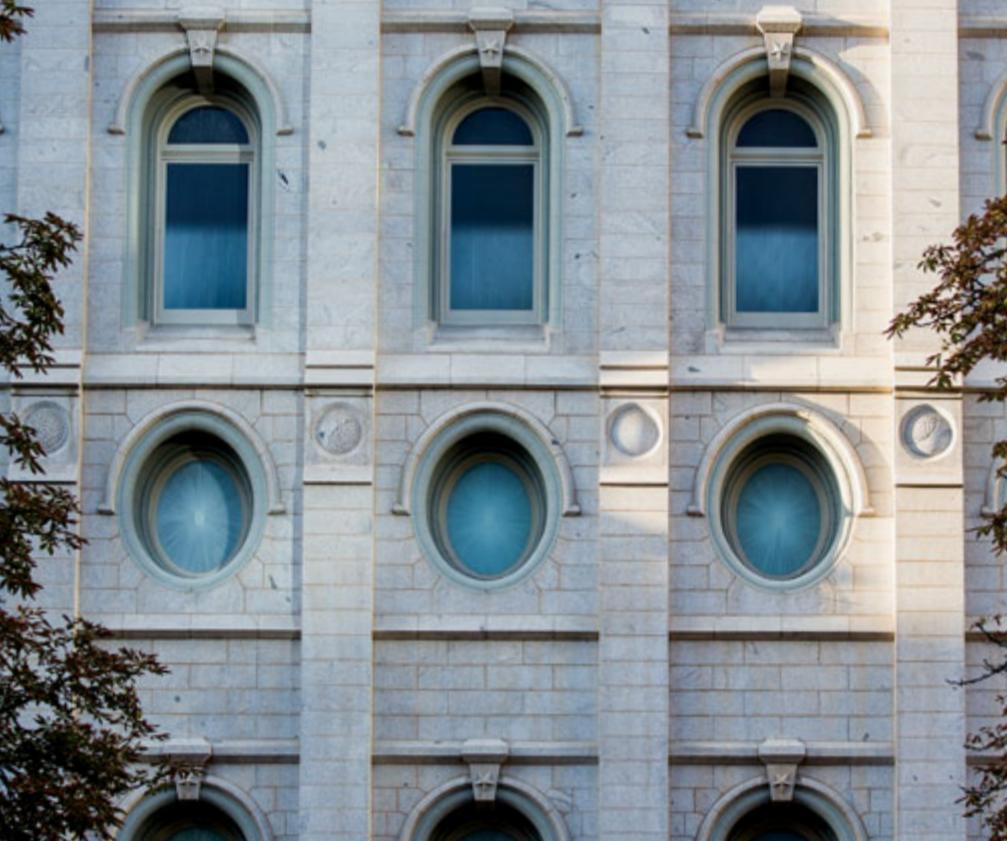
皆さんの世代の多くは、多額の負債を抱えています。わたしがヤングアダルトのとき、わたしのステーク会長はウォール街の投資銀行家でした。彼は「金持ちとは収入の範囲内で幸せに生活する人のことだ」と教えてくれました。皆さんはどうですか。自分の一を納めて、それから貯金をしてください。収入が多いときは、もっと貯金してください。高額なおもちゃを持っているかどうかで人と競わないでください。代金を支払う余裕のないものを買わないでください。

世の中の多くのヤングアダルトは、教育のために借金をした後で、その学費が自

分の返済能力を上回るものだったことに気づきます。奨学金、補助金を探してください。可能であれば、自分の道を進むための資金を捻出するためにアルバイトをしてください。それには多少の犠牲が伴いますが、あなたの成功に役立ちます。

教育はより良い仕事の機会に備えさせてくれます。それは自分を、周囲の人々に仕え、祝福するためのより良い位置に置いてくれます。それは自分を生涯学習という道に進ませてくれます。無知や誤解と闘う強さをくれます。ジョセフ・スミスが教えたように「知識は暗闇や不安や疑いを取り除きます。それらは知識があるところには存在できないからです。……知識には力があります。」<sup>9</sup> 「神の勧告に聞き従うならば、学識のあるのはよいことである。」<sup>10</sup> 結婚をはじめ将来に備えさせてくれます。

再び、率直に話してもよいでしょうか。結婚へ続く道にはデートが含まれます。デートは長い会話をする機会です。デートのときに、可能な限り互いの全てを知ってください。可能であれば、互いの家族と知り合ってください。二人の目的は調和していますか。戒め、救い主、神権、神殿、親の務め、教会の召し、人に奉仕することについて同じ気持ちを抱いていますか。ストレス下にあるとき、成功したときや失敗したとき、怒りを抑えるとき、困難に対



処するとき、互いを観察したことがありますか。あなたのデートの相手は人をおとしめますか、それとも高めますか。彼または彼女の態度、言葉遣い、振る舞いは、毎日一緒に過ごしたいと思うものですか。

とはいえ、完璧な相手と結婚する人はいません。可能性のある相手と結婚するのは。正しい結婚とは、自分が何を望むかだけでなく、自分がどのような者になることを自分の伴侶となる女性が望み、必要としているかも大切なのです。

はっきり言いましょ。20代を通じて「楽しむ」ためだけにデートをして、他の趣味や活動のために結婚を先延ばしにしないでください。なぜなら、デートと結婚は最終目的地ではないからです。それらは、皆さんが最終的にいきたい場所への門なのです。「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合〔う〕のである。』<sup>11</sup>

皆さんの今の責任は、自分が結婚したいと望む人にふさわしくなることです。健全で、魅力的で、正直で、幸せで、勤勉で、霊的な人と結婚したいと望むなら、あなたがそのような人になってください。もしあなたがそのような人でまだ結婚していないのであれば、忍耐強くあってください。主に仕えてください。主はあなたの望みを御存じで、あなたの主への忠実さのゆえにあなたを愛しておられます。主はあなたに

対する計画をお持ちです。それがこの世であろうと次の世であろうとです。主の御霊に耳を傾けてください。「主に助言しようとしなさい、主の手から助言を受けるようにしなさい。』<sup>12</sup> この世か、あるいは次の世において、主の約束は果たされます。「備えていれば恐れることはない」<sup>13</sup> のです。

豊かな財産がなくても心配しないでください。すばらしい教会員が最近わたしにこう言いました。「わたしは子供を金ではなく、信仰で育てました。」この言葉に、偉大な真理があります。生活の全ての面で信仰を働かせ始めてください。そうしないと、「信仰萎縮症」とわたしが呼ぶ病気にかかってしまいます。信仰を働かせる際に必要なまさにその強さが失われます。ですから毎日信仰を働かせて、「ますますキリストを信じる信仰を確固としたものに」<sup>14</sup> してください。

結婚に備えるために、聖餐を受け、神殿推薦状を持つふさわしさを必ず維持するようにしてください。定期的に神殿に行ってください。教会で奉仕してください。教会で召しを受けて奉仕すること以外にも、「よい働きをしながら……巡回され」<sup>15</sup> た救い主の模範に従ってください。

さて、皆さんには将来の選択について真面目な疑問があるかもしれません。わたし

がヤングアダルトだった頃は、親や信仰が篤く信頼できる相談相手に助言を求めました。一人は神権指導者、もう一人はわたしを信頼してくれた教師でした。二人から「助言が欲しいなら、それを受け入れる備えをしなさい」と言われました。わたしはその意味を理解しました。あなたの霊的な幸福を心に懸けてくれる助言者を、祈りをもって選んでください。同年代の仲間の助言には注意をしてください。自分が今持っているもの以上のものが欲しいなら、横からではなく上から得てください<sup>16</sup>

忘れないでください。誰もあなたの代わりに上に手を伸ばすことはできません。あなたの信仰と祈りだけが、あなたを高め、大きな心の変化をもたらします。従順になるというあなたの決意だけが、あなたの生活を変えます。あなたのための救い主の贖いの犠牲のおかげで、その力はあなたの内にあるのです。<sup>17</sup> あなたには選択の自由があります。あなたが従順であれば、強い証が備わります。そしてあなたを導く御霊に従うことができます。

最近、ある若い映画制作者が、自分は「放蕩の世代」の一員だと感じると語っていました。この世代は、「希望と喜びと満足を探求しているが、間違った場所を、間違った方法で探している」<sup>18</sup> というのです。

救い主による放蕩息子のたとえの中で、その息子には多くの祝福が待ち受けていましたが、彼はそれらを求める前に自分の生活、選択、状況を振り返る必要がありました。その次に起こった奇跡について、聖文は短い言葉で言い表しています。「彼は本心に立ちかえつた。』<sup>19</sup> 本心に立ち返るようにと、わたしは皆さんを励ましたいと思います。教会では、大切な決定をするときには、評議会を行います。家族評議会にも同じような目的があります。皆さんには、わたしが「個人評議」と呼ぶことをしてほしいと思います。祈った後、一人になる時間を作って、自分の未来につ



十二使徒定員会  
ジェフリー・R・ホランド長老

いて考えて、自分にこう問いかけてください。「他の人たちを強めるために、自分の生活のどの分野を強めたいと思うか。」「1年後の自分はどうなっていたいか。」「2年後はどうか。」「そうなるためにどんな選択をする必要があるか。」自分がパイロットであり、責任があることを覚えておいてください。皆さんが本心に立ち返るなら、天の御父も皆さんに近づかれることを証します。主の聖なる御霊の慰めの手により、主は皆さんに寄り添って助けてくださいます。

わたしは神が生きておられることを証します。救い主が皆さんを愛しておられることを特別に証します。「わたしたちは〔主の〕偉大な大義において前進しようではありませんか。退かずに前に進んでください。」<sup>20</sup> 主に従うなら、主は皆さんを強め、支えてくださいます。主は皆さんの最も素晴らしい故郷に皆さんを導いてくださいます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 105 : 35
2. 2 ニーファイ 25 : 4
3. 創世 39 章参照
4. 1 ニーファイ 2 章参照
5. マタイ 2 章参照
6. 教義と聖約 78 : 18
7. 教義と聖約 88 : 63 参照
8. 教義と聖約 11 : 12, 14
9. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 265
10. 2 ニーファイ 9 : 29
11. 創世 2 : 24
12. モルモン書ヤコブ 4 : 10
13. 教義と聖約 38 : 30
14. ヒラマン 3 : 35
15. 使徒 10 : 38
16. ボイド・K・バックナー, *Teach Ye Diligently* (1975年), 145 参照
17. 教義と聖約 58 : 28 参照
18. ネイサン・クラークソンの言葉。エマ・ケーンズ, “‘Confessions of a Prodigal Son’ Writer Says ‘We Are All Prodigals,’ Modern Retelling of Story Aimed at Millennials,” *Christian Post*, 2015年1月26日付, www.christianpost.com.
19. ルカ 15 : 17
20. 教義と聖約 128 : 22

# ごらんなさい。 これはあなたの母です

この世のどのような愛よりも、献身的な母親の子供に対する無私  
の愛ほどイエス・キリストの純粋な愛に近いものはありません。

**皆**さんとともに、ロナルド・A・ラズバンド長老とゲラリー・E・ステイブソン長老、デール・G・レンランド長老とその伴侶の方々をこの上ない親しい交わりに歓迎いたします。イザヤは救い主の贖罪を預言してこう記しました。「彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。」<sup>1</sup> 末日に与えられた荘厳な示現は、「イエスは、……世の罪を負〔う〕……ため世に来た」と強調しています。<sup>2</sup> 古代と現代の聖文はともに「〔主が〕彼らを贖い、また昔から常に彼らを負い、彼らを担った」と証しています。<sup>3</sup> よく歌われる賛美歌は、「聞

けよや……主の呼ぶ声を」とわたしたちに強く勧めています。<sup>4</sup>

負う、負われる、担う、救う。これらは、メシヤの使命を表す力強い、励みになる言葉です。助けと希望を意味する言葉です。これらの言葉は、わたしたちが現状から望ましい状態まで無事に進むことができるよう、助けと希望が与えられることを意味します。助けなしに到達することができないからです。また、これらの言葉には重荷、苦しみ、疲労の意味が含まれています。言語に絶する犠牲を払い、倒れたわたしたちを抱き上げ、力を失ったわたしたちを背負って進み、とても無理だ





と思ったときにわたしたちを救い、無事に家まで送り届けてくださるといふ、主の使命を表すのに大変ふさわしい言葉です。主は次のように言っておられます。「父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。……わたしは人々によって上げられたが、そのように人々は……上げられて、わたしの前に立つ」……のである。」<sup>5</sup>

しかし、これらの言葉は別の意味でも使われます。英語の**負う**、**負われる**、**担う**、**抱き上げる**、**苦勞する**、**救う**に当たる言葉にはそれぞれ、産む、生まれる、身ごもる、取り上げる、陣痛、分娩などの意味もあります。イエスがまさに贖いの業を成し遂げようとしていたそのときに、ヨハネに向かって言われた「ごらんなさい。これはあなたの母です」<sup>6</sup>という言葉は、わたしたち全員にも向けられているのです。

今日はこの壇上から、これまでも語られた事柄について宣言します。この世のどのような愛よりも、献身的な母親の子供に対する無私の愛ほどイエス・キリストの純粋な愛に近いものはありません。イザヤがメシヤについて語ったとき、エホバの愛を表現するのに母親の無私の愛を例に挙げて尋ねました。「女がその乳のみ子を忘れ[る]……ようなことがあろうか。」彼は、そんなばかげたことはない、しかし主がわたしたちをお忘れになると思ふ方がもっとばかげていると暗に言っているのです。<sup>7</sup>

このような毅然とした愛は、「長く堪え忍び、親切であり、……自分の利益を求めず、……すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐え」ます。<sup>8</sup> 何よりも、そのような忠節は「いつまでも絶えることが[ありません]」。<sup>9</sup> 「山々が去り、丘が動いても、わたしの慈しみはあなたから去ること[はない]」とエホバは言っておられます。<sup>10</sup> わたしたちの母親も同じように言うことでしょう。

母親は単に子供を産むだけではありません。子供の重荷を一緒に負い続けるのです。その養いは妊娠中だけでなく、母親として生涯担い続けるのです。驚異的としか言いようがありません。もちろん、中には悲しい例外もあります。しかし、大半の母親は、それが神から託された最も気高い、神聖な業であることを直観的かつ本能的に知っています。そして、その重責を知っているからこそ、特に若い母親にとって大変な重荷になることもあるのです。

最近、素晴らしい若い母親から次のような手紙をもらいました。「人はどうして、自分の自由をほとんど犠牲にするほど深く子供を愛せるのでしょうか。人はどうして、責任、弱さ、不安、頭痛の種を進んで受け入れ、受け入れ続けるほど強く愛せるのでしょうか。一旦子供を授かると、人生はもう自分の自由にならないことを受け入れる人の愛とは、一体どのようなものなのでしょうか。母親の愛とはきっと天与のものなのでしょう。それ以外に説明がつか

きません。母親が行う務めは、キリストの業において不可欠の要素です。それを知っていれば必然的に分かりますが、そのような愛の効果は、我慢できないレベルから至上の幸福と感ぜられるレベルまでさまざまです。そのような経験は幾度となく繰り返され、地上に来た霊の子の最後の一人が無事救われるまで続くのです。[そのときには、]わたしたちはイエスと声を合わせてこう言うことができます。『[父よ、]わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げ……ました』と。<sup>11</sup>

このすばらしい手紙を念頭に置きながら、わたしがここ数週間行った務めの中で目にした母親のすばらしい影響力についてお話ししましょう。

最初の話は警告的な例で、母親の努力が必ずしも順調に実るわけではないこと、少なくともすぐに成果が得られるわけではないことを示唆するものです。これは50年来の愛する友人との会話です。彼は心の中では真実と知っていたものの、教会を離れたまま死を迎えようとしていました。わたしがどんなに慰めようとしても、彼は平安を得られないようでした。最後に彼はこう言いました。「ジェフ、神の御前に立つのはわたしにとってとても苦しいことだろうと思う。だけど、母の前に立つことを考えると耐えられないんだよ。母に



とって福音と子供が全てだった。わたしのために母はとて心をも痛めた。それを思うと、わたしの心は張り裂けそうになるんだ。」

彼が亡くなった後、母親は腕を広げ、愛情を込めて迎えたことだろうとわたしは確信しています。親とはそういうものだからです。しかし、この話を通して警告したいことは、子供によって母親の心が痛むことがあることです。この点でも、天の業とよく似ています。御存じのように、イエスは世の罪を負ったことによる疲労と疲弊から、心臓が砕けて亡くなりました。ですから、誘惑に遭ったときは、救い主だけでなく「[わたしたち]の母」に目を向けて、わたしたちの罪のせいで悲しませることがないようにしましょう。

次に、ふさわしい状態で伝道に出たのに伝道半ばで帰還した青年について話しましょう。彼は同性に引かれる問題と、それに関連して経験したトラウマのために自ら帰還することを選んだのです。ふさわしさは保っていたものの、彼の信仰は危機的状況にありました。日を追うごとに情緒的な苦しみは深まり、霊に覚える苦痛も増していきました。彼は心痛、混乱、怒り、絶望を順繰りに味わっていました。

彼の伝道部会長、ステーキ会長、ビショップが彼を助けようと、長い時間をかけて思い巡らし、涙し、彼に祝福を授けました。しかし、彼の心の傷の多くがあまりにも個人的だったので、人に打ち明けられないでいたものが幾つかありました。彼の愛する父親は全身全霊を傾けて息子を助けようとしていましたが、多忙を極める仕事のために、母親と息子だけで、魂の長く暗黒の苦闘たいとに対峙しなければなりません。昼も夜も、何週間も、何か月も、何年も、二人は一緒に、癒やしを受ける道を探し求めました。時には（ほとんどは彼が、時折彼女が）反感を感じることも、（ほとんどは彼女が、時折彼が）恐れることもありましたが、母親が息子に神の力と



教会について、特に神が彼を愛しておられることについて証を述べました。この「述べる」に当たる言葉も、英語では、先ほど出たすばらしい「負う」と同じ言葉です。また彼女は、息子に対する彼女自身の変わらない不滅の愛を証したのです。イエス・キリストの福音と家族という、自分の存在に関わる絶対に重要で不可欠な2本の柱の一つにして、彼女はとめどなく心を注ぎ出して祈りました。断食をし、泣き、また断食して、息子が胸の張り裂けそうな思いを打ち明けるたびに耳を傾け続けました。このようにして、彼女は再び彼の養いを担ったのです。ただ、今度は10か月ではありません。今回、息子を絶望の淵ふちから連れ戻す努力は永遠に続くだろうと彼女は思っていました。

しかし、神の恵みと母親の不屈の精神、そして多くの教会指導者と友人、家族、専門家の助けによって、この粘り強い母親は息子が約束の地に戻るのを見届けることができました。悲しいことに、さまざまな状況にある子供について悩む全ての親にそのような祝福が与えられていないこと、または少なくともまだ与えられていないことを、わたしたちは承知しています。しかし、ここに希望があります。そして、わたしはこの息子の場合も、彼の性的指向が

奇跡的に変わったわけではないことを申し上げなければなりません。変わるとは誰も思っていませんでした。しかし、彼の心は少しずつ変わったのです。

彼は再び教会の集会に出席し始めました。進んで、そしてふさわしい状態で聖餐さんを受けるという選択をしました。もう一度神殿推薦状を取得し、早朝セミナーの教師の召しを受けて、すばらしい奉仕をしました。それから5年たった今、彼は自ら希望して教会の少なからぬ協力を得、主への奉仕を全うするべく伝道地に戻っています。わたしは、問題を解決し信仰を守るためにこの青年とその家族が示した勇氣と誠実さと固い決意を思い、涙しました。彼は自分が戻って来られたのは本当に多くの人々のおかげだと知っています。しかし、最大の恩人はメシヤの属性を持った二人だということを知っています。その二人は彼を負い、担い、彼とともに働き、彼を救ってくれたからです。二人とは、彼の救い主、主イエス・キリストと、固い決意と救ゆるしの心を持った、清廉そのものの彼の母親です。

最後に、わずか3週間前に行われたメキシコ・メキシコシティ神殿の再奉獻式での話です。その感動的な奉獻式で、わたしとヘンリー・B・アイリング管長は、



七十人  
ブラッドリー・D・フォスター長老

わたしたちの愛する友人リサ・タトル・パイパーが立ち上がるのを見かけました。しかし彼女は、少し苦勞しながら立っていました。非常に重い障がいを抱える愛娘ドラを右手で支え、もう一方の手をドラの不自由な手に添えて、この身体的に問題のある、永遠の価値を持つ神の娘が白いハンカチを振って、自分自身と天の御使いにしか聞き取れないようなうめき声で「ホサナ、ホサナ、ホサナ、神と小羊に」と叫ぶのを手伝っていたからです。<sup>12</sup>

世界中の過去、現在、そして将来の母親の皆さん、皆さん全員に申し上げます。「ありがとうございます。子供を産み、魂と人格を形作り、キリストの純粋な愛を示してください、感謝します。」母なるエバ、サラ、リベカ、ラケル、ナザレのマリア、そして天のお母様に申し上げます。「永遠の目的を達成するためにきわめて重要な役割を果たしてください、感謝します。」困難を抱えている方を含め、あらゆる状況にある全ての母親に申し上げます。「平安がありますように。どうぞ神と自分を信じてください。皆さんは自分で思うより、よくやっています。皆さんは実にシオン山における救い手であり、<sup>13</sup> 皆さんが従っている主と同じように、皆さんの愛は『いつまでも絶えることがありません』。<sup>14</sup>」最高の賛辞を贈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. イザヤ 53:4
2. 教義と聖約 76:11
3. 教義と聖約 133:53。イザヤ 63:9も参照
4. 「悩めるイスラエル」『賛美歌』6番
5. 3ニーファイ 27:14
6. ヨハネ 19:27
7. イザヤ 49:15参照
8. モロナイ 7:45。1コリント 13:4-7も参照
9. モロナイ 7:46。1コリント 13:8も参照
10. 3ニーファイ 22:10。イザヤ 54:10も参照
11. ヨハネ 17:4
12. *History of the Church*, 第2巻, 427 - 428参照
13. オバデア 1:21参照
14. モロナイ 7:46。1コリント 13:8も参照

# 早すぎることも 遅すぎることも 決してありません

子供たちを導き、一緒に歩むのに早すぎることも遅すぎることも決してありません。家族は永遠だからです。

**兄** 弟姉妹の皆さん、わたしたちはこの世と戦っています。従来、この世はあの手この手で子供のエネルギーと時間を奪おうとしてきましたが、今日の世は、子供の個性と考え方に戦いを挑んでいます。世間で名高い多くの人々が声高に、わたしたちの子供たちが何者で、何を信じるべきかを定義付けようとしています。家族が社会の影響を受けてこの世に倣うことのないようにしなければなりません。この戦いに勝たなくてはなりません。この戦いに全てが懸かっているのです。

教会の子供は、彼らが実際にどのような存在なのかを教えてくれる歌を歌います。「わたしは神の子です。……神はわたしをここへ送り、両親のいる地上の家を与えてくださいました。」そして、子供はわたしたちに懇願します。「わたしを導き、一緒に歩み、……御言葉が分かるように助けてください。手遅れにならないうちに。」<sup>1</sup>

ラッセル・M・ネルソン会長は前回の総大会で、これからわたしたちは「注意深く親の務めを果たす」<sup>2</sup> 必要があると教えま

した。現代は苦難の時代です。しかし、有り難いことに、神はこのような時代が来ることを御存じで、わたしたちが子供や孫をどのように助ければよいか分かるように、聖典の中で勧告を与えておられます。

モルモン書には、救い主がニーファイ人に御姿を現されたことが書かれています。主は幼い子供をみもとに集め、祝福し、彼らのために祈り、涙を流されました。<sup>3</sup> そして、親に向かってこう言われました。「あなたがたの幼い子供たちを見なさい。」<sup>4</sup>

見るという言葉は、注意を向けて理解するという意味です。イエスは親に、幼い子供の中に何を見るよう望まれたのでしょうか





か。彼らの内に神から受け継いだ特質を垣間見るよう求められたのでしょうか。

今日わたしたちが自分の子供や孫を見るとき、救い主は彼らの中に何を見るように望んでおられるのでしょうか。子供は教会で最大の求道者グループであることに気づいているのでしょうか。子供に永続する改心をもたらすには、何をしなければならぬのでしょうか。

マタイによる福音書で、救い主は永続する改心について教えておられます。イエスの教えを聞くために群衆がガリラヤの海辺に集まっていた。

このとき、イエスは種をまくことに関する話、つまり種まきのたとえを話されました。<sup>5</sup> このたとえを説明する中で、主は弟子たちに、ひいてはわたしたちにこう言うておられます。「だれでも御国の言を聞いて悟らないならば、悪い者がきて、その人の心にまかれたものを奪いとって行く。」<sup>6</sup> これは親に向けた明瞭なメッセージです。聞くことと理解することは違います。もし子供が福音をただ聞くだけで理解しないなら、やがてはサタンにこの真理を子供の心から奪取る隙を与えてしまうことになるのです。

しかし、子供の心に改心が深く根付くように助けることができるなら、日が上って暑いさなかに、すなわち必ず訪れる人生の苦難に遭うとき、イエス・キリストの福音が彼らの心の内に、外部の影響を物ともしない何かを与えてくれるでしょう。この力強い真理が彼らの心に根付かないままに片方の耳からもう片方へと抜けることのないようにするには、どうしたらよいのでしょうか。言葉を聞くだけでは十分ではないかもしれないのです。

誰もが知っているように、言葉はだんだん変わっていくものです。わたしたちが話す言葉を子供が彼らなりに解釈するため、真意が伝わらないことがしばしばあります。例えば、小さい子供に向かって「おまえは壊れたレコードみたいだね」と言うとき、おそらくこういう言葉が返ってくるで

しょう。「お父さん、レコードって何？」

天の御父はわたしたちに親の務めを果たすことに成功するよう望んでおられます。何といても、子供はわたしたちの子供である以前に、実際御父の子供だからです。皆さんはシオンの親として、聖霊の賜物を受けています。導きを祈り求めるなら、子供たちを教えるうえで「聖霊は、あなたがたがなすべきことをすべてあなたがたに示される」<sup>7</sup> でしょう。学ぶプロセスを進んでいくにつれて、「聖霊の力がそれを……子らの心に伝える」のです。<sup>8</sup>

誰かの理解を促すのにヘレン・ケラーの話以上に良い範例を思いつきません。彼女は目と耳が不自由で、暗く静かな世界で生活していました。そこへアン・サリバンという名の教師が彼女を助けるためにやって来ました。見ることも聞くこともできない子供にどうやって教えたらいよいでしょうか。

長い間、アンはヘレンと心を通わせようと奮闘しました。ある日の昼頃のこと、アンはヘレンを水くみポンプのある所に連れ出しました。そしてヘレンの片手を水の出口の下に置き、ポンプで水をくみ出し始めました。アンはそれから、ヘレンのもう一方の手のひらに *W-A-T-E-R* (水) という単語を書きました。何も起きませんでした。そこで同じことをもう一度試み、*W-A-T-E-R* と書きました。すると、ヘレンがアンの手を握り締めました。分かり始めたのです。その日の夕刻までに、ヘレンは30の言葉を学びました。数か月のうちには600の言葉を学び、点字を読めるようになりました。後にヘレン・ケラーは大学の学位を取得し、目や耳の不自由な人々のために世の中を変える仲立ちとなりました。<sup>9</sup> それは奇跡でした。彼女の先生が不可能

と思われていたことを可能にしたのです。親である皆さんもそうなれるでしょう。

わたしはもう一人の偉大な教師が成し遂げたことを目にしました。ブリガム・ヤング大学アイダホ校で独身成人ステーキの会長として奉仕していたときのことで、そのときの経験がわたしの人生を変えました。ある火曜日の晩、メキシコシティ出身のパブロという若い男性と面接しました。彼は伝道に出たいと望んでいました。わたしは、彼の証と奉仕に対する望みについて尋ねました。質問に対する彼の答えは完璧でした。次に、ふさわしさについて尋ねました。答えは的確なものでした。実際、あまりにも立派な答えなので、「もしかしたら質問の意味を理解していないのでは」といぶかしく思いました。そこで、質問を分かりやすく言い直したところ、彼が質問の意図を正確に理解しており、まったく正直に答えているという確信を得ました。

わたしはこの若者に深く感銘を受け、こう尋ねました。「パブロ、君が今までこのように主の御前をまっすぐに歩んでこられたのは、誰のおかげですか。」

彼は答えました。「父のおかげです。」

わたしは言いました。「パブロ、その話を聞かせてください。」

パブロは次のように続けました。「9歳のとき、父はわたしを傍らに引き寄せてこう言いました。『パブロ、わたしにも9歳の時があった。これからおまえが出くわすかもしれないことについて話そう。学校でカンニングする人を見かけるかもしれない。周りの誰もが悪態をつくかもしれない。またおそらく、教会に行きたくない日が来るだろう。そこでだ、そういうことが



起きたり、他にも何か困ったことがあったりしたら、わたしのところへ話しに来ておくれ。うまく切り抜かれるよう助けてあげるよ。そして、次に起こることを話してあげよう。』」

「それでパブロ、10歳のときには、お父さんは何と言いましたか。」

「ボルノグラフィーと口汚い冗談について警告してくれました。」

「11歳のときにはどうでしたか」とわたしは尋ねました。

「依存性のあるものに手を出さないよう忠告し、選択の自由を使うことを思い起こさせてくれました。」

こうして父親は年々、「規則に規則。ここにも少し、そこにも少し」<sup>10</sup>と教え、息子が聞くだけでなく理解するように助けました。子供が学ぶのは、親に教える備えができたときだけでなく、子供自身が学ぶ備えができたときであることを、パブロの父親は知っていたのです。その晩パブロの伝道申請書を提出したとき、わたしはパブロを誇りに思いました。けれども、パブロの父親を一層誇りに思いました。

その夜、わたしは車を運転して家に帰る途中、こう自問しました。「パブロはどんな父親になるだろうか。」答えは非常に明白でした。彼はまさに父親のようになるでしょう。イエスはこう言われました。「子は父のなされることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。」<sup>11</sup>これこそ天の御父がどのようにして代々にわたりその子供たちを祝福されるかを示す規範です。

わたしはパブロとの経験についてずっと考えているうちに、悲しくなりました。4人の娘は成長し、当時いた9人の孫も近くに

住んでいなかったからです。そのとき、こう考えました。「果たして自分は、パブロの父親がパブロを助けたように子供を助けてきたでしょうか。もう遅すぎるだろうか。」心の中で祈っていると、御霊が次のような深遠な真理をささやきました。「この大切なプロセスを始めるのに、早すぎることも遅すぎることも決してありません。」それがどういう意味かすぐに分かりました。家に帰り着くのが待ち切れない思いでした。妻のシャロルに頼んで、子供たち全員に電話をかけ、わたしたちが会いに行く必要があると伝えてもらいました。彼らに伝えるべき実に大切なことがあったからです。わたしの切羽詰まった様子に子供たちは少し驚きました。

わたしたちはまず手始めに長女とその夫を訪ねて、このように話しました。「わたしたちもかつてはおまえたちの年齢だった。31歳で、子供は少なかった。おまえたちがこれからどんなことに遭遇するか、わたしたちには分かる。それは経済的問題または健康の問題かもしれない。信仰が揺らぐかもしれないし、人生の問題にくじけそうになるかもしれない。そういうことが起きたら、わたしたちに話しておくれ。うまく切り抜かれるように助けてあげるから。四六時中おまえたちの生活に口出しするつもりはないが、わたしたちがいつも支えになりたいと思っていることを分かってもらいたいのだ。それから、パブロという名前の若者と面接したばかりなのだが、そのことについて話したい。」

話の後で、わたしはこう言いました。「おまえたちの子供、つまりわたしたちの孫がこの大切な真理を理解するよう助ける機会を失わないようにしてもらいたいんだ。」

兄弟姉妹の皆さん、今やわたしは父親そして祖父として、自分の家族が聞くだけでなく理解するよう助けるプロセスを築き上げるうえで主から期待されていることをさらに有意義な形で悟るようになったのです。

わたしは年を重ねるにつれて、次の言葉について深く思い巡らすようになりました。

時よ、時よ、どうか後戻りしておくれ。

そしてたった一晩でいいから、幼かった子供たちと一緒に過ごさせておくれ。<sup>12</sup>

時を巻き戻すことができないのは分かっていますが、今わたしは、子供を導き、一緒に歩むのに早すぎることも遅すぎることも決してないということを知っています。家族は永遠だからです。

わたしは証します。天の御父はわたしたちを非常に深く愛しておられるので、その独り子を送ってくださいました。御子がこの世で生活し、わたしたちに次のように言うことができになるようにするためです。「わたしもあなたがたのいる所にいた。だから、次に起こることを知っている。それをうまく切り抜かれるよう助けてあげよう。」主が確かに助けてくださることを知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. "I Am a Child of God" 『賛美歌』(英文) 301 番参照
2. ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号, 131 参照
3. 3 ニーフай 17:21 参照
4. 3 ニーフай 17:23
5. マタイ 13:1-13 参照
6. マタイ 13:19, 強調付加
7. 2 ニーフай 32:5
8. 2 ニーフай 33:1
9. "Anne Sullivan," biography.com/people/anne-sullivan-9498826; "Helen Keller," biography.com/people/helen-keller-9361967 参照
10. イザヤ 28:10
11. ヨハネ 5:19
12. エリザベス・エイカーズ・アレンの詩 "Rock Me to Sleep" から翻案, ウィリアム・カレン・ブライアント編, *The Family Library of Poetry and Song* (1870年), 222-23 で引用



七十人  
ウーゴ・モントヤ長老

# 試しや誘惑を受けるとき、 助けも受ける

わたしたちは天の御父の子供として、試練や誘惑のときには互いに助け合うことができます。

人生において、わたしたちは試しや誘惑を受けます。それと同時に、選択の自由を行使し、互いに助け合う機会も受けるのです。これらの真理は、天の御父の完全ですばらしい計画の一部なのです。

ジョン・テラー大管長は次のように教えました。「わたしはあるとき、預言者ジョセフが十二使徒に対してこのように語るのを聞きました。『皆さんはあらゆる種類の試練を経験するでしょう。アブラハムや神の人であった他の人々とまったく同じように、皆さんも試練を受ける必要があります。神は皆さんを探り、皆さんを支配し、皆さんの心の奥の深い感情を苦しめるでしょう。』」<sup>1</sup>

わたしたちは、責任を負う年齢に達すると、試練や誘惑を頻繁に受けるようになります。時にそれらは大変な重荷になることがあります。それを克服することができます。力と成長を授かる機会となります。

幸いにも、このような重荷を一人で負う必要はありません。アルマはこのように教えています。「あなたがたは神の羊の群れに入って、神の民と呼ばれたいと願っており、重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合うことを望んでいる。』」<sup>2</sup> こ

の言葉は、わたしたちには互いに助け合う責任があることを述べています。そしてその責任は教会の召しとして、割り当てとして、友情として受けたり、または両親や伴侶、および家族の一員、あるいはひとえに神の家族の一員であることから与えられたりするのです。

わたしたちが互いに助け合うときに、重荷が軽くなる4つの方法を示したいと思います。

1. 救い主は言われました。「もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。」<sup>3</sup> その例として、わたしたちは状況が許す限り定期的に神殿に参入するように言われています。神殿に参入することは離れた地域に住む人々たちにとっては特に、時間的、物質的な犠牲が伴いますが、この犠牲は最初の1マイルとして考えられるでしょう。

わたしたちが「見つけ、参入し、教える」<sup>4</sup> という言葉を理解して、自分の先祖の名前を探求し、彼らの神殿での儀式のために備えるときに、また索引作成を助けるときに、あるいは神殿のワーカーとして奉仕するときに、そして他の人々が神殿で有意義な経験ができるように助けようと努めるときに、わたしたちは2マイル目を歩み始めるのです。

わたしが地域七十人として奉仕していたとき、担当の調整評議会に属するステークの一つが大規模な神殿参入を行いました。彼らが参入した神殿は小規模神殿で、12時間もの長旅をしてきたにもかかわらず、神殿の一日の処理能力を超えてしまったために、残念ながら中に入れな





い会員がいました。

その神殿旅行の数日後、わたしはこのステークを訪問して、ステーク会長に神殿参入で中に入れなかった会員の何人かと話すことができるか尋ねました。そこで会った一人の兄弟は次のように言いました。「長老、心配しないでください。わたしは主の家にいました。庭のベンチに座って心の中で儀式について深く考えていました。その後、中に入る機会があったのですが、妻との結び固めのために初めて神殿に参入していた兄弟に譲りました。彼らはその日に2度セッションを受けられたそうです。主はわたしを御存じで、祝福を与えてくださったので、神殿に入れなくても大丈夫です。」

2. 笑顔。このささやかな行為は途方に暮れている人や重荷を負っている人を助けることができます。先の4月の総大会で、神権部会のときにわたしは新しく召された5人の中央幹部の一人として壇上に座っていました。今、補助組織の会長会の姉妹たちが座っている辺りでした。わたしはとても緊張していて、新しい召しに圧倒されていました。

部会の途中で賛美歌を歌っているときに、誰かが自分を見ているという強い印象

を受けました。しかし、「この建物内には2万人以上の人がいる、そのほとんどがこちらを向いている。誰かが自分を見ているのは当然だ」と思いました。

賛美歌を歌い続けていると、再び誰かが自分を見ているという強い印象を受けました。十二使徒が座っている列を見ると、ラッセル・M・ネルソン会長がその場で振り返って、わたしたちが座っている辺りを見ていました。わたしと目が合うと、ネルソン長老は大きくほほえみかけてくれました。その笑顔は、圧倒されていたわたしの心に平安をもたらしたのです。

復活の後、イエス・キリストは他の羊をお訪ねになりました。主は十二人の弟子を召して聖任され、彼らはその権能によって人々を教導いたのです。主イエス・キリスト御自身も彼らとともにおられました。主は彼らにひざまずいて祈るように言われました。新しく召され、聖任された十二弟子たちが、与えられた召しに対して圧倒される思いを感じていたかは分かりませんが、聖典にはこう書かれています。「弟子たちがイエスに祈っている間に、イエスは彼らを祝福された。また、イエスは彼らにほほえみかけ、イエスの顔の光が彼らを照らした。」<sup>5</sup> 前回の総大会では、

笑顔によって瞬時に、特別な方法でわたしの重荷は軽くされたのです。

3. 思いやりの気持ちを言葉に表すようにしましょう。あなたが神権者であれば、神の子供たちを助けるために、その力を使って彼らに祝福を授けてください。苦しんだり苦難にあったりしている人々に慰めと安らぎの言葉を伝えてください。

4. 神の計画の隅石は、主イエス・キリストの贖罪です。わたしたちは、少なくとも週に一度は、ジョセフ・F・スミス大管長がしたように、「贖い主のこの世への来臨に当たって御父と御子が示された大きな驚くべき愛」<sup>6</sup> について深く考える必要があります。人々を教会に招き、ふさわしく聖餐を受けるように勧めることによって、より多くの天の御父の子供たちが贖罪に思いを向けることができるようになります。そして、わたしたちがふさわしくないときには、悔い改めることができます。いと高き者の子である主が万物の下に身を落とし、わたしたちの過ちや罪、背き、および病や痛み、苦しみをその身にお受けになったことを忘れてはなりません。聖典はわたしたちに、キリストは「高い所に昇り、また万物の下に身を落とし、それによってすべてのことを悟っ[た]」<sup>7</sup> と教えています。

わたしたちの個人的な試練が何であれ——それが病気、長期にわたる孤独、あるいは敵対する者からの誘惑や試しであろうと——よい羊飼いはすぐそばにいます。主はわたしたちを名前呼び、「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」<sup>8</sup> と言われるのです。

4つの項目をまとめましょう。

第1に、2マイル目を歩んでください。

第2に、ほほえんでください。あなたの笑顔は、周りの人の助けとなります。

第3に、思いやりを言葉に表してください。

第4に、人々を教会に招いてください。わたしは救い主についての証を述べま



七十人  
バーン・P・スタンフィル長老

す。イエスはキリストであり、生ける神の御子であり、生きておられます。主が御自身の全ての勢力と力をもって天の御父の計画を支持しておられることを知っています。トーマス・S・モンソン大管長が生ける預言者であることを知っています。彼はこの地上における神の業を力強く押し進めるための全ての鍵を持っています。わたしたちが天の御父の子供として、試練や誘惑のときには互いに助け合うことができますと知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

## 光を選ぶ

わたしたちは、預言者の勧告を心に留め、御霊の促しに気づいてそれに従って行動し、神の戒めに従順であり、個人の啓示を求めらることを選ばなければなりません。

### 注

1. ジョン・テラー、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』231 で引用
2. モーサヤ 18:8
3. マタイ 5:41
4. クエンティン・L・クック、"Our Father's Plan Is about Families" (「ルーツテック 2015: 家族歴史大会」における講話, 2015 年 2 月 14 日), lds.org/topics/family-history/fdd/plan-about-families-full; lds.org/media-library/video/2015-07-01-find-take-teach も参照
5. 3 ニーファイ 19:25, 強調付加
6. 教義と聖約 138:3
7. 教義と聖約 88:6
8. マタイ 11:28

**最**近、妻とわたしは、モンタナ州北西部の我が家に近い地域の景観をもっと満喫しようと思いました。そして、廃線になった線路跡にできたハイアワサ・トレイルを自転車で走ることにしました。モンタナ州とアイダホ州の間にある美しいロッキー山脈を横断する道です。この地域の美しい自然を味わいながら親しい友人と過ごす楽しい日を心待ちにしていました。

15 マイル (24 キロ) に及ぶ壮大なサイクリングロードには、深い溪谷をまたぐ鉄橋や険しい山々を貫く長いトンネルがあることは知っていました。そこで、わたしたちはヘルメットと自転車にライトを取り付けて備えました。

この道を走ったことのある人たちは、トンネル内は暗いのでかなり強力なライトが必要だと忠告してくれました。タフトンネルの入り口に当たる大きな岩の前に集合すると、管理者から、道の両側にある深い排水溝やごつごつした岩壁、まったくの暗闇など、道中に待ち受ける危険について幾つか説明がありました。わたしたちは待ちきれないとばかりにトンネル内に突進していきました。走り始めて数分もすると、予告されていたとおりの暗闇に包まれました。わたしが持ってきたライトの光は十分ではなく、すぐ暗闇に飲み込まれてしまいました。突然、わたしは不安に襲われ、混乱して方向が分からなくなってきました。

そうした不安を友人や家族に知られるのはわたしには恥ずかしいことでした。経験を積んだサイクリストであるにもかかわらず、そのときは、まるで初めて自転車に乗ったかのように感じました。混乱が増すにつれて、まっすぐ走ることも難しくなったわたしは、ついに周りを走る人たちに自分の苦境を伝えた後、一人の友人が





放つより強力なライトの方へ近寄っていきことができました。実際、グループの誰もが彼の周りを取り囲み、しっかりと円陣を組み始めました。しばらくの間は友人のそばを離れずに、彼のライトとグループ全員のライトを合わせた光に頼りながら、わたしたちはトンネルの暗闇の奥へとさらに進んでいきました。

何時間もたったように思われたとき、針先ほどの光が見えました。するとたちまち、もう大丈夫だと思い始めたのです。友人たちのライトと、だんだん大きくなる一筋の光の両方を頼りに力強く進み続けました。光が大きくなるにつれて、わたしは徐々に自信を取り戻しました。トンネルの出口はまだるか先でしたが、もう友人の助けは必要ありません。光に向かってペダルを踏む速度が上がるにつれて、不安はすっかり消え去りました。暖かさや輝きに満ちた朝の光の中に駆け込む前でさえ、穏やかな安心感に包まれました。

わたしたちは、信仰の試しを経験する世界にいます。試練に立ち向かう備えはできているという自信があるかもしれませんが、備えは十分でなかったと分かるのです。しかし、友人が暗闇について警告してくれたように、今日、わたしたちも警告されています。霊的な力が持つ強い光で備えるようにと、預言者の声が呼びかけています。

信仰が試されるときのにも同じように、恥ずかしかったり気まづかったり、霊的に混乱したりするかもしれません。こうした感

情がどれくらい深刻で、どれくらい続くかは、たいていの場合わたしたちがどう反応するかで決まります。もし何もしなければ、疑いや高慢、ついには背教がわたしたちを光から遠ざけるでしょう。

このトンネルでの経験から、わたしは大切な教訓を得ました。その幾つかを話しましょう。

**第1に、疑いという闇がどれほど深くても、どのくらいの間、またどの程度影響を受けるかは、自分の選択次第です。**天の御父と御子がどれほどわたしたちを愛しておられるかを忘れてはなりません。御二方がわたしたちをお見捨てになることはありません。わたしたちが助けを求めらるなら、その闇に打ち負かされることもお許しになりません。ガリラヤの海で荒れ立つ波を歩いたペテロの経験を思い起こしてください。周りの冷たい闇に気づいたペテロは、すぐに自分が窮地に立っていることを悟り、瞬時に助けを求めらる選択をしました。救い主の力によって救われると疑うことなく、ただ「主よ、お助けください」<sup>1</sup>と叫んだのです。

普段の生活で、救い主の御手は、信頼する友人や指導者、あるいは愛ある親の助けという形で差し出されることがあります。暗闇でもがいているとき、わたしたちを愛し、わたしたちのためを第一に思ってくれる人たちの光に、一時的に頼ることは何も悪いことではありません。

よく考えてみてください。現代の大きく

広々とした建物にいる誰とも分からない人々の冷やかな声に耳を傾けて、わたしたちを誠心誠意愛してくれる人たちの願いを無視するのはなぜでしょうか。常に存在する反論者は、築き上げるよりは打ち砕き、向上させるよりは笑い物にすることを好みます。ネット上で一瞬のうちに広がる歪んだ情報を介して、あざ笑う声が生滑りに滑り込んできます。それは巧妙に仕組まれ信仰を壊そうとします。自らの永遠の幸福を見知らぬ者の手に委ねることは賢明なことでしょうか。与えるべき光を持たない人や、見えないところで私益を謀る人の言い分を一緒になって言い立てるのは賢明なことでしょうか。こうした身元を明かさな人々の本当の意図を知っていたなら、わたしたちは自分の時間を一瞬たりとも費やさないでしょう。しかし彼らは、監視の目を逃れてソーシャルメディアを悪用しているため、不相应な信頼を得ているのです。

神聖なものを嘲る人々に心を傾けるような選択は、救いと命を与える救い主の光からわたしたちを遠ざけます。ヨハネは次のように記しています。「イエスは、また人々に語ってこう言われた、『わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。』」<sup>2</sup> わたしたちが信仰を築くの助けられるのは、わたしたちを心から愛する人だということをお忘れなくください。

わたしがトンネルの中で恥ずかしく思ったように、疑いを抱いたときに助けを求めらるなど恥ずかしくてできないと思うかもしれませんが、これまでは人から力を求めらる存在だったかもしれませんが、今はわたしたちの方が助けを必要としているのです。救い主がわたしたちに及ぼすことができらる光と慰めの方が、プライドを保つことよりもはるかに大切だと気づくとき、靈感を受けた教会の指導者や親、信頼できる友人の助けを得ることができらる。彼らはいつでも、信仰の試しに立ち向かうわたしたちが自身を強める霊的な確信を得



られるよう助けてくれます。

**第2に、自分自身の内にある霊的な力を強めるために主に頼らなければなりません。**わたしたちはいつまでも他人の光に頼ることはできません。わたしは友人のそばでペダルを踏み続け、グループの安全な囲いの中にとどまるなら、トンネルの暗闇はいつまでも続かないことが分かっていました。しかしわたしの願いは、ひとたび光が見えたら、自分の力で先を進めるようになることでした。主は次のように教えておられます。「わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたがたに近づこう。熱心にわたしを求めなさい。そうすれば、あなたがたはわたしを見いだすであろう。求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。」<sup>3</sup> 主に近づくなら、主が約束を果たして暗闇から引き上げてくださると期待しながら、行動しなければなりません。しかしサタンは、御霊の力を感じたことは一度もないし、すぐにも努力をやめる方が簡単だとわたしたちに思い込ませようとしています。

ディーター・F・ワークトドルフ管長は、「自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみる」よう勧告しています。<sup>4</sup> 先日、わたしの所属するワードの若い男性がこう言いました。「神の業だという以外に、どんな方法でも説明できないと感じるようなことが幾つかあります。」これこそ霊的に健全な考え方です。

疑問と向き合うときや疑うよう誘惑されたとき、かつて自分の心と生活に深く根付いていた霊的な祝福や感情を思い出し、天の御父と御子イエス・キリストに信仰を持たなければなりません。「主とその恵みを疑ってはならない。わたしたちはこれまでの日々をかけて主が真実の御方であることを知ったのだから」<sup>5</sup> という、慣れ親しんだ賛美歌（英語）の勧告が思い出されます。過去の霊的な経験を見下したり軽視したりすれば、わたしたちは神から離れていきます。

日々の生活で輝く光を積極的に認識しようとするなら、光はもっと見つけやすくなります。現代の聖文には、光の定義と、光を受け入れる人への約束が記されています。「神から出ているものは光である。光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついに真昼となる。」<sup>6</sup> わたしたち夫婦と友人たちが光に向かってペダルを踏み続けたときのように、わたしたちが粘り強く求め続ければ続けるほど、主の影響力は生活の中で明るさを増していきます。トンネルの出口に見える光のように、主の影響力は自信と決意と慰めをもたらし、そして、何よりも大切な、主が生きておられることを知る力を与えてくれます。

**第3に、光によって打ち勝つことのできないほど深く恐ろしい、また厄介な暗闇はありません。**先頃ニール・L・アンダーセン長老は次のように教えました。「悪が

世に蔓延<sup>まんえん</sup>するとき、義になかった人々にはそれに対抗する霊的な力があります。世界が霊のよりどころから離れていく中であって、主は、主を求める人たちのために道を用意しておられます。彼らが進みつつある霊的な方向について、より強い確信と、確認<sup>たしな</sup>と自信を与えてくださいます。聖霊の賜物は迫りくる夕闇の中で、明るく光となるのです。<sup>7</sup>

兄弟姉妹、わたしたちはこの世の風潮に潜むあらゆる気まぐれや変化に影響を受けるままにただ放置されてきたわけではありません。わたしたちには疑いを乗り越えて信じることを選ぶ力があります。約束された、悪に対抗する霊的な力を受けるには、預言者の勧告を心に留め、御霊の促しに気づいてそれに従って行動し、神の戒めに従順であり、個人の啓示を求めることを選ばなければなりません。わたしたちは選ばなければならないのです。わたしたちが救い主の光を選ぶことができますように。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. マタイ 14:25 - 31 参照
2. ヨハネ 8:12
3. 教義と聖約 88:63
4. ディーター・F・ワークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、23
5. "We Thank Thee, O God, for a Prophet", *Hymns*, no. 19
6. 教義と聖約 50:24
7. ニール・L・アンダーセン, "A Compensatory Spiritual Power for the Righteous" (ブリガム・ヤング大学教育週間, 2015年8月18日の説教), [speeches.byu.edu](http://speeches.byu.edu).



七十人  
ジェームズ・B・マルティノ長老

# 主に頼れば 答えが見つかる

従順になり、かつて御霊を感じたときのことを思い出し、信仰をもって祈りましょう。答えが与えられます。

**わ** たしが10代の頃、両親は末日聖徒イエス・キリスト教会に入りました。両親が宣教師から教えを受けていたのは知っていましたが、二人だけで宣教師のレッスンを受けていました。

この衝撃的な発表以来、弟たちとわたしも宣教師の話聞くようになり、弟たちは回復のメッセージを喜んで受け入れました。わたしはというと、興味はありましたが、生活を変えたいと心から思うようにはなりません。モルモン書が神の御言葉かどうか祈って尋ねるようという勧めは受け入れて実行したのですが、祈りの答えは受けませんでした。

天の御父がなぜ祈りにこたえてくださらなかったのか、皆さんは不思議に思うかもしれません。確かに、わたしもそうでした。それ以来わたしは、モロナイの約束は正しいことを知りました。神は福音が真実かどうか尋ね求める祈りにこたえてくださいますが、答えは「誠心誠意」<sup>1</sup> 問うときに与えられるのです。わたしたちの好奇心を満たすためだけに答えを下さるわけではありません。

皆さんは恐らく、人生で何かに疑問を抱くことがあるでしょう。どう答えればいいのか分からない問題があるのではないで

しょうか。今日わたしは、皆さんが求めている答えや助けを得るのに役立つような話をしたと思います。この話は、わたしがイエス・キリストの福音に帰依したときから始まります。

## 啓示を受けられるかどうかは、 心の状態や望み次第である

わたしは聖文に出てくる何人かについて

考えてきました。例えば、レーマンとレムエルです。彼らはニーファイと同じように、「善い両親から生まれ」、「父が学んだすべてのことの中から」<sup>2</sup> 教えを受けました。しかし彼らは、父は幻を見る人だと言ってつぶやきました。彼らの目には、父の決断は非論理的でした。神に関する事柄を知らず、そのため、信じようとしなかったからです。<sup>3</sup>

興味深いのは、レーマンとレムエルの選択によって信仰を築く経験のできる道が開かれたことです。彼らは家と財産を後にして出発しました。荒れ野を通る苦難の旅をしました。そして、結局は船を造る作業を手伝い、見知らぬ地に旅立つことに同意したのです。

ニーファイは同じことを経験しました。しかし、これらの行動はレーマンとレムエルの信仰を培ったのでしょうか。ニーファイの信仰は強くなりましたが、彼らはひねくられて腹を立てました。この兄たちは天使を見てその声まで聞いていながら、疑い続けたのです。<sup>4</sup>

人生は誰にとっても容易ではありません。わたしたちは試され、試みられるため



に地上にいます。人生で経験することによってどう対応するかが証に大きく影響することがよくあります。レーマンとレムエルがどんな態度をとったか考えてみてください。父から難しいことを頼まれると、つぶやきました。<sup>5</sup> 真鍮の版を取りに行きましたが、それに失敗すると、諦めてしまいました。「やってみました。他に何ができるというのですか」という態度だったのです。<sup>6</sup>

悪いことをしたと言って悲しみ、赦しを請うたこともありました。<sup>7</sup> 彼らは祈り、赦しを受けました。しかし、その後またつぶやくようになり、祈ることを拒んだと聖典には記録されています。彼らはニーファイのもとに来て、「父が……語った〔言葉の〕……意味が分からない」と言いました。<sup>8</sup> 「主に尋ねたのですか」<sup>9</sup> とニーファイに聞かれたときの答えに注目しましょう。「主に尋ねてはいない。主はこんなことを我々に明らかにしてくださらないからだ」と言ったのです。<sup>10</sup>

### 従順であり続けると答えが得られる

このときニーファイが兄たちに返した言葉が、祈りの答えを常に受けるための鍵となります。

「どうしてあなたがたは、主の戒めを守ろうとしないのですか。なぜ心をかたくなにして滅びを招こうとするのですか。

主が言われたことを覚えていないのですか。主は、『もしあなたがたが心をかたくなにせず、わたしの戒めを熱心に守りながら、答えを与えられると信じて信仰をもってわたしに求めれば、これらのことは必ずあなたがたに明らかにされる』と言われました。』<sup>11</sup>

否定できない霊的な経験をしていながら、ある霊的な習慣がないために神が自分に語りかけてくださったときのことを忘れてしまっている帰還宣教師を、わたしは何人か知っています。このような帰還宣教師と、全ての皆さんに尋ねます。「贖いをもたらす愛の歌を歌おうと感じたことがあ



るのであれば、今でもそのように感じられ〔ますか。〕<sup>12</sup> 今そのように感じていない人は再び感じるようになれるが、ニーファイの勧告を考えてください。従順になり、かつて御霊を感じたときのことを思い出し、信仰をもって祈りましょう。答えが与えられ、救い主の愛と平安を感じるようになるでしょう。思ったほど早くはなく、望むような形ではないかもしれませんが、答えは必ずあります。諦めてはなりません。絶対に諦めないでください。

レーマンとレムエルをモーサヤの息子たちと比較してみましょう。どちらも義にかなった家庭で育ったのに福音から離れました。どちらも天使から悔い改めるよう言われました。しかし、モーサヤの息子たちの行ったことは、どんな点が違っていたのでしょうか。

### 試練は信仰を築く

彼らの伝道は、忘れられない成功を収めました。何千もの人々が改心して主の道に入ったのです。しかし、見落としがちなのは、伝道を始めた頃、彼らが「意気消沈して、まさに引き返そうとした」ことです。しかし、「主は……慰め」てくださいました。彼らは「忍耐して苦難に耐えなさい」と主に諭されました。<sup>13</sup>

### 聖文を研究すると神の御心みこころが分かる

試練を受けてもモーサヤの息子たちがつぶやいたり疑いを抱いたりせず、かえって信仰と決意がさらに堅固になったのはなぜでしょうか。その鍵は、「彼らは正しい理解力を備えた人々であり、また神の言葉を知るために聖文を熱心に調べてきたので、すでに真理を深く知るようになっていた」ことです。<sup>14</sup> 誰でも試練に遭い、疑問を抱きますが、「しっかり鉄の棒につかま〔る〕」<sup>15</sup> ことを忘れてはなりません。「キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げ〔ます〕」<sup>16</sup> 聖文研究を毎日の生活の一部にしなければなりません。これこそが啓示の扉を開いてくれるからです。

### 断食して祈ることにより啓示がもたらされる

モーサヤの息子たちは「そればかりでは〔ありませんでした〕。彼らはしばしば祈り、また断食もしたので、預言の霊と啓示の霊を受けていた」<sup>17</sup> のです。断食して祈ると、霊的な促しを感じやすくなります。目的をもって飲食を断ち、天の御父と交わろうとすることで、「悪のなわをほどき、くびきのひもを解〔く〕」<sup>18</sup> ことができるようになります。断食に祈りが組み合わさると、わたしたちが「呼ぶとき、主は答えら

れ、[わたしたちが] 叫ぶとき、『わたしはここにおる』と言われる」<sup>19</sup> のです。

### 主に頼る

従順や聖文研究、祈り、断食といった、個人の信仰を育てる習慣のおかげで、モーサヤの息子たちの信仰は強くなりました。個人の信仰を育てるこの習慣がなかったことが、レーマンとレムエルが誘惑に負けてつぶやき、疑いを抱いたおもな理由でした。

つぶやきたい誘惑を受けたり疑いが募って信仰を失いそうになったり、試練に耐えられないと感じたりしたことのある人は、主に頼ってください。真理に背を向けたり自分の行動を正当化したりしたことのある人は、主に頼ってください。主が「あなたの心に平安を告げ[られた]」ときのことを思い出せますか。「神からの証よりも大いなる証があるで[しょう]か。」<sup>20</sup> 「今は以前よりもイエス・キリストに近い生活をしているだろうか」と自問しましょう。救い主に頼ってください。

10代の頃の話に戻ります。結局、誠心誠意望むようになりました。教えてくれていた宣教師から、バプテスマを受けるつもりがあるかと聞かれたときのことを覚えています。まだ疑問があると答えました。すると、この宣教師は賢明で、質問があれば答えるが、まずは、彼の質問に答えてほしいと言ったのです。モルモン書は真実か、ジョセフ・スミスは預言者かと聞かれました。分からないけれども知りたいと、わたしは答えました。

疑問の答えを求めた結果、信仰を育むことができました。わたしの場合、答えは何か一つの出来事を通して分かったのではなく、徐々に分かってきました。「言葉を試し」て「ごくわずかな信仰でも働かせ[る]」ようになると、モルモン書が「わたしに良い気持ちを与え」「わたしの理解力に光を注ぎ」「わたしの心を広げ[る]」ようになったのです。結局わたしは、心の中でふ膨らむ<sup>21</sup> と聖文に表現されていること



を体験しました。バプテスマを受けて生涯イエス・キリストに従いたいと思ったのは、このときでした。

わたしは、モルモン書が神の御言葉であることを本当に知っています。ジョセフ・スミスが預言者であったことを知っています。確かに、まだ理解していないことはありますが、わたしには真理に対する証があるので、救い主に近づき、信仰を培うことができます。

兄弟姉妹の皆さん、ニーファイとモーサヤの息子たちのことを思い出してください。彼らは霊的な経験をした後で信仰をもって行動した結果、答えを受け、さらに忠実になりました。疑ってつぶやいたレーマンとレムエルと比べてください。この二人は立派な行いをしたこともありましたが、信仰の伴わない行いはむなししいものです。答えを頂くためには、行いの伴う信仰を持たなければなりません。

今朝皆さんが話を聞いていて、疑問の答えを知るため、あるいは直面している問題の靈感された解決方法を知るためになす

べきことが、御霊によって思いと心に告げられるのを感じたのであれば、幸いです。イエスがキリストであられることを、厳粛に証します。主に頼ってください。主は皆さんの祈りにこたえてくださいます。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

### 注

1. モロナイ 10:4
2. 1 ニーファイ 1:1
3. 1 ニーファイ 2:11 - 12 参照
4. 1 ニーファイ 4:3 - 4 参照
5. 1 ニーファイ 3:5 参照
6. 1 ニーファイ 3:14 参照
7. 1 ニーファイ 7:20 - 21 参照
8. 1 ニーファイ 15:7
9. 1 ニーファイ 15:8
10. 1 ニーファイ 15:9
11. 1 ニーファイ 15:10 - 11
12. アルマ 5:26
13. アルマ 26:27
14. アルマ 17:2
15. 1 ニーファイ 8:30
16. 2 ニーファイ 32:3
17. アルマ 17:3
18. イザヤ 58:6
19. イザヤ 58:9
20. 教義と聖約 6:23
21. アルマ 32:27 - 28 参照



十二使徒定員会  
ダリン・H・オックス長老

# イエス・キリストの 贖罪しよくびいにより強められる

贖罪を成し遂げられたことにより、救い主は死すべき状態のあらゆる苦痛や苦難を救う力 — 助ける力 — をお持ちです。

**死**すべき状態には、「死」と「罪の重荷」が確実に含まれます。イエス・キリストの贖罪は、死すべき状態に含まれるこの二つの「确实」を埋め合わせてくれます。しかし、人は死すべき状態の格闘の中で、死と罪以外にも様々な試練に遭遇します。救い主は、同じ贖罪により、死すべき状態の試練を克服するのに必要な強さを授けてくださいます。それが今日のわたしのテーマです。

## 1.

贖罪に関する聖文の大半は、救い主が死の縄目を絶ち、人の罪のために苦しまれることを述べています。モルモン書に記された自身の説教の中で、アルマはこれらの基本事項を教えています。しかしアルマは、救い主が御自分の民の苦痛や病気や弱さを経験されることについても、聖典の中で明瞭に断言しています。

アルマは救い主の贖罪のその側面についてこう説明しています。「そして神の御子は、あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられる。これは、神の御子は御自分の民の苦痛と病を身に受けられるという御言葉が成就するためである。」(アルマ7:11。2ニーファイ9:21も参照)

想像してください。贖罪のときに、救い主は「あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられ」たのです。ボイド・K・パッカー会長が説明したように、「救い主には、支払うべき負債はまったくありませんでした。何一つ間違いを犯されませんでした。にもかかわらず、人に知られている罪悪感、嘆きと悲しみ、苦痛、また屈辱の全て、さらに知的、情緒的、肉体的苦痛の全てを合わせて、救い主はその全てを経験されたのです。」<sup>1</sup>

主はなぜ死すべき状態に含まれる「あらゆる」試練を受けられたのでしょうか。アルマはこう説明しています。「神の御子は、肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられる。」(アルマ7:12)

例えば使徒パウロは、救い主が「試練を受けて苦しまれたからこそ、試練の中にある者たちを助けることができる」と宣言しています(ヘブル2:18)。同様に、ジェームズ・E・ファウスト管長は、「救い主は、わたしたちが感じ経験し得る、あらゆる事柄に耐えられたので、弱い人がさらに強くなるように助けることができになります」<sup>2</sup>と教えています。

救い主は、「御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように」、死すべき状態に含まれるあらゆる試練を「肉において」受けられました。ですから主は、人の苦闘、心痛、試練、苦痛を御存じなのです。それは、主が贖罪の本質的な部分として、それらを全て進んで経験されたからです。それゆえに、主の贖罪を通して、主は人を救うことができになります。すなわち、



全てに耐える強さを人にお授けになれるのです。

## II.

アルマ書第7章の教えは、贖罪の力のこの重要な側面をどの聖句にも増して明瞭に説明していますが、これは聖典全体を通じて教えられているものでもあるのです。

イエスは教導の業を始められたとき、御自分は「打ちひしがれている者」を癒やすために遣わされたと言われました（ルカ4:18）。聖書は、主が「病気」の人々を癒やされる様子を何度も描写しています（ルカ5:15;7:21）。モルモン書は、主が「どんなことでも苦しんでいる」人々を癒やされる様子を記録しています（3ニーファイ17:9）。マタイによる福音書には、主が彼らを癒やされたのは「預言者イザヤによって『彼は、わたしたちのわずらいを身に受け、わたしたちの病を負うた』と

言われた言葉が成就するため」であると記されています（マタイ8:17）。

イザヤは、メシヤは人の「病」と「悲しみ」を担われたと教えています（イザヤ53:4）。イザヤはまた主は人を強めてくださると教えました。「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け[る。]」（イザヤ41:10）

ですから、わたしたちはこう歌うのです。

恐るな、われは汝が神  
常に汝と共にあり  
助け与え、強くして  
わが正しき力をもて  
汝れを支え、励まさん<sup>3</sup>

使徒パウロは、自身の死すべき状態の試練について、「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」

と記しました（ピリピ4:13）。

贖罪を成し遂げられたことにより、救い主は、死すべき状態のあらゆる苦痛や苦難を救う力—助ける力—をお持ちです。時に主の力は弱さを癒やしてくれます。しかし、主は弱さに耐える強さを授けることによって救い、助けてくださることがあるということも、聖文と経験から理解できます。<sup>4</sup>

## III.

救い主が経験された、死すべき状態の苦痛と苦難と弱さとは、どのようなものでしょうか。

人は皆、ときどき、苦痛と苦難と弱さを経験します。自分の罪が原因で経験する事柄とは別に、死すべき生涯には、困難や心痛、苦しみが満ちています。

自分自身も自分の愛する人たちも、病を経験します。誰でも、時に、外傷やその他の肉体的あるいは精神的な困難のために

救い主は、死すべき状態のあらゆる苦痛や苦難を救う力—助ける力—をお持ちです。  
主は、わたしたちが弱さに耐えられるよう強さや忍耐を与えられることで助け、救われます。



人種や文化による偏見は、若人にも成人にも疎外感をもたらします。



人は皆、愛する人の死によって深い悲しみを経験します。



多くの人にとって、うつ病は、つらく、長期にわたって能力を奪う病です。



苦痛を味わいます。人は皆、愛する人の死によって深い悲しみを経験します。人は誰でも、個人的な務めや家族関係、仕事において、失敗を経験するものです。

自分が真理であると確信している事柄を伴侶や子供が拒絶し、義になかった道からそれていくとき、イエスの印象的なたとえに出てくる放蕩息子の父親のように、非常にストレスの強い苦痛を経験します（ルカ 15：11 - 32 参照）。

詩篇の作者が宣言したように、「正しい者には災が多い。しかし、主はすべてその中から彼を助け出される」のです（詩篇 34：19）。

ですから、賛美歌は「天が癒せぬ悲しみなど地上にはない」<sup>5</sup> という真理を断言しているのです。人を癒やすのは、救い主と主の贖罪です。

10代の若者にとって、楽しそうに活動をしている仲間たちから意図的に仲間外れにされたときに抱く疎外感には特に深いものです。人種や文化による偏見は、若人にも成人にも疎外感をもたらします。失業や、挫折など、人生には様々な試練があります。

死すべき状態の弱さの中で、自分の罪によらないものについてもう少し話しま

す。生まれつき肉体的または精神的な障がいを持つ人々と、彼らを愛し、世話をする人々は苦しみを体験します。多くの人にとって、うつ病は、つらく、長期にわたって能力を奪う病です。もう一つのつらい試練は、孤独な境遇にあることです。この状態に悩んでいる人々は、救い主もこの種の苦しみを体験されたこと、そして、贖罪を通じて、主はそれに耐える強さを与えてくださることを忘れないでください。

依存症ほど人生を物質的または霊的に破壊するものは、ほとんどありません。その幾つかは、ポルノグラフィや薬物に対する依存症のように、罪深い行為によって引き起こされます。その行いを悔い改めたとしても、依存症が残るおそれがあります。救い主の強力な力によってその苦しみを和らげていただくことができます。同じことが、罪を犯して投獄された人が経験する難しい状況にも当てはまります。そのような状況にいる人がその力を受けたことを証する最近の手紙には、こう記されています。「わたしは救い主がこの廊下を歩いておられることを知っています。この刑務所の壁の内側で、救い主の愛を感じるのがよくあります。」<sup>6</sup>

わたしは、詩人であり友人であるエマ・

ルー・テインの証を愛しています。わたしたちが歌っている賛美歌の歌詞として、彼女は次のように書いています。

主の慰め、平安を  
癒やし求めて、祈る  
我が心に 潜む闇  
へりくだりて探らん

我が苦しみ 慰める  
癒やしの御手は、いずこに  
我が悲しみ、我が痛み  
悟り得るは、主一人<sup>7</sup>

#### IV.

イエス・キリストの贖罪を通して救われ、強められるのは誰でしょうか。救い主は「御自分の民の苦痛と病」を身に受け、「御自分の民を……救う」とアルマは教えています（アルマ 7：11 - 12、強調付加）。この約束の中の「御自分の民」とは誰でしょうか。死すべき状態を経験する全ての人——贖罪を通して復活を経験する全ての人——でしょうか。それとも、儀式と聖約を通して資格を得た、選ばれた僕や はしためでしょうか。

「民」という言葉は聖典の中でさまざま



な意味を持ちます。救い主が「御自分の民」を救われるという教えに関しては、「神は民がどの地に住んでいようとも、すべての民を心にかけてくれる」という、アンモンが別の箇所 で用いた意味が最もよく当てはまります(アルマ 26:37)。それはまた、天使たちが幼子キリストの降誕を告げて「すべての民に与えられる大きな喜び」と言ったときに用いた意味です(ルカ 2:10)。

死すべき状態において<sup>あがな</sup>の経験をなさったおかげで、救い主は全地に住む全ての男女を慰め、癒やし、強めることができになりますが、主は、主と主の助けを求め人だけにそうなさるのだとわたしは信じています。使徒ヤコブは「主のみまえにへりくだれ。そうすれば、主は、あなたがたを高くして下さるであろう」と教えています(ヤコブの手紙 4:10)。わたしたちは、主を信じ、主の助けを祈り求めるときに、その祝福を受ける資格があるのです。

神を畏れる何百万もの人々が、苦しみから救い出してくださるように祈っています。救い主は、「万物の下に身を落と」されたことを明らかにされました(教義と聖約 88:6) ニール・A・マックスウェル長老が教えたように、「主は、『万物の下に身を落と』したので、人類のあらゆる苦難について、自ら完全に悟られたのです。」<sup>8</sup> 万物の下に身を落とされたからこそ、主は人を高くし、苦しみに耐える強さを与える

立場にいらっしゃると言っても差し支えないでしょう。わたしたちに必要なのは、求めることだけです。

現代の啓示の中で何度も主は「それゆえ、あなたはわたしに求めれば、与えられるであろう。たただけ、開かれるであろう」と宣言されました(例として教義と聖約 6:5;11:5。マタイ 7:7も参照)。確かに、普遍の愛をお持ちの天の御父とその愛子イエス・キリストは、信仰をもって求める全ての人の祈りを聞き、適切な方法でこたえてくださいます。使徒パウロが書いたように、わたしたちは「すべての人の救主、特に信じる者たちの救主なる生ける神に、望みを置いて」います(1テモテ 4:10)。

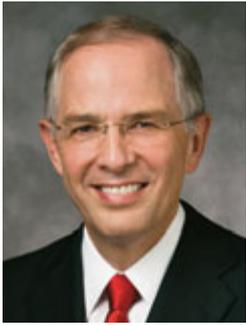
わたしはこれらのことが真実であると知っています。救い主の贖罪には、確かに、万人の復活による不死不滅を保証し、悔い改めとバプテスマにより罪から清められる機会を与える以上の力があります。主の贖罪は、さらに、死すべき状態の重荷を負う強さを与えるために、死すべき状態の人間の弱さを全て経験された御方に助けを請う機会をも提供してくれるのです。主はわたしたちの苦痛を御存じで、わたしたちのためにおられます。良いサマリヤ人のように、主はわたしたちが傷ついているのを見つくと、傷に包帯をして、介抱してくださるでしょう(ルカ 10:34 参照)。人を癒やし強めるイエス・キリスト

とその贖罪の力は、それを求めるわたしたち全員のためにあるのです。そのことを証するとともに、その全てを可能にしてください。救い主について証します。

いつの日か、死すべき状態の全ての重荷が過ぎ去り、もはや苦痛は完全になくなります(黙示 21:4 参照)。救い主の贖罪の希望と力、—すなわち、不死不滅の保証と、永遠の命の機会と、助けを請うときにのみ授けられる支えと強さ—を、わたしたちがよく理解できますよう、イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。■

#### 注

1. ボイド・K・バック「救い主の私心のない神聖な犠牲」『リアホナ』2015年4月号、38
2. ジェームズ・E・ファウスト「贖い—最も大いなる希望」『リアホナ』2002年1月号、22
3. 「主のみ言葉は」『賛美歌』46番
4. ジェフリー・R・ホランド、*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon* (1997年)、223–234; デビッド・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号、12–19; ブルース・C・ヘーフエンとマリエ・K・ヘーフエン、「‘Fear Not, I Am with Thee’: The Redeeming, Strengthening, and Perfecting Blessings of Christ’s Atonement’, *Religious Educator*, 第16巻1号(2015年)、11–31、特に18–25; タッド・R・カリスター、*The Infinite Atonement* (2000年)、206–210
5. “Come, Ye Disconsolate”, 『賛美歌』(英文) 115番
6. 2014年にボビー・O・ヘイルズビショップに届いた手紙の抜粋。ヘイルズビショップは、ユタ中部更正施設のヘンリー支部を管理している。
7. “Where Can I Turn for Peace?”, 『賛美歌』(英文) 129番
8. ニール・A・マックスウェル「『キリストの贖いの血の効力を及ぼす』」『聖徒の道』1998年1月号、25



十二使徒定員会  
ニール・L・アンダーセン長老

# 信仰は偶然ではなく、 選びによって与えられる

イエス・キリストを信じる信仰は、天からの賜物であり、わたしたちが信じることを選び、それを求め、それにしっかりとつかまるときに与えられます。

**救**い主は周囲の人々の信仰の強さや弱さに気づいておられました。ある人には「あなたの信仰は見あげたものである」<sup>1</sup>とお認めになり、別の人には「ああ、信仰の薄い者たちよ」<sup>2</sup>と嘆かれました。「あなたがたの信仰は、どこにあるのか」<sup>3</sup>とお尋ねになったこともありますし、「[全てのイスラエルの中にも]これほどの信仰を見たことがない」<sup>4</sup>と賞賛されたこともありました。

わたしは自分にこう問いかけます。「救い主はわたしの信仰をどのように見ておられるだろうか。」今晚わたしは皆さんにお尋ねします。「救い主はあなたの信仰をどのように見ておられるでしょうか。」

主イエス・キリストを信じる信仰は、空中に漫然と漂う軽いものではありません。信仰は偶然に舞い降りて来るものでも、生得権として備わるものでもありません。それは、聖文にあるように、「まだ見ていない事実を確認すること」なのです。<sup>5</sup>信仰は霊的な光を放ち、光は見分けがつくものです。<sup>6</sup>イエス・キリストを信じる信仰は、天からの賜物であり、わたしたちが信じることを選び<sup>7</sup>、それを求め、それにしっかりとつかまるときに与えられます。皆さんの信仰は強くなって

るか、弱くなっているかのどちらかです。信仰は力の源であり、この世だけでなく、幕を越えて進歩するうえでも重要なものです。<sup>8</sup>キリストの恵みにより、わたしたちはいつの日か主の御名を信じる信仰を通して救われるのです。<sup>9</sup>将来どれほどの信仰を抱くかは、偶然ではなく、選びによるのです。

## 若いブラジル人の信仰

一か月前、ブラジルでアロルド・カバルカントと会いました。彼は21歳のときバプテ

スマを受け、家族の中で初めての教会員となりました。燃えるように輝く信仰を持っていた彼は、すぐに伝道に出る準備を始めました。しかし、悲しいことに、アロルドの母親ががんと診断されました。3か月後、母親が亡くなるわずか数日前、彼女はアロルドに次のような最大の関心事を話しました。それは、助けてくれる親戚はいないこと、そしてアロルドは独りで、二人の妹と一人の弟の面倒を見なければならぬことです。彼は、その務めを果たすことを、死が目前の母親に厳かに約束しました。

昼は銀行で働き、夜は大学に通いました。バプテスマの聖約を守り続けましたが、専任宣教師になるという希望はかなわぬ夢となってしまいました。彼の使命は家族の世話をすることになりました。

数か月後、聖餐会のお話を準備しているとき、サムエルがサウル王にとがめるように語った、「従うことは犠牲にまさる」という言葉を研究しました。<sup>10</sup>アロルドは、とても不可能と思える靈感を受けました。それは伝道に出るようという預言者の召しに従う必要があるということでした。アロルドは目の前に立ちはだかるさまざまな障害にもめげず、大きな信仰を抱いて前進しました。

アロルドはほんの少しのお金も無駄にせず貯蓄し、23歳で伝道の召しを受けまし



た。弟に、家族のために毎月自分の口座から幾ら下ろせばよいかを伝えました。アロルドは、伝道資金も弟や妹たちの生活費もまだ不足していましたが、信仰を持って宣教師訓練センターに入りました。一週間後、その後与えられることになる多くの祝福の最初の一つを受けました。思いもよらないことに、アロルド・カバルカンテ長老の勤めていた銀行が、銀行を辞めるに当たって払われるはずの金額を2倍にしてくれたのです。この他にも多くの奇跡により、伝道中、伝道資金や家族の生活費に必要な収入を賄うことができたのです。

20年後の現在、カバルカンテ兄弟はブラジル、レシフェのボア・ピアジェムステーキのステーキ会長として奉仕しています。当時を振り返って、彼はこう語りました。「義にかなった生活をしようと努力するとき、救い主の愛と導きを感じました。わたしの信仰は強められ、多くのチャレンジを克服することができたのです。」<sup>11</sup> アロルドの信仰は偶然ではなく、選びによって与えられたのです。

多くのクリスチャンの男女が主イエス・キリストに対する深い信仰を抱いていま



現在、アロルド・カバルカンテ(左)はブラジル、レシフェのボア・ピアジェムステーキのステーキ会長として奉仕しています。



す。わたしたちは彼らを尊重し、尊敬しています。

### 中立地帯にはもういない

しかし兄弟の皆さん、わたしたちはさらに多くを与えられています。すなわち、聖なる天使によって地上に回復された神の力、神の神権です。これがために、皆さんは他の人々と異なるのです。皆さんは善と悪の中立地帯にはもういません。皆さんの信仰は偶然ではなく、選びによって成長するのです。

どのように生活するかによって、信仰は増し加わったり衰えたりします。祈り、従順、正直、義にかなった思いと行い、無私心は、信仰を増し加えます。これらがなければ、信仰は衰えます。なぜ救い主はペテロに次のように言われたのでしょうか。「わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。」<sup>12</sup> なぜなら、わたしたちの信仰を打ち砕くことを喜びとする敵がいるからです。あらゆる努力をして、信仰を守ってください。

### 正直な問いかけ

正直な問いかけをすることは、信仰を培ううえで重要なことであり、知性と感情の両方を使います。主は言われました。「わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。」<sup>13</sup> 全ての答えがすぐに与えられるわけではありませんが、ほとんどの疑問は心からの研究と神に答えを願ひ求めることによって解決します。心を働かせずに頭だけを使っても霊的な答えはもたらされません。「神の思いも、神の御霊〔を通してで

なければ〕、知るものはない。」<sup>14</sup> そしてイエスはわたしたちを助けるために「別〔の〕助け主」を送ると約束し、その御方を「真理の御霊」と呼ばれました。<sup>15</sup>

信仰は決して、全ての疑問への答えを求めたりはしません。しかし信仰は時折、「全てのことを知っているわけではないが、主の弟子としての道を歩み続けるのには十分な知識が確かにある」ことを認識しつつ前進するための確信と勇気を求めます。<sup>16</sup>

絶えず疑いを持ち、信仰の弱い人々や不信者からの答えによって疑いを育てていくと、イエス・キリストや回復を信じる信仰が弱められます。<sup>17</sup> 「生れながらの人は、神の御霊の賜物を受けられない。それは彼には愚かなものだからである。」<sup>18</sup>

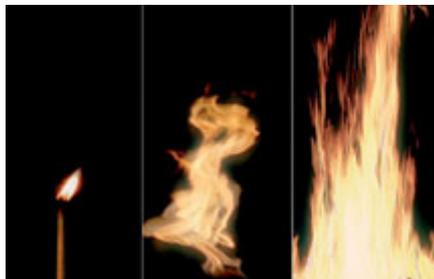
例えば、預言者ジョセフ・スミスに関する疑問は目新しいものではありません。この業が開始されたときから、ジョセフを批判する人々によって投げかけられてきました。21世紀の色眼鏡を通して、約200年前の預言者ジョセフについての出来事や語られた言葉について、正直なところ疑問を抱いている信仰ある人々に、幾らか友人として次のような勧告をしてもよろしいでしょうか。ジョセフ兄弟をそんなに責めないでください。将来、皆さんは今日のインターネットのあらゆる検索エンジンを駆使した場合よりも100倍の情報を得られるようになるでしょう。そしてそれらは、全てを御存じの天の御父からもたらされるのです。<sup>19</sup> ジョセフの人生全体について考えてみてください。すなわち、貧しい家に生まれ、正式な教育はほとんど受けず、90日足らずでモルモン書を翻訳したのがジョセフで

す。<sup>20</sup> 何万人という正直で献身的な男女が回復の大義を受け入れました。38歳で、ジョセフは自らの血をもって自分の証<sup>あかし</sup>を結び固めたのです。わたしはジョセフ・スミスが神の預言者であったこと、そして現在もなお預言者であることを証します。このことを心に留めて、前に進んでください。

### わたしたちの信仰を増してくれる賜物

聖書とモルモン書は、わたしたちにイエスがキリストであり、神の御子であられるという絶対的な確信を与えてくれます。わたしが手にしているのは、1852年にジョン・テラーがフランスで御業<sup>みわざ</sup>を始めたときに出版されたフランス語のモルモン書の初版本です。モルモン書は現在、世界中で110の言語に完訳、あるいは部分訳され、回復が真実であるという霊的かつ目に見える証拠を与えてくれています。皆さんが最後にモルモン書を初めから終わりまで読んだのはいつですか。もう一度読み直してください。モルモン書は皆さんの信仰を増し加えます。<sup>21</sup>

わたしたちの信仰を増してくれるもう一つの神からの賜物は、大管長会と十二使徒定員会の導きです。今日、わたしたちは3人の新しい十二使徒を支持しました。ラズバンド長老、ステイブンソン長老、レンランド長老を十二使徒定員会の神聖なつながりに心から歓迎します。パウロはこう言いました。



皆さんの信仰の炎が初めは小さなものであっても、義になつた選<sup>おしえ</sup>びによって、神へのさらに大きな信頼がもたらされ、皆さんの信仰は成長します。

「彼は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし〔て召された〕……。

聖徒たちをととのえて……，

わたしたちのすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、……

だまし惑わす策略により、……様々な教<sup>おしえ</sup>の風に吹きまわされたり、もてあそばれたりすることがな〔いたためである。〕<sup>22</sup>

大管長会と十二使徒定員会の導きは、わたしたちの信仰を守る助けとなります。

皆さんの信仰の炎が初めは小さなものであっても、義になつた選<sup>おしえ</sup>びによって、神へのさらに大きな信頼がもたらされ、皆さんの信仰は成長します。現世の試練は風を送り、暗闇に隠れる邪悪な力は信仰の炎を消そうとたくらみます。しかし、皆さんが続けて良い選<sup>おしえ</sup>びをし、神を信頼し、御子に従うとき、主が光と知識を増してくださり、あなたの信仰は、安定し、揺るぎないものとなります。トーマス・S・モンソン大管長は次のように述べました。「恐れてはなりません。……未来は皆さんの信仰と同じく希望に満ちています。」<sup>23</sup>

### ポーター、ゼーン、そしてマーク・オープンショー

この教会の若い男性たちの信仰はすばらしいです。

今年の6月12日、わたしは電子メールを受け取りました。ユタのあるワードのビショップと彼の妻と二人の子供が飛行機事故で亡くなったという知らせでした。マーク・オープンショービショップが操縦していた飛行機が、小さな飛行場を飛び立った後で墜落したのです。オープンショービショップと妻のエイミー、夫妻の子供であるタナーとエリーがその事故で亡くなりました。飛行機の座席から投げ出された5歳の息子、マックスだけは、数か所の骨折だけで奇跡的に助かりました。

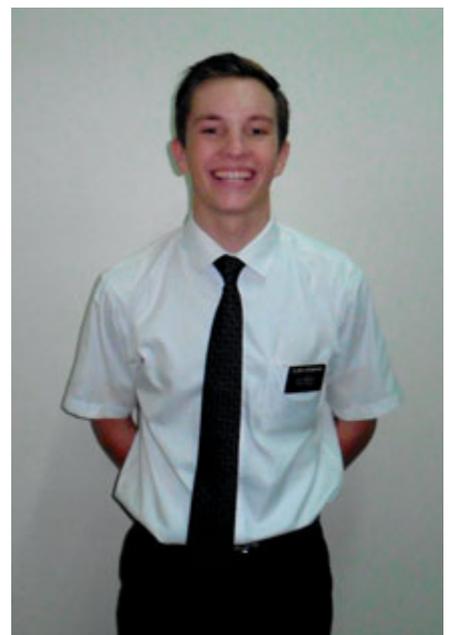
息子のポーター・オープンショー長老はマーシャル諸島マジュロ伝道部で伝道中

であり、17歳の息子、ゼーンは、学校の文化交流プログラムでドイツにいたことが分かりました。

わたしはクリスマス島にいるオープンショー長老に電話しました。オープンショー長老は、父母と弟と妹の突然の死の悲しみに打ちひしがれながらも、すぐに二人の弟たちについて心配になりました。

最終的に、オープンショー長老と弟のゼーンは二人で話し合い、家のことは他の人に手伝ってもらい、長老は伝道地に残ることに決めました。二人は、両親もそれを望むだろうと分かっていたのです。

オープンショー長老と話したとき、彼の悲しみと同時に消えることのない信仰の炎も感じました。彼はこう語ってくれました。「わたしには確信があります。何の疑いもなく、家族にもう一度会えると知っています。……試練の中にあっても、常に……主イエス・キリストにあつて力を見いだせます。……わたしと弟たちが〔この〕とても難しい試練に遭う中で、神がその全



ポーター・オープンショー長老は、マーシャル諸島マジュロ伝道部で伝道中です。



能の御手によって助けてくださるのをはっきりと目にしてきました。』<sup>24</sup>

わたしがゼーンに初めて会ったのは葬儀のときでした。礼拝堂に置かれた4つのひつぎを前にして、17歳の彼が聴衆に向かって話すのを聞いたとき、わたしはその信仰に驚かされました。彼は次のように語ったのです。「今日、ぼくたちは、へりくだった心と疲れた魂をもって、母と父、タナーとエリーを追悼するために集まりました。……ぼくたちはともに語り合い、ともに涙し、ともに思い出し、ともに神の御手を感じてきました。……」

事故の知らせを聞いた次の日、ぼくのか



最終的に、オープンショー長老と弟のゼーンは二人で話し合い、家のことは他の人に手伝ってもらい、長老は伝道地に残ることに決めました。二人は、両親もそれを望むだろうと分かっていたのです。

ばんの中に母からの手紙を見つけました。そこにはこう書いてありました。『ゼーン、あなたが何者であり、どこから来たかを覚えていてください。わたしたちはあなたのために祈っているし、あなたを恋しく思っているわ。』母からの最後の言葉としてこれ以上にふさわしい言葉はありません。母が、タナーやエリーや父とともに……〔弟たちや〕ぼくのために祈ってくれていると知っています。ぼくが、自分が何者かを覚えているようにと祈ってくれていることを……知っています。なぜなら、皆さんと同じように、ぼくは神の子であり、神がわたしをこの地上に送ってくださったからです。どんなに孤独に思っても、神はぼくたちをお見捨てにならないことを……証します。』<sup>25</sup>

愛する友人の皆さん、皆さんの信仰は誕生とともに始まったのでもなければ、死とともに終わるわけでもありません。信仰は選びです。自分の信仰を強め、救い主から「あなたの信仰は見あげたものである」という承認の言葉を受けるにふさわしく生きてください。そうするときに、イエス・キリストの恵みを通して、皆さんの信仰により、いつの日か、愛する人々とともに、神の御前に清く汚れない状態で立つことができることを約束します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. マタイ 15:28
2. マタイ 6:30
3. ルカ 8:25
4. マタイ 8:10
5. ヘブル 11:1
6. アルマ 32:35 参照
7. L・ホイットニー・クレートン「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号、36-39 参照
8. *Lectures on Faith* (1985年)、3 参照
9. エペソ 2:8 参照
10. サムエル上 15:22

11. 2015年8月29日、ブラジル、サルバドールにて、アロルド・カバルカンテとの個人的な会話。2015年8月31日付けの電子メールに加えて、妹たちや弟の世話をするという、母親に対するアロルド・カバルカンテの約束についての話は他にもたくさんある。母親の死後数年間、彼は弟や妹たちを自分の「子供たち」と呼んだ。伝道中、クリスマスや母の日の手紙や電話は、多くの場合、それぞれの家族の個々の課題に関する話だった。伝道後の偉大な犠牲を通して、アロルドは彼らの教育と弟の伝道のための財政的な責任を負った。アロルドは妹たちと弟が結婚するまで待ち、自身は32歳で結婚した。彼らは非常に親密な家族関係を続けている。
12. ルカ 22:32
13. 教義と聖約 8:2
14. 1コリント 2:11
15. ヨハネ 14:16-17
16. アダム・コッター「疑念や疑問が生じたら」『リアホナ』2015年3月号、39-41
17. ニール・A・マックスウェル長老はかつて次のように語った。「教会について、離反者の目を通してだけの研究を主張する人がいます。それはイエスを理解するためにユダにインタビューするようなものです。離反者は常に、自分が離反した理由よりも、自分自身について語ります。」(“All Hell Is Moved” [ブリガム・ヤング大学ディボーションナル、1977年11月8日]、3、speeches.byu.edu)
18. 1コリント 2:14
19. 「わたしは自分が完全であると言ったことは一度もありません。しかし、わたしが教えてきた啓示には、まったく誤りがありません。」(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』522)
20. ジョン・W・ウェルチ、ティム・ラスポーン共著、“The Translation of the Book of Mormon: Basic Historical Information,” (Foundation for Ancient Research and Mormon Studies, 1986)
21. モルモン書に対する霊的な証は、末日聖徒に改宗する要となるものである。その証は、何度も何度も更新する必要がある。そうしなければ、霊的な感覚は消えていき、人は以前に感じた力をもう思い出さなくなる。「民は前に聞いたあの数々のしるしと不思議を忘れ始め、また……天からの不思議に次第に驚かなくなってきた。そして、彼らの心はかたくなになり、思いはくらみ、彼らはかつて見聞きしたすべてのことを信じなくなった。……そして、……彼らを惑わして、キリストの教義は愚かでむなしいものであると信じさせた。」(3ニーファイ 2:1-2)
22. エペソ 4:11-14
23. トーマス・S・モンソン「元気を出しなさい」『リアホナ』2009年5月号、92
24. ボーター・オープンショー長老からの個人的な電子メール、2015年8月23日付
25. ゼーン・オープンショーが家族の葬儀で語った言葉、2015年6月22日



七十人  
ランドール・K・ベネット長老

## 次の一步

愛に満ちた天の御父とその御子イエス・キリストは……みもとに戻るための次の一步を踏み出すよう招いておられます。待たずに、今踏み出してください。

**最**近、あるすばらしい末日聖徒の集会の中で、わたしの心は沈みました。「天のお父様と再び住みたいと思う人？」との質問に、全員が手を挙げましたが、「その自信がある人？」という質問がなされると、残念ながら、驚いたことにほとんどの手が下がったのです。

現在の自分の姿と、将来になりたい自分の姿のギャップを見ると、わたしたちの多くが信仰と希望を失いがちです。<sup>1</sup>

「清くない者は神とともに住むことができない」<sup>2</sup>ので、神とともに再び住むためには、罪を洗い清められ、<sup>3</sup>清い者となる必要があります。<sup>4</sup>それを一人で成し遂げることが誰にもできません。しかし、わたしたちは一人ではありません。決して一人ではないのです。

わたしたちには、イエス・キリストとその贖罪のおかげで天の助けがあります。<sup>5</sup> 救い主は言われました。「あなたがたはわたしを信じるならば、わたしの心にかなうことを何事でも行う力を持つであろう。」<sup>6</sup> 信仰を行使するとき、信仰は増します。

天の御父のみもとに戻る旅の助けになる3つの原則についてともに考えてみましょう。

### 子供のようになる

わたしの一番幼い孫が1番目の原則をよく示してくれます。ほうことから、やがて立つことを覚えると、歩こうとするようになります。

最初の何度かは、転んでは泣き、「もう二度とやってみるものか。ひたすらはい続けてやる」といった表情をします。

彼が転んでも、愛に満ちた両親は彼には見込みがないとか、決して歩けるようにならないだろうとは感じません。その代わりに、腕を広げて彼の名を呼び、彼がこちらを見るようにします。すると、彼は愛に満ちた腕に抱かれようとしてもう一度歩こうとします。

愛に満ちた親は常に、子供が正しい方向にわずかに歩んでくれるだけでも歓迎しようと腕を広げて、待ち構えています。親は、子供が何度も試みることで進歩と成功に導かれることを知っているのです。

救い主は、神の王国を受け継ぐために、わたしたちが幼子のようにならなければならないと教えられました。<sup>7</sup> したがって、霊的な側面から言えば、第1の原則は、わたしたちが子供のときのように行う必要があるという





ことです。<sup>8</sup>

子供のような謙遜さをもって、天の御父と救い主に進んで心に向け、御二方<sup>おふたかた</sup>に向かって歩み続け、たとえ失敗しても決して希望を失わないことです。愛に満ちた天の御父は、わたしたちの信仰を込めた一歩ずつの歩みをたとえ失敗したとしても喜んでくださいます。御父は、立ち上がってもう一度やってみようとする一つ一つの努力を喜んでくださるのです。

### 信仰をもって行動する

第2の原則は、二人の信仰深い聖徒が示してくれました。二人とも永遠の伴侶を見つけたいと心から望んでいました。二人とも祈りの気持ちで、信仰を込めて行動しました。

ロシアの末日聖徒のユーリは遠く離れた神殿へ行くために犠牲を払い、貯金をしました。列車の中で彼は明るい表情の美しい女性に気づき、彼女に福音を紹介すべきだと思いました。他に何をしたらよいか分からず、彼女に気づかれることを願いながら、モルモン書を読み始めました。

ユーリは、マリヤというその女性がすでに末日聖徒であるとは知りませんでした。マリヤの方も、ユーリが会員であるとは知らず、彼に福音を分かち合うべきだという促しに従って、彼に気づかれることを期待しながら、自分のモルモン書を読み始めました。

ユーリとマリヤが同時に顔を上げたとき、互いの手の中にあるモルモン書を見て

驚きました。恋に落ちた二人は、その後神殿で結び固められました。今日、ロシア、ボロネジのユーリ・クテポフとマリヤ・クテポフは、永遠の夫婦として、ロシアの教会の発展にとって意義深い貢献をしています。

ここで強調したい点は、単にこの夫婦の信仰に基づく行動だけではなく、第2の原則、すなわち、主はわたしたちの自発的な信仰の行いに対して、主御自身が約束された祝福をもって、何倍にも報いてくださるということです。自発的に一歩を踏み出すなら、主の約束された祝福によって、ちょうどよい報いを受けるのではなく、それをはるかに上回る報いを受けるのです。

天の御父と救い主は、何とかして祝福したいと望んでおられます。御二方は、御自分が与えられたものの10分の1しか求めないのに、天の窓を開くと約束しておられるのです！<sup>9</sup>

イエス・キリストを信じる信仰を持って行動し、一歩を、特に、変わることや悔い改めが必要な、難しい一歩を踏み出すときいつも、わたしたちは祝福されて強さを賜るのです。<sup>10</sup>

主は次の一歩へ向かって、また次の一歩を<sup>ついで</sup>通して、導いてくださることを証します。天の御父とその御子イエス・キリストを信じる信仰を持って、進んで努力し、悔い改め、進み続けるなら、主はその努力の何倍も大きな力を祝福してください。

霊的な賜物は、神を愛し、神の全ての戒めを守る人だけでなく、「そうしようと努め

る」人たちにも約束されています。<sup>11</sup> 強さは、それを求め続け、努力し続ける人に対して与えられます。

天の御父のみもとへ帰る旅路を毎週示してくれる二つの道しるべは、聖餐の儀式という永続する聖約と、安息日の遵守です。ラッセル・M・ネルソン会長は前回の総大会で、安息日は主からわたしたちへの贈り物であると教えてくれました。心を込めて、毎週の安息日を遵守することは、わたしたちが主を愛していることの主に対するしるしなのです。<sup>12</sup>

毎週の安息日に、わたしたちは進んで行うこと、つまり「進んで御子の御名を〔自分自身に〕受け、いつも御子を覚え、御子の戒めを守ること」を証明します。<sup>13</sup> わたしたちの悔いる心と決意に対する報いとして、主は罪の赦しと「いつも御子の御霊を受け〔る〕」という約束を更新してください。<sup>14</sup> 聖なる御霊の影響力によって、わたしたちは磨かれ、強められ、教えられ、導かれるのです。

安息日ごとに主を覚えて、この二つの道しるべを通して心を救い主に向けるなら、主は再び、御自身が約束された祝福によって、わたしたちの努力に何倍も報いてくださいます。安息日を遵守するために熱心に努めるなら、地上の全てのものはわたしたちのものとなると約束されています。<sup>15</sup>

天の御父のみもとに帰る道は、主の家へ導いてくれます。そこでは、わたしたち自身と既に亡くなった愛する人たちのための救いの儀式を受ける祝福にあずかります。

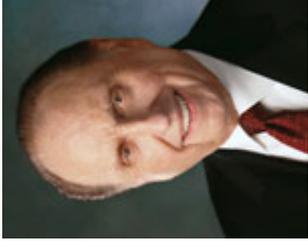


# 末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹部と中央役員

## 大管長会



第一顧問  
ヘンリー・B・アイング



大管長  
トーマス・S・モンソン



第二顧問  
ティーター・F・ウークトドルフ

## 十二使徒定員会



ラッセル・M・ネルソン



ダリン・H・オークス



M・ラッセル・バラード



ロバート・D・ヘイルズ



ジェフリー・R・ホランド



ティーター・A・ベトナー



クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・ステイアーブソン



テール・G・レンランド

## 七十人会長会



L・ホイットニー・クレートン



ドナルド・L・ホールストロム



リチャード・J・メイアズ



クレイグ・C・クリステンセン



クリトス・ソアレス

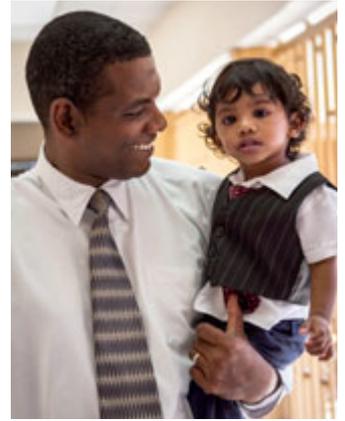


リン・G・ロビンス



ジェリット・W・ユング





教会員と宣教師たち。  
 左上から時計回りに、  
 ノルウェーのドランメン、  
 チリのアリカ、  
 ベリーズのベリーズシティ、  
 アメリカ合衆国の  
 ジョージア州アテネ、  
 フィリピンの  
 カビテ州カビテシティ、  
 アメリカ合衆国の  
 カリフォルニア州オレンジ郡、  
 ウクライナのキエフ、  
 メキシコの  
 ドゥランゴ州ベルメジロ



ボイド・K・パッカー会長は、「儀式と聖約は、神のみもとに行くための資格証明書にな〔る〕」と教えました。<sup>16</sup> わたしは、わたしたち一人一人が常に神殿推薦状にふさわしくあり、定期的な奉仕のために推薦状を使うことができるようにと祈っています。

### 生まれながらの人を克服する

第3の原則は、引き延ばしと諦めという、生まれながらの人の傾向に対抗する必要があります、ということです。<sup>17</sup>

聖約の道を前進するとき、わたしたちは、時には何度も、過ちを犯します。わたしたちの中には、克服することなど無理だと感じる習慣や、依存症と闘っている人もいます。しかし、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰は、行動と力の源です。<sup>18</sup> 進んで行動するならば、祝福として、悔い改める力と変わる力を授かることでしょう。

信仰を込めて一歩ずつ前進することを諦めたときが本当の失敗です。決して失敗せず、わたしたちを失敗させることもない、救い主と同じくびきを負っているなら、失敗などあり得ません。



### 約束された祝福

信仰を込めた一歩一歩は、天の助けを受けることを約束します。天の御父に祈り、救い主に頼り、従うとき、そして聖なる御霊に耳を傾けるときに、導き<sup>あがな</sup>がもたらされます。イエス・キリストの贖いの犠牲によって、強さがもたらされます。<sup>19</sup> 神の恵みのおかげで、癒やしと救い<sup>あがな</sup>がもたらされています。わたしたちに対する主のタイミングに信頼を寄せることによって、知恵と忍耐がもたらされます。<sup>20</sup> 神の生ける預言者、トーマス・S・モンソン大管長に従うことによって守りがもたらされます。

皆さんは「喜びを得るため」に創造されました。<sup>21</sup> その喜びは、ふさわしい状態で

天の御父と救い主のみもとに戻り、御二方に抱きしめられるときに感じる喜びです。

これらの絶対的な真理について証します。愛に満ちた天の御父とその御子イエス・キリストは生きておられます。御二方は皆さんを御存じで、愛しておられます。愛を込めて、みもとに戻るための次の一歩を踏み出すよう招いておられます。待たずに、今踏み出してください。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

### 注

1. モロナイ 7:40 - 41 参照
2. 1 ニーファイ 10:21。モーセ 6:57 も参照
3. アルマ 5:21, 27; 教義と聖約 50:28 参照
4. モロナイ 10:32 参照
5. モーサヤ 4:6-7; アルマ 34:9; モロナイ 7:41 参照
6. モロナイ 7:33
7. 3 ニーファイ 11:38 参照
8. モーサヤ 3:19; モロナイ 8:10 参照
9. マラキ 3:10; 教義と聖約 41:1 参照
10. モロナイ 7:33 参照
11. 教義と聖約 46:9
12. ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号, 129-132 参照
13. モロナイ 4:3。教義と聖約 20:77 も参照
14. 教義と聖約 20:77
15. 教義と聖約 59:9-10, 13, 15-16 参照
16. ボイド・K・パッカー「誓約」『聖徒の道』1987年7月号, 25 参照
17. モーサヤ 3:19 参照
18. *Lectures on Faith* (1985年), 3 参照
19. モロナイ 7:33 参照
20. モロナイ 10:32 参照
21. 2 ニーファイ 2:25





大管長会第二顧問  
ディーター・F・ワークトドルフ管長

# 恐れることはない。 ただ信じなさい

信じ、信仰を働かせて悔い改め、救い主イエス・キリストに従うことを選ぶと、霊的な目が開き、想像もつかなかったようなすばらしいものが見えるようになります。

## バビロンとダニエル

2600年前、バビロンは全世界で最も強大な国家でした。ある古代歴史家は、バビロンの街を取り囲んでいた壁の高さは300フィート（90メートル）以上、厚みは80フィート（25メートル）以上だったと述べています。「その壮大さにおいて、他の町を一切寄せ付けなかった」<sup>1</sup>と書いています。

当時、バビロンは教育、法律、哲学の分野において世界の中心でした。その軍事力に肩を並べる国家もありませんでした。エジプト軍を打ち破ったバビロンは、アッシリアの首都ニネベを侵略し、破壊し、略奪しました。エルサレムをたやすく征服し、イスラエルの最も優秀で賢い子供たちをバビロンに連れ去り、ネブカデネザル王に仕えさせました。

このときの捕虜の一人に、ダニエルという名の青年がいました。多くの学者は、ダニエルは当時12才から17才ほどだったと考えています。愛する若いアロン神権者の皆さん、考えてみてください。ダニエルは皆さんほどの年齢のときに王宮に連れて行かれ、世俗的なバビロンでその

言語や法律、宗教、科学を教えられたのです。

家から無理やり連れ出され、500マイル（800キロメートル）離れた外国まで歩かされ、敵の宗教の教義を教え込まれたらどのような気持ちができるか、想像してみてください。



ください。

ダニエルはエホバの弟子として育てられてきました。アブラハム、イサク、ヤコブの神を信じ、礼拝してきました。預言者の言葉を研究し、神と人々との交わりについて知っていました。

ところがあるとき、とても若くしてバビロンの牢獄で教育を受けるようになります。それまでの信仰を捨ててバビロンの宗教を受け入れるよう、相当な圧力を受けたことでしょう。それでもダニエルは言葉においても行いにおいても、自分の信仰に忠実であり続けました。

皆さんの多くは、一般的に支持されていない真理を擁護するときどのような気持ちができるかを知っているでしょう。今日のインターネットの俗語で言えば、意見の異なる人々から「炎上」させられています。しかし、ダニエルは人々からあざけりを受ける危険を冒しただけではありませんでした。バビロンでは、宗教的な権威に逆らう人は、それがどのようなことかを理解していました。比喩的に、そして文字通り、「炎上」させられるのです。ダニエルの友人であるシャデラク、メシャク、アベデネゴの経験からもそのことが分かります。<sup>2</sup>

そのような状況で信者であり続けることがダニエルにとって容易だったのかは分かりません。豊かな信心を授かっている一部の人には、天からの賜物として信仰が与えられるようです。しかし想像するに、ダニエルはわたしたちの多くと同じように、証を得るために努力をする必要があったはずで、ダニエルはきっとひざまずいて何時間も祈りをささげ、疑問や恐れを信仰の祭壇に置き、主が理解と知恵を授けてくださるのを待ち望んだことでしょう。わたしはそう確信しています。

そして、主は確かにダニエルを祝福してくださいました。信仰を試され、嘲笑されたにもかかわらず、ダニエルは自分の経験から正しいと知ったことに忠実であり続け

ました。

ダニエルは信じて疑わなかったのです。

ある晩、ネブカデネザル王は夢を見ました。王はその夢に頭を悩ませ、学者や相談役を集めて、その夢の内容と解き明かしを示すよう命じました。

もちろん、彼らにはできませんでした。「あなたの要求に応じられる人は一人もいません」と彼らは懇願しました。しかし、ネブカデネザルを一層怒らせることになり、王はあらゆる知者、博士、法術士、相談役を切り刻むよう命じました。その中には、ダニエルを始めとするイスラエル出身の若い学生も含まれていました。

ダニエル書に親しんでいる皆さんは、次に起こったことを知っているでしょう。ダニエルはネブカデネザルに少しの猶予を願い出て、同僚とともに自分たちの信仰と道徳的強さの源へ向かいました。神に祈り、人生のこの正念場に神の助けを願い求めたのです。すると、「ついに……幻のうちにこの秘密がダニエルに示され〔ました〕」。<sup>3</sup>

征服された国家の出身の少年であり、風変わりな宗教を信じていることでいじめられ、迫害されていたダニエルは、王の前に進み出て、夢とその解き明かしを示しました。

その日以降、ダニエルは神に忠実であった直接の結果として、王から信頼される相談役となり、知恵のある者としてバビロン全土に名をとどろかせました。

自分の信条を信じ、その信条に従って生活した少年が、神の人、預言者、義にかかった王子となったのです。<sup>4</sup>

#### わたしたちはダニエルのでしょうか

神の聖なる神権を持つ皆さんに尋ねます。わたしたちはダニエルのでしょうか。

わたしたちは常に神に忠実でしょうか。

自分が教えていることを実践しているでしょうか。それとも日曜日だけのクリス



チャンでしょうか。

わたしたちの日々の行いは、信じていると公言していることを明確に示しているでしょうか。

わたしたちは「貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者」<sup>5</sup>を助けているでしょうか。

口先だけででしょうか。それとも、正しいことを熱心に行っているでしょうか。

兄弟の皆さん、わたしたちには多く与えられています。わたしたちは、回復されたイエス・キリストの福音の神聖な真理を教えられてきました。同胞を助け、神の王国を地上に築くために神権の権能を託さ

れています。霊的な力がほとばしる時代に生きています。また、完全な真理が与えられています。地上と天で結び固めるための神権の鍵を持っています。神聖な聖文と、生ける預言者ならびに使徒の教えをかつてないほど知ることができます。

愛する友である皆さん、これらのものを軽視しないようにしましょう。これらの祝福と特権には、大きな責任と義務が伴います。それを果たしましょう。

古代バビロンの町はすっかり荒廃し、その壮麗さは消え去って長い歳月が過ぎました。しかし、バビロンの世俗への執着と罪悪は引き続き存在します。今日、不



信仰の世にあって信者として生活する責任がわたしたちに課されています。わたしたちは、イエス・キリストの回復された福音の原則を日々実践し、神の戒めに忠実に生活するよう求められています。友人の圧力を受けても平静を保ち、流行や偽預言者に影響されず、不信心な者の嘲笑を気に留めず、悪しき者の誘惑に抵抗し、自分自身の怠惰に打ち勝たなければなりません。

考えてみてください。ダニエルにとって、単にバビロンの様式に従うことはどれほど容易だったのでしょうか。神がイスラエルの子らに与えられた厳格な行動規範を顧みないこともできました。王から振る舞われる豊かな食物を楽しみ、生まれながらの人のこの世的な快樂にふけることもできました。嘲笑を避けることもできたのです。

人気を手にすることもできたでしょう。

人々に受け容れられることもできたでしょう。

彼の歩む道はそれほど複雑ではなかったかもしれません。

もちろん、それは王が夢の解き明かしを求める日までのことです。その日、ダニエルは自分がほかのバビロンの「知者」と同じように、光と知恵の真の源との結びつきを失ってしまったことに気づいたことでしょう。

ダニエルは試しに合格しましたが、わたしたちの試しはまだ続いています。

### 信じる勇氣

敵であるサタンは、わたしたちが失敗することを望んでいます。わたしたちの信心を打ち砕こうとうそを広めています。疑う人や疑い深い人、冷笑的な人ほど洗練され知的であり、神と神の奇跡を信じる信仰を持つ人は世間知らずで盲目で洗脳されている、と悪賢くほめかすのです。またサタンは、靈的な賜物や真の預言者の教えを疑うことは格好がいいと提唱します。

単純なことを一つ皆さんに理解してもらいたいと思います。わたしたちが神を信じるのは、心と思いで知っていることのためであり、知らないことのためではありません。靈的な経験は時折あまりにも神聖で、世間の言葉で説明することはできませんが、だからといって実際に起こらなかったわけではありません。

天の御父はその子らのために靈的な宴<sup>うたげ</sup>を設け、想像し得るあらゆるおいしい料理を用意してくださっています。しかし、冷笑的な人はそのような靈的な賜物を享受せず、遠くから眺めながら、疑念と疑惑、軽視の杯からすすめるだけです。

天の御父に手を伸ばせば靈的な知識という明るい太陽の光を浴びて、知恵で心を広げ、心を喜びで満たすことができるのに、自分自身の理解力というろうそくの明かりに満足して人生を歩む人などいるのでしょうか。

信仰や信心について人々に話すとき、「わたしもあなたのように信じられたらいいのに」という言葉をよく聞きはしませんか。

そのような言葉が暗に示唆しているのは、もう一つのサタンの偽りです。すなわち、信心は一部の人にしか与えられず、ほかの人は信心を持ってない、という偽りです。信心は不思議な力から生まれるものではありません。信じたいと望むことこそが必要とされる最初の一步なのです。神は人をかたよりみない御方です。<sup>6</sup> 神はあなたの御父であります。あなたに語りかけたいと望んでおられます。しかし、多少、科学的好奇心が必要です。すなわち、神の言葉を試し、ごくわずかな信仰でも働かせる必要があります。<sup>7</sup> また、謙遜さも少々必要です。そして、心と思いを開かなければなりません。文字通り求めることも必要です。さらに、おそらく最も難しいことですが、忍耐強く主を待ち望まなければなりません。

信じるために努力を払わないとすれば、わたしたちはスポットライトのプラグを抜いておきながら、スポットライトの光がつかないと不平を言っている人のようなものです。

最近、わたしはあるアロン神権者の話を聞いて驚き、悲しく思いました。彼は、神から距離を置いたことを誇りに思っているようでした。こう言ったのです。「神

が御自身をわたしに現してくださいれば、わたしは信じます。それまでは、自分の理解と知性に頼って自分の前の道を照らしながら真理を探そうと思います。」

わたしはこの若い男性の気持ちを全て知っているわけではありませんが、とても残念に思わざるを得ませんでした。主が彼に与えようとしておられる賜物をなんとたやすく拒んでしまったことでしょうか。この若い男性はスポットライトのプラグを抜いて、光などないという自分の賢い見解に自己満足しているように見えました。

残念ながら、この姿勢は今日非常によく見受けられるように思います。立証責任を神に課することができるならば、わたしたちは神の戒めを深刻に捉えたり、天の御父との関係に対して責任を負ったりする義務を免れることができると思っているのです。

兄弟の皆さん、はっきりと申し上げます。冷笑的な態度はまったく高尚でもなければ優れてもいません。疑い深くなることは、誰にでもできるたやすいことです。忠実な生活こそ、道徳的な力と献身、勇気を必要とします。信仰にしっかり

つかまる人たちは、複雑な疑問や問題が生じると疑いに屈する人よりもはるかに優れています。

しかし、信仰の価値が社会に認められていないことは驚くには値しません。この世は遠い昔から、理解できないことを拒んできました。また、特に見えないものを理解するのが上手ではありません。しかし、肉の目で見えないからといって、存在しないとは言えないのです。実に、「この天地のあいだには」、教科書や科学誌、この世の哲学「などの思いも及ばぬことが幾らもある【です】」。<sup>8</sup> この宇宙は偉大で驚くべき不思議に満ちています。それらは霊の目を通してしか理解することができません。

### 信心の約束

信じ、信仰を働かせて悔い改め、救い主イエス・キリストに従うことを選ぶと、霊的な目が開き、想像もつかなかったようなすばらしいものが見えるようになります。このようにしてわたしたちの信心と信仰は強まり、さらに見えるようになるのです。<sup>9</sup>

兄弟の皆さんに証します。最も困難な

ときでさえ、救い主はこうおっしゃるでしょう。ガリラヤの混雑した道にいた心配そうな父親にかけたのと同じ言葉です。「恐れることはない。ただ信じなさい。」<sup>10</sup>

わたしたちは信じることを選ぶことができます。

なぜなら、信じるときに、光が見え出すからです。

わたしたちは真理を見いだすでしょう。<sup>11</sup> 平和を見いだすでしょう。<sup>12</sup>

信心のおかげで飢えることも渴くこともないでしょう。<sup>13</sup> 神の恵みの賜物により、わたしたちは信仰に忠実に生活し、「永遠の命に至る水が、わきあがる」<sup>14</sup> 泉のようにわたしたちの心は満たされるでしょう。わたしたちは永続する真の喜びを味わうでしょう。<sup>15</sup>

ですから愛する友人である、神の神権をもつ兄弟の皆さん、

信じる勇気を持ちましょう。

恐れずに、ただ信じましょう。

ダニエルのようにになりましょう。

老いも若きも、わたしたち皆が信じるための力と勇気、そして望みを新たにすることができるよう祈ります。わたしたちの主イエス・キリストの御名により、アーメン。■

### 注

1. ヘロドタス、*The History of Herodotus*、ジョージ・ローリンソン訳、全4巻(1875年)、第1巻、244
2. シャデラク、メシャク、アベデネゴは燃える炉に投げ込まれた(ダニエル3章参照)
3. ダニエル2:19
4. ダニエル2章参照
5. 教義と聖約52:40
6. 使徒10:34-35参照
7. アルマ32:27
8. ウィリアム・シェークスピア「ハムレット」第1幕第5場、167-168行(福田恆存訳「ハムレット」新潮文庫、46)
9. 教義と聖約50:24参照
10. マルコ5:36
11. モロナイ10:3-5参照
12. イザヤ26:3参照
13. ヨハネ6:35参照
14. ヨハネ4:14
15. 2ニーファイ2:25参照





大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長

# あなたは主の業の中で 一人ではない

皆さんが神権の奉仕を一つ、また一つと行うとき、主が皆さんとともに働いておられることが分かるでしょう。

**愛**する兄弟の皆さん、わたしたちは主がロナルド・A・ラズバンド長老とゲーリー・E・スティーブソン長老とデール・G・レンランド長老を主イエス・キリストの使徒として召してくださったことに感謝しています。わたしたちは、心と、祈りと、信仰をもって彼らを支持しています。

わたしたちは彼らの優れた能力を知っています。それでも、彼らはわたしたち全員と同じように、主が御自分の業の中で彼らとともにおられることを確信する必要があります。経験の浅い執事がその確信を必要とするように、新しい召しを受けた経験豊かな大祭司にもその確信が必要なのです。

その確信を強めるには、主が御自分の僕たちを通して皆さんを召されたことを理解する必要があります。皆さんが自分の本分を果たそうとすれば、主が皆さんの努力に力を添えてくださることを、皆さんが理解できるように助けたいと、わたしは願っています。

主の王国で受ける召しはすべて、人としての判断力や個人の力よりも大きな力が求められます。どの召しも、主の助けを受ける必要があります、その助けは必ずもたらされ

ます。召されたばかりの執事でさえ、それが真実だと知り、長年にわたってそれを学び続けるでしょう。

今夜、わたしの孫の一人が彼にとって初めての神権部会にこの場で参加しています。彼は6日前に執事に召されました。彼は、自分にとって初めての神権の義務は次の日曜に聖餐を配ることだと考えているかもしれません。その時を迎えたとき、彼がその行為の真の意味を理解できるように祈っています。

彼は、主に対する自分の務めは聖餐会に参加している人に聖餐のトレーをパスすることだと考えているかもしれません。しかし、主の目的は、単に人々にパンと水を取ってもらうことではありません。永遠の命へと続く道を前進するという聖約を守ってもらうことなのです。そのために、執事がトレーを回す人々に対し、主は霊的な経



験をお授けになる必要があるのです。

わたしはそのような場面をかつて見たことがあります。それはある介護施設で、執事が白髪の女性にトレーを渡すために前かがみになったときでした。彼女はパンを貴重なもののように見つめました。パンを取り、手を伸ばして、とても大きな声で「ありがとう」と言いながら執事の頭をなでたときの彼女の笑顔を、わたしは忘れたことがありません。

その執事は単に神権の義務を果たしていただけです。しかし、主はその執事の行為の結果を倍加してくださいました。執事の奉仕に心からの感謝を伝えたと、その姉妹が救い主を覚えていたことは明白でした。彼が聖餐を配ったときに、彼女は御霊がともにいてくださるという確約を受けました。彼女はその日介護施設で一人ではありませんでした。この執事も彼の謙虚な奉仕において一人ではありませんでした。

アロン神権の教師は、ある家族を教えに行くとき、主のパートナーとして主の業に携わっているとは感じていないかもしれません。我が家に来てくれた若いホームティーチャーの後輩同僚が述べた簡潔な証をわたしは今でも覚えています。御霊が彼の言葉をわたしとわたしの家族に確認してくれました。彼自身はその日のことを覚えていないかもしれませんが、わたしは覚えています。

主は若い男性が祭司に召されたときにも、彼の努力の成果を尊んで大いなるものとしてくださることでしょ。例えば、彼が初めて施すバプテスマは、面識のない子供かもしれません。彼は正しい言葉で、正しく儀式を行えるかどうか心配するかもしれません。

しかし、主は御自分の僕である彼の召しを尊んで大いなるものとしてくださるでしょう。彼がバプテスマを施した人は、永遠の命の道に沿って進むことを選択しました。主は、御自分が担当する、より大いなる部分を成し遂げてくださいます。主はあると



ノルウェー, オスロ

きわたしのためにそうしてくださいました。わたしがバプテスマを施した若者が、涙を流しながら、わたしの耳元で「わたしは清められた。清められた」と言ったのです。

皆さんが神権の奉仕を一つ、また一つと行うとき、主が皆さんとともに働いておられることが分かるでしょう。そのことをわたしは昔あるステーキ大会で一人の長老定員会会長と出会ったことを通して学びました。その大会では、メルキゼデク神権を受ける男性の名前が40人以上読み上げられました。

ステーキ会長はわたしの方へ体を傾けて、「彼らは皆、あまり活発でない長老見込み会員だったのです」とささやきました。わたしは驚いて、彼らを再活発化するためにどのようなプログラムを実施したのか尋ねました。

彼は礼拝堂の後列に座っていた若い兄弟を指差しました。そして「ああ、あそこにいます。彼らの大半はあの長老定員会会長のおかげで戻ってきたのです。」彼は後ろの列にいました。カジュアルな服装で、くたびれたブーツを履き、組んだ足を投げ出すようにして座っていました。

わたしはステーキ会長に、集会後に彼を紹介してくれるように頼みました。彼に会ったわたしは、彼のしたことに驚いている、どのようにしたのか知りたい、と伝えました。彼は肩をすぼめました。彼は自分の功績だとはまったく思っていないようでした。

それから彼は静かに言いました。「わたしはこの町の活発でない男性を全員知っています。彼らの大半はビックアップトラック（訳注—荷台付きの自動車）を持っています。わたしも持っています。わたしは



彼らと同じ場所で洗車するんです。やがて、彼らはわたしの友達になりました。

それから彼らの生活で何か問題が起きるのを待ちました。問題はいつも起きますから。彼らはそれを話します。わたしは耳を傾けます。批判はしません。そして、『多くの人生は何か間違っている。もっといい人生にできるはずだ』と彼らが言います。わたしは何が欠けているか、どこで見つけられるかを話します。わたしの言葉を信じてくれるときもありますから、そのときは、教会に連れて行きます。』

なぜ彼が控えめなのか、皆さんにも分かるでしょう。彼は自分がしたことは小さなことで、残りは主がしてくださったことを知っていたからです。問題に直面した男性たちの心を動かしてくださったのは主でした。もっといいことがあるはずだと彼らに感じさせ、その方法を見いだす希望を与えてくださったのは主でした。

その若い兄弟は—皆さんのような私の僕である彼は—もし自分に託された小さな部分を行うなら、天の故郷に帰る道を歩んでいるこの男性たちを主が助け、主だけがお授けになれる幸福を授けてくださることを、純粋に信じていました。この男性は、また、彼が自分の役割を果たすからこそ主が自分を長老定員会の会長に召されたことを知っていました。

皆さんは、この若い長老定員会会長の

ような驚くべき、また、目に見える成功をしていないときもあるでしょう。そのようなときこそ、主は、皆さんがその業の中で自分の役割を果たすことを御存じだったので、資格ある僕を通して皆さんを召されたということを確認する必要があります。主の僕からの召しに対して信仰を持つことは、わたしの曾祖父ヘンリー・アイリングの伝道活動において大切なことでした。

彼は1855年3月11日に、ミズーリ州セントルイスでバプテスマを受けました。間もなくして、エラスタス・スノーが彼を祭司の職に聖任しました。10月6日、セントルイスステーキのジョン・H・ハート会長が彼をチェロキー族の住み地域への伝道に召しました。<sup>1</sup> 彼は10月11日に長老に聖任されました。そして10月24日にはチェロキー伝道部に馬に乗って行きました。彼は20歳で、7か月前に改宗したばかりでした。

もし、自分には資格がない、準備ができていないと感じる十分な根拠のある神権者がいたとすれば、それはヘンリー・アイリングでした。彼が出かける勇気を持つことができた唯一の理由は、資格ある僕を通して神が彼を召されたことと心から知っていたからです。それが彼の勇気の源でした。それは、神権におけるわたしたちの召しが何であれ、わたしたちが根気強く続けるための勇気の源であるはずで



アイリング長老が困難な状況で3年間奉仕をした後、伝道部会長が亡くなったので、ヘンリーは1858年10月6日に開かれた集会において新たな伝道部会長として推薦され、支持されました。彼は驚き、新しい執事が感じるようにショックを受けました。こう記しています。「わたしがそのような責任ある職に召されるとは全く予期していませんでした。しかし、それが幹部の兄弟たちの意向なので、自分の弱さや経験不足を痛感しながらも、進んで受け入れました。」<sup>2</sup>

今や伝道部会長となったヘンリー・アイリングは、1859年、チェロキー族、クリーク族、チョクトー族の住む地域を旅しました。彼の努力により、主はヘンリーが記録しているように「多くの会員を教会に加えて」くださいました。彼は二つの支部を組織しましたが、「この大義に活発な人は非常に少ない」<sup>3</sup>と書き留めました。

1年後、ヘンリーは困難な現実に直面しました。彼が奉仕していた地域の政治家たちが末日聖徒の伝道活動を許可しなくなったのです。自分がすべきことは何か深く考えていた時、彼は先代の伝道部会長から受けた、1859年まで伝道を延長すべきだという指示を思い出しました。<sup>4</sup>

その年の10月に、ヘンリーは、ブリガム・ヤング大管長に指示を求める手紙を書きましたが、彼の問いに対する返事は届きませんでした。ヘンリーはこう記しています。「教会の大管長会から何も指示を受けることができないので、わたしは祈り

の中で主を呼び求め、わたしがここに残るべきか、シオンに行くべきか、主の御心みこころを明らかにしてくださるよう尋ねた。」

彼はこう続けています。「祈りの答えとして、次の夢が与えられた。夢の中で、わたしは〔ソルトレーク・〕シティーに到着しており、すぐに〔ブリガム・〕ヤング〔大管長〕の執務室に行き、彼を見つけた。わたしは彼にこう言った。『ヤング〔大管長〕、わたしは自分の判断で伝道部を離れ、ここに来ました。しかし、もし、このことが間違っているのですしたら、わたしは喜んで戻り、わたしの伝道を全うします。』〔夢の中で預言者は〕こう答えた。『あなたは十分とどまりました。それで十分です。』」

ヘンリーは日記にこう書いています。「夢で見たことが現実になるという経験を何度かしていたので、今度もそうなるだろうという信仰を持ち、すぐに出発の準備をした。」

1860年8月29日、彼はソルトレーク・シティーに到着しました。その道のりの大半を徒歩で移動しました。そして2日後、ブリガム・ヤング大管長の執務室に向きました。<sup>5</sup>

ヘンリーは次のような言葉でその経験を記しています。「〔わたしが〕ヤング〔大管長〕を訪ねると、彼はとても親切に迎えてくれた。わたしは彼にこう言った『ヤング〔大管長〕、わたしは呼ばれもしないのに来ました。もしわたしが間違いを犯しているのであれば、わたしは喜んで戻り、わたしの伝道を全うします。』〔ブリガム・

ヤング〕は答えました。『大丈夫です。……わたしたちはあなたに会うのを楽しみにしていました。』」

ヘンリーはその喜びをこう表現しました。「このようにして、わたしの夢は文字通り現実となった。」<sup>6</sup>

彼の喜びは、主が彼とともに働き、彼を見守ってくださっていたという確認からもたらされました。彼は、わたしたち全員に当てはまることを学びました。それは、主の僕は主の御心を知るために靈感を受けるということです。そして、ヘンリー・アイリングは、わたしも知っている事柄、つまり、預言者は神権の長として、神の靈感を受け、主の僕を見守り、彼らを心に留め、彼らを召されるということを立証しました。

神権の召しは何であれ、皆さんは時に、天の御父は皆さんに気づいておられないと感じたことがあるかもしれません。皆さんは御父の御心を知るために祈ることができます。そして御父が望まれることは何でも行うという誠実な望みを持って尋ねるなら、皆さんは答えを受けるでしょう。

天の御父は、御父が皆さんを御存じであり、皆さんの奉仕に感謝しておられ、皆さんが主から聞きたいと心から願っている「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」<sup>7</sup>という言葉を受ける資格を身につけつつあることを感じさせてくださるでしょう。





トーマス・S・モンソン大管長

全ての神権者が、自分に責任のある一人一人を救うために信仰をもって手を差し伸べることができますように。神は御自分の僕の努力に、御自分の力を加えてください。民の心は動かされ、福音の道に沿って幸福へ向かい、悲しみを離れ去るための選択をするでしょう。

全ての神権者が自分の神権の召しにあって、天の御父からの、救い主からの、そして神の預言者からの、愛と見守りと心遣いを感じることができますように。

わたしの特別な証をお伝えします。わたしたちは、復活された主イエス・キリストの奉仕の業に携わっています。主は、わたしたちの能力と必要な助けを知ったうえでわたしたちを御自分の奉仕の業に召されていることをわたしは証します。地上の全ての神権者の長である神の預言者は、神から靈感を受けていることをわたしは証します。

わたしは、全地にいる忠実な神権者の模範に感謝しています。天の御父と救い主は皆さんが皆さんの本分を果たしていることに感謝しておられます。御<sup>おふたかた</sup>方は皆さんを御存じであり、見守っておられます。そして、皆さんを愛しておられます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. "Minutes of the Conference," *St. Louis Luminary*, 1855年10月13日, 187 参照
2. ヘンリー・アイリングからブリガム・ヤングへの書簡, 1858年10月7日付, プリガム・ヤング執務室ファイル, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
3. ヘンリー・アイリングから教会歴史家事務局への報告, 1860年8月, 宣教師報告書, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
4. ヘンリー・アイリングからブリガム・ヤングへの書簡, 1859年10月9日付参照, プリガム・ヤング執務室ファイル, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
5. President's Office Journals, 1860年8月31日, 第D巻, 137 参照, Brigham Young Office Files, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
6. Henry Eyring reminiscences, 1896年, タイプ文書, 27-28, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
7. マタイ 25:23

# 戒めを守りなさい

わたしたちを創造され、完全に愛してくださっている神は、わたしたちが得ることのできる最高の幸福を手にするために、どのように生活する必要があるかを御存じです。

**愛** する兄弟の皆さん、再びともに集えるのは何とすばらしいことでしょう。今晚これまで聞いてきた話により、霊が鼓舞されました。わたしも導きを受けて話せるように祈ります。

今晚のわたしのメッセージは、とてもストレートです。それは、戒めを守りなさいというメッセージです。

神の戒めは、わたしたちをいらつかせ、幸福の妨げとなるように与えられているわけではありません。実際は、まったくその反対です。わたしたちを創造され、完全に愛してくださっている神は、わたしたちが得ることのできる最高の幸福を手にするために、どのように生活する必要があるかを御存じです。神はわたしたちに指針を与えておられ、それに従うなら、わたしたちはこの危険に満ちた現世の旅を安全に進むことができます。よく知られた『賛美歌』の歌詞にあるように、「戒めを守る人を神は守り、導」いてくださるのです。<sup>1</sup>

天の御父はわたしたちを愛しておられるので、次のように言われました—あなたは偽証してはならない。あなたは盗んではならない。あなたは姦淫<sup>かんいん</sup>してはならない。自分を愛するように隣り人を愛せよ、などです。<sup>2</sup> わたしたちは戒めを知っています。わたしたちが戒めを守るとき、もっと幸せ

で、満ち足りて、煩いがより少ない生活を送れることを、神は理解しておられます。試練や問題はもっと堪えやすくなり、神が約束された祝福を受けるでしょう。しかし、神は律法と戒めをお与えになる一方で、それを受け入れるか、拒むかを選ぶことも許してくださっています。この選びはわたしたちの行く末を決定づけます。

わたしたちはそれぞれ、天の御父と御子イエス・キリストのもとで永遠に生きることを最終的な目標として持っている、わたしは確信しています。ですから、生涯にわたってこの大きな目標につながるような





選

この人生で誘惑を受けない時期はありませんが、若い男性の皆さんは特に攻撃を受けやすい年代と言えるでしょう。10代の時期というのは往々にして、不安や自分の至らなさを感じたり、仲間とすることで自分の居場所を見つけようとしたり、何とか人に合わせようとしたりする時期です。友達として受け入れられようと、周りに合わせて標準を落とすように誘惑されるかもしれません。どうぞ強くあってください。皆さんから永遠の祝福を奪うようないかなる事柄にも警戒してください。この世での選

コリント人への第一の手紙にこうあります。「世には多種多様の言葉がある……。」<sup>4</sup> わたしたちは、説得する声や誘いかける声、けなす声や洗練された声、混乱させる声に囲まれています。これら

さい声であると付け加えましょう。皆さんにお勧めします。これらの声のボリュームを下げ、皆さんを安全へと導く、細くて小さな声の影響を受けられるようにしてください。バプテスマを受けた後、権威を持った兄弟があなたの頭に手を置き、あなたを教会の会員として確認し、「聖霊を受けなさい」<sup>5</sup> と言ったことを思い出してください。心と霊の扉を開き、真理を証する特別な声を聞いてください。預言者イザヤは、「『これは道だ、これに歩め』と言う言葉を耳に聞く」と約束しました。<sup>6</sup> わたしたちを慰め、導き、安全に保ってくれるこの声に常に波長を合わせ、聞き取ることができ

戒めをないがしろにすることは、わたしが今日の疫病と考える事柄を蔓延させる原因となりました。放縦、ポルノグラフィ、麻薬、性的な不道徳、墮胎などの疫病はそのほんの一部です。聖文はサタンが「すべてこれらのものの創設者」とであると教えています。<sup>7</sup> また「あらゆる偽りの父であ[り]……人々を欺き、惑わ[す]」ことも知っています。<sup>8</sup>

皆さんに切にお願いします。この現世と永遠の来世における幸福を皆さんから奪ってしまうようなものは何であれ避けてください。皆さんがそれを許すなら、サタンは欺きと偽りを使って、破滅へと続く滑りやすい坂道へと皆さんをいざない、もう止まれないと気づく前に引きずり落とします。巧みに誘うサタンの次のようなささや

きを聞いたことがあるでしょう。この1回だけなら大丈夫。みんなやっていることさ。時代遅れなことを言っていないで。時代は変わったんだ。誰も傷つけないさ。君の人生なんだから生きたいように生きようよ。サタンはわたしたちのことをよく知っており、わたしたちが拒みにくい誘惑は何かを知っています。そのようなそや誘惑に屈することのないよう、常に自分を守

わたしたちは、真理を曲げ、善良で適切なものを打ち破り、人が作ったこの世の哲学に取って変えようとする圧力や巧妙な影響力に取り巻かれています。それらがますます強まる只中であって忠実で誠実であり続けるには、大きな勇気が求められます。もしも戒めが人によって書かれたものならば、人の好みや法律、その他どんな方法で変えようとも、それは人の権利です。しかし、戒めは神から与えられたものです。選択の自由を使って、それを無視することはできません。しかし、戒めを変えることはできません。それは、戒めに従わず、戒めを破ることによって起こる結果を変えられないのと同様です。

この世の最大の幸福は、神の戒めを守り、神の律法に従うことによって得られることを、わたしたちが悟ることができますように。わたしはイザヤ書第32章17節の聖句が大好きです。「正義は平和を生じ、正義の結ぶ実はとこしえの平安と信頼である。」そのような平安、そのような信頼は、義にかなった生活を通してのみ得られます。

罪に関しては、ほんの少しの罪も容認することがあってはなりません。神の戒めに従わないことに「ほんの少しだけなら」参加しても大丈夫だと思っ

大きな力があり、ひどい苦悩と多くの助けなしにそこから逃れることはほとんど不可能なのです。

この人生でつまずいてしまった人がもしいるなら、帰る道は必ずあることを約束します。その道は悔い改めと呼ばれています。難しい道ではありますが、永遠の救いはそれにかかっています。永遠の救い以上に、努力するに値するものがあるでしょうか。今ここで、完全な悔い改めに必要な段階を踏むという決意をするように切に願います。それに取り組むのが早ければ早いほど、イザヤが語った平安と静寂、確信を早く味わうことができるでしょう。

少し前に、夫とともに安全な道を離れて戒めを破り、家族を崩壊に追いやる寸前まで行ってしまったある女性の証を聞きました。依存という欺きの、濃い霧からようやく二人が現実を直視し、自分たちの人生がどれほど不幸になってしまったか、そして

愛する人をどれだけ傷つけているかに気づいたとき、二人は変わり始めました。悔い改めの歩みが遅々として進まず、苦痛に感じることもしばしばでした。しかし、神権指導者の助けや、家族と貴い友人たちの助けによって、立ち返ることができたのです。

この姉妹が語った、悔い改めが持つ癒やし力についての証を一部紹介しましょう。「[罪]にとらえられ、いなくなった羊の状態から、どのようにしたら、わたしたちが今感じている平安と幸福の状態になれるでしょう。どのようにしたらそれが起こるのでしょうか。それは、完全な福音、完全な御子とその犠牲によるのです。……暗闇に覆われていた所に、今は光があります。絶望と痛みのあった所に、喜びと希望があります。イエス・キリストの贖罪が悔い改めを可能にしました。そして悔い改めを通してしか得られない変化によって、わたしたちは限りない祝福を受けています。」

救い主は、皆さんやわたしにその祝福された賜物をお与えになるために亡くなれました。その道は困難なものです。約束は真実です。主は悔い改めた人にこうおっしゃいました。

「たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。」<sup>9</sup>

「わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない。」<sup>10</sup>

わたしたちは生涯を通して、聖文研究と祈り、そしてイエス・キリストの福音の真理について深く思い巡らすことにより、強い証を育む必要があります。福音や救い主、そして天の御父に対する証がしっかりと根付くとき、わたしたちが行う全てに影響を及ぼします。

わたしたちは皆、天の御父から愛される息子であり、この時代に目的があつて地上に送られ、地上で人々に仕え、神の業をなすために神権を与えられています。神権を持つにふさわしい状態を保って生活するよう命じられています。

兄弟の皆さん、わたしたちが戒めを守ることができますように。そうするならば、栄光に満ちた祝福がわたしたちのために備えられています。そのような祝福を受けることができますように、救い主、<sup>あがな</sup>贖い主であられるイエス・キリストの御名によって祈ります、アーメン。■

#### 注

1. 「戒めを守る人を」『賛美歌』193 参照
2. 出エジプト 20:1-17; マタイ 22:39 参照
3. 1ペテロ 5:8
4. 1コリント 14:10
5. 『手引き 第2部—教会の管理運営』20.3.10
6. イザヤ 30:21
7. 2ニーファイ 26:22
8. モーセ 4:4
9. イザヤ 1:18
10. エレミヤ 31:34





トーマス・S・モンソン大管長

# 模範となり、 光となる

救い主の模範に従うとき、それは他の人々の生活に光をもたらす機会となるのです。

**兄** 弟姉妹の皆さん、皆さんと再び集うことができ心からうれしく思います。御存じのとおり、4月の大会以来、悲しいことですが、愛する3人の使徒、ボイド・K・パッカー会長、L・トム・ペリー長老、リチャード・G・スコット長老が亡くなりました。3人とも天の家に帰ったのです。寂しさを感じます。彼らのキリストのような愛の模範と、わたしたちに残してくれた靈感あふれる教えに心から感謝しています。

新たに召された使徒である、ロナルド・A・ラズバンド長老、ゲリー・E・ステーブソン長老、そしてデール・G・レンランド長老を心から歓迎します。3人とも主の御業に全力を尽くして仕える人であり、彼らが召された使徒としての大切な務めを果たす十分な資格があります。

最近、聖典を読みながら深く考えていたとき、特に二つの聖句が心に留まりました。誰もが知っている聖句です。一つは山上の垂訓から、「あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」<sup>1</sup> もう一つは、この最初の聖句の意味を考えていたときに、心に浮かんだ聖句です。

それは、使徒パウロからテモテに宛てた手紙の中にあります。「言葉にも、行状にも、愛にも、〔霊にも、〕信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」<sup>2</sup>

2番目の聖句は、最初の聖句を実践する方法をよく説明していると思います。言葉にも、行状にも、愛にも、霊にも、信仰にも、純潔にもイエス・キリストの福音を実践するなら、信者の模範になることができます。そうするときに、人々の前にわたしたちの光が輝きます。

わたしたち一人一人は、キリストの光を授かって地上に来ます。救い主の模範に倣い、主が生きられたように生き、主が教えられたように生きるとき、その光はわたしたちの内側で燃え、人々のために道を照らします。

使徒パウロは、その光が輝くために必要な信者の属性を6つ挙げています。その一つ一つを考えてみましょう。

最初の二つについてはまとめて話します。言葉にも行状にも模範になることです。わたしたちの言葉は、人を高め鼓舞することも、傷つけおとしめることもあり得ます。世界には下品な言葉が蔓延し、まるで全地を取り巻いているようです。神の御名が軽々しく、無神経に唱えられる

のをいや応なしに聞かされます。低俗な言葉が、テレビ、映画、本、音楽に不可欠な要素となっているようです。中傷や怒りの言葉がまき散らされています。わたしたちが人と話すときには、愛情のこもった、丁寧な話し方をし、いつもきれいな言葉を使い、人を傷つけたり、怒らせたりするような言葉は言わないようにしましょう。救い主の模範に従おうではありませんか。救い主は地上での務めの初めから終わりまでずっと、忍耐強く、思いやりをもって語られました。



メキシコ、ドゥランゴ州ベルメヒヨ

パウロが次に述べた属性は愛です。それはキリストの純粋な愛と定義されている慈愛です。<sup>3</sup> わたしたちの影響が及ぶ範囲内には、孤独な人、病気の人、落胆している人がいるはずで、わたしたちにはそのような人を助け、元気づける機会があります。救い主は、絶望している者に希望を、弱い者に力をお与えになりました。病人が癒やされ、足の不自由な人は歩き、見えない人は見、聞こえない人は聞こえるようになり、死者でさえよみがえりました。御自分の務めの間中、救い主は助けの必要な全ての人に愛の手を差し伸べられました。その模範に倣うとき、わたしたちは人々の生活を祝福し、自らの生活をも祝福することができるのです。



次に、霊すなわち人格において模範となる必要があります。わたしにとってそれは、親切、感謝、<sup>ゆる</sup>赦し、善意を身につけることです。こうした特質により、周りの人の人生に影響を与えるような人格を備えることができます。わたしはこれまで、そのような人格を有する無数の人々に出会いました。そのような人と一緒にいると、この人と交わりたい、この人の模範に従いたいという特別な気持ちになります。そのような人はキリストの光を放ち、主の愛を感じさせてくれます。

純粹で愛に満ちた人から放たれる光は、人の目に留まります。随分前の経験がそのことをよく表しています。

それは、教会の指導者が、教会のエルサレムセンターを建設する土地を借りる契約を結ぶために、エルサレムの当局者たちに会っていたときでした。教会は認可を受けるために、「センターに滞在する会員は伝道活動を一切行わない」という申し合わせに合意しなければなりません。合意が結ばれた後で、教会と教会

員をよく知るイスラエル高官の一人が、こう言ったのです。「教会は伝道禁止の合意を尊重してくださることはよく分かっています。でも、センターに学びに来る学生たちの目の中にある光については、どうするのですか。」<sup>4</sup> その特別な光がわたしたちのうちに輝き、人々の目に留まり、認識されますように。

信仰において模範になるとは、主と主の御言葉を信頼することです。思いと行動の指針となる信仰を持ち、その信仰を養うことです。イエス・キリストと天の御父を信じる信仰は、わたしたちのあらゆる行動に影響を及ぼします。この時代の混乱、良心の<sup>かっとう</sup>葛藤、日々の騒ぎの中にあって、何にも動じない信仰は、わたしたちの生活の<sup>いかり</sup>錨となります。信仰と疑いは、心の中で同時には存在できないことを忘れないでください。一方が他方を追い払ってしまうからです。これまで繰り返し教えられてきたことを、強調します。必要な信仰を得、維持するには、聖文を読み、研究し、深く考えることが不可欠です。祈りに

よる天の御父との交わりは絶対に欠かせません。これらを怠る余裕はありません。サタンとその使いは、わたしたちの武具に生じた亀裂や、信仰の<sup>ほころ</sup>綻びを見逃しません。主は言われました。「熱心に探し、常に祈り、そして信じていなさい。〔そうすれば〕万事があなたがたの益となるようにともに働くであろう。」<sup>5</sup>

最後に、純潔、つまり清くある必要があります。肉体と思いと霊が清いということです。知ってのとおり、肉体は神殿であり、敬虔に敬意をもって扱うべきものです。わたしたちの精神は心を高揚させる高潔な思いで満たされ、汚れのないものでなければなりません。聖霊を常に<sup>はんりよ</sup>伴侶とするためには、ふさわしくある必要があります。兄弟姉妹の皆さん、清さは心に平安をもたらし、次の救い主の約束を受ける資格を与えてくれます。「心の清い人たちは、さいわいである、彼らは神を見るであろう。」<sup>6</sup>

言葉、行状、愛、霊、信仰、純潔において信者の模範となることで、わたしたちは



世の光としてふさわしくなるでしょう。

全ての皆さんに、特に若い方々に話します。愛に満ちた天の御父が下さった原則や指針から世の中がどんどん離れていく一方で、わたしたちは世の人々と異なっているのに際立っています。わたしたちは控えめな服装をしているので際立っています。悪い言葉を使わず、体に有害な薬物を取らないので異なっています。下品なユーモアや低俗なことを言わないので異なっています。わたしたちが異なっているのは、不道徳で品位を下げようようなメディア、家庭と生活から御霊を取り去ってしまうようなメディアを選択して、没頭するようなことはしないと決意しているからです。わたしたちは純潔に関する選択、すなわち福音の原則と標準に沿った選択をするので際立っています。これらは、わたしたちを世の大多数の人々とは違う者にするだけでなく、ますます暗くなる世を照らす特別な光と霊をわたしたちに与えてくれるのです。

大勢の中で自分だけ人と異なり、信念を貫くのは容易なことではありません。人がどう思い何を言うかを恐れるのは無理からぬことです。詩篇の次の言葉を慰めとしましょう。「主はわたしの光、わたしの救い、わたしはだれを恐れよう。主はわ

たしの命のとりでだ。わたしはだれをおじ恐れよう。」<sup>7</sup> キリストを中心とした生活を送るとき、確信に満ちた勇気が恐れに取って代わります。

完全な人生を歩む人はいません。様々な試練や困難に直面し、打ちのめされて、光がかすんでしまうこともあります。しかし、天の御父からの助けと人々の支えによって、光を取り戻し、もう一度、自らの道を照らして、他の人が必要としている光を提供することができるのです。

例として、何年も前に読んだ大好きな詩の、心を打たれる言葉を紹介いたします。

闇の中で、見知らぬ男に会った  
彼のランプは消えていた  
わたしは立ち止まり  
彼にランプの火を分けた

強い嵐がやって来て  
世界中を揺さぶった  
風が通り過ぎたとき  
わたしのランプは消えていた！

しかし、あの男が戻って来た一  
輝くランプを手を持って！  
彼は貴い炎を差し出して  
わたしのランプをともしてくれた！<sup>8</sup>

兄弟姉妹の皆さん、どのような環境にあるときにも、わたしたちの周囲は、毎日、光を輝かす機会であふれています。救い主の模範に従うとき、家族であれ、友人であれ、職場の同僚であれ、ただの知り合いであれ、まったく見ず知らずの人であれ、それは他の人々の生活に光をもたらす機会となるのです。

皆さん一人一人は、天の御父の息子娘です。皆さんは、しばらく地上で生活し、救い主の愛と教えに倣い、全ての人の前で雄々しく自らの光を輝かすために、御父のみもとから来たのです。地上の生活を終えるとき、自らの務めを果たしてきたのであれば、御父のみもとに帰り、御父とともに住むという輝かしい栄光にあずかることができるのです。

救い主の御言葉は何と心強いことでしょう。「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。」<sup>9</sup> わたしは主について証します。主は救い主、贖い主、御父に対するわたしたちの弁護者です。わたしたちの模範者であり、わたしたちの力であり、「暗闇の中に輝いている光」です。<sup>10</sup> わたしの声が届く範囲にいる一人一人が、主に従う決意をし、世に輝く光となりますように、主イエス・キリストの聖なる御名により祈ります、アーメン。■

#### 注

1. マタイ 5:16
2. 1テモテ 4:12
3. モロナイ 7:47
4. ジェームズ・E・ファウスト「目に宿る光」「リアホナ」2005年11月号, 20
5. 教義と聖約 90:24
6. マタイ 5:8
7. 詩篇 27:1
8. ロン・ウッドラム, "Lamps," *The Lighted Pathway*, 1940年10月号, 17
9. ヨハネ 8:12
10. 教義と聖約 6:21



十二使徒定員会  
ロナルド・A・ラズバンド長老

# 主イエスの愛に、 ただ驚く

イエス・キリストについてのわたしの証<sup>あかし</sup>は、わたしたち一人一人に対する主の偉大な愛を知るようになった多くの特別な経験によって築かれました。

**世** 界中の愛する兄弟姉妹の皆さん、この安息日に、わたしの素朴な証を述べる機会を与えてくださった大管長会に心より感謝いたします。わたしのこよなく愛する末日聖徒の賛美歌の歌詞がわたしの今の気持ちを表しています。

主イエスの愛に ただ驚く  
恵みの深きに われ感う  
おごれるわれを 救うために  
み座を降りし 主に驚く  
かかるわれにまで 愛の手を  
主は差し伸べて 救いたもう  
ああ、奇しき主のみ業<sup>1</sup>

数日前に、大管長会にお会いするすばらしい特権を頂き、愛する預言者トーマス・S・モンソン大管長からこの召しを頂きました。「この召しをお与えになったのは主イエス・キリストです」と言われたときに、わたしはモンソン大管長の愛と力を感じたことを皆さんに証します。

愛にあふれる預言者から優しく語られたその言葉の重さと意味について考えると、圧倒され、根底から揺り動かされるような気持ちになります。モンソン大管長、アイリング

管長、ウークトドルフ管長、わたしは皆さんを愛しています。主と皆さんに心と、勢力と、思いと、力を尽くして仕えます。

ボイド・K・パッカー会長、L・トム・ペリー長老、リチャード・G・スコット長老を心から愛してきました。彼らがいなくなって、本当に寂しく思います。この愛する兄弟たちから直接教えを受けてきました。わたしは、実に、彼らの足元にも及びませんが、その偉大な肩の上に乗せていただけることを光栄に思い、主の業に邁

進するつもりです。

わたしをここまで助けてくれた人々について考えるとき、真っ先に頭に浮かぶのは、わたしの最愛にして献身的な永遠の伴侶、メラニーです。これまで長年の間、あたかも陶器師が粘土に手を加えて、器の形を整えるように、わたしがより良いイエス・キリストの弟子になるのを助けてくれました。妻と5人の子供たちとその伴侶、24人の孫の愛と支えがわたしの力となっています。大切な家族に伝えます。「愛しています。」

いにしへの預言者ニーファイのように、わたしは福音を信じる善い両親から生まれました。そして、先祖も6代にわたって、善い両親から生まれました。最初に教会員となった先祖はイングランドやデンマーク出身です。初期の開拓者たちは、全てをささげてイエス・キリストの福音に生き、従うべき伝統を子孫に残しました。何世代も続く末日聖徒の家族に心から感謝します。そのような家族を築くことは、わたしたち全てにとって価値ある目標であると確信しています。

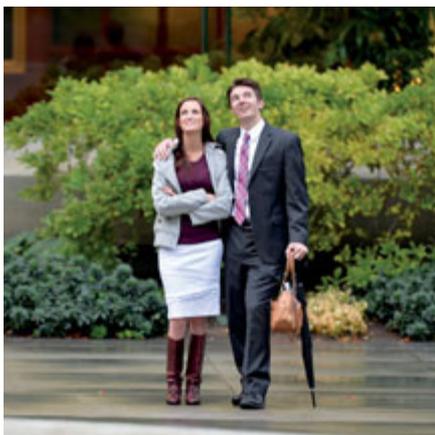
他にも大勢の人たちが、わたしをこの新たな召しに備えてくれました。例えば、子供の頃の友人や家族、若い頃の指導者、教師、生涯を通じての助言者がそうです。





また、東部諸州伝道部で宣教師として奉仕した頃に出会った人々や、ニューヨーク州ニューヨーク北伝道部の愛する宣教師たちもそうです。わたしに影響を与え、わたしの人生を形作ってくれた多くの人たちに、心から感謝しています。

七十人の兄弟たちとともに仕えた経験を大切にしています。この15年、教会の中で最も偉大で兄弟愛にあふれる定員会の一つに属することができました。同じ僕である愛する兄弟の皆さん、ありがとうございました。これから属する新しい定員会も楽しみにしています。ラッセル・M・ネルソン会長、わたしはネルソン会長と十二使徒定員会の一人一人を心から愛しています。



ラズバンド姉妹とわたしは、様々な割り当てを受け、世界中の教会や伝道部で、会員の方たちにお会いしてきました。妻とわたしは全世界の末日聖徒を愛しています！皆さんの信仰は、わたしたちの信仰を深めてくれました。皆さんの証は、わたしたちの証を強めてくれました。

今日、皆さんに短いメッセージをお伝えします。主は言われました。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。」<sup>2</sup> 皆さんや他の誰かが行う選択、罪、過ちの中に、わたしたちに対する主の愛を変えられるものは一切ありません。それは主が罪深い行為を見過ごされるという意味ではありません。断じて違います。ではどういう意味かというと、わたしたちは同胞に愛の手を差し伸べて、招き、説得し、仕え、救助するべきだということです。イエス・キリストは、この深い真理を教えたとき、民族や地位や境遇などは、一切気になさいませんでした。

わたしは、これまでに何度も、いつ証を得ましたかと尋ねられました。

わたしは天の御父とイエス・キリストを信じなかった時期を思い出すことができません。天使のような母の膝元で、聖文や福音の物語を読み、御二方のことを学んだ幼い頃からずっと御二方を愛してきま

した。幼い頃の信仰は今や成長し、祈りを聞きこたえてくださる愛にあふれた天の御父についての知識と証になりました。イエス・キリストについてのわたしの証は、わたしたち一人一人に対する主の偉大な愛を知るようになった多くの特別な経験によって築かれました。

救い主の贖罪に感謝し、アルマと同じように、天使のラッパの声で叫びたいと願っています。<sup>3</sup> ジョセフ・スミスが神から召された回復の預言者であり、モルモン書が神の御言葉であることを知っています。トーマス・S・モンソン大管長が、今日地上における、神の真の僕であり、預言者であることを知っています。

わたしたちが預言者に従い、慈愛をもって人々に接することができますように。わたしたちが主の愛の生ける証人となり、文字どおり「主イエスの愛に、ただ驚く」ことができますように。主の愛が皆さんやわたしにとって、本当に素晴らしいものとなり、「ああ、奇しき主のみ業」と心から感じるすることができますように。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

#### 注

1. 「主イエスの愛に」『賛美歌』109番
2. ヨハネ13:34
3. アルマ29:1参照



十二使徒定員会  
ゲーリー・E・スティーブソン長老

# 分かりやすく 尊い真理

この苦難の時代に住むことに対する惜しめない埋め合わせとして、  
天の御父はわたしたちを、完全な神権時代に住まわせてくださっています。

**愛**する兄弟姉妹、これまで何十年の間、ボイド・K・パッカー会長やL・トム・ペリー長老、またリチャード・G・スコット長老のうちの誰かが総大会に出席しなかったり、話さなかったりしたことはありませんでした。3人の思い出がわたしたちの心に深く刻まれています。3人は三者三様でありながら、イエス・キリストとその贖いについての証において一致していました。心からの敬意を送ります。

さらに、わたしも皆さんと同様に、トーマス・S・モンソン大管長から力を受け、彼を預言者、聖見者、啓示者として支持しています。モンソン大管長が、類いまれな50年以上の長きにわたり、使徒として忠実に、そして従順に召しを果たしてこられたことに感嘆します。

先週の火曜日の朝、ちょうど9時を回った頃、総大会に出席するために集まったアジア地域会長会とともにビショップリックミーティングを開こうとしていたとき、モンソン大管長と顧問の二人との面接に呼ばれました。しばらくして、わたしは大管長の執務室に隣接した会議室に入りました。テーブルを挟んで座ったわたしは、きっと緊張し

て見えたのでしょう。大管長はわたしの緊張を解くために、優しく話しかけ、わたしの年齢に触れてから、「年齢よりも随分若く見えますね」と言ってくれました。

そして次に、モンソン大管長は、「主の御心に従って、あなたに十二使徒の召しを授けます」と言った後、「この召しを受けますか」とわたしに尋ねました。あまり

のショックに息を飲む音が、3人にも聞こえたと思います。その後、わたしは「はい」と答えました。自分は不十分であるという思いを含め、津波のように押し寄せる説明し難い感情を口にする前に、モンソン大管長が優しく語りかけてくれました。何年も前にデビッド・O・マッケイ大管長によって使徒に召されたとき、大管長も同じように自分が不十分であると感じたことを話し、穏やかにこう教えてくれました。「スティーブソンビショップ、主は御自分が召される人々をふさわしくしてください。」預言者のこの言葉は、わたしの心を落ち着かせ、平安を与えてくれました。そのときから、朝も夜も日々自分を吟味し、嵐のようなつらく苦しい時間を過ごす中で、その言葉は穏やかで温かな思いをわたしに与えてくれました。

その日しばらくしてから、愛する妻のリサとテンプルスクウェアの静かな場所に座り、神殿と歴史的なタバナクルを目の前にしながら、今皆さんにお伝えしたことを彼女に伝えました。その日の出来事を振り返り、理解しようとする中で、わたしたちの基はイエス・キリストを信じる信仰と偉大な幸福の計画の知識にあることを確認





しました。それから、彼女を深く愛していることを伝えました。リサはわたしの人生の太陽であり、すばらしい神の娘です。無私の奉仕と全ての人への無条件の愛を体現しています。彼女を永遠の伴侶とする祝福にふさわしくあり続けられるよう努力します。

4人の息子たちとその家族に心からの愛を伝えます。3人の息子はその美しい妻と6人の孫とともにここに集っています。伝道中の4人目の息子は特別な許可を頂いて、宣教師の就寝時間を過ぎていますが、台湾の伝道本部で伝道部長夫妻とともに、この大会の様態を視聴しています。家族の一人一人を愛しています。そして、彼らが救い主と福音に対して抱いている愛を、わたしは心から喜んでいます。

愛する母と去年亡くなった父に愛を伝えます。二人はわたしの幼い心に証を刻んでくれました。またわたしの兄や姉妹たちとその伴侶、そしてリサの家族にも感謝を述べます。その多くが今日ここに集っています。また、これまでお世話になった数多くの親戚や友人、宣教師、指導者、教師の皆さんにも感謝を伝えます。

わたしは恵まれて、大管長会、十二使

徒、七十人、中央補助組織会長会の皆さんと身近に交わる機会に預かってきました。姉妹と兄弟の皆さん一人一人にわたしの愛と尊敬をお伝えします。これからも皆さんとの友情にふさわしくあることができるよう努力します。わたしたち管理ビショップリックは、天国のような一致を楽しんできました。ジェラルド・コセービショップとディーン・M・デイビーズショップと、事務局の職員とともに働いてきた日々を懐かしく思うでしょう。

わたしは、教義と聖約第1章に記されている主の御言葉の証拠として、皆さんの前に立っています。「完全な福音が弱い者や純朴な者によって世界の果てまで、また王や統治者の前に宣べられるためである。」<sup>1</sup> この言葉の前に、御父がその子供たちに対して抱いておられる愛を示す主の宣言が記されています。「主なるわたしは、地に住む者に下る災いを知っているので、わたしの僕ジョセフ・スミス・ジュニアを訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。」<sup>2</sup>

わたしたちの愛にあふれる天の御父と御子エホバは、初めから終わりを御存じであり、<sup>3</sup> 訪れるであろう災いを埋め合わ

せるために、天を開かれ、新たな神権時代の扉を開いてくださいました。使徒パウロは、やがて訪れる災いについて「苦難の時代」<sup>4</sup>と述べました。わたしはこれについて、この苦難の時代に住むことに対する惜しみない埋め合わせとして、天の御父はわたしたちを、完全な神権時代に住まわせてくださっていると解釈しています。

先週、自分の不十分さに苦しんでいたとき、懲らしめと慰めの両方の気持ちをはっきりと感じました。それは、自分にはできないのではなく、できることに目を向けるようにというものでした。わたしにできるのは、福音の簡潔で貴い真理を証することです。

わたしは、これまで教会員や、教会員以外の多くの方々に、次の言葉を何百回も分かち合ってきました。「神様はわたしたちの〔愛に満ちた〕天のお父様です。わたしたちは神様の子供です。……神様は、わたしたちが苦しんでいるときに一緒に涙を流し、正しいことをするときに喜んでくださいます。神様は、わたしたちと話すことを望んでおられます。わたしたちは心から祈ることで、神様と話すことができます。

天のお父様は、子供であるわたしたちに、……お父さまのもとに戻って生活する方法を用意してくださいました。……お父様の計画の中心は、イエス・キリストの贖いです。」<sup>5</sup>

全人類の罪を贖い、死を克服するために、天の御父は御子を地上に送ってくださいました。これらの分かりやすくして尊い真理について証します、イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 教義と聖約 1:23
2. 教義と聖約 1:17
3. アブラハム 2:8 参照
4. 2テモテ 3:1
5. 『伝道活動のガイド——わたしの福音を宣べ伝えなさい』 31-32



十二使徒定員会  
デール・G・レンランド長老

# 神の目を通して

人々に効果的に奉仕するには、親の目、すなわち天の御父の目を通して人々を見なければなりません。

**愛**する兄弟姉妹の皆さん、昨日はわたしを十二使徒定員会の会員として支持してくださりありがとうございます。それがわたしにとってどれほど大切なことか、言葉では言い表せません。特に、わたしの身近にいる比類ない二人の女性、妻のルースと、心から、心から、心から愛する娘のアシュレーの支持に感謝します。

わたしがこの職に召されたことは、主がこの神権時代の初期に語られた次の言葉が真実であることの確たる証拠です。「わたしの完全な福音が弱い者や純朴な者によって世界の果てまで、また王や統治者の前に宣べられるためである。」<sup>1</sup> わたしは弱く純朴

な者です。何十年も前に、合衆国東部のあるワードのビショップに召されたときに、わたしよりも少し年上でわたしよりもずっと賢明な兄から電話をもらいました。「主が君を召されたのは、君が今までにしてきたことのためではないと心得ないといけないよ。君の場合はおそらく、君がしてきたことにもかかわらず召されたのだろう。主は君を通して行う必要のある事柄のために君を召されたんだ。君が主の方法でそれを行うときに初めて実現できるだろう。」この兄の知恵は、今日ますます当てはまると感じています。

宣教師の召しが宣教師自身のためでは

なく、主と主の業、天の御父の子らのためであることに宣教師が気づくと、伝道において素晴らしいことが起こります。使徒についても同じことが言えると感じています。この召しはわたしのためのものではありません。主と主の業、天の御父の子らのためのものであります。何であろうと教会における割り当てや召しをよく果たすには、自分が仕える人たちが皆「神の属性と神聖な行く末を受け継いでい[る]」「天の両親から愛されている霊の息子、娘」<sup>2</sup> だということに心に留めながら奉仕しなければなりません。

わたしは以前心臓専門医として、心不全や心臓移植を扱っていました。きわめて病状が悪い患者を多く担当しました。妻は冗談で、「あなたの患者になったら悪い兆候ね」と言ったものです。残念なことに、わたしは実際多くの方が亡くなっていくのを目にしました。そして、患者の病状が思わしくなくなると、わたしは自分の感情を切り離そうとするようになりました。そのようにして、落胆を和らげていたのです。

1986年、チャッドという若い男性が心不全になり、心臓移植を受けました。その後、チャッドは15年間元気に過ごし、できる限り健康に普通の生活を送れるよう全力を尽くしました。伝道に出て、仕事に就き、親孝行をしました。しかし、生涯の最後の数年は困難なもので、入退院を頻繁に繰り返しました。

ある晩、チャッドは心停止の状態で病院の緊急処置室に運ばれて来ました。同僚とわたしは血液の循環を回復しようと長時間取り組みました。とうとう、チャッドを蘇生させることはできないことが明白になりました。わたしたちは効果のない試みやめ、死を宣告しました。わたしは悲しみと落胆を感じていましたが、医師としてこう自分に言い聞かせました。「チャッドは適切な処置を受けることができた。そのおかげで何年も生き長らえることができたのだ。」やがて、チャッドの



カンファレンスセンターにある歴代大管長の胸像



両親が緊急処置室に入って来て、亡くなった息子がストレッチャーに横たわっているのを見ました。そのとたん、わたしは感情のコントロールが効かなくなりました。わたしはそのとき、チャッドの母親と父親の目を通して彼を見たのです。両親が彼に抱いていた望みや期待、もう少し長く生きてほしかった、もう少しよくなってほしかったという両親の願いが伝わってきました。このことを実感したわたしは、泣き出してしまいました。自分の役割とは逆に、わたしの方がチャッドの両親に慰められました。チャッドの両親のその親切な行いを生涯忘れることはないでしょう。

教会で人々に効果的に奉仕するには、親の目、すなわち天の御父の目を通して人々を見なければならぬと、今実感しています。そうして初めて、人の真の価値を理解し始め、天の御父が御自身の全ての子らに対して抱いておられる愛を感じることができます。また、そうして初めて、救い主が御父の子らに対して抱いておられる思いやりに満ちた気遣いを感じ取ることができます。神の目を通して人々を見な

い限り、悲しむ者とともに悲しみ、慰めのいる者を慰めるという聖約の義務を完全に果たすことはできません。<sup>3</sup> このように視点が広がると、人の落胆や恐れ、心の痛みを敏感に感じ取れるようになります。そして、チャッドの両親が何年も前にわたしを慰めてくれたように、天の御父はわたしたちを支え、慰めてくださいます。トーマス・S・モンソン大管長から頻繁に勧められているように、人々を救い出すには、見る目と聞く耳を持たなければなりません。<sup>4</sup>

天の御父の目で見るときに初めて、わたしたちは「キリストの純粋な愛」で満たされます。<sup>5</sup> わたしたちは、毎日この慈愛を求めて神に懇願しなければなりません。モルモンはこのように訓戒しています。「したがって、わたしの愛する同胞よ、あなたがたは、御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈りなさい。」<sup>6</sup>

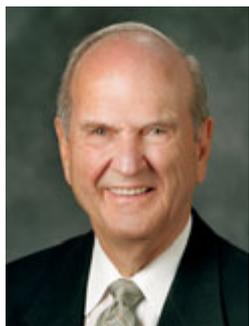
わたしはイエス・キリストに真に従う者となりたくと心から望んでいます。<sup>7</sup> わた

しは主を愛し、あがめています。主が実に生きておられることを証します。主が油注がれたメシヤであられることを証します。主が類いまれな憐れみと思いやり、愛を持っておられることを証します。2000年に使徒たちが述べた言葉にわたしの証を付け加えます。「イエスは生けるキリスト、不死不滅の状態にある神の御子です。……イエス・キリストは世の光、命、そして希望です。」<sup>8</sup>

ジョセフ・スミスの言葉のとおり、1820年のその日ニューヨーク州北部の森で、よみがえられた主がわたしたちの天の御父であられる神とともに預言者ジョセフ・スミスに御姿を現されたことを証します。神権の鍵が今日地上にあり、救いと昇栄の儀式を行うことができます。そのことを確かに知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 教義と聖約 1:23
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129。1995年9月23日, ユタ州ソルトレーク・シティーで開催された中央扶助協会集会において、説教の一部としてゴドーン・B・ヒンクレー大管長が読み上げた。
3. モーサヤ 18:8-10 参照
4. トーマス・S・モンソン「救助に向かう」『リアホナ』2001年7月号; 「救助の責任」『リアホナ』2013年10月号, 4-5などを参照。モンソン大管長は、2015年9月30日に中央幹部に向けて行った説教の中でこの教えを繰り返した。このとき、集まった人たちに、2009年4月の総大会の訓練集会で中央幹部と地域七十人に向けて話したメッセージをもう一度強調すると述べた。
5. モロナイ 7:47
6. モロナイ 7:48
7. 教義と聖約 18:27-28 参照:  
「この十二人はわたしの弟子となり、彼らはわたしの名を受けるであろう。この十二人は、十分に固い決意をもってわたしの名を受けたいと願う人々である。  
そして、彼らが十分に固い決意をもってわたしの名を受けたいと願うならば、彼らは全世界に出て行って、すべての造られたものにわたしの福音を宣べ伝えるために召される。」
8. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号, 3。ここでこの文書を引用することにより、わたしは象徴的にわたしの署名をこれに加え、これら使徒たちによって与えられた証とまったく同じ証を宣言します。



十二使徒定員会会長  
ラッセル・M・ネルソン会長

## 姉妹たちへの懇願

わたしたちは、皆さんの力、改心、確信、指導力、知恵、そして声を必要としています。

**愛**するラズバンド長老、スティーブ・モンソン長老、そしてレンランド長老、皆さんの兄弟であるわたしたちは、皆さんを十二使徒定員会に歓迎します。わたしたちは神が御自分の預言者であるトーマス・S・モンソン大管長にこの啓示を与えてくださったことに感謝しています。

兄弟姉妹の皆さん、6か月前の総大会でお会いしたとき、わたしたちは誰一人として、全教会員の心を揺り動かす今回の変更を予期していませんでした。L・トム・ペリー長老は、主の計画にあって、結婚と家族が占めるかけがえのない役割について力強いメッセージを伝えてくれました。それからほんの数日して、長老がんで余命いくばくもないことを知り、わたしたちはがく然としました。

ボイド・K・パッカー会長の健康は衰えていましたが、長老は主の業に「邁進し」続けました。4月にはかなり衰弱していましたが、それでも息の続く限り、証を宣べ伝える決意をしていました。ペリー長老が亡くなってわずか34日後、パッカー長老も幕のかなたへと旅立ちました。

リチャード・G・スコット長老は先の総大会を欠席しました。しかしわたしたちは、それまでの多くの大会で、彼が述べた救い主に関する力強い証を振り返りました。そしてほんの12日前に、スコット長

老は、天に召され、愛するジェニン姉妹と再会しました。

わたしはこの兄弟たちの最後の日々とともに過ごす機会にあずかりました。パッカー会長とスコット長老の家族とは、お二人が亡くなる直前まで、一緒に過ごしました。この三人の大切な友人、主の偉大な僕たちが、突然、この世からいなくなったことは、今でも信じがたいことです。彼らがいなくなって、言葉では表現できないほど寂しく思います。



この一連の予期せぬ出来事について振り返るときに、わたしの心にもいつもよみがえってくる印象の一つは、彼らの奥様方から受けた印象です。わたしの心に刻み込まれているのは、枕元で夫を見守るドナ・スミス・パッカー姉妹とバーバラ・デイトン・ペリー姉妹の穏やかな姿です。二人とも、愛と真理、純粋な信仰にあふれていました。

パッカー会長の亡くなる数時間前、夫の横に座るパッカー姉妹には、人知ではとうてい測り知ることのできないあの平安があふれていました。<sup>1</sup>70年近く連れ添った愛する伴侶が間もなく旅立つことを知りながらも、彼女の姿から信仰にあふれる女性の落ち着きを感じられました。彼女はまるで天使のようでした。ユタ州ブリガムシティー神殿の奉獻式のときに二人を写したこの写真の彼女とまったく同じでした。

同じような愛と信仰が、ペリー姉妹にもあふれていました。彼女が夫と主に献身していることは明白でした。それを見て、わたしは深い感動を覚えました。

夫が亡くなる前の数時間、そして、それから今日に至るまでずっと、この確固たる強さを持つ女性たちは、聖約を守る女性たちが常に体現している力と勇気を示してきました。<sup>2</sup> そのような女性たちが、妻として、母として、祖母として、姉として、妹として、おばとして、また、教師として、指導者として、そして特に、模範を示す者として、敬虔な信仰の擁護者として、家の中のみならず、主の教会の中において及ぼす影響を測り知ることは不可能でしょう。<sup>3</sup>

それはアダムとエバの時代から今日までのあらゆる福音の神権時代において真実です。しかし、この神権時代の女性は、他のいかなる時代の女性よりも際立っています。なぜなら、この時代は他のいかなる時代よりも際立っているからです。<sup>4</sup> この違いは特権と責任の両方をもたらします。

今から36年前の1979年に、スペンサー・W・キンボール大管長は、聖約を守る女性がこれからの主の教会に及ぼす影響について深遠な預言をし、次のように述べました。「終わりの時に教会に大きな発展がもたらされようとしています。その多くは、世界中にいる善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられることが理由となって起きるでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、また、どの程度まで世の中の女性と良い意味で区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう。」<sup>5</sup>

愛する姉妹の皆さん、この締めくくりにあつて、わたしたちの大切な同僚である皆さん、キンボール大管長が見た時代は、今この時代です。皆さんこそ、彼が予見した女性たちなのです！皆さんの徳、光、愛、知識、勇気、人格、信仰、義にかなった生活は、世の善良な女性たちを、その家族とともに、前例がないほど多く、教会へ引きつけるでしょう。<sup>6</sup>

皆さんの兄弟であるわたしたちは、皆さんの力、改心、確信、指導力、知恵、そして声を必要としています。神聖な聖約を交わし、それを守る女性、神の力と権能をもって語ることのできる女性がいなければ、神の王国は完全ではありませんし、そうならないのです。<sup>7</sup>

バッカー会長はこう宣言しました。

「教会には、組織的に考える女性、物事を人を組織できる女性が必要です。計画、指導、管理ができる実行力のある女性、教えることのできる女性、躊躇することなく意見を述べることのできる女性が必要です。……

世の風潮を見極め、たとえどんなにもてはやされても浅薄なものや危険なものを確実に判別する識別の賜物を持った女性が、教会には必要です。」<sup>8</sup>

今日、さらに付け加えたいと思います。わたしたちは信仰を行使して、価値あることを起こす方法を知っている女性、罪の蔓延する世界で道徳や家族を雄々しく擁護する女性が必要です。聖約の道を昇栄を目指して歩めるように、神の子供たちを献身的に導く女性が必要です。個人の啓示を受ける方法を知っている女性、神殿のエンダウメントから得られる力と平安を理解している女性、子供と家族を守り、強めるために天の力を呼び求める方法を知っている女性、恐れることなく教える女性が必要です。

わたしは自らの人生を通して、そのような女性たちから祝福を受けてきました。亡くなったわたしの妻、ダンツェルもそのような女性でした。彼女から人生が変わるような影響を受けたことにいつまでも感謝することでしょう。その影響力は、開胸手術の道を切り開く取り組みを含め、わたしの人生のあらゆる面に及んでいます。

58年前に、先天性の重い心臓疾患の少女の手術を依頼されました。少女の兄も同じ病気で亡くなっていました。両親は助けを懇願しました。予断を許さない

状況でしたが、少女の命を救うために、全力を尽くすと約束しました。最善を尽くしたにもかかわらず、少女は亡くなりました。後に、その両親は、当時まだ16か月だったもう一人の娘を連れて来ました。この子も生まれつき心臓の構造に問題がありました。もう一度、彼らの要請に応じて、手



バーバラ・ベリー姉妹とL・トム・ベリー長老

術を行いました。しかし、この子も亡くなったのです。この家族にとって3度目となるこの悲痛な死は、文字どおり、わたしを打ちのめしました。

わたしは気落ちして帰宅しました。居間の床に身を投げ出し、一晚中泣きました。「もう二度と心臓の手術はしない」と、わたしが何度も繰り返している間、ダンツェルはそばで聞いていてくれました。それから、朝の5時ぐらいになって、ダンツェルはわたしを見詰め、愛情を込めてこう言いました。「泣くのは終わった？ じゃあ、着替えて。研究室に戻るの。仕事に行くの！ もっと学ぶのよ。今やめたら、あなたがすでに知っていることを、他の人たちが苦勞して学ばなければならなくなるわ。」

妻のあのときのビジョンと、不屈の精神と、愛が、どれほど必要だったでしょう！わたしは仕事に戻り、もっと学びました。ダンツェルの靈感あふれる励ましがなかったら、開胸手術の腕を磨くことも、1972年にスペンサー・W・キンボール大



ボイド・K・バックナー会長とドナ・S・バックナー姉妹

管長の命を救った手術を執刀する備えもできていなかったことでしょう。<sup>9</sup>

姉妹の皆さん、皆さんは、御霊の導きを受けているときに皆さんが考え、感じていることを語るときに、皆さんの影響力がどれほど広範囲に及ぶか気づいているでしょうか。ある優れたステーキ会長が、ステーキ評議会集会で難しい問題を解決するために悪戦苦闘したときのことを話してくれました。集会中に、初等協会の会長がまだ話していないことに気づいた彼は、彼女に何か考えがないかと尋ねました。「実は、あります。」彼女がその考えを述べると、集会の流れがすっかり変わりました。ステーキ会長はこう語っています。

「彼女が話しているとき、御霊がわたしに証しました。彼女が述べたことこそ、この評議会が求めていた啓示なのだ。」

愛する姉妹の皆さん、皆さんの召し方が何であれ、皆さんの置かれた環境がどうであれ、わたしたちには皆さんの考えや、洞察、靈感が必要です。ワードヤステークの評議会でも、気兼ねなく率直に意見を述べてください。伴侶と協力して家族を管理するときに、**献身的かつ全面的な協力者**<sup>10</sup>として口を開いてください。既婚の姉妹も、独身の姉妹も、神の賜物として与えられた独特な能力と特別な直感力があります。皆さんの比類ない影響力は、わたしたち兄弟にはまねのできないものなのです。

創造の全ての業の中で有終の美を飾ったのは女性の創造であったことをわたしたちは知っています！<sup>11</sup> わたしたちは皆さんの力を必要としています。

教会とその教義、教会員の生き方に対する攻撃は激しくなっていきます。だからこそ、キリストの教義を根本から理解している女性、その理解を用いて教え、罪に対抗する世代の成長を助けられる女性が必要なのです。<sup>12</sup> あらゆる形の欺きを見抜くことのできる女性が必要です。神が聖約を守る人に提供しておられる力にアクセスする方法を知っている女性、信じていることを確信と慈愛をもって伝えられる女性が必要なのです。母なるエバの勇気と

ビジョンを持った女性が必要なのです。

愛する姉妹の皆さん、皆さんの永遠の命にとって何より大切なのは、皆さん自身の改心です。それは、改心し、聖約を守る女性たち、わたしの愛する妻ウェンディのような女性たちです。その義にかなった生活は、道徳的に腐敗していく世界にあつてますます際立ち、そのため彼女たちは、その真に幸福な生き方によって際立ち、異なって見られるでしょう。

ですから今日、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の姉妹の皆さんに懇願します。前に踏み出してください！ これまで以上に、家庭、地域社会、神の王国において皆さんの本来果たすべき役割を果たしてください。スペンサー・W・キンボール大管長の預言を成就するよう、皆さんに懇願します。そしてイエス・キリストの御名によって約束します。皆さんがそうするとき、聖霊が皆さんの影響力をこれまでになかったほど強めてくださいます。

主イエス・キリストが実在の御方であり、人を贖い戻し、罪を贖い取り、人を聖める主の力が現実のものであることを証します。また、使徒の一人として、愛する姉妹の皆さんに感謝し、わたしたちがともに主の御業に携わるとき、皆さんが自分の可能性に到達し、皆さんが創造された目的を成就することができるよう祝福します。ともに手を携えることにより、わたしたち主の再臨に世を備える助けをすることができるのです。そのことを、皆さんの兄弟として、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

#### 注

1. ピリピ4:7参照
2. これには涙も含まれる。それは、愛する者が現世を「卒業する」ときに、その人のために涙を流すという戒めを守ることである(教義と聖約42:45参照)。
3. イサクならびにその息子ヤコブに対するリベカの影響力について、創世27:46:28:1-4参照
4. ジョセフ・フィールディング・スミス、*Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディ



七十人  
グレゴリー・A・シュワイツァー

# ラッパを明快に 鳴り響かせましょう

福音のメッセージを明快に、心から伝えることのできるキリストの弟子が、世の中で必要とされています。

**今**年の夏、娘夫婦がステーキ主催の开拓者の旅の活動に参加している間、妻とわたしは孫二人を預かりました。娘は、息子たちが家を離れている間も、ちゃんとピアノを練習してほしいと考えていました。祖父母の家で数日過ごす間に、練習することを忘れてしまうことを知っていたのです。ある午後、わたしは13歳の孫のアンドリューのそばに座り、彼が弾くのを聞くことにしました。

この子はとても活発な少年で、外で遊ぶのが大好きです。放っておけば、いつまでも狩りや魚釣りをしていることでしょう。ピアノを練習する彼の様子から、近くの川へ行って釣りをしたいと思っただけで、わたしが耳を傾けていると、アンドリューは聞き覚えのある曲の和音を力いっぱい弾きましたが、どの音も同じ強さと拍子で弾いたため、旋律の区別がつきませんでした。わたしは彼と一緒にピアノの椅子に座り、旋律を奏でる音は強めに弾き、伴奏の音は少し控えめに弾くことの大切さを説明しました。ピアノは精巧な機械であるだけでなく、自分の声や気持ちの延長であり、すばらしいコミュニケーションの道具になることについて話しました。人が話すときに一語一語

をすらすらと発するのと同じように、音楽の旋律も一音一音をなめらかに奏でるべきなのです。

アンドリューが繰り返しさらう間、わたしたちは一緒に笑いました。乱雑な音の塊の中から聞き覚えのある旋律が目立ってくるにつれ、アンドリューもえくぼのある笑顔になっていきました。そしてついに、「神の子です、わたしやあなた」というメッセージがはっきりと聞こえました。<sup>1</sup> わたしはアンドリューに、メッセージの違いを感じたかと尋ねました。アンドリューは



- ング・スミス・ジュニア編、全5巻(1957-1966年)、第4巻、166参照。注——以前の神権時代はすべて、一部の地域に限定され、背教によって幕を閉じた。対照的に、この神権時代は空間的・時間的に限定されることなく、全世界を満たし、この時代の続きとして主の再臨を迎えることになる。
- 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』223-224
  - わたしが生まれたころ、教会員総数は60万人以下だった。今日、その数は1,500万人以上に上る。この数はこれからも増え続けるだろう。
  - ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、扶助協会の姉妹たちにこう言っている。「皆さんは権能をもって語ることができます。主が皆さんに権能を与えられたからです。」またこうも言っている。扶助協会には「たくさんの事柄を行う力と権能が与えられています。姉妹たちが行う業は神の権能によって行われます。」(“Relief Society — an Aid to the Priesthood,” *Relief Society Magazine*, 1959年1月号、4、5)。これらの言葉は、ダリン・H・オークス長老も、「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号、51で引用している。
  - ボイド・K・バック「扶助協会」『聖徒の道』1979年2月号、11参照。M・ラッセル・バラード、*Counseling with Our Councils: Learning to Minister Together in the Church and in the Family* (1997年)、93も参照
  - スペンサー・J・コンディ、*Russell M. Nelson: Father, Surgeon, Apostle* (2003年)、153-156参照。注——1964年、キンボール大管長はわたしをステーキ会長に聖任した際に、わたしが先駆者として取り組んでいた大動脈弁手術の死亡率が減少するようにと祝福してくれた。当時、わたしたちのいずれも予期していなかったことが、その8年後にキンボール大管長の手術が機能不全に陥り、わたしがそれを交換する手術を執刀することになった。
  - 「結婚生活は協力関係によって支えられると言いましたが、完全な協力であると付け加えます。わたしたちは、末日聖徒の女性にこの永遠の業にあって、沈黙の協力者、部分的な協力者にはなあってほしくないのです。どうぞ、献身的に、そして全面的に協力してください。」(スペンサー・W・キンボール「女性の特権と責任」『聖徒の道』1979年2月号、152-153参照)
  - 「すなわちこの世のあらゆる目的、そしてこの世のあらゆる存在は女性がいなければ無に帰してしまうのです。女性は創造という神権のアーチの中でかため石の役割を果たすのです。」(ラッセル・M・ネルソン「イヴからの教訓」『聖徒の道』1988年1月号、94)「ですからエバは、それまでなされた驚くべき業のすべてを締めくくる集大成として、神の最後の創造物となりました。」(ゴードン・B・シンクレ「人生で出会う女性たち」『リアホナ』2004年11月号、83)
  - ラッセル・M・ネルソン「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号、37参照

「おじいちゃん、感じる事ができたよ」と答えました。

使徒パウロはコミュニケーションを楽器にたとえて、コリント人に次のように書き送りました。

「また、<sup>たてごと</sup>笛や立琴のような楽器でも、もしその音に変化がなければ、何を吹いているのか、弾いているのか、どうして知ることができようか。

また、もしラッパがはっきりした音を出さないなら、だれが戦闘の準備をするだろうか。」<sup>2</sup>

福音のメッセージを明快に、心から伝えることのできるキリストの弟子が、現代ほど、世の中で必要な時代があるでしょうか。わたしたちには明快に鳴り響くラッパの音が必要です。

言うまでもなく、最良の模範はキリストでした。主は正しいことを守るために立ち上がる勇気をいつも示されました。そして、昔も、今も、変わらない声で、神と同胞を愛することを思い起こし、神の戒めを全て守り、世の光となるよう、わたしたちに勧めておられます。主は、天の御父がお与えになった御自身の使命を否定されても、御自身の時代の権力者や統治者に立ち向かって語ることを、恐れられません。主の御言葉は、人々を混乱させるのではなく、彼らの心を揺り動かすことを意図していました。主のあらゆる言動によって、主が明確に御父の御心を御存じだったことが分かります。

わたしは、五旬節の日に世の人々の前に立ち、勇気をもってはっきりと語ったペテロの模範も大好きです。その日、人々はさまざまな国から集まり、初期の聖徒が他国の言葉で語っているのを見て酒に酔っていると思い、彼らを批判しました。ペテロは御霊に促されて、教会と会員たちを擁護するために立ち上がり、次のように証しました。「ユダヤの人たち、ならびにエルサレムに住むすべてのかたがた、どうか、この事を知っていただきたい。わたしの



言うことに耳を傾けていただきたい。」<sup>3</sup>

そして、キリストに関する預言が書かれた聖文を引用して、率直な証を述べました。「だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである。」<sup>4</sup>

多くの人はペテロの言葉を聞いて御霊を感じ、初期の教会に3千人が加わりました。この力強い例から、世の中が真逆の方向に向かっているように見えるときに進んで証する一人の男性か女性によって、世が影響を受けることが分かります。

わたしたちが会員として立ち上がり、神の教義と教会について力強く証する決意をすると、わたしたちの中である変化が起きます。わたしたちは主の面影を受けます。主の御霊に近づきます。すると、主はわたしたちに先立って行き、「[わたしたちの] 右におり、また左に[おられます]。[主]の御霊は[わたしたちの] 心の中にあ[ります]。また、[主の] 天使たちは[わたしたち]の周囲にいて、[わたしたち]を支える」でしょう。<sup>5</sup>

キリストの真の弟子は、今の世の中の考え方にそぐわないときでも、教義について言い訳をしようとしません。パウロも、大胆に証した勇敢な弟子であり、「[わたしは]福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である」と宣言しました。<sup>6</sup> 真の弟子は、そうすることがたやすくもないときにも主を代表して語ります。真の弟子は人に良い印象を与えるだけではなく、人々の心に靈感を与えたいと望むのです。

多くの場合、キリストを擁護することは都合のよいことでも、楽なことでもありません。パウロがアグリッパ王の前に呼ばれ、自分の申し開きをし、自分のことを話すよう求められたときも、そのような状況だったはずで、パウロは迷うことなく、自分の信じていることをあまりにも力強く宣言したので、王は圧倒されて、もう少しでクリスチャンとなるように説得させられるところだった、と言いました。

パウロは、自分の言葉を人々に完全に理解してほしいと願っていると答えました。自分の望みは、自分の言葉を聞く人々が



クリスチャンになりそうになるのではなく、すっかりキリストの弟子になることであると、アグリッパ王に語りました。<sup>7</sup> 明快に語る人々がこれを達成できるのです。

長年の間、わたしはモルモン書に書かれているリーハイの夢について研究してきましたが、<sup>8</sup> 大きく広々とした建物は、最も反抗的な人々だけがいる場所だと考えていました。その建物は人々でいっぱい、彼らは、神の御言葉を表す鉄の棒につかまり、神の愛を表す命の木に向かって歩く忠実な人々を嘲り、指さしました。ある人々は、嘲り笑う人々の圧力に耐えられず、道をそれてしまいました。別の人々は建物に入って嘲る人々に加わることにしました。彼らは、世の人々の批判やメッセージに立ち向かって雄々しく語る勇気がなかったのでしょうか。

現代社会が神から離れていく姿を見て、わたしはこの建物がますます大きくなっているように感じます。今日、多くの人々がその一部に取り込まれているという事実気づかないまま、大きく広々とした建物の廊下をさまよっています。彼らは

しばしば誘惑や世のメッセージに負けてしまいます。そして次第に、批判し、嘲る人々と一緒に嘲り笑い、口を合わせるようになるのです。

わたしは何年もの間、嘲る人々が忠実な人々の生き方をあざ笑っているのだと思っていましたが、今日建物から聞こえる声は口調や手法を変えています。あざ笑う人々は、教会の歴史のある一面を攻撃したり、預言者や指導者たちを批判したりして、福音の簡明なメッセージをつぶそうとします。さらに、教会の教義や、地球の創造以来ずっと与えられてきた神の律法の中核も攻撃します。イエス・キリストの弟子であり、教会員であるわたしたちは、鉄の棒から絶対に手を放してはいけません。明快なラッパの音をわたしたち自身の心から鳴り響かせなければなりません。

簡明なメッセージとは、神が愛ある天の御父であられ、イエス・キリストがその御子であられることです。福音は生ける預言者を通してこの末日に回復されており、その証拠がモルモン書です。幸福の道は、天の御父によって時の初めに組織さ

れ、明らかにされた、家族という基本単位を中心とする道です。これこそ、多くの人にとって聞き覚えのあるメッセージの旋律です。彼らは前世でそれを聞いていたからです。

今こそ、末日聖徒として立ち上がり、証する時です。福音の旋律が世の騒音を越えて、高らかに鳴り響くべき時です。この世の救い主、贖い主のメッセージに、わたしの証を付け加えます。主は生きておられます。福音は回復されており、主の戒めを守り、主の道を歩むことによってこの世で幸福と平安の祝福を得ることができます。これがわたしの証です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 「神の子です」『賛美歌』189番
2. 1コリント14:7-8
3. 使徒2:14
4. 使徒2:36
5. 教義と聖約84:88
6. ローマ1:16
7. 使徒26:26-30参照
8. 1ニーファイ8章参照



七十人  
クラウディオ・R・M・コスタ長老

# いつも御子を 覚えていることを

わたしは、わたしや全人類のためにすべてを差し出された御方の生涯を研究し、深く考えることが大好きです。

わたしは次の歌詞の初等協会の歌が大好きです。

エス様の話 聞かせて  
長い旅の途中 あったこと  
エス様が会った人  
エス様の御言葉<sup>1</sup>

子供たちや家族にイエス様の話を聞かせてあげるといふ伝統を始めることは、家庭で安息日を聖く保つためのきわめて特別な方法だと信じています。

そうするならば、間違いなく、家庭は特別な雰囲気にも包まれ、家族は救い主御自身の模範に触れることができます。

わたしは、わたしや全人類のためにすべてを差し出された御方の生涯を研究し、深く考えることが大好きです。

わたしは、主の罪のない生涯について書かれた聖典の言葉を読むのが大好きです。主が経験された出来事についての聖句を読んだ後で、わたしを教え、霊的に強めてくれるそれらの神聖な場面を、目を閉じて心に描くようにするのです。

たとえば次のような場面です。

- 主が地につばきをし、そのつばきで泥を

作り、盲人の目に塗って「シロアム……の池に行って洗いなさい」と言われ、盲人は御言葉に従い、「洗っ〔て〕見えるようになった」ときのこと。<sup>2</sup>

- 長血をわずらっていた女性が、主の御衣ごころものふさに触りさえすれば治していただけると信じて主の衣に触り、主が彼女を癒やされたときのこと。<sup>3</sup>
- 主が海の上を歩き、弟子たちに御姿みすがたを現されたときのこと。<sup>4</sup>
- 主が弟子たちと一緒にエマオへ向かいながら、弟子たちに聖書を解き明かしてくださいましたときのこと。<sup>5</sup>



- 主がアメリカ大陸の人々に御姿を現され、御自分が「イスラエルの神であり、全地の神であること、そして世の罪のために殺されたことを」民が知ることができるように、御自分のもとに来て、わきに手を差し入れ、手足の釘跡に触れるように言われたときのこと。<sup>6</sup>

わたしは、子供たちにキリストの話をしてくれる親たちがいることを知ってうれしく思います。教会で、初等協会のプログラムで、またその他の機会に、子供たちの様子を見るとき、そのことに気づきます。

わたしにキリストについて教えてくれた両親に感謝しています。また、愛する妻とわたしは、自分の子供を教える際に、救い主の模範から助けを得続けています。

自分の子供が孫にキリストの話をしてる姿を見るとき、喜びが満ちあふれ、大好きなヨハネ第三の手紙第1章4節の言葉を思い出します。「わたしの子供たちが真理のうちに歩いていることを聞く以上に、大きい喜びはない。」それが、孫であつても同じではないでしょうか。

わたしは、キリストについて、安息日を聖日として守ることについて、そして救い主を記念して毎週聖餐まいさんを頂くことについて、たびたび教えてくれる教会の指導者に感謝しています。

キリストの話を研究するとき、安息日や聖餐がさらに喜びに満ちたものになります。そうしながら、信仰と証を確立し、家族を守ってくれる伝統を築き上げるのです。

数週間前、ラッセル・M・ネルソン会長が前の総大会で話したメッセージを改めて研究し、安息日について深く考えていたとき、聖餐を頂くことのできる祝福と特権に対する深い感謝の念が湧いてきました。わたしにとって、聖餐は非常に厳粛かつ神聖で、霊的な時間です。わたしは聖餐会を心から喜びとしています。

わたしは、深く考えながら、パンと水の祝福について注意深く研究しました。聖



餐の祈りと儀式について読み、瞑想しました。聖餐に関連する出来事を、頭と心の中で振り返り始めました。

黙想しながら、わたしはあの日、除酵祭の第一日に思いをはせました。その日イエスは、<sup>すきこし</sup>過越の食事をするためにどこに用意すればよいか尋ねる弟子たちに、こう言われました。「市内にはいり、かねて話してある人の所に行って言いなさい、『先生が、わたしの時が近づいた、あなたの家で弟子たちと一緒に過越を守ろうと、言っておられます。』」<sup>7</sup>

わたしは、弟子たちがその特別な日に主と食事をするために食べ物を買ひ、注意深く食卓を整えている光景を思い浮かべようと思いました。それは主と主が愛された12人の弟子から成る13人のための食卓です。

キリストが弟子たちと食事をしながら、「特にあなたがたに言うておくが、あなたがたのうちのひとりが、わたしを裏切ろうとしている」と言われたときのことを思い浮かべたとき、わたしは泣きました。<sup>8</sup>

わたしは「主よ、まさか、わたしではないでしょう」と、悲しみながら尋ねた弟子たちのことを考えました。<sup>9</sup>

その後、ユダが主に同じ質問をしたときに、主は穏やかに「いや、あなただ」と答えられました。<sup>10</sup>

わたしは、人々を癒やし、慰めを与え、教化し、祝福した両手でパンを裂きながら、イエスが「取って食べよ、これはわたしのからだである」と言っておられる様子を思い浮かべることができました。<sup>11</sup>

次に主はぶどう酒を入れた杯を取り、感謝して、その杯を弟子たちに与えて言われました。「みな、この杯から飲め。これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの契約の血である。」<sup>12</sup>

わたしは心の中で、弟子たちを一人ずつ見ました。彼らの目には、心から愛する主を心配する気持ちがあふれていました。まるで、自分も弟子たちと一緒にそこに座って、すべてを見ているかのようなでした。わたしは心に激しい痛みを覚え、主がわたしのために今まさに経験しようとしておられることへの深い悲しみに満たされました。

わたしの心は、もっと善い人になりたいという抑えがたい望みで満たされました。悔恨と悲しみのうちにわたしは、ゲツセマ

ネで流される主の血を止め、ほんの数滴でも血が滴り落ちるのを防ぐことができたらと熱烈に願いました。

それから、主を記念するために毎週頂く聖餐について深く考えました。考えながら、パンと水を祝福する言葉一語一語について思い巡らしました。パンを祝福する「いつも御子を覚え」という言葉、水を祝福する「いつも御子を覚えている」という言葉について深く考えたのです。<sup>13</sup>

いつも御子を覚えるとはどういう意味か、よく考えてみました。

わたしにとって、それは次のことを意味します。

- 前世における主、そして、主がこの美しい惑星を造られたことを覚える。<sup>14</sup>
- ユダヤのベツレヘムの飼業おけに、主が卑しくお生まれになったことを覚える。<sup>15</sup>
- わずか12歳の主が、神殿で教師たちに教を説かれたことを覚える。<sup>16</sup>
- 主が一人ひそかに荒れ野へ出て行かれ、地上での務めを果たす備えをされたことを覚える。<sup>17</sup>
- 主が弟子たちの前で変貌されたことを覚える。<sup>18</sup>

- 弟子たちとの最後の晩餐で、主が聖餐を定められたことを覚える。<sup>19</sup>
- ゲツセマネの園へ行かれ、わたしたちの罪や苦痛、失意、病のために、あらゆる血穴から血を流すほど激しく苦しめられたことを覚える。<sup>20</sup>
- そのような激しい苦痛を味わわれた後、まさにそのゲツセマネで、友と呼んでおられた弟子の一人の接吻によって主が裏切られたことを覚える。<sup>21</sup>
- 審問のために、主がピラトとヘロデの前に連れて行かれたことを覚える。<sup>22</sup>
- 主が人々の前で愚弄され、打たれ、つばをかけられ、叩かれ、肉が裂けるほどにむち打たれたことを覚える。<sup>23</sup>
- いばらの冠が主の頭に容赦なくかぶせられたことを覚える。<sup>24</sup>
- 主がゴルゴタまで御自身の十字架を背負って行き、そこで釘で十字架に打ちつけられ、肉体にも霊にもあらゆる苦痛をお受けになられたことを覚える。<sup>25</sup>
- 主が十字架上で、心を慈愛で満たし、御自分を十字架に掛けた者たちを見て、天に目を向け、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」<sup>26</sup>と嘆願されたことを覚える。
- 全人類を救う使命を成し遂げたことを自覚し、御自身の御父であり、またわたしたちの御父でもあられる御方の御手に、主がその霊をゆだねられたことを覚える。<sup>27</sup>
- 主の復活と、そのおかげで、わたしたちも復活し、個人の選択次第で主のみそばで永遠に生きられるようになったということを感じる。<sup>28</sup>

さらに、聖餐の祈りと、深い意味を持つ特別なその祈りの言葉について深く考えることによって、いつも御子を覚えているならば、いつも御子の御霊を受けるといふ、聖餐の祝福を通して受ける約束のすばらしさを覚えるのです。<sup>29</sup>

わたしは、主が御自身のタイミングで人に啓示を下されると信じています。伝道の書第3章1節と6節を研究したときにそのことを明確に理解しました。

「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。……

捜すに時があり、失うに時があり、保つに時があり、捨てるに時があ[る]。」

聖餐は、天父にとっては、愛する御子、救い主イエス・キリストの贖罪についてわたしたちに教える時であり、わたしたちにとっては、贖罪に関する啓示を受ける時です。この知識を求め、受けるために「門をたた[き]、……あけてもらえる」時です。<sup>30</sup> その知識を、敬虔に神に願い求める時です。そうするならば、人生に計り知れない祝福をもたらすその知識を受けることを、わたしは一点の疑いもなく信じています。

わたしは安息日と、聖餐とそれが意味する事柄を愛しています。わたしは心の底から救い主を愛しています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 「イエス様の話聞かせて」『子供の歌集』36
2. ヨハネ9:7
3. ルカ8:43-48 参照
4. マルコ6:45-52 参照
5. ルカ24:13-35 参照
6. 3 ニーフアイ11:14
7. マタイ26:18
8. マタイ26:21
9. マタイ26:22
10. マタイ26:25
11. マタイ26:26
12. マタイ26:27-28
13. 教義と聖約20:77, 79
14. ヨハネ1:1-3 参照
15. ルカ2:1-7 参照
16. ルカ2:41-52 参照
17. マタイ4:1-11; マルコ1:12-13; ルカ4:1-13 参照
18. マタイ17:1-9 参照
19. マタイ26:26-28; ルカ22:14-20 参照
20. ルカ22:39-46 参照
21. ルカ22:47-48 参照
22. ルカ23:1-12 参照
23. マタイ26:67; 27:26, 28, 30; ルカ22:63-65 参照
24. マタイ27:29 参照
25. ヨハネ19:16-18 参照
26. ルカ23:34
27. ルカ23:46 参照
28. ルカ24:5-8 参照
29. 教義と聖約20:77, 79 参照
30. マタイ7:7





大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長

# あなたの伴侶としての 聖霊

ふさわしく生活すれば、御霊を伴侶とする祝福を、ときどきではなく、常に受けられるのです。

**愛** する兄弟姉妹の皆さん、この安息日に主の教会の総大会で皆さんと一緒できることを感謝します。皆さんと同じようにわたしも、この大会で語られ歌われた真理の言葉を御霊すなわち聖霊が証するのを感じています。

わたしの今日の目的は、バプテスマの後で約束されたあの賜物の効力を求めることを、皆さんがもっと強く望み、もっと強く決意していただくことです。確認の儀式で「聖霊を受けなさい」<sup>1</sup> という言葉を聞いた時から、人生は永遠に変わったのです。

ふさわしく生活すれば、御霊を伴侶とする祝福を、ときどきではなく、わたしたちが今日すばらしい経験をしたように、常に受けられるのです。その約束がどのように実現されるかは、聖餐の祈りの言葉から知ることができます。「永遠の父なる神よ、わたしたちは御子イエス・キリストの御名によってあなたに願ひ求めます。このパンを頂くすべての人々が、御子の体の記念にこれを頂けるように、また、進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守ることを、永遠の父なる神よ、あなたに証明して……」

ここで、そのすばらしい約束が来ます。

「いつも御子の御霊を受けられるように、このパンを祝福し、聖めてください。」(教義と聖約 20 : 77, 強調付加)

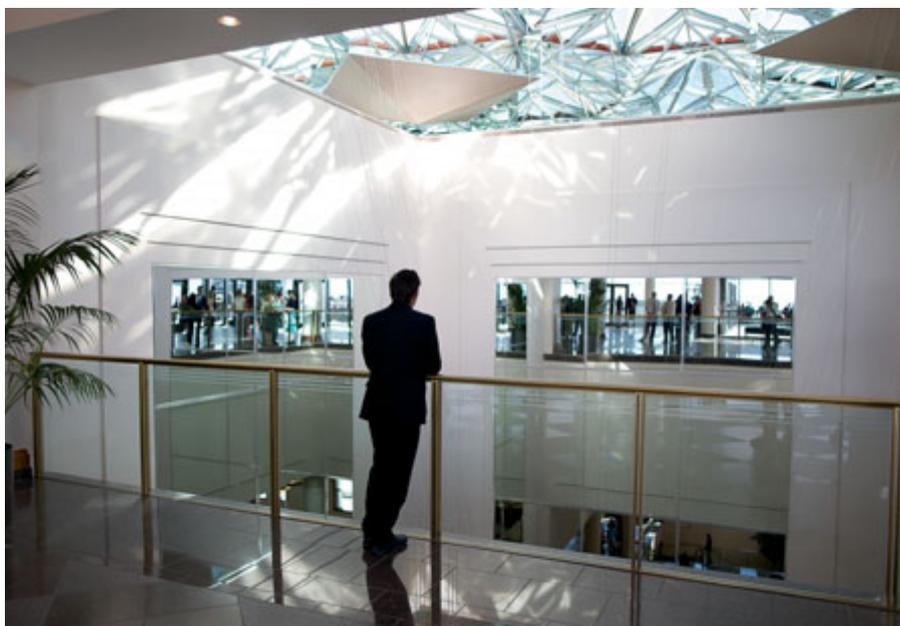
いつも御霊を受けるとは、日々の生活の中で聖霊の導きを受けるということです。例えば、御霊の警告を受けることにより、悪いことを行う誘惑を退けることができます。

それだけでも、わたしたちが聖餐会でもっと熱心に神を礼拝するように主の僕たちが導こうとしている理由がよく分かります。信仰をもって聖餐を受けるなら、ますます強く、ますます頻繁にやって来る誘惑から、聖霊はわたしたちと、わたしたちの愛する人々を守ることがおできになるのです。

聖霊を伴侶とすると、良いことにもっと引かれるようになり、誘惑にそれほど魅力を感じなくなります。それだけでも、いつも御霊を受けると決意する十分な理由になるでしょう。

聖霊は悪への抵抗力を増してくださるうえに、真実と誤りを識別する能力も与えてくださいます。最も大切な真理について確証を与えるのは、神の啓示だけです。人間の論理や五官に頼るだけでは不十分です。わたしたちが生きている現代は、聡明な人ですら巧妙なうそと真理を識別するのに苦勞する時代なのです。

使徒トマスは救い主の傷跡に触れることによって、復活の物理的な証拠を得たいと望みました。しかし主は彼に啓示の



方がもっと確実な証拠であると教えられました。「イエスは〔トマス〕に言われた、『あなたはわたしを見たので信じたのか。見ないで信ずる者は、さいわいである。』」（ヨハネ 20：29）

神のみもとへ行く道を示す数々の真理について確証を与えてくださるのは聖霊です。森に入って、御父と御子が若きジョセフ・スミスに語るのを見ることはできません。どのような物的証拠や論理も、生ける預言者トマス・S・モンソンが現在保持し行使している神権の鍵を授けるために、約束どおりにエリヤが来たことを証明することはできません。

聖霊を受ける権利を行使する神の息子や娘たちは、真理について確証を得ることができます。誤りや偽りに出くわす可能性は常にあるので、疑念に惑わされないようにするためには、常に真理の御霊の影響を受ける必要があります。

ジョージ・Q・キャノンは、十二使徒定員会の一員であったとき、常に御霊とともにあるようにと勧告しました。そうすれば、真理の「知識に不足することがなく」、「疑うことも、闇にとどまることもなくなり」、「信仰が強められ、〔わたしたちの〕喜びは満ちる」と約束したのです。<sup>2</sup> わたしもそう約束します。

聖霊を伴侶として常に助けを受けることが必要なには、もう一つの理由があります。愛する人が突然亡くなることがあります。愛する人の死に際して、希望と慰めとなるのは、愛に満ちた天の御父と復活された救い主が生きておられるという、聖霊からの証です。死に直面したとき、それは生ける証でなければなりません。

つまり、多くの理由で、聖霊を常に伴侶とする必要があるのです。たとえ望んだとしても、その状態を保つことが容易でないことは、経験から誰もが承知しています。わたしたちは、普段の思いや言葉や行いによって御霊を傷つけています。慈愛で心を満たし、絶えず徳で思いを飾る

ときに、聖霊は常に伴侶となってくさると、主は教えられました（教義と聖約 121：45 参照）。

御霊を伴侶とするという賜物にふさわしくなるために、高い標準を満たそうと格闘している人々に、この励ましの言葉を贈ります。皆さんは聖霊の影響を感じたことがあります。あなたにとって、それは今日だったかもしれません。

そのような霊的な瞬間を、アルマが語った信仰の種だと考えて、一粒ずつ植えてみてください（アルマ 32：28 参照）。促しに従うことが、種を植えることです。最も大切なのは、神が自分に何をしよう望んでおられるかを教える靈感です。それが<sup>しょうぶん</sup>自分の一でも、悲しむ友人を訪れることでも、<sup>みこころ</sup>従うのです。何であれ促しに従ってください。従う意思を示すなら、御霊は神の御心を教える靈感をもっと送ってくださるようになるでしょう。

促しに従うにつれ、もっと頻繁に御霊の促しを受けるようになり、常に伴侶である状態に少しずつ近づいていきます。正

しいことを選択する力が増すのです。

主のために行動する促しが自分の願望ではなく御霊から来ているかどうか、自分で知ることができます。促しが救い主や主の預言者の言葉と一致しているときには、自信をもって従うことを選択してください。そうするならば、主は皆さんを助けるために御霊を遣わしてください。

例えば、特に難しいと感じるときに、安息日を守るようにという促しを受けた場合、神は御霊を遣わして助けてくださいます。

昔、父がオーストラリアに出張したときに、そのような助けを受けました。日曜日に一人だった父は聖餐を受けたいと思いました。末日聖徒の集会の情報が見つからなかったので、外を歩いてみることにしました。交差点に来るたびに、どちらに進むべきか祈りました。歩き続けて1時間後、また立ち止まって祈ったときに、こちらに行くべきだという印象を受けました。間もなく、近くのアパートの1階から歌声が聞こえてきました。窓をのぞくと、テーブルのそばに数人が座っているのが見え





ました。白い布で覆われたテーブルの上には聖餐のトレーが置かれていました。

ささいな出来事に思えるかもしれませんが、父にとってはすばらしい経験でした。父は聖餐の約束が成就したことを知っていました。「いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守る〔なら〕、いつも御子の御霊を受けられる」という約束です（教義と聖約 20 : 77）。

これは、父が祈ったときに御霊が神の御心を教えてくださった経験の一つにすぎません。皆さんとわたしがしたいと願っていることを、父は長年続けていました。父は決して自分の霊性を語りませんでした。主のために行うようにと促された小さな事柄を行い続けただけです。

末日聖徒のグループから話をするよう頼まれれば、父は必ず応じていました。集まった人が 10 人でも、50 人でも、自分がどれほど疲れていても、構いませんでした。御霊の促しを感じたときはいつも、御父と御子と聖霊と預言者について証しました。

父が教会で受けた最も高い召しは、ユタ州ボネビルステーキの高等評議員で、ステーキ農場の雑草を取ることが父の担当でした。日曜学校も教えました。長年にわたり、聖霊は父が必要なときにそばにいてくださいました。

わたしは病室で父の横にいました。ベッドには、わたしの母、父の 41 年来の妻が横たわっていました。二人で何時間も母を見守りました。母の顔から苦悶の表情が消えていきました。固く握られていた手の指が緩み、腕が体の両側にそっと落ちました。

数十年のがんの苦しみが終わりに近づいていました。平安な表情でした。短い呼吸が数回続き、ハッと息をのむと、動かなくなりました。わたしたちは、呼吸が戻るかどうか待ちました。

ついに、父がささやきました。「故郷ふるさとに帰ったんだね。」

父は泣きませんでした。それはずっと以前に、聖霊が父に、母が何者で、どこから来て、どのような者になったか、そして

これからどこへ行くことになるのか、明確に示しておられたからです。愛に満ちた天の御父と、死の力を破られた救い主について、また、父を母と家族に結び固めている神殿の儀式が真実であることについて、御霊は何度も父に証をしてくださいました。

御霊はずっと以前に、その善良さと信仰のゆえに、母には天の家に戻る資格があるということと、そこで母はすばらしい約束の子として迎えられ、敬意をもって歓迎されるということを、父に教えてくださいました。

聖霊の助けがあったので、父にとって、それは単なる希望ではなく、現実でした。

そんな父の言葉や脳裏に描かれた天の家の情景は単なる感傷に過ぎず、妻を亡くしたばかりで判断力が鈍っていたせいだと言う人がいるかもしれません。しかし父は永遠の真理を、唯一可能な方法を通して知ったのです。

父は、科学者として自然科学の真理の探究に、成人してからの全生涯をささげま

した。世界中の研究者から尊敬を集めるほど、科学的な方法に通じていました。化学における彼の業績の多くは、分子の動き回る様子を心の目で見て、研究室での実験を通して確認することによって得られたものでした。

しかし、彼やわたしたちにとって最も大切な真理を見るためには、別の方式に従いました。人や出来事を、神が御覧になるように見るには、聖霊によって見るしかないのです。

その賜物は、母の死後、病院の中で続きました。家に持ち帰るために母の荷物をまとめました。車へ行く途中、父は看護師と医師に会うたびに立ち止まって感謝しました。わたしは、早く帰って家族だけで母の死を悼むべきだと感じ、少しいらだちを覚えました。

今思えば、父には聖霊を通してしか見えない事柄が見えていたのです。父には彼らが、最愛の妻を世話するために神から遣わされた天使に見えていたのです。本人たちは医療従事者だと思っていたでしょうが、父は救い主に代わって彼らの奉仕に感謝していたのです。

聖霊の影響は、わたしたちが父の家に帰ってきた後も続きました。わたしたちは居間で少しの間話をしました。父は一人になるために、座を外して、すぐそばの自分の寝室に行きました。

数分すると、父が居間に戻ってきました。ほほえみを浮かべながらわたしたちのところに来ると、静かに言いました。「ミルドレッドが独りで霊界に着いたら、大勢の中で迷うんじゃないかと心配になってね。」

そして、明るく言ったのです。「今、祈ってきたんだ。ミルドレッドは大丈夫だ。おばあさんが出迎えてくれたから。」

それを聞いてわたしは、祖母が大勢の人をかき分けて、短い脚で走って、母を出迎えて、抱き締めている様子を想像し、ほほえんだことを覚えています。

さて、父が慰めを求めて、それを受けたのは、一つには、子供のときからいつも、信仰をもって祈る習慣があったからです。慰めや導きとなる答えが、心にもたらされることに慣れていました。祈る習慣だけでなく、聖文と生ける預言者の言葉をよく知っていました。ですから、慣れ親しんだ御霊のささやきを認識できたのです。皆さんは今日そのささやきを感じたかもしれません。

御霊を伴侶とすることは、父を慰め、導いただけではありません。それはイエス・キリストの贖罪を通して父を変えました。御霊が常にともにあるという約束を受け入れるとき、救い主は、神のあらゆる賜物の中で最も偉大な永遠の命を受けるのに必要な清めを与えてくださるのです（教義と聖約 14:7 参照）。

皆さんは、救い主の言葉を覚えているでしょう。「さて、戒めは次のとおりである。地の果てに至るすべての者よ、悔い改めて、わたしのもつて来て、わたしの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊を受けて聖められ、終わりの日にわたしの前に染みのない状態で立てるであろう。」（3 ネーファイ 27:20）

これらの戒めには、次の約束が伴っています。

「さて、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。善を行うように導く、すなわち、公正に行動し、へりくだって歩み、義にかなって裁くように導く御霊を信頼なさい。これはわたしの御霊である。

まことに、まことに、あなたに言う。わたしはあなたにわたしの御霊を授けよう。わたしの御霊はあなたの思いを照らし、あなたの霊に喜びを満たすであろう。」（教義と聖約 11:12 - 13）

父なる神が生きておられ、復活されたイエス・キリストが御自身の教会を導いておられ、トーマス・S・モンソン大管長が神権の全ての鍵を持ち、聖霊による啓示が

末日聖徒イエス・キリスト教会とその謙遜な会員を導き、支えていることを証します。

わたしは、さらに皆さんに証します。主イエス・キリストの証人として、また、十二使徒定員会の会員として今日わたしたちに話してくれた、このすばらしい人たちは、神から召されています。彼らを召すようモンソン大管長を御霊が導かれたことを知っています。そして皆さんが彼らの話と証を聞いたとき、今わたしが皆さんに語ったことを聖霊が皆さんに確認してくださいました。彼らは神から召されました。わたしは彼らを支持し愛しています。そして、主が彼らを愛し彼らをその奉仕において支えてくださることを知っています。これらをイエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

#### 注

1. 『手引き 第2部——教会の管理運営』（2010年）、20. 3.10
2. ジョージ・Q・キャノンの言葉。“Minutes of a Conference”, *Millennial Star*, 1863年5月2日付、275 - 276を参照





十二使徒定員会  
D・トッド・クリストファーソン長老

## なぜ教会が

御自身と御父の業を成し遂げるために、イエスはなぜ一つの教会、御自身の教会を用いることをお選びになったのか、その理由を深く考えることには、時間を割くだけの価値があります。

わたしの生涯を通じて、教会の総大会は気分を高揚させる霊的行事であり、教会そのものが主を知るための場所でした。世の中には、自らを宗教的、あるいは、霊的な人間であると思いつつも、教会に行くことを拒んだり、そのような組織の必要性を拒む人がいることを知っています。彼らにとって、宗教的な習慣はまったく個人的なものです。しかし、教会はわたしたちの霊性の中心に位置する御方であるイエス・キリストが作られたものなのです。「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」<sup>1</sup> という御自身と御父の業を成し遂げるために、イエスはなぜ一つの教会、御自身の教会、末日聖徒イエス・キリスト教会を用いることをお選びになったのか、その理由を深く考えることには、時間を割くだけの価値があります。

アダムの時代から、イエス・キリストの福音を教えることや、バプテスマなどの救いに不可欠な儀式を施すことは、家族を基盤とした神権の職を通して行われてきました。<sup>2</sup> 社会が複雑さを増し、もはや単なる親族の集合体とは呼べなくなると、神は他の預言者や使者、教師を召されました。モーセの時代には、長老、祭司、士師といった、さらに組織的な構造が述べられています。モルモン書の歴史では、アルマ

は祭司と教師を持つ教会を設立しました。

その後、時の中間になると、イエスは多くの国のさまざまな国民の中に同時に福音を確立できるような方法で御自身の業を組織されました。その組織、すなわちイエス・キリストの教会は、「使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石」<sup>3</sup> でした。その教会には、七十人、長老、ビショップ、祭司、教師、執事などの職も追加されていました。イエスは復活の後、西半球において教会を同じように組織されました。

御自身が地上におられたときに組織された教会の背教と分裂に続き、主は預言者ジョセフ・スミスを通して、再び、イエス・キリストの福音を組織されました。イエス・キリストの福音という良い知らせを教え、救いの儀式を執り行うといういにしへの目的、すなわち、人々をキリストのもとへ連れて来るという目的はそのままでした。<sup>4</sup> そのため、現在、回復されたこの教会を通して、<sup>あがな</sup>贖いの約束は、救い主の恵みについてほとんど、あるいはまったく知らずに亡くなった方々の霊にさえ手の届くところにあるのです。

この教会は、どのようにして主の目的を達成しているのでしょうか。神の究極の目的が、人の進歩成長であるという知識は大

切です。神は、人が「恵みに恵みを受け続け、ついに〔神が人に与えられる〕完全を受け」<sup>5</sup> ることを望んでおられます。そうなるためには、単に善良であり、霊的であると感ずる以上のことが求められます。イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、水と霊のバプテスマ、終わりまで信仰をもって堪え忍ぶことが求められます。<sup>6</sup> そのようなことを一人ですることはできません。ですから、主が教会を所有しておられる重要な理由の一つは、「永遠の命に至る細くて狭い道」<sup>7</sup> にあって互いを支え合う聖徒の共同体を作ることなのです。

「そして〔キリスト〕は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし、ある人を伝道者とし、ある人を牧師、教師として、お立てになった。

それは、……奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。」<sup>8</sup>

イエス・キリストは「〔わたしたち〕の信仰の創始者であり完成者」<sup>9</sup> です。キリストのからだ——すなわち教会——に自分自身を結びつけることは、御子の御名を受けるうえで大切なことです。<sup>10</sup> 古代において「教会員は断食し、祈るため、また人の幸いについて互いに語り合うために」<sup>11</sup>、また、「主の言葉を聞くためにしばしば集まった」<sup>12</sup> と、教えられています。今日の教会も同じです。わたしたちは信仰のうちに結び合い、互いに教え、教化し合い、弟子の最も高い基準に、そして「キリストの満ちみちた徳の高さ」にまで至るよう努めています。わたしたちは「神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識」に到達するよう互いに助け合っています。<sup>13</sup> 「人はもはや、おのおのその隣……に教えて、『あなたは主を知りなさい』とは言わない。それは、彼らが小より大に至るまで皆、わたし

を知るようになるからであると主は言われる」という約束が成就する日が来るまで、主を知るために助け合うのです。<sup>14</sup>

教会の中で、わたしたちは神の教義を学ぶだけでなく、それを応用しています。キリストのからだとして、教会の会員は日々の現実の生活の中で互いに仕えています。皆不完全です。傷つけることも、傷つくこともあるかもしれません。お互いの個性が、お互いにとって試しになることがよくあります。キリストのからだの中で、理論や美辞麗句を超えて、「ともに愛をもって生活する」<sup>15</sup> ようになるために、現実の、直接的な経験をしなければなりません。

この教会は、自分の心配だけすればよいのではなく、皆が仕えるように召されています。わたしたちは、キリストの目、手、頭、足、その他の肢体であり、そして「からだのうちで他よりも弱く見える肢体〔こそ〕が、かえって必要なので〔す。〕」<sup>16</sup> わたしたちにはこれらの召しが必要であり、奉仕をする必要があります。

わたしのワードのある男性は、若い頃、親から教会に行く支援を受けるところか、教会に行くことを反対されながら育ちました。彼はそのことについてある聖餐会でこう述べました。「父は、スキーに行く代わりに教会に行こうとする人の気持ちが理解できないのです。でもわたしは教会に行くことが本当に好きです。教会では皆が同



インド、ムンバイ



じ旅の途中にいます。わたしはその旅の中で、強い若者や清い子供たち、そして他の大人たちを見て彼らから学ぶことを通して靈感を受けています。わたしは教会員との交わりを通して強められています。そして、福音に生きる喜びに胸が高鳴っています。」

教会のワードと支部は、休息と更新のための毎週の集い、この世を離れる時間と

場所——すなわち安息日——を提供してくれます。それは「主によって喜びを得」<sup>17</sup> する日、聖餐とともに訪れる霊的な癒やしを得、主の御霊がともにいてくださるという約束を、もう一度、新たに受ける日です。<sup>18</sup>

キリストのからだの一部であることの偉大な祝福の一つは、たとえそのときは祝福と感ぜられないとしても罪や誤りに対してたしなめを受けることです。人は失敗の言



い訳をしたり、正当化をしたりする傾向があります。しかも、改善すべき点や、改善方法がまったく分からないときもあります。「聖霊に感じたとき〔に〕厳しく責め」<sup>19</sup> てくれる人がいなければ、変わる勇気、もっと完全に主に従う勇気が湧かないかもしれません。悔い改めは個人的な事柄です。しかし、時には厳しいその道とともに進む友情も教会の中にあるのです。<sup>20</sup>

教会をキリストのからだとして論じる際に、常に覚えておくべきことが二つあります。一つは、わたしたちが帰依する対象は教会ではなく、キリストとその福音であるということです。教会はその帰依を助けます。<sup>21</sup> 「人々は、主に帰依し、キリストの教会に加わった」<sup>22</sup> という言葉で、モルモン書はそのことをよく表現しています。二つ目は、教会は元々家族であったこと、また、家族と教会は今日独立していても、両者は互いに仕え、強め合っていることを忘れないということです。どちらも他方の代わりはできません。教会は、いくら最善を尽くしても、結局は親の代わりにはなれません。教会が福音を教え、神権の儀式を施しているのは、家族を永遠の命に備えるためなのです。

救い主が一つの教会、御自身の教会を通して業を進められる二つ目の大切な理由は、個人や少数の人では成し遂げられない

事柄を達成するためです。貧困に対処することは、その明白な例です。わたしたちは、個人や家族で、他の人の物質的な必要の世話をします。確かに「各々の必要と入り用に応じて物質的にも霊的にも互いに助け合い」<sup>23</sup> ます。しかし、教会という組織のおかげで、貧しい人や助けが必要な人の世話をする能力が増し、大きな必要を満たせるようになり、多くの人が理想としている自立を達成することができるのです。<sup>24</sup> この教会、そしてこの教会の扶助協会や神権定員会は、さまざまな場所で自然災害や戦争、迫害の被害を受けている多くの人々に支援を提供する能力を持っています。

救い主の教会が機能して力を提供していなければ、全世界に福音を携えて行くようにという救い主の戒めは果たしていません。<sup>25</sup> この業を行うために必要な使徒の鍵、教会の組織、資金、数百万人の宣教師の献身と犠牲は、存在していません。忘れないでください。「この王国の福音は、すべての民への証<sup>あかし</sup>として、全世界に宣べ伝えられ〔なければなりません。〕それから、終わり……が来るので〔す。〕」<sup>26</sup>

教会は、主の宮である神殿を建設し、運営しています。神殿は非常に重要な儀式が行われ聖約が交わされる場所です。ジョセフ・スミスは、神があらゆる時代に

御自身の民を集められる目的をこう述べています。それは「主のために宮を建て、それによって、主がその民に主の宮の儀式と主の王国の栄光を明らかにし、救いの道を教えることがおできになるようにする〔ため〕でした。なぜなら、特定の儀式と原則があって、それらを教え施すには、その目的のために建てた場所、すなわち宮の中で行わなければならないからです。」<sup>27</sup>

全ての道は天国へ通じている、または、何か特別なことをしなくても救われると信じている人は、福音を宣べ伝えることも、生者と死者を贖う儀式と聖約も、不要だと思ってしまうでしょう。しかしわたしたちは、不死不滅についてだけでなく、永遠の命についても話しているのであり、それを得るためには、福音の道と福音の聖約が欠かせないのです。だからこそ、救い主は教会を必要とおられるのです。生きている人にも、亡くなった人にも、神の全ての子供たちにそれらを提供するために教会が必要なのです。

主が御自身の教会を所有しておられる理由についてわたしが最後に述べたいことは、他に類を見ないことです。それは、この教会は、結局のところ、地上における神の王国であるということです。

末日聖徒イエス・キリスト教会が1830年に設立されたとき、主は預言者ジョセフ・スミスに次のように言われました。「心を高めて喜びなさい。あなたがたに王国、言い換えれば、教会の鍵が授けられたからである。まことにそのとおりである。」<sup>28</sup> それらの鍵の権能の中に、教会の神権役員は、救い主の教義の純粋さと儀式の完全さを保っています。<sup>29</sup> 彼らは儀式を受けたいと望む人々を備え、申請者の資格とふさわしさを判断し、そのうえで儀式を施します。

王国の鍵を持つことにより、主の僕<sup>しもべ</sup>たちは、真実と誤りを識別し、権威を持つ者として、この時代に再び宣言します——「主はこう仰せられる」と。残念なことに、自

分自身で真理を定義したいと望んでいるために、教会に腹を立てる人がいます。しかし実際には、「現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識」<sup>30</sup>を、主の御心のままに受けられることは、すばらしい祝福なのです。教会は神の啓示、聖文の正典（信仰の基準となる文書、カノン）を保護し、出版しているのです。

ダニエルは、バビロニアの王ネブカデネザルの夢を解き明かし、「後の日に起るべき事」<sup>31</sup>を知らせました。そのときダニエルはこう宣言しました。「天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立って永遠に至るのです。」<sup>32</sup>この教会は、そのときに預言された末日の王国です。それは、人手によらずに設立され、天の神によって据えられたものです。そして、「人手によらずに山から切り出され」、全地に満ちる一つの石のように、転がり進むのです。<sup>33</sup>



この教会の行く末は、イエス・キリストの再臨と福千年の統治に備えるためにシオンを築くことです。その日が来るまでは、教会はいかなる政治的な意味からも「一つの国」ではありません。救い主が次のように述べられたとおりです。「わたしの国はこの世のものではない。」<sup>34</sup>むしろ、教会は地上における主の権能の源であり、主の聖なる聖約を施す者、主の神殿の管理者、主の真理を守り宣言する者です。また、散らされたイスラエルの集合の場所であり、「防御……となり、また嵐と激しい怒りが全地にありのままに注がれるとき〔の〕避け所となる」<sup>35</sup>のです。

わたしは預言者ジョセフ・スミスの嘆願と祈りをもってこの話を終えます。

「主に呼び求めて、主の王国が地上に進み行くようにして、地に住む者がそれを受け入れて来るべき時に備えられるようにしなさい。そのとき、人の子は、地上に建てられた神の王国に会うために、その栄光の輝きをまわって天の中を降って来るであらう。

そのために、神の王国が進み行きますように。それによって、天の王国が来て、おお、神よ、あなたが天でも地上でもたたえられ、あなたの敵が征服されますように。誉れと力と栄光は、とこしえにいつまでもあなたのものです。」<sup>36</sup>

イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. モーセ 1:39
2. 「福音は最初に宣べ伝えられ、神の前から遣わされた聖なる天使たちによって、神自身の声によって、また聖霊の賜物によって告げ知らされた。このようにして、すべてのことが聖なる儀式によってアダムに確かにされ〔た。〕」(モーセ 5:58-59。モーセ 6:22-23も参照)
3. エペソ 2:20
4. 「末日聖徒イエス・キリスト教会が神によって組織されたのは、神の子供たちに救いと昇栄をもたらす業を支援するためである。……教会は、個人と家族が昇栄する資格を得るよう助けるという目的を果たすため、神が定められた責任を果たすことに焦点を絞っている。こ

れらの責任には、イエス・キリストの福音に従って生活するよう会員を助けることや、伝道活動を通じてイスラエルを集めること、貧しい人や助けの必要な人の世話をすること、神殿を建設し、身代わりの儀式を行うことによって死者が救いを得られるようにすることが含まれる。」(『手引き第2部—教会の管理運営』〔2010年〕2.2)

5. 教義と聖約 93:13
6. 2ニーファイ 31:17-20 参照
7. 2ニーファイ 31:18
8. エペソ 4:11-13
9. モロナイ 6:4
10. 3ニーファイ 27:5-7 参照
11. モロナイ 6:5
12. 4ニーファイ 1:12
13. エペソ 4:13
14. エレミヤ 31:34。ヘブル 8:11も参照
15. 教義と聖約 42:45
16. 1コリント 12:22。パウロは、またこうも宣言している。「ところが実際、肢体は多くあるが、からだは一つなのである。……もし一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、一つの肢体が尊ばれると、ほかの肢体もみな共に喜ぶ。」(1コリント 12:20, 26。モーサヤ 18:9も参照)
17. イザヤ 58:14
18. 教義と聖約 20:77, 79:59:9-12 参照
19. 教義と聖約 121:43
20. 3ニーファイ 18:2-23, 30-32 参照
21. ドナルド・L・ホルストロム「教会を通じて福音に改宗する」『リアホナ』2012年5月号, 13-15 参照
22. 3ニーファイ 28:23, 強調付加
23. モーサヤ 18:29
24. 一例として、わたしたちが「主の倉」と呼んでいるものに対する一つの説明として、次のように述べられている。「主の倉は、貧しい人に食物や衣類を配付するために使われる建物に限らない。時間、才能、思いやり、物資、金銭など、忠実な会員が信仰を込めてささげるもの全てが含まれ、ビショップを通して貧しい人や助けの必要な人に与えられる。つまり、主の倉はどのワードにも存在するのである。」(『手引き第2部』6.1.3)
25. マタイ 28:19-20; 教義と聖約 112:28-29 参照
26. ジョセフ・スミス—マタイ 1:31
27. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』416
28. 教義と聖約 42:69。教義と聖約 90:3も参照
29. 信仰箇条 1:5 参照
30. 教義と聖約 93:24
31. ダニエル 2:28
32. ダニエル 2:44
33. ダニエル 2:45。35節も参照
34. ヨハネ 18:36, 強調付加
35. 教義と聖約 115:6
36. 教義と聖約 65:5-6



中央日曜学校会長第一顧問  
デビン・G・デュラント

# わたしの心はこれらを 絶えず深く考えている

わたしは、皆さんがもっと長い時間、もっと深く、神の御言葉<sup>みことば</sup>について深く考えるよう心から祈ります。

**わ**たしは仕事のうえでは投資家ですが、信仰のうえでは、神の御子イエス・キリストの弟子<sup>1</sup>です。仕事をするときには、堅実な財務上の原則に従い、信仰を実践するときには、さらに救い主のようになるために役立つ霊的な原則に従うよう努めています。

## 勧めを受け入れると祝福が来る

これまでの人生で個人的に受けた報いは、その多くが、困難な仕事をするよう誰かから勧められた結果、与えられたものでした。そのような精神に基づいて、皆さんに二つのことをお勧めしたいと思います。最初の勧めには、経済的な意味、二つ目の勧めには霊的な意味があります。どちらの勧めも、受け入れる人は、報いを得るために長い期間しっかりと努力する必要があります。

## 最初の勧め

最初の勧めは簡潔です。毎週貯金をするという勧めです。貯金の額はそれほど重要ではありません。自分で決めてください。貯金の習慣を身につけることで、個人的に益があります。こつこつと貯金をした結果として、他の人を財政的に援助する機会に恵まれることもあります。6か月、1年、10年、

あるいはそれ以上、毎週貯金することで得られる積極的な結果を想像してみてください。小さな努力を続ければ、時を経て大きな結果へとつながります。<sup>2</sup>

## 二つ目の勧め

二つ目の勧めは、最初の勧めとはかなり異なり、また、はるかに重要です。こういう勧めです。毎週、一つの聖句について「沈思暗唱」(ponderize)<sup>3</sup>してください。

「沈思暗唱」という言葉は、辞書には載っていませんが、わたしのお気に入りの

言葉です。では沈思暗唱するとはどういう意味でしょうか。80パーセントはじっくりと深く考えること、20パーセントは覚えること、この二つを合わせた言葉です。

二つの簡単な手順があります。

まず、毎週一つの聖句を選び、毎日目に入る所に置きます。

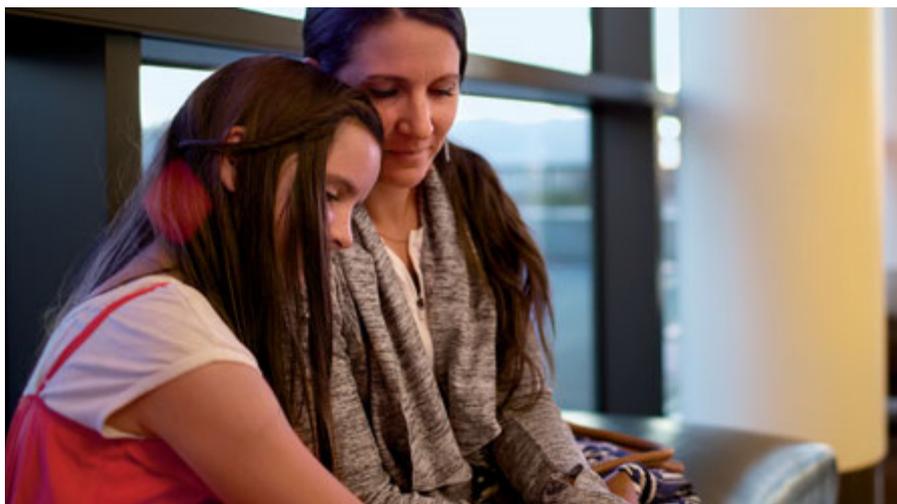
次に、毎日、何度もその聖句を読むか、思い出し、1週間を通して、単語や重要な語句の意味について深く考えます。

これを6か月、1年、10年、あるいはそれ以上、毎週続けることで、どれほど鼓舞される結果となるか想像してみてください。

このように努力することで、霊性が増し加わることでしょう。また、意義深い方法で、愛する人たちを教え、鼓舞することができるようになることでしょう。

毎週、沈思暗唱するのなら、これまで浅瀬で楽しんできたシュノーケリングから心機一転、スキューバダイビングに挑戦しようと決心した人のような気持ちになるかもしれません。そう決心するのなら、皆さんの福音の原則に対する理解はさらに深まり、新しい霊的な視点を得て、人生が祝福されることでしょう。

毎週、自分で選んだ聖句について考えることで、さまざまな単語や語句が心に書き記されることでしょう。<sup>4</sup> さらには思いに





書き記されることでしょうか。言い換えれば、より簡単に、より自然に暗記できるようになるでしょう。しかし、沈思暗唱する第一の目的は、あなたの思いを高める場所を備えることです。それは、あなたの思いが主の御霊に近くあるための場所です。

救い主は言われました。「**絶えず**命の言葉をあなたがたの心の中に大切に蓄えるようにしなさい。」<sup>5</sup> 沈思暗唱は、まさしくそのようにするための簡潔かつ啓発的な方法です。

ニーファイは沈思暗唱を実践した人だと思えます。こう言っています。「わたしは聖文に喜びを感じるからである。わたしは聖文について〔**絶えず**〕心に深く考え、わたしの子孫の知識となり利益となるようにこれを書き記す。」<sup>6</sup> ニーファイは、聖文について深く考え、それを書き記すときに、自分の子供たちのことを気遣っていました。皆さんが**絶えず**思いを神の御言葉で満たそうと努めるときに、家族はどれほど祝福を受けることでしょうか。

### わたしの聖句

最近、わたしはアルマ書第5章16節について沈思暗唱しました。こう書かれています。「わたしはあなたがたに言う。あなたがたはその日、『祝福された者たちよ、わたしのもとに来なさい。見よ、地の面でのあなたがたの行いは義の業であった』と言われる主の声を聞く自分自身を、今、心に描くことができるか。」

週末になったとき、わたしの心に次の言葉が書き記されていました。「『祝福された者たちよ、わたしのもとに来なさい。見よ、……あなたがたの行いは義の業であった』(アルマ5:16)と、主から直接言われる場面を想像しなさい。」

お気づきのように、わたしは聖句全体を一言一言覚えたわけではありません。しかし、聖句の大切な要素や、その聖句が語られた場面について何度も深く考えました。ただこのプロセスの一番良かったところは、自分の思いを向けるさらに高い場所を設けることができたことです。1週間を通して、救い主がわたしに励ましの言葉を語られる御姿を想像することができたのです。また、そのような想像は、胸を打ちましたし、奮い立って「義の業」を行いたいという望みを持つのに役立ちました。わたしたちが「あらゆる思いの中で〔キリスト〕を仰ぎ見」<sup>7</sup>るときに、そのようなことが起こり得るのです。

### わたしたちは立ち向かわなければなりません

「なぜ、そうするべきなのですか」と、あなたは尋ねるかもしれません。「わたしたちは悪の蔓延する時代に生きているからです」というのが、わたしの答えです。わたしたちはただ現状を受け入れ、至る所で飛び交う不快な言葉や醜悪な画像に身を任せ、手をこまねいてはなりません。立ち向かわなければならぬのです。頭の中が心を高揚させる考えや画像で満たされているとき、

また「いつも御子を覚え」<sup>8</sup>ているとき、汚らしい思いが入る余地はありません。

モルモン書の中で、イエス・キリストは全ての人に「〔御自分〕が述べたことを深く考え」<sup>9</sup>るよう勧めておられます。沈思暗唱は、個人並びに家族で行う聖文研究に追加できる付属装置であると考えてください。ただし、聖文研究に取って代わるものとはしないでください。つまり、沈思暗唱は、現在の霊的な食事に新しい長時間持続型ビタミンを付け足すようなものだと考えてください。

### 難しすぎます

「沈思暗唱は自分には難しすぎると思います」と、あなたは言うかもしれません。尻込みしないでください。難しいことに挑戦するとためになります。キリストはわたしたちにたくさん難しいことを実行するよう勧めておられます。努力すれば祝福を受けることを御存じだからです。<sup>10</sup>

若い隣人が沈思暗唱の簡単な方法を見つけました。電話の待ち受け画面に毎週の聖句が表示されるように設定したのです。また、次の方法を試してみてもどうでしょうか。選んだ聖句をきょうだい、子供、あるいは友人と分かち合うのです。妻のジュリーとわたしはこの点で助け合っています。わたしたちは毎週日曜日に自分の聖句を選びます。妻は自分で選んだ聖句を冷蔵庫に貼ります。わたしはわたしの選んだ聖句をピックアップトラックの中に



貼ります。それから1週間、聖句について思ったことを語り合います。この聖句について子供たちと話し合うのも好きです。この方法だと、子供たちは抵抗なく、神の御言葉について思うところを親に話すことができるようです。

ジュリーとわたしは、あるオンライングループにも属しています。このグループにいる家族、友人、宣教師は、毎週、自分たちの聖句を分かち合い、一緒に味わい、時には、聖句に関連する考えや証あかしを書き込むこともあります。グループに属していることで、継続しやすくなります。高校に通っている娘と友人のグループは、ソーシャルメディアとメールを使って、聖文を互いに分かち合っています。

どうぞためらうことなく、信仰を異にする人たちもグループに迎えてください。わたしたちと同様、彼らも思いを高め、神をより近く感じる方法を探しているからです。

### どのようなメリットがあるでしょうか

では、どのようなメリットがあるでしょうか。ジュリーとわたしは、1週間に一つの聖句について沈思暗唱を行うようになって、3年余りになります。最初わたしたちは20年という目標を立てました。最近ジュリーからこんなことを言われました。「毎週一つの聖句を、20年間、沈思暗唱しないかと最初に誘われたとき、1か月もやれるかしらと思ったけど、もうそういう疑いの気持ちはないわ。毎週冷蔵庫に聖句を貼るのは信じられないほど楽しいし、聖句が目に入るたびに沈思暗唱することで、心が鼓舞されるわ。」

6週にわたって沈思暗唱を行った合衆国テキサス州の姉妹はこう言っています。「わたしの証は強められ、……以前にも増して、天の御父を身近に感じるようになり

ました。……神の御言葉のおかげで、自分が良い方向に変わっていくことに感謝しています。」

10代の友人がこう書いています。「〔沈思暗唱〕を心から楽しんでます。おかげで、本当に大切なことに心を向けることができています。」

伝道部会長だった頃、ある宣教師が次の経験を分かち合ってくれました。「2014年の6月から、毎週一つの聖句を沈思暗唱してきました。この方法がとても気に入っています。……これらの聖句が、困ったときに頼りになる友人のような存在となりました。」

わたしの場合、毎週沈思暗唱を行うことによって、御霊をより十分に感じるができます。また、「絶えず徳で〔わたし〕の思いを飾る」<sup>11</sup> よう努力した結果、聖文をますます愛するようになりました。

この勧めとニーファイが伝えてくれた最高の祝福について考えてください。「キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。』<sup>12</sup> 「キリストの言葉をよく味わ〔う〕」という精神において、沈思暗唱は、ごちそうを一口味わい、それからその一口を徹底して楽しむために、ゆっくりと、実にゆっくりとかむ行為に似ています。

### 今、あなたの聖句は何ですか

これから月末まで、毎週一つの聖句を沈思暗唱してみませんか。これから年末まで、あるいはもっと長い期間はどうか。ジュリーとわたしは一緒に20年間沈思暗唱するよう、テキサス州ダラスの全てのすばらしい宣教師に勧めました。わたしたちは、あと17年で、全員そろってこの目標を達成するでしょう。その

ときわたしたちは、思いを高めさらにキリストに近づくことができる、新しいゴールを設定するつもりです。

「今、あなたの聖句は何ですか」と尋ねることで、皆さんはわたしたちの進捗しんしゆくをチェックすることができます。しかし、その場合、皆さんの方でも自分の聖句を分かち合う準備もしておいてください。わたしたちは、こうしたやりとりによって、高め合うことができます。

もしこれから数か月間、あるいは数年間、あるいはそれ以上の間、毎週、心と思いに新しい聖句を書き記したら、皆さんと皆さんの家族の生活がどれほど変わるか想像できますか。

### イエス・キリストはわたしたちの模範です

イエス・キリストは幼い頃から聖文に対する愛を育まれたに違いありません。12歳のときに神殿で賢い教師たちと有意義な話し合いをするために、子供時代から聖文を読み、深く考えてこられたに違いないのです。<sup>13</sup> イエスは30歳のときに宣教を始められ、<sup>14</sup> 最初の頃から、また教導の業の間中、何度も聖文に言及されました。<sup>15</sup> イエスは宣教の準備の一環として、少なくとも20年の歳月を掛けて、聖文を研究し深くお考えになったと言ってもいいのではないのでしょうか。皆さんは、家族や他の人々を教えて祝福する将来の機会に向けて霊的な備えをするために、今日、何かする必要があるのでないのでしょうか。

### 信仰を行使し、実行する

おさらいとして、わたしは皆さんが毎週、貯蓄をするよう望んでいます。信仰を行使し、自らを鍛え、実行してください。わたしはまた、皆さんがもっと長い時間、もっと深く、毎週、神の御言葉について深く考えるよう心から祈ります。信仰を行使し、自らを鍛え、実行してください。

最初の「お金の貯蓄」に関する勧めと違って、二つ目の「霊の貯蓄」に関する勧め



七十人  
ボン・G・キーチ長老

めのもたらす利益は全て、永遠に自分のものとして保持できるものであり、この世の虫も食わず、さびもつかないものです。<sup>16</sup>

D・トッド・クリストファーソン長老は、次の明確な勧告と約束を与えています。「注意深く、丹念に聖文を研究してください。聖文について深く考え、祈ってください。聖文は啓示であり、さらなる啓示を与えてくれることでしょう。」<sup>17</sup>

### 結び

皆さんが毎週、心と思いに聖文を書き記してきたことを将来、後悔するようなことはないとお約束します。皆さんは霊的な意義、保護、力が永続するという感覚を味わうことでしょう。

イエス・キリストの御言葉を忘れないでください。次のように語っておられます。「わたしが行くのを見たそのことを、あなたがたも行いなさい。」<sup>18</sup> 主の御言葉をわたしたちの生活に十分に應用することができますように、イエス・キリストの御名によって祈ります、アーメン。■

### 注

- 3 ニーファイ 5:13 参照
- アルマ 37:6; 教義と聖約 64:33 参照
- わたしはスペイン語で“meditizar”という言葉を使っています。それは“medita”（深く考える）と“memorizar”（覚える）という言葉を合わせた言葉です。
- 2 コリント 3:3 参照
- 教義と聖約 84:85, 強調付加
- 2 ニーファイ 4:15, 申命 6:7; 2 ニーファイ 4:16 も参照
- 教義と聖約 6:36
- 教義と聖約 20:77, 79 参照
- 3 ニーファイ 17:3, モロナイ 10:3 も参照
- マタイ 16:25; 1 ニーファイ 2:20; 教義と聖約 14:7 参照
- 教義と聖約 121:45, 強調付加
- 2 ニーファイ 31:20, 強調付加
- ルカ 2:42, 46-47 参照
- ルカ 3:23 参照
- マタイ 4:3-4 参照。マタイ 21:13 も参照。他の幾つかの聖句にも「書いてある」やこれに類する表現が用いられ、イエスが聖文に親しんでおられたことを表している。
- マタイ 6:19-20 参照
- D・トッド・クリストファーソン「聖文の祝福」『リアホナ』2010年5月号, 35
- 2 ニーファイ 31:12, 3 ニーファイ 27:21 も参照

# 神の戒めを守る者の 祝福された幸福な状態

主がお作りになった柵は悪や破壊的な影響から守ってくれる安全な防波堤なのです。

しばらく前にオーストラリアを訪れたとき、サーフィンで有名な美しいU字形の入り江へ行きました。海辺に沿って歩いていると、勢いよく押し寄せる大波が入り江のすぐ外で砕け散る景色に心を奪われました。砕け散って小さくなった波が岸へ寄せていました。

散歩を続けていると、アメリカ人のサーファー数人に会いました。彼らは何かについて怒っているようで、海へ向かって大

声で話したり、何かを指さしたりしていました。どうしたのかと尋ねると、大波が砕け散っている入り江のすぐ外側を指しました。

その一人が腹立たしそうに言いました。「あそこを見て。柵が見えるだろ？」よく見ると、なるほど入り江の入り口に沿って柵が伸びているのが見えます。ちょうどその場所で、サーフィンにもってこいの大波が砕け散っているのです。その柵は頑丈





な網でできており、海面に浮かんだブイのような物に固定されているように見えました。サーファーたちが言うには、網は海面から海底まで下がっているとのことでした。

アメリカ人のサーファーが続けて言いました。「ぼくらはあの大波に乗るために、一生に一度できるかどうかという旅でここへ来たんだ。入り江の内側で碎ける小さな波に乗ることはできるけど、あの柵がじゃまして、大きな波に乗ることができない。どうして柵があんなところにあるのかさっぱり分からない。分かっているのは、そのせいでぼくらの旅が台なしだったことだ。」

そのアメリカ人サーファーたちの怒りが高まる中、近くにいたもう一人のサーファーに気づきました。その年配の男性は、地元の人のように、柵についてますます激しくなる不平を聞いているうちに、だんだんいらいらしてきたようでした。

ついに、彼は立ち上がり、サーファーたちのところへ歩いて来ました。何も言わずに、リュックサックから双眼鏡を取り出し、柵の方を指さしながらサーファーの一人に渡しました。サーファーたちは順

番に双眼鏡をのぞき込みました。わたしの番が来て、拡大された景色を見ると、前には見えなかったものが見えます。どうやら、背びれのようです。大きなサメが数匹、柵の外側の岩礁近くで何かを食べています。

サーファーたちはすぐにおとなしくなりました。年配のサーファーは双眼鏡を返してもらおうと、立ち去って行きましたが、彼がそのときに言った言葉がいまだに忘れられません。「柵をあまり悪く言うなよ。お前さんたちがサメに食われんように守ってくれるのは、あれだけだからな。」

その美しい浜辺に立っているわたしたちの物の見方は、突然変わったのです。自分たちを厳しく制限するような柵は、大波に乗るといって胸躍る楽しさを奪うものに変わりました。海面のすぐ下に潜んでいた危険を新たに理解できたことで、その柵は今や自分たちを守り、安全と平安をもたらすものになったのです。

皆さんもわたしも人生の道を歩み、自分の夢を追いかけるときに、神の戒めや標準が、あの柵のように、ときどき理解しがたいものとなることがあります。厳しくて柔軟

性に欠け、多くの人が歩んでいる楽しくてワクワクさせるような道を阻むものに思われるかもしれません。使徒パウロが述べているように、「わたしたちは……鏡に映して見るようにおぼろげに見ている」<sup>1</sup>のであり、限られた部分しか見えないので、海面のすぐ下に潜んでいる危険を理解できないことがよくあるのです。

しかし、「すべてのことを悟って」<sup>2</sup>おられる神は、あのような危険がどこにあるかを正確に御存じです。わたしたちがそのような危険を避け、霊を食い滅ぼす者や大きな口を開けて待ち受けている罪という恐ろしい霊の「サメ」から守られて生活できるように、戒めと愛に満ちた勧告を通して神の導きを与えてくださるのです。<sup>3</sup>

日々最善を尽くし、神がわたしたちのために定められた道を進み、与えられた戒めを守ることによって、わたしたちは神に対する愛、そして神への信仰を示します。その信仰と愛が特に顕著に現れるのは、神の戒めを与えられている理由や、特定の道を進むように命じられている理由をよく理解できない状況に置かれたときです。柵のすぐ外に鋭い牙を持ったサメが群れを成して泳いでいることが分かれば、柵の内側を進もうとするのは比較的容易です。ところが、柵の向こうに興奮をかき立てるスリルに満ちた波しか見えないときには、柵の内側にとどまることはずっと難しくなります。しかし、わたしたちが成長し、霊的に最も高められるのは、まさしくそういうときであり、信仰を働かせ、神を信頼し、神への愛を示すときなのです。

新約聖書の中で、アナニヤはサウロを探して祝福するようにという主の命令を理解できませんでした。サウロはキリストの信者を獄に入れる権限を持っていたのです。しかし、アナニヤは神の命令に従い、使徒パウロが霊的に生まれ変わるために重要な役割を果たしたのです。<sup>4</sup>

わたしたちが主を信頼し、信仰を働かせ、主の戒めに従い、主が示してくださっ

た道を進むとき、わたしたちはより一層、主の望まれるような者となるのです。まさにこの「なる」、すなわち改心することが最も重要なのです。ダリン・H・オクス長老は次のように教えています。「表面的な行動だけでは不十分です。福音の戒め、儀式、聖約は、天の口座に預金しておかなくてはならない行為のリストではないのです。イエス・キリストの福音は、わたしたちが天の御父の望まれるような者となる方法を示す設計図です。」<sup>5</sup>

ですから、真の従順とは、自分の力よりも主の力に頼る方がより良い人物になれることを理解して、自分の全てを主にささげ、穏やかな波のときも荒波のときも主の導きに従って進路を選ぶことなのです。

わたしたちが主の御心に従順になると、平安と幸福が深まります。ベニヤミン王の教えによると、神の戒めを守る者は、「物質的にも霊的にも、すべてのことについて」、「祝福された幸福な状態」になれます。<sup>6</sup> 神はわたしたちが喜びと平安を得、

成功するように望んでおられます。周囲にある世俗的な影響から安全に守られるよう望んでおられます。

言い換えると、主の戒めは、人を苦しめるために水中に張り巡らされた迷路のような柵ではありませんし、来世で昇栄するために現世でしぶしぶ耐え抜かなければならないものでもありません。そうではなく、主がお作りになった柵は悪や破壊的な影響から守ってくれる安全な防波堤なのです。それがなくては、わたしたちは絶望の淵へと引きずり込まれてしまいます。主の戒めは愛と思いやりから与えられたものであり、来世での喜びと昇栄と同様、現世での喜びをもたらす<sup>7</sup> ためのものです。わたしたちがどのように行動すべきかを示し、さらに重要なことには、どのような人物になるべきかを明らかにしているのです。

あらゆる良いもの、真実なものにおいて、イエス・キリストは最高の模範です。永遠にわたり最も偉大な従順の行いは、

御子が御父の御心に従われたことです。この上なく謙遜に、杯が取り除かれるように、つまり自分に定められた道とは別の道を歩ませてください、と願いながらも、キリストは御父が望まれる道を従順に歩まれました。それはゲツセマネやゴルゴタを通る道であり、そこで主は人の想像を絶する苦痛と苦悶に耐えられ、御父の御霊が去ったときには、見捨てられ、完全な孤独を受けられたのです。しかし、その同じ道をたどって行った先では最終的に、空になった墓で3日目に復活が起こり、「主はよみがえられた」<sup>8</sup> という声が主を愛する人々の耳と心に鳴り響きました。そして、永遠にわたり神の全ての子供たちのために行われた主の贖罪<sup>しよくざい</sup>がもたらす、想像を超える喜びと慰めに満たされたのです。御自分の意思を御父の意思に従わせ、キリストはわたしたちに永遠の平安と喜び、そして永遠の命を得られる道を備えてくださったのです。

わたしたちは、愛に満ちておられる神の子供であると証します。神はわたしたちの幸福と安全と祝福を望んでおられると証します。その目的のために、神のみもとへ戻る道を備えてくださり、その道中を守る柵を作ってくださいなのです。わたしたちが最善を尽くしてその道を歩むとき、真の安全と幸福、平安を見いだします。そして、神の御心に従うときに、神が望まれるような人物になることができるのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 1コリント 13:12
2. 教義と聖約 88:6
3. ボイド・K・バックナー「霊の『ワニ』」『聖徒の道』1976年8月号、339参照
4. 使徒 9:10-18参照
5. ダリン・H・オクス「主の望まれる者となるというチャレンジ」『リアホナ』2001年1月号、40参照
6. モーサヤ 2:41
7. 2ニーファイ 2:25参照
8. マタイ 11:28; マルコ 16:6





中央扶助協会会長第一顧問  
キャロル・M・スティーブンス

# 「もしあなたがたが わたしを愛するならば、 わたしのいましめを 守るべきである」

神の律法はわたしたちに対する神の愛の現れであり、その律法に従うことは神に対するわたしたちの愛の表現です。

番上の娘のジェンが、彼女の  
—— 三女と一緒に病院から戻ったときのことです。わたしは世話をするためにジェンの家に行きました。ジェンの長女を学校に見送ったあと、ジェンは何よりも休息を必要としていると判断しました。一番いいのは、次女のクロエをわたしの家に連れて帰ることでした。母親と生まれたばかりの赤ちゃんの三女が休めるようにするためです。

クロエをチャイルドシートに固定すると、自分のシートベルトを締めて娘の家の前の私道を出発しました。ところが、通りの端まで行かないうちにクロエはシートベルトを外してわたしの肩越しに立ち、話しかけてきたのです。車を路肩に停めて車から降り、クロエをチャイルドシートに戻してベルトを締めました。

再び出発して、少し進むとまたシートからすり抜けています。さっきと同じことを

繰り返してシートに戻すと、今度は、わたしが席に戻ってシートベルトを締める前に、クロエはもう立ち上がっているのです。



気がつくとわたしは、路肩に車を停めたまま座って、3歳の子と根比べをしていました。クロエの勝ちです。

考えられる限りを尽くして、シートベルトを締めておかなければいけないと説得しましたが、クロエは納得しません。そこでわたしは、物で釣る作戦を試してみることにしました。

「クロエ、もしシートベルトをしていただたら、おばあちゃんの家に着いたらすぐに粘土で遊べるわよ」と言ってみました。

返事はありません。

「クロエ、もしシートベルトをしていただたら、おばあちゃんの家に着いたらパンを作れるわよ。」

返事はありません。

もう一度試しました。「クロエ、もしシートベルトをしていただたら、お店でおやつを買ってあげる。」

3度試みて、どんなに試しても彼女を物で釣ることはできないと分かりました。彼女は意志が強く、物で釣る作戦では、シートベルトを締めたままにさせることはできないのです。

路肩に停めた車で一日過ごすわけにはいきません。ですが、法律に従いたいと思

いましたし、クロエが立ったままで車を走らせるのは危険です。わたしは心の中で祈りました。すると御霊がこうささやいたのです。「彼女に教えなさい。」

彼女の方を向き、自分のシートベルトを体から引き離して見えるようにして言いました。「クロエ、シートベルトが守ってくれるからおばあちゃんはこれを締めているのよ。でもクロエはベルトを締めていないから安全じゃないわ。クロエがけがをしたらおばあちゃん、とっても悲しいわ。」

彼女はわたしを見ました。今か今かと反応を待っていると、彼女の小さな思考回路が巡るのが見えるようでした。ついにその大きな青い瞳を輝かせ、こう言いました。「おばあちゃん、わたしのこと愛しているからシートベルトを締めてほしいのね。」

いとおい小さな彼女に愛を伝えると、車の中は御霊であふれました。その感覚を失いたくなかったのですが、今がチャンスだと思い、車を降りて彼女をシートに乗せて言いました。「クロエ、お願いだからシートに座っていてくれる？」彼女は座っていました。おやつを買う店までずっと。そして、店から家までもずっとシートベルトを締めたまままでいてくれました。家に帰ってパン作りも粘土遊びもしました。彼女は忘れていませんでしたから。

その日また車を走らせていると、ある聖句が浮かびました。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」<sup>1</sup> わたしたちには、子供たちを教え、導き、守るという決まりがあります。なぜでしょうか。子供たちを深く愛しているからです。でも、シートベルトを締めてほしいのは、わたしがクロエを愛しているからだだと彼女が理解するまで、それが制限だと思って言うことを聞きませんでした。ベルトで自由が制限されていると感じたのです。

クロエのように、戒めを制限と見ることもあるかもしれません。神の律法は個人の自由を制限し、選択の自由を奪い、成長



を制限すると感じるかもしれません。でも、さらに深く理解できるように助けを求め、御父の教えに心を開くとき、神の律法はわたしたちに対する神の愛の現れであり、その律法に従うことは神に対するわたしたちの愛の表現であると分かるのです。

皆さんが、このような路肩に車を止めなければならない状況に陥ったときに、従えば安全に「信仰と従順の道」に戻ることができる原則を幾つか話したいと思います。<sup>2</sup>

**第一に、神を信頼してください。**神の永遠の計画を信頼してください。わたしたちは皆、「天の両親から愛されている霊の息子、娘」です。天の両親が愛してくださっていることは、戒めを見れば明らかです。戒めは、わたしたちが「地上での経験」を得るうえでわたしたちを教え、導き、守るために欠かせない大切な指示です。<sup>3</sup>

わたしたちは前世で選択の自由を使って神の計画を受け入れました。<sup>4</sup> 神の永遠の律法に従うことが、計画の成功に不可欠だと理解しました。聖典では「創世の前に天において定められた不変の律法があり、すべての祝福はこれに基づいている。」と教えています。<sup>5</sup> 律法に従うなら祝福を受けます。

失敗や、反対、学習といった、現世のあ

らゆる経験の中で人は自分の永遠の可能性を見失うことがあるかもしれませんが、神は決してそれを見失うことはありません。「神はその子供たちがみもとに戻ることを望んでい」ます。<sup>6</sup> ですから主を信頼できるのです。神はその御子イエス・キリストの贖いを通して道を用意してくださいました。贖罪は「救いの計画の核を成すもの」です。<sup>7</sup>

**第二に、イエスを信頼してください。**従順と純粋な愛の最たるものが、イエス・キリストの贖いです。イエスはわたしたちのために命をささげられました。主は、「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。」<sup>8</sup>

イエスはさらに教えられました。

『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。』

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』<sup>9</sup>

わたしたちは毎週日曜に、救い主の無限の贖罪の象徴を頂くことによって、その純粋な愛について深く考え、思い起こす機会



にあずかります。聖餐の間、わたしはパンと水を配る手を見えています。手を伸ばして聖餐をとるとき、喜んで主の御名を受け、いつも主を覚え、主が与えてくださった戒めを守ることを聖約します。すると主は、わたしたちが「いつも御子の御霊を受けられる」ことを約束して下さいます。<sup>10</sup>

**第三に、御霊のささやきを信頼してください。**クロエとの経験で、御霊が聖句をささやいたのを覚えていますか。ヨハネ第14章15節です。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」次に大切な聖句が続きます。

「わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。」<sup>11</sup>

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認された全てのふさわしい人は、聖霊を伴侶とする権利を持ちます。断食、祈り、聖典学習、従順は、御霊の促しを聞き取り、感じる能力を高めてくれます。

皆さんの思いが疑いや困惑でいっぱいになったとき、慰め、平安を与え、この世の旅路を安全に導くために、御父と御子は聖霊を送って下さいます。主は皆さんがそ

れを覚え、慰めを受け、「希望と完全な愛」に満たされるように助けて下さいます。<sup>12</sup>

**第四に、生ける預言者の勧告を信頼してください。**御父は預言者を通して御言葉を聞き、律法を知るように道を用意されました。主はこう宣言されました。「わたしの言葉は……すべて成就する。わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」<sup>13</sup>

先頃、預言者は「安息日を覚えて、これを聖と〔し〕」、<sup>14</sup>断食の律法を理解して実践するように勧告しました。この預言者の勧告に従うことで、イエス・キリストに対する信仰が増し、周りの人に手を差し伸べて愛し、神と隣人を愛せよという神の戒めに従うことができます。<sup>15</sup>

わたしたちは預言者を通して語られる主の御言葉に従うときに安全です。神はトーマス・S・モンソン大管長と大管長会の顧問、十二使徒定員会会員を預言者として召されました。恐れや動揺、災難、怒りが増す世にあって、わたしたちは慈愛に満ちたイエス・キリストの弟子たちが意見の対立が生まれるような事柄を扱う様子に注目することができます。彼らはイエス・キリストを証し、キリストの純粋な愛である慈愛によって物事に対応します。彼らはイエス・キリストの証人なのです。

クロエとの経験の後、戒めと愛について書かれている聖文を探しました。たくさんありました。それぞれの聖文が、神の律

法はわたしたちに対する神の愛の現れであり、その律法に従うことは神に対するわたしたちの愛の表現であるということを思い起こさせます。

わたしたちが永遠の御父である神に頼り、御子イエス・キリストに頼り、その贖いに対する信仰を行使し、御霊のささやきに頼り、生ける預言者の勧告に頼るなら、路肩を離れて安全に進む道—耐え忍ぶだけではなく、みもとに帰る道すがらに、喜びを見いだせることを証します。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

#### 注

1. ヨハネ 14:15
2. ニール・L・アンダーセン「あなたは十分に知っています」『リアホナ』2008年11月号, 14
3. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
4. 「家族—世界への宣言」参照
5. 教義と聖約 130:20
6. R・スコット・ロイド, “God Wants His Children to Return to Him, Elder Nelson Teaches,” LDS.orgにある *Church News*, 2014年1月28日付。
7. ラッセル・M・ネルソン, 「神殿の祝福のために備える」『リアホナ』2010年10月号, 49
8. ヨハネ 15:10
9. マタイ 22:37-39
10. 教義と聖約 20:77, 79 参照
11. ヨハネ 14:16-17
12. モロナイ 8:26
13. 教義と聖約 1:38
14. 出エジプト 20:8
15. 『手引き 第2部—教会の管理運営』(2010年) 6.1.2 参照



七十人  
アレン・D・ヘイニー長老

# 自分が頼ってきた御方を思い出す

再び御父のみもとで暮らすというわたしたちの望みはイエス・キリストの贖罪にかかっています。

わたしが9歳のとき、白髪で、4フィート11インチ(約150センチ)の背丈の母方の祖母が我が家に来て、数週間一緒に過ごしました。祖母が滞在していたある日の午後、二人の兄とわたしは、家から通りを横切った所にある野原で穴を掘ることにしました。どうしてそうしたのか分かりません。男の子は穴を掘るのが好きなのです。少し汚れましたが、まったく気にしませんでした。近所の男の子たちもその様子を見て、穴を掘るのがどれほど楽しいことなのかと思い、手伝ってくれました。その後、皆、もっと汚れました。地面が硬かったので、庭のホースを引っ張ってきて、穴の底に少し水を入れて土を軟らかくしました。穴を掘りながら泥まみれになりましたが、穴は深くなりました。

仲間の誰かがその穴をプールにしようと言い出したので、穴を水でいっぱいにしました。最年少で、仲間から受け入れてもらっていたわたしは、飛び込んで試してみようと言われて、そうしました。すっかり汚れてしまいました。初めはそうするつもりはなかったのですが、結局泥だらけになってしまったのです。

寒くなってきたので、もう一度通りを横

切って家に帰ることにしました。すると祖母が玄関の所にいて、わたしを中に入れようとしませんでした。祖母は、中に入れたら、掃除したばかりの家の中が泥だらけになると言いました。そこで、9歳の子供が誰でもするように、わたしは裏口に向かって走りました。ところが、祖母はわたしが生かすよりも先を行ってしまいました。わたしは怒って地団駄を踏み、家に入れてくれるように求めましたが、ドアは閉じられたままでした。

びしょりと濡れて、泥だらけで、体は冷え切っていたので、裏庭で死ぬかもしれないと子供らしい想像を巡らせました。それでようやく、家に入るために何をしなければならないか祖母に尋ねました。気がつくと、祖母からホースで水を浴びせられていました。永遠のように思われる時間が過ぎて、祖母はきれいになったと言い、家に入ることを許してくれました。家の中は温かく、乾いている清潔な服に着替えることができました。

この体験に基づくたとえを心に留めて、イエス・キリストの次の言葉を考えてみてください。「清くない者は、決して父の王国に入ることができない。したがって、信仰を持ち、罪をすべて悔い改め、最後まで忠実であることによって、わたしの血により衣を洗われた者のほかに、父の安息に入る者はいない。」<sup>1</sup>

祖母から水をかけられながら家の外に立っていることは、不快であり、心地良いものではありませんでした。罪の泥の穴の中にとどまることやそこで汚れることを選択することによって、天の御父のもとに帰るとともに住む機会が拒まれるとしたら、それは永遠に悲惨なことです。天の御父のもとに帰って住むために必要な事柄について思





い違いをしてはなりません。わたしたちは清くなければならないのです。

わたしたちはこの地球に来る前に神の霊の息子、娘として会議に参加しました。<sup>2</sup> 各人が皆注意を払い、眠りこける者は誰もいませんでした。その会議で、天の御父は一つの計画を提示されました。その計画はわたしたちの選択の自由を保ち、御父の経験からだけでなく、わたしたちが自らの経験から学ぶことを求めるものであったため、御父はわたしたちが罪を犯すことを承知しておられました。また、わたしたちが罪のために清くない者となり、御父のもとに帰れなくなるということも御承知でした。御父が住んでおられる所は実に、祖母が掃除した家よりもはるかにきれいだからです。

天の御父はわたしたちを愛し、「[わたしたちの] 不死不滅と永遠の命をもたらすこと」を目的としておられるため、<sup>3</sup> その計画に救い主の役割が含まれていました。救い主は、わたしたちがどれほど汚れていても清くなれるように助けてくださる御方な

のです。救い主の存在が必要であると天の御父が発表されたとき、わたしたち全員が顔を向けて、霊の長子であられるイエス・キリストの方を見たと、わたしは信じています。御父のような高みにまで進歩しておられた御方でした。<sup>4</sup> わたしたち全員が、それは長子であられるに違いない、他の誰もできないが長子にはおできになる、そして、贖いをしてくださるということを理解していたと、わたしは信じています。

ゲツセマネの園とゴルゴタの十字架上で、イエス・キリストは体と霊の両方に苦しみを受け、苦痛のためにおののき、あらゆる毛穴から血を流し、苦い杯を取りのけてくださるよう御父に懇願しながら、<sup>5</sup> 杯を飲まれました。<sup>6</sup> どうしてそうされたのでしょうか。主の御言葉にあるように、御父に栄光があり、「人の子らのために…… 備えを」終えたいと思われたのです。<sup>7</sup> 主御自身が交わされた聖約を守り、わたしたちがみもとに帰れるようにしたいと思われたのです。そうするために何を行うよう、イエス・キリストはわたしたちに求めておら

れるでしょうか。イエス・キリストが苦しまれたように苦しむことがないように、わたしたちの罪を告白して悔い改めることだけを求めておられるのです。<sup>8</sup> 天の御父の家の外に放置されることがなく、清くなるように招いておられます。

生活の中で罪を避けることが好ましいのですが、イエス・キリストの贖罪が有効である限り、皆さんがどんな罪を犯したか、あるいはたとえて話した穴にどれほど深くはまり込んでいるかは、問題ではありません。預言者ニーファイが語っているように、罪は「非常にたやすくまとわりつく」もので、<sup>9</sup> 罪のゆえに恥ずかしく、あるいはきまり悪く思っているても、問題ではありません。かつて1杯のあつもののために長子の特権を売ったことがあるとしても、問題ではありません。<sup>10</sup>

大切なのは、神の御子イエス・キリストが「御自分の民を…… どのように救うかを肉において知ることができるように」「あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられ」たことです。<sup>11</sup> 大切なのは、イエス・キリストが進んで御自身を低くし、<sup>12</sup> この地球に来て「万物の下に」身を落とし、<sup>13</sup> いかなる人が受けたものよりも「さらに強力な反対」を受けられたことです。<sup>14</sup> 大切なのは、キリストが御父の前でわたしたちを弁護してくださることです。主はこう言われるでしょう。「父よ、罪を犯したことがなく、あなたが御心にかなうとされた者の、苦しみと死を御覧ください。…… そのために、父よ、わたしの名を信じるこれらわたしの兄弟たちが、わたしのもとに来て永遠の命を得られるように、彼らをお救いください。」<sup>15</sup> それが本当に大切なことであり、主はわたしたちを忘れてはおられないので、わたしたち全員に新たな希望と再び努力しようという決意を促すものなのです。<sup>16</sup>

わたしは証します。わたしたちが悔い改めるためにへりくだって救い主を求めるとき、救い主が顔を背けられることは決してなさいません。救い主はわたしたちをも

う変わる見込みのない者とはみなされないので。「またあなたですか。もうだめですよ」とは決して言われません。罪を避けることがどれほど難しいかを理解できないために、わたしたちを拒むということは決してなさいません。救い主は罪の全てを完全に理解しておられます。罪の当然の結果である悲しみや恥ずかしさ、挫折感などの全てです。

悔い改めは現実のことであり、有効です。架空の経験、あるいは「精神がおかしくなっている」結果なのではありません。<sup>17</sup> 悔い改めには、重荷を取り除き希望に変える力があります。心の大きな変化を引き起こし、結果として、「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように」します。<sup>18</sup> 悔い改めが容易でないのは必要なことです。永遠に重要な事柄はおよそ簡単ではありませんが、その結果には価値があります。ボイド・K・バッカー会長は教会の七十人に宛てた最後の話の中でこう証しています。「その考えはこうです。すなわち、贖罪は足跡も形跡も残しません。それが正すものは正されます。……贖罪は足跡も形跡も残しません。癒やすだけです。それが癒やすものは癒やされた状態が続きます。」<sup>19</sup>

同様に、もう一度御父とともに住みたいという希望は、イエス・キリストの贖罪にかかっています。すなわち、実に正義は主に対して何も要求する権利を持たないにもかかわらず、その希望は全人類の背きの全ての重荷をその身に引き受けられた罪なき御方の進んで行われる心に依存しているのです。その罪には、神の息子や娘の一部の者たちが、自ら苦しむことを不必要に選ぶことも含まれています。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、わたしたちは、他の多くの人々が考えているよりも、より大きな力を救い主の贖罪から授かっていると思います。なぜなら、わたしたちが聖約を守り、絶えず悔い改め、最後まで堪え忍ぶとき、救い主はわたした

ちを共同の相続人にしてくださり、<sup>20</sup> 救い主と同様にわたしたちにも、御父が持つおられる全てが与えられる<sup>21</sup> ことをわたしたちは知っているからです。これは大地を揺るがすような教義ですが、真実です。イエス・キリストの贖罪は、失望するほど手が届かないところにあるものではなく、「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者とならなさい」<sup>22</sup> という救い主の勧めに従うなら、完全にわたしたちに届くものなのです。

聖文は、全ての人は「神の聖なる裁きによって裁かれなければならない」と教えています。<sup>23</sup> その日には、大きな集団の中に身を隠す機会や、他の人々を非難して自分が清くない者であることを言い訳する機会はありません。有り難いことに、聖文が教えているのは、イエス・キリスト、すなわち、わたしたちの罪のために苦しまれた御方、御父に対するわたしたちの弁護者であられる御方、わたしたちを友と呼ばれる御方、最後まで愛してくださる御方、そのよう



な御方が最後にわたしたちの裁き主となれるということです。イエス・キリストの贖罪についてしばしば見過ごされる祝福の一つが、「父は……さばきのことはすべて、子にゆだねられた」というものです。<sup>24</sup>

兄弟姉妹の皆さん、気落ちしたり、自分が掘った霊的な穴から抜け出せるかどうか心配になったりしたときは、「[わたしたち]と正義の間に」立ち、「人の子らを哀れむ思いに満たされており」、わたしたちの罪悪と背きを御自分の身に負い、「正義の要求を満たされ[た]」御方を思い出してください。<sup>25</sup> 言い換えれば、ニーファイが自信を失ったときに行ったように、「これまでに自分が……頼ってきた」御方、<sup>26</sup> すなわちイエス・キリストを思い出し、悔い改めて、再び「完全な希望の輝き」を経験されますように。<sup>27</sup> イエス・キリストの御名により、アーメン。■

#### 注

1. 3 ニーファイ 27:19
2. モーセ4:1-4; アブラハム3:22-28; 『歴代大管長の教エージョセフ・スミス』, 209 参照
3. モーセ1:39.
4. *Lectures on Faith* (1985年), 59-60 参照
5. マルコ14:36 参照
6. 教義と聖約19:19 参照
7. 教義と聖約19:19
8. 教義と聖約19:16, 20 参照
9. 2 ニーファイ4:18
10. 創世25:29-33 参照
11. アルマ7:11-12
12. 1 ニーファイ11:16, 26 参照
13. 教義と聖約88:6. 教義と聖約122:8も参照
14. *Lectures on Faith*, 59
15. 教義と聖約45:4-5
16. イザヤ44:21 参照
17. アルマ30:16
18. モーサヤ5:2
19. ボイド・K・バッカー, 総大会訓練集会, 2015年4月7日
20. ローマ8:17 参照
21. 教義と聖約84:38 参照
22. マタイ5:48
23. 2 ニーファイ9:15
24. ヨハネ5:22
25. モーサヤ15:9
26. 2 ニーファイ4:19
27. 2 ニーファイ31:20



七十人  
キム・B・クラーク長老

## 見る目と聞く耳

キリストを頼って目を開き、耳を澄ませるならば、聖霊は、わたしたちが自分の生活において働く主イエス・キリストの御手を認識できるように祝福して下さいます。

イエスは地上で教を説いていたとき、あまりに力強い癒やしの奇跡を行い、あまりに偉大な権威と力をもって教えられたため、「その評判はシリア全地にひろまり、……おびただしい群衆がきてイエスに従った」<sup>1</sup>と聖典に書かれています。

イエスが癒やすのを見、イエスが説く教を聞いた者の中にはイエスを拒む者もいれば、しばらくの間はイエスに従ったものの、そのうちに行動を共にしなくなる者もいました。<sup>2</sup> 主イエス・キリストが目の前におられたのにそれがどのような御方なのかが見えなかったのです。彼らは目をくらませられ、イエスに背を向けました。このような人々について、イエスはこう言っておられます。

「わたしは自分の民のところに来たのに、民はわたしを受け入れなかった。」<sup>3</sup>

「この民の心は鈍くなり、……その目は閉じている。」<sup>4</sup>

しかし、忠実な使徒を含め、イエスを生活の中心に置いた男女もたくさんいました。このような人々はこの世の事物に心を奪われそうになったりイエスの教に当惑したり、恐れを感じたりもしましたが、それでも主を信じて愛し、主に従いました。

彼らについて、イエスはこう言われました。「あなたがたの目は見ており、耳は聞

いているから、さいわいである。」<sup>5</sup>

ゲツセマネとカルバリで苦しまれる直前に、イエスは弟子たちに驚くべき約束をなさいました。「わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」<sup>6</sup>

イエスはこの約束を成就されました。五旬節の日以来、弟子たちは火と聖霊によるバプテスマを受けるといふ祝福にあずかっています。<sup>7</sup> キリストを信じる信仰と悔い改め、従順を通して聖霊が彼らの伴友となつて彼らの心を変え、真理の証が彼らにとどまるよう祝福して下さったのです。

これらの賜物と祝福によって、主の弟子たちは強められました。危険で混乱の多い時代に生きていたにもかかわらず、見る目と聞く耳という霊的な賜物を受けたのです。彼らは聖霊の力によって物事、特に主イエス・キリストと主が自分たちの中で行われた業をありのままに見ることができるようになりました。<sup>8</sup> 聖霊が彼らの理解力に光を注ぎ、彼らは主の声をさらにはっきりと聞くことができるようになりました。イエス・キリストの福音が心に深く染み込んでいき、<sup>9</sup> 彼らは確固として従順でした。<sup>10</sup> 大胆に力強く福音を宣べ伝えて神の王国を築きました。<sup>11</sup> 彼らは主イエス・

キリストに喜びを見いだしていました。

時の中間に生きたこの忠実な男女とわたしたちには、多くの共通点があります。わたしたちも、主イエス・キリストがわたしたちの病を癒やし、罪を清め、わたしたちの心を変え、幕の両側にいる神の子供たちに救いの道を開くなどの奇跡を行っておられる時代に生きています。わたしたちの時代にも生ける預言者と使徒がおり、神権の力や霊の賜物があり、救いの儀式という神聖な祝福を受けられるのです。

現代は危険な時代です。大いなる悪と誘惑の時代、混乱と動乱の時代です。この苦難の時代に、地上における主の預言者トーマス・S・モンソン大管長は、心が傷ついている人を助け出し、<sup>12</sup> 勇気をもって真理を擁護し、<sup>13</sup> 神の王国を築くよう、<sup>14</sup> わたしたちに呼びかけてきました。わたしたちの信仰や霊性、従順さの度合いがどれほどであろうと、前途に横たわる業を成し遂げるには不十分です。わたしたちには、より強い霊的な光と力が必要です。わたしたちの生活において働いておられる救い主の御手をさらにはっきりと見極める目



と、主の言葉を心のもっと奥深いところで聞くことのできる耳が必要なのです。

このすばらしい祝福が与えられるのは、わたしたちが心を開いて主イエス・キリストとその福音、教会を受け入れ、<sup>15</sup> 本当の意味でそれを生活の一部とするときです。完全になる必要はありませんが、善い人になり、さらに改善し続ける必要があります。簡単で分かりやすい福音の真理を実践するよう努める必要があります。キリストの御名を受け、主を信じる信仰をもって罪を悔い改め、主の戒めを守り、いつも御子を覚えているならば、イエス・キリストの憐れみと恵みによって、聖霊が常に伴侶となってくさるでしょう。

単に従順になるだけで、御霊がわたしたちの心にもたらされます。わたしたちは家庭で信仰をもって祈り、聖文を調べ、安息日を聖く守ります。礼拝堂で聖餐を取り、イエス・キリストの御名によって、神聖な約束を天の御父と交わします。聖なる神殿で、幕のかなたにいる兄弟姉妹たちのために神聖な儀式を受けます。家庭や主から与えられた召しにおいて人々に手を差し伸べ、彼らの重荷を取り除き、キリストのもとに来よう彼らを招きます。

兄弟姉妹の皆さん、これらのことを行えば聖霊が来てくださることを、わたしは知っています。わたしたちは霊的に成長し聖霊を受ける経験を得て、聖霊を伴侶とするようになるでしょう。わたしたちがキリストを頼って目を開き、耳を澄ませるならば、聖霊はわたしたちが自分の生活において働く主イエス・キリストの御手を認識できるよう、また主を信じるわたしたちの信仰を強めてくださっていることが分かるよう確信と証拠を与えてくださいます。神が御覧になるように愛と思いやりをもって兄弟姉妹を見ることができるようになっていきます。救い主の声は聖文や御霊のささやき、預言者の言葉の中で聞くことができます。<sup>16</sup> 主の預言者と、主のまことの生ける教会の全ての指導者の上に主の力があ



るのを見て、これが主の聖なる業であることがはっきりと分かるようになるでしょう。<sup>17</sup> 自分と周囲の世界を、救い主がなさる方法で見て、理解するようになるでしょう。わたしたちは使徒パウロが「キリストの思い」<sup>18</sup> と呼んだものを持つようになります。見ると聞く耳を持つようになって、神の王国を築くのです。

人生が厳しくなり、分からなくなり、苦痛を感じて落胆することがあるかもしれませんが。聖霊を伴侶とするならば、混乱と苦痛と暗闇の人生に、イエス・キリストの福音の光が差し込みます。このことを皆さんに証します。その輝かしい霊的な力は、一挙に押し寄せてこようとそっと流れ込んでこようと、悔いて傷ついた魂に癒やしの愛と慰めを与え、真理の光で闇を押し退け、落胆する気持ちに代えてキリストへの望みを与えてくれます。わたしたちはこのような祝福を見て、これこそがわたしたちの生活に主イエス・キリストの御手が及ぼしている影響であると、御霊の証によって知でしょう。わたしたちの重荷は、本当に「〔<sup>あがな</sup>贖い主の〕喜びにのまれて」<sup>19</sup> しまうのです。

わたしの父と母が昔経験したことは、見ると聞く耳を持つことの大切さと力を如実に示しています。1982年、両親はフィリピン・ダバオ伝道部で奉仕するよう召されました。母は手紙を開けて、伝道部の名前を見ると、大きな声で父に言いました。

「だめよ。あなた、フィリピンなんて行けないって電話で伝えなくちゃ。あなたが喘息だってこと、知っているはずなのに。」父は長年喘息を患っており、母はそのことをひどく心配していました。

何日かたったある晩、母は午前2時半くらいに父を起こしてこう言いました。「マーリン、あなたはあの声が聞こえたかしら。」

「いや、声なんて聞こえなかったよ。」

「あら、わたしは今晚同じ声を3度聞いたわよ。『なぜ心配するのか。彼が喘息持ちだということをおぼろげに知らないとでも思っているのか。彼のことはわたしに任せなさい。あなたのこともだ。フィリピンで奉仕する準備をしなさい。』」

父と母はフィリピンで奉仕してすばらしい経験をしました。聖霊が彼らの伴侶となり、彼らは祝福を受けて守られました。父が喘息に苦しむことは一度もありませんでした。父は伝道部会長会の第一顧問を務め、父と母は数百人の宣教師と数千人の忠実な末日聖徒を訓練して、ミンダナオ島にワードとステーキができるように備えました。彼らは祝福されて、見ると聞く耳を持っていたのです。

兄弟姉妹の皆さん、わたしはイエス・キリストのことを証します。主は生きておられます。主はわたしたちの救い主であり贖い主であられます。生活の中に主を受け入れ、簡単で分かりやすい主の福音の真

理を実践するならば、聖霊を伴侶とする喜びを味わうでしょう。そして、見る目と聞く耳という尊い賜物を持つようになるのです。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

#### 注

1. マタイ 4:24 - 25
2. イザヤ 6:66 参照
3. 3 ニーファイ 9:16
4. 使徒 28:27。マタイ 13:15 も参照
5. マタイ 13:16
6. ヨハネ 14:12
7. 使徒 2:1 - 4 参照
8. 例として、使徒 10:9 - 15 を参照
9. エノス 1:3 参照
10. 使徒 2:42 参照
11. イザヤ 4:8 - 12 参照
12. トーマス・S・モンソン「過去を振り返り、前進する」『リアホナ』2008年5月号, 89 参照
13. トーマス・S・モンソン「強く、また雄々しくあれ」『リアホナ』2014年5月号, 66-69 参照
14. トーマス・S・モンソン, "Faith in the Work of Salvation," 世界指導者訓練集会, 2013年6月。lds.org/broadcasts.
15. この文脈上大切な役割を果たす「受ける」という言葉には、思いや五感で吸収する、入るのを認める、真理として受け入れる、信じる、招き入れる、という複数の意味がある。(Merriam-Webster's Collegiate Dictionary, 第11版 [2003年], "receive" の項)
16. 教義と聖約 18:34 - 36; 68:3 - 4 参照
17. ハロルド・B・リー大管長は、主に改宗するためにはこの証が不可欠だと言っている ("Be Loyal to the Royal within You," [ブリガムヤング大学ディボーションナル, 1973年9月11日], 4。speeches.byu.edu)。
18. 1コリント 2:16
19. アルマ 27:17。アルマ 31:38 も参照



七十人名誉会員  
青柳弘一長老

## あなたの道に 踏みとどまりなさい

どのような試練のときも、神を第一とし、神を愛し、キリストへの信仰を持ち、自分自身を神に委ねましょう。

2011年3月11日、わたしは神戸伝道部を訪問するため、東京・品川駅のホームで新幹線を待っていました。午後2時46分頃、突然の大きな音とともにマグニチュード9.0の大地震が襲ってきました。激しい揺れに立っていることができず、階段の手すりにしがみつきました。近くの天井からは照明器具が落下してきました。このとき、東京は大混乱に陥りました。

幸いわたしは無事でした。また、4時間後に、家族全員が無事であることを知り、安堵しました。

しかし、テレビでは恐ろしくも衝撃的な映像が流れていました。仙台伝道部の地域に巨大津波が押し寄せ、車、家、工場、田畑など全てを押し流していたのです。その光景を目にしたとき、わたしはその悲惨さに驚愕し、涙しました。そして、全てのこの地域に住む、愛する人々のうえに、天父の守りと助けがあるように、心から祈りました。

後日、全ての宣教師と教会員の安全が確認されました。しかし会員の多くが被災しており、中には家族や親戚を亡くしたり、住まいや家財を失ったりした会員もい





ました。およそ2万人が亡くなり、多くの町が破壊されました。さらに、原子力発電所の事故によりたくさんの人々が家を追われました。

このような災害は、世界各地で今日も猛威を奮い、たくさんの人々の命が犠牲になっています。また今後も、こうした災害や戦争、または、さまざまな困難が起こることが警告されています。

このような試練が、突然、自分の身に降りかかるとき、誰もが、「どうしてこのようなことがわたしに起こるのか?」、「なぜ、わたしが苦しまなければならないのか?」といった疑問を抱くことがあります。

わたしも福音に改宗して以来、知識として「救いの計画の中で、試しを受ける」ことは知っていました。しかし、長い間、「なぜ、わたしに試練が来るのか?」という疑問への明確な答えを持っていませんでした。しかし、現実には、この疑問を包み込めるほどの確信を持っていなかったのです。そんなあるとき、わたしも人生の中で大きな試練に直面しました。

わたしが30歳の頃、仕事で名古屋伝道部を訪問したときのことで。会議の後、伝道部会長のご厚意で、アシスタントの長老たちがわたしを車で空港へ送ってくれることになりました。ところが、長い坂道を下りきって交差点で止まったとき、大型トラックが後ろからものすごい勢いで暴走してきて、追突し、わたしたちの車を20メートル以上も突き飛ばしたのです。恐ろしいことにトラックは無人でした。わたしたちの車は後部がぺちゃんこにつぶされ、半分のサイズになっていました。幸いなことに、長老たちもわたしも九死に一生を得ました。

しかし翌日から、わたしは、首と肩が痛み、激しい頭痛に苦しむことになりました。その日から不眠症になり、肉体的にも精神的にも苦しい生活を強いられることになりました。痛みと苦痛を癒やして下さるよう、神に祈っていましたが、この症状はその後、約10年間にわたって続きました。

このとき、わたしにも、「なぜわたしが、こんな苦痛を受けなければならないのか?」という疑問が湧いてきました。しかし、自分の望むような癒やしを得られなくても、神の戒めに忠実であるように、自分に言い聞かせていました。そして、この試練に対する疑問が解決できるように祈り続けました。

そんな中でわたしは、別の新しい個人的な問題を抱え、この試練にどう対処したらよいか分からずに悩み、答えを求めて祈っていました。しかし、その答えはすぐには与えられませんでした。そこで、信頼する神権指導者に相談しました。

すると彼は、愛をもって次のように言ったのです。「青柳兄弟、あなたがこの地上にいる目的は、その試練を経験するためではありませんか? この地上であなたが受ける全ての試練を、ありのままに受け入れ、後は、主にお任せすることがいいのではないのでしょうか。わたしたちが復活するときに、この問題は解決していると思いませんか?」

わたしは、これらの言葉を聞いたとき、非常に強い主の御霊を感じました。今まで、この教えは何回も聞いてきましたが、このときほど理解の目が開かれたことはありません。そしてこれが、今まで祈り求めていた主の答えであると、はっきり分かりました。また、天の御父の救いの計画が鮮明に理解できたのです。そして改めて、次のような重要な原則を理解しました。

アブラハム書の中で、主なる神は次のように述べておられます。「そして、わたしたちはこれによって彼らを試し、何であろうと、主なる彼らの神が命じられるすべてのことを彼らがなすかどうかを見よう。」<sup>1</sup>

すなわち、天地を創造された神は、地球の全ての構造を御存じであり、天と地の全てを支配され、救いの計画を成し遂げるために、この地上でわたしたちに試練をも含めてあらゆる経験を与えておられるということ、これが原則です。

また、主はジョセフ・スミスに次のように勧告されました。

「息子よ、あなたはこのことを知りなさい。すなわち、これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであらう。……

それゆえ、あなたの道に踏みとどまりなさい。……とこしえにいつまでも、神はあなたとともにいるからである。」<sup>2</sup>

この地上での試練は、病や、死を含め、救いの計画の一部であり、だれしものが、避けて通れない経験です。わたしたちは、直面する試練を受け入れ、信仰をもって「わたしたちの道」に踏みとどまる必要があります。

しかし、わたしたちの人生の目的は、ただ試練を堪え忍ぶことだけではありません。天父は、わたしたちがこの地上で受ける試練を乗り越えることができるように、すなわち、わたしたちの弱さを強さに変え、<sup>3</sup> 罪を贖い、不死不滅と永遠の命を得ることができるように、愛する御子イエス・キリストを、救い主、贖い主としてわたしたちに遣わしてくださいました。

ヘンリー・B・アイリング管長はまた、次のように勧告しています。「愛にあふれる神が与えておられる試練は、苦難に耐えられるかどうかを試すものではなく、苦難に耐えながらも、義にかなった生活をするかどうかを試すものなのです。わたしたちは神を覚え、神から与えられた戒めを守ると



十二使徒定員会  
デビッド・A・ベドナー長老

証明することによって試しを乗り越えるのです。」<sup>4</sup>

試練の中にあつて鍵となるのは、「あなたの道」とどまるという選択です。すなわち、試練のときこそ、神に心を向けること、へりくだって神の戒めを守ること、自分の思いを神の御心と一致させる信仰を示すことなどです。

この理解をもって、あの日、わたしが名古屋で遭遇した追突事故を考えてみましょう。わたしはこの事故で死んでも不思議ではありませんでした。それにもかかわらず、神の深い御心によって、奇跡的に生かされたのです。むち打ち症の苦しみも、わたしの学びと成長のために与えられたものでした。わたしは神から訓練を受けたのです。<sup>5</sup> 忍耐力を鍛え、苦しむ人に寄り添う優しさを育むようにと、この試練により、神が導いてくださったのです。それに気づいたとき、神への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

どのような試練のときも、神を第一とし、神を愛し、キリストへの信仰を持ち、自分自身を神に委ねましょう。そのような人々に、モロナイはこう約束しています。「もしあなたがたが神の御心に添わないものをすべて拒み、勢力と意思と力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができます。……」<sup>6</sup>

わたしは、父なる神と御子イエス・キリストが生きておられ、試練の中にあつても、「彼らの道」に踏みとどまり、神を愛する者に対して、神の約束が果たされることを、イエス・キリストの御名によって心から証します、アーメン。■

#### 注

1. アブラハム 3:25
2. 教義と聖約 122:7, 9, 強調付加
3. エテル 12:27 参照
4. ヘンリー・B・アイリング「主の力を受けて」『リアホナ』2004年5月号, 16
5. ヘブル 12:7-9 参照
6. モロナイ 10:32

## 「わたしの名について証を述べるために選ばれて」<sup>あかし</sup>

回復されたイエス・キリストの教会の上級指導者として、霊的に円熟し豊かな判断力を備えた高齢者が奉仕しているのは素晴らしいことです。

1996年、ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、全米向けテレビのニュース番組「60 ミニッツ」に出演しました。そこで、経験豊かで粘り強く質問することで知られるジャーナリスト、マイク・ウォレス氏から、数々の重要なテーマについて質問を受けました。

その番組の終わり近くで、ウォレス氏はこう述べました。「『これは「長老支配」だ。年寄りが動かしている教会だ』と言う人々がいます。」

ヒンクレー大管長は、躊躇なく、明るくこう答えました。「円熟した人が上にいるのは大変よいことではないでしょうか。高齢者には、さまざまな教えの風に吹きまわされることのない判断力がありますから。」(1996年4月7日の放送)

わたしの話の目的は、回復されたイエス・キリストの教会の上級指導者として、霊的に円熟し豊かな判断力を備えた高齢者が奉仕していることが実際にどうして大変よいことなのか、そして「すべての国民、部族、国語の民、民族の中」で「〔主〕の名について証を述べるために」主が選ばれた(教義と聖約 112:1)これらの人々の話に

耳を傾けて、聞くべきである(モーサヤ 2:9 参照)のはどうしてなのかを説明することです。

この重要なテーマについてともに考えるに当たり、全ての人が聖霊から教えを受けることができるよう祈ります。

#### 生涯の教訓

すでに明らかにされている特有の視点から、このテーマについてお話しします。これまでの11年間、わたしは十二使徒の中で実年齢が最も若い会員でした。わた



しが奉仕してきた期間中、大管長会と十二使徒定員会で奉仕してきた人々の平均年齢は77歳でした。この神権時代において、この11年間で最も平均年齢が高い11年でした。

わたしは奉仕する定員会の会員が持つ、使徒、個人、そして専門的な職務に関する経験と深い見識から祝福を受けました。ロバート・D・ヘイルズ長老との交流の一例は、これらの指導者から学び、ともに奉仕することで得られるすばらしい機会を表しています。

数年前、わたしはヘイルズ長老の家で日曜の午後の時間をともに過ごしました。当時、ヘイルズ長老は重い病気から快復しつつありました。わたしたちは、自分たちの家族、定員会の責任、そして大切な経験について語り合いました。

途中で、わたしはヘイルズ長老に尋ねました。「長老は、夫、父親、スポーツマン、パイロット、企業の役員、教会指導者として成功を収めてこられましたね。年齢を重ね、体力が衰えることで何かと制約があると思いますが、どんな教訓を学ばれましたか。」

ヘイルズ長老は少し間を置いて、こう答えました。「いつも行ってきたことができなくなったときには、最も大切なことを行うだけです。」

その答えが簡潔で、多くの事柄に当てはまることに、わたしは心を打たれました。愛する使徒は、生涯の教訓、すなわち肉体的な苦痛と霊的な探求の試練を通じて学んだ教訓をわたしに分かち合ってくれたのです。

### 人の限界と弱さ

年齢を重ねることでおのずと生じてくる限界が、実際には霊的な学びと深い見識をもたらすすばらしい源となることがあります。この僕たちの効果的な働きを制限すると思われる要因が、最大の強さの一部となることがあるのです。肉体的な限界



により展望が広がることがあります。持久力に限界が生じることで、優先順位が明確になることがあります。多くを行えなくなることで、最も大切なわずかなことに集中するようになることがあるのです。

現代社会の重大な問題に効果的に対処するために、教会にはもっと若い、活力にあふれた指導者が必要であると言う人々があります。しかし、主は、指導者に関して現代の考え方や方法を用いて御自分の目的を遂げようとしてはおられません(イザヤ55:8-9参照)わたしたちは、これからも大管長や教会の幹部が、年齢を重ねた霊的経験が豊かな人であることを期待することができます。

主の教会は評議会によって運営されるという主が啓示された規範は、人の弱さの影響に備え、その影響を軽減するものです。興味深いことに、このような人々に死すべき状態に伴う限界があることにより、幹部の兄弟たちに与えられ、幹部の兄弟たちを通して明らかにされる啓示が神聖な源からのものであることが実際に立証されるのです。実に彼らは預言によって神から召されているのです(信仰箇条1:5参照)。

### 備えの規範

円熟し判断力を備えている高齢者が教

会の中央幹部の職で奉仕するという主の目的の、少なくとも一部を、わたしは幹部の兄弟たちの中に見てきました。彼らは、自らが代表し、仕え、愛している主から教えを受ける時期を過ごしてきました。そして、聖なる御霊の神聖な言葉と、啓示を受けるための主の規範を理解するようになりました。これらの普通の人が非常に並外れた成長の過程を経験し、その過程で展望は開かれ、深い見識が得られ、全世界のあらゆる状況にある人々に対する愛が生まれ、回復が現実のことであるという確認が得られたのです。

わたしは、幹部の兄弟たちが重大な肉体上の問題と闘いながら、自分の責任を果たし、さらに尊んで大いなるものとするよう熱心に努めている姿を目にしてきました。これらの人々も苦難を免れません。むしろ、苦難を経験しながら、祝福を受け、雄々しく前進する強さが与えられているのです。

わたしは、主を代表するこれらの人々とともに奉仕することによって、彼らの最大の望みは天の御父と、御父が愛される御子の御心を理解し、行うことであると知ることになりました。ともに評議することで、靈感が与えられ、人の知性、判断力、経験をはるかに超える光と真理を反映する決定が下されました。ともに困難な問題に



左上から時計周りに、ジェームズ・E・ファウスト管長、ゴードン・B・ヒンクレー大管長、リチャード・G・スコット長老、ジョセフ・B・ワースリン長老。上—ボイド・K・バッカー会長とL・トム・ペリー長老の肖像。

取り組むときに、聖霊の力によって、驚くべき方法で問題に対する全員の理解が深められてきました。

わたしはこれらの指導者たちの個性、能力、高潔な人格を毎日目にする祝福にあずかっています。幹部の兄弟たちの人としての弱点を見つけて、心を煩わし、信仰を弱くしている人々がありますが、わたしにとってそれらの欠点は、励みを与え、信仰を増し加えるものです。

### さらなる教訓

わたしはこれまでに、6人の中央幹部が肉体の死を経て、新しい責任を受けるために霊界に旅立ったのを見てきました。ジェームズ・E・ファウスト管長、ゴードン・B・ヒンクレー大管長、ジョセフ・B・ワースリン長老、L・トム・ペリー長老、ボイド・K・バッカー会長、そしてリチャード・G・スコット長老です。

これらの雄々しい兄弟たちは、「自分自身」をささげて(オムナイ1:26)、全世界でイエス・キリストの御名について証しました。彼らの教えの全てが非常に貴重です。

この僕たちは、現世の務めの最後の数年に、主にささげた奉仕の数十年間に学んだ教訓から、力強い霊的な教えを分か

ち合ってくれました。これらの指導者は、ある人々からは彼らが与えるものは何もないだろうと思われているときに、大いなる価値のある真理を伝えたのです。

聖典にある偉大な預言者たちの最後の教えについて考えてみてください。例えば、ニーファイは次の言葉で記録を結んでいます。「主がわたしにこのように命じられたので、わたしは従わなければならない。」(2ニーファイ33:15)

ヤコブは晩年にこう勧告しました。

「悔い改めなさい。そして、狭い門から入り、永遠の命を得るまで細い道を歩み続けなさい。

おお、賢くありなさい。わたしはこのうえ、何を言えようか。」(モルモン書ヤコブ6:11-12)

モロナイは、復活に望みを抱きつつ、版を準備する自分の務めを終えました。「わたしは間もなく行って、神のパラダイスで安息を得る。その後、わたしの霊と体は再び結合する。そしてわたしは勝利を得て空中に上げられ、生者と死者双方の永遠の裁き主である大いなるエホバの楽しい法廷であなたがに会うことになる。」(モロナイ10:34)

皆さんもわたしも、末日の預言者や使徒

たちの最後の教えと証から学ぶという祝福にあずかります。今日紹介するのは、ニーファイとヤコブ、モロナイではなく、ファウスト管長、ヒンクレー大管長、ワースリン長老、ペリー長老、バッカー会長、そしてスコット長老です。

これらの愛する人々の最後のメッセージが必ずしも彼らの務めにおける最も注目すべきもの、あるいは最も重要なものであると言うつもりはありません。しかしながら、これらの指導者は、霊的な学びと人生経験を併せ持つことで、絶対に確実で大いなる洞察力に満ちた力ある永遠の真理を強調することができたのです。

ファウスト管長は、最後となる2007年4月の総大会の説教で次のように述べました。

「贖罪を通して、救い主は全人類にかけがえのない平安を約束してくださいましたが、怒り、恨み、あるいは復讐などの否定的な感情をわたしたちが進んで捨て去らなければ、その平安は得られないのです。……

救されるためには赦す必要があるということをお忘れずにしましょう。……わたしは、『すべての人を赦しなさい』(教義と聖約64:10)という救い主の勧告に従うときにもたらされる癒やしの力を、全

身全霊を込めて信じています。」「(赦しのもたらす癒しの力)『リアホナ』2007年5月号, 69 参照)

ファウスト管長のメッセージは、わたしが愛し、これまでに知っている最も寛大な人々の一人からの力強い生涯の教訓です。

ヒンクレー大管長は、2007年10月の最後の総大会で次のように証しました。「わたしは今日、皆さんに、預言者ジョセフの召しと彼の業について、また、彼が永遠の真理に対して、殉教者として自らの血をもって自分の証を確実なものとしたことについて、わたしの証を改めてお伝えします……皆さんもわたしも、最初の示現とその後起きた出来事が真実だと受け入れるかどうかという単純な問いと正面から向き合わねばなりません。この教会の正当性は、最初の示現の真実性を土台としているのです。もしそれが真実であるなら、そしてわたしはそうだと証しますが、わたしたちが携わっているこの業は地上で最も重要な業であることになります。」「(山から切り出された石)『リアホナ』2007年11月号, 86)

ヒンクレー大管長の証は、わたしが愛し、神の預言者であったと知る人からの力強い生涯の教訓を確認するものです。

ワースリン長老は、2008年10月に最後の総大会のメッセージを述べました。

「遠い昔、わたしのフットボールチームが負けたときの〔わたしの母の〕助言を今も覚えています。『どんな出来事も愛しなさい。』」

……正しく扱うなら、逆境から祝福が得られ……なのです。

ユーモアを探し、永遠の見地を求め、報いの原則を理解し、天の御父に近づくときに、困難や試練を堪え忍ぶことができます。わたしの母のように『どんな出来事も愛しなさい』と言うことができるのです。」「(『どんな出来事も愛しなさい』『リアホナ』2008年11月号, 28)

ワースリン長老のメッセージは、わたし

が愛し、救い主を信じる信仰によって困難に打ち勝つことを教えた人の力強い生涯の教訓です。

ペリー長老は、ちょうど6か月前にこの説教壇に立ちました。そのときわたしたちは、その証が総大会における最後の証になるとは予想だにしませんでした。

「最後に証を述べます。(90歳にもなりますから、次のように述べる資格は十分あるでしょう。) 年を重ねるほど、家族が生活の中心であり、永遠の幸福の鍵であることがよく分かるようになります。

わたしは妻と子供たち、孫たち、ひ孫たち、また親族に感謝しています。彼らはわたしの生涯を非常に豊かなものに、実に永遠に豊かなものにしてくれています。これが永遠の真理であることを、わたしの力の限りの証、そして最も神聖な証として……申し上げます。」「(『世界中どこでも一なぜ結婚と家族が大切なのか』『リアホナ』2015年5月号, 42)

ペリー長老のメッセージは、わたしが愛し、家族と永遠の幸福の間のきわめて重要な関係を豊富な経験を通じて理解した人からの力強い生涯の教訓です。

パッカー会長は、6か月前に、御父の幸福の計画と救い主の贖罪、ならびに永遠の家族について強調しました。

「イエスはキリストであり、生ける神の御子であり、この教会の頭であられることを証します。主の贖罪と神権の力により、この世で始まった家族は永遠にわたってともにいることができます。

わたしは……贖罪がなされたことに感謝しています。どんなに難しくとも、またどれほど長い間、何度罪が繰り返されてきたとしても、贖罪はあらゆる汚れを洗い清めることができます。また、あなたを再び解放して、あなたが前進し、人生において選んだ道を清くふさわしく歩むことができるようにしてくれます。」「(『幸福の計画』『リアホナ』2015年5月号, 28)

パッカー会長の最後のメッセージは、わ

たしが愛し、次のことを強調し、繰り返し述べた人からの生涯の教訓です。「教会におけるあらゆる活動の……目的は、男女とその子供たちが家庭で幸せに暮らし、この世と永遠にわたって結び固められるようにすることだということです。」「(『リアホナ』2015年5月号, 26)

スコット長老は2014年10月の最後の総大会の説教の中で次のように宣言しました。「わたしたちがこの死すべき世に来たのは、試されることによって成長するためです。困難な問題を通してわたしたちは天の御父に似た者になることができ、イエス・キリストの贖罪のおかげで、人は困難な問題を堪え忍ぶことができます。積極的に主のもとに行くなら、わたしたちはあらゆる誘惑と苦悩、そして直面するあらゆる困難な問題を堪え忍ぶことができます。」「(『信仰を行使することを最優先とする』『リアホナ』2014年11月号, 94 - 95)

スコット長老のメッセージは、わたしが愛し、全世界にキリストの御名を証した愛すべき特別な証人であった人からの生涯の教訓です(教義と聖約107:23 参照)。

## 約束と証

救い主は次のように宣言しました。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」「(教義と聖約1:38) 主から権能を託された代表者によって教えられた永遠の真理に耳を傾け、心に留めることができますように。わたしは約束します。そうするときに、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰は強められ、具体的な状況と必要に応じた霊的な導きと守りが与えられることでしょう。

わたしは心から強く証します。復活された生けるキリストは、御名について証を述べるために選ばれている僕たちを通して、主の回復された生ける教会の諸事を導いておられます。このことを証します。イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■



## 大会を生活に取り入れる

以下の活動と質問を、家族で話し合ったり、独りで深く考えたりするときのきっかけとなるよう活用してみてください。

### 子供向け

- 86 ページ——トーマス・S・モンソン大管長は、イエス・キリストに従うことによって良い模範となるように勧めています。わたしたちは主に従うときに、世の人々の光になることができます。家族や友達に模範を示すには、どうしたらよいでしょうか。まず初めに、イエスのようになるために、何か一つ行う目標を立てるとよいでしょう。
- 104 ページ——大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は、父親の経験について語りました。オーストラリアを訪問した父親が、ある日曜日に教会を探しました。探しながら、交差点に来るたびに、どちらに進むべきか分かるように祈りました。間もなく、賛美歌が聞こえてきたので、聖霊が道を教えてくださったことが分かりました。あなたが聖霊の導きを感じたときのことについて考えてください。そのとき、どのように感じましたか。
- 6 ページ——中央初等協会会長のロー



ズマリー・M・ウィクソム姉妹は、エイミーという名の少女について話しました。エイミーは、神が本当に自分を愛しており、自分のためにおられることが分かるように祈りました。家族と一緒にこの話を読むか、もう一度語り、神の愛を感じたときのことについて話してください。自分が神の子供であると分かる

と、どのような気持ちになりますか。自分が神の子供であることを他の人が分かるように助けるには、どうしたらよいでしょうか。

- 121 ページ——七十人のアレン・D・ヘイニー長老は、二人の兄と一緒に大きな穴を掘り、それをプールにしたときの話をしました。少年たちはプールの中で遊び、泥だらけになりました。ヘイニー長老の祖母は、彼が身体をきれいに洗うまで、家の中へ入れてくれませんでした。この話は、イエス・キリストの贖い<sup>あがな</sup>について何を教えているでしょうか。神の御前<sup>みまへ</sup>では清くなるのが大切なのはなぜでしょうか。

### 青少年向け

- 83 ページ——トーマス・S・モンソン大管長は、神の戒めは障害物ではなく、幸福を得るための指針であると語り、こう述べています。「わたしたちを創造され、完全に愛してくださっている神は、わたしたちが得ることのできる最高の幸福を手にするために、どのように生活する必要があるかを御存じです。」モンソン大管長の言葉を試してください。そして、主の戒めを守ってください。神から助けと守りを受けるのは、驚くべきことではありません。
- 6 ページ——わたしたちは他の人に頼って自尊心を得ようとするとき、失望することがよくあります。中央初等協会会長のローズマリー・M・ウィクソム姉妹はこう述べています。「[わたしたちは]自分に価値があるという確証を、横のつながり、つまり世の人々やフェイスブック、インスタグラムの書き込みから得るのではなく、縦のつながり、つまり[主]から得られるのです。」あなたが神から受け継いでいる特質について、またそれを知っていることから得られる祝福について、今週、日記に書いてください。
- 20 ページ——大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長はこ

う述べています。「福音はあまり自分の益になっていないと考えたことが一度でもあるなら、一歩下がって自分の生活を吟味し、主の弟子としての取り組み方をシンプルにしてください。福音の基本的な教義や原則に目を向け、それを生活に応用することに集中してください。」もしあなたがストレスや重圧を感じているなら、自分の生活、および福音を重んじる生活をシンプルにする方法を考えてください。

- 65 ページ——十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、伝道に出ることを望んでいたが家族の世話をしなければならぬと悟った若者について話しました。主から受けた力強い信仰と祝福により、その若者は結局伝道に出ることができました。わたしたちも彼のように、前途を遮る障害にもめげずに信仰をもって前進するには、どうしたらよいでしょうか。
- 33 ページ——七十人のラリー・R・ローレンス長老はある帰還宣教師について話しました。彼は多くの義務を果たすことに苦心していました。そこで、日曜日を神の務めにささげ、その日は福音を研究する決心をしました。「この微調整により、求めている平安とバランスがもたらされたのです」とローレンス長老は語っています。日曜日を一層よく主にささげるには、どうしたらよいでしょうか。

#### 成人向け

- 86 ページ——トーマス・S・モンソン大管長は、わたしたちに模範となり、世の光となるよう思い起こさせています。「[わたしたちが] 救い主の模範に倣い、主が生きられたように生き、主が教えられたように生きる時、その光はわたしたちの内側で燃え、人々のために道を照らします」と大管長は述べています。「ますます暗くなる世を照らす」一層大きな光となるために、どのようなことをしたらよいでしょうか。
- 十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソ

ン会長と十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、女性と母親の重要性について話しました。ホランド長老はこのように教えています。「この世のどのような愛よりも、献身的な母親の子供に対する無私の愛ほどイエス・キリストの純粋な愛に近いものはありません。」(47 ページ) ネルソン会長は、聖約を守る改心した女性は「道徳的に腐敗してい

中央若い女性会長会第二顧問のニール・F・マリOTT姉妹 (30 ページ) の話を読んでください。どのようにしてイエス・キリストを信じる信仰を強められるか、そして逆境を克服するよう主が助けてくださるかについて考えてください。

- 33 ページ——七十人のラリー・R・ローレンス長老はその説教の中で次のように教えています。「御霊は常にわたした



く世界にあつてますます際立 [つでしょう]」と教えています。これらの説教について祈りの気持ちで深く考え、神から与えられた重要な役割を果たす女性を、家族がどのようにして支えることができるかについて話し合ってください。

- 数人の話者が逆境を通して身につける強さについて話しました。七十人のウーゴ・モントヤ長老は、だれでも試練や誘惑に遭いますが、「それを克服することができれば、力と成長を授かる機会となります」と教えています。(53 ページ) モントヤ長老の話に加え、七十人のジェームズ・B・マルティノ長老 (58 ページ)、七十人名誉会員の青柳弘一長老 (126 ページ)、

ちがより良い者となり、より高く登れるように叱咤激励されます。……わたしたちが謙虚で素直であれば、聖霊は手を取って天の家へと導いてくださるので、どうしたら自分を向上させ、変えることができるかについて、御霊の導きを求めてください。

- 104 ページ——大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は、「いつも御霊を受けるとは、日々の生活の中で聖霊の導きを受けるということです」と教えています。いつも御霊を受けるために行うべき事柄、または、やめるべき事柄について考えてください。 ■

## 大会で話された実話や物語の索引

以下に総大会で話された経験談を幾つか選びました。個人の研究や家庭の夕べ、その他の教える機会に活用してください。  
数字は説教が掲載されている最初のページを示しています。

話者	実話や物語
ニール・L・アンダーセン	(65) 若者とそのきょうだいは母親の死後、その若者が専任宣教師として奉仕する召しを受け入れた後に、経済的な祝福を受ける。兄と弟の二人は、両親と二人のきょうだいを飛行機事故で亡くした後、イエス・キリストを信じる信仰を通して力を見いだす。
青柳弘一	(126) 青柳弘一は教会の指導者と話しているときに、救いの計画の中で逆境の果たす役割が、聖霊を通してはっきりと理解できるようになる。
デビッド・A・ベドナー	(128) デビッド・A・ベドナーは、人はいつもできていたことができなくなると一番大切なことだけを行うようになるものだというのを、ロバート・D・ヘイルズ長老から学ぶ。
ランドール・K・ベネット	(69) ランドール・K・ベネットの一番幼い孫は、何度も転びながらも、両親に励まされて歩く練習をする。福音を伝えたいとお互いに感じていたロシアの末日聖徒の男女が、結局、神殿で結婚する。
キム・B・クラーク	(124) キム・B・クラークの両親は、 <sup>みたま</sup> 御霊の声に励まされてフィリピンでの伝道の召しを受け入れる。
クエンティン・L・クック	(39) クエンティン・L・クックは若い宣教師だったとき、「プリストルの船のようにきちんと」という言葉の意味を知る。クエンティン・L・クック、ユダヤ人の安息日、シャバットに参加する。
ヘンリー・B・アイリング	(80) 高齢の姉妹が、 <sup>せいさん</sup> 聖餐をパスしてくれた執事に感謝の言葉をかける。主が、長老定員会会長の努力を通して、何人かのあまり活発でない長老見込み会員の心に触れられる。ヘンリー・B・アイリングの祖先は苦労して伝道した期間、主が見守り、靈感を与えてくださったことに喜びを感じる。 (104) ヘンリー・B・アイリングの父親はオーストラリア滞在中、聖霊に導かれて、聖餐会の開かれている場所にたどり着く。ヘンリー・B・アイリングの父親は、妻の死後、聖霊によって慰めを得る。
ブラッドリー・D・フォスター	(50) アン・サリバン、ヘレン・ケラーに文字の読み方を教える。ブラッドリー・D・フォスターは、あるふさわしい宣教師候補者を面接して、自分の子供や孫に直ちに福音の真理を理解させる必要があると感じる。
アレン・D・ヘイニー	(121) アレン・D・ヘイニーは子供の頃、仲間と一緒に掘った穴の中で泥だらけになって遊んだ後、祖母からホースで水を浴びせられてきれいになるまで、家に入れてもらえなくなる。
ジェフリー・R・ホランド	(47) 教会にあまり活発でない教会員、死を前にして、来世で母親の前に立つことを恐れる。献身的な母親、息子が教会に戻れるよう助ける。リサ・タトル・パイパーは、娘が「ホザナ斉唱」できるよう助ける。
ボン・G・キーチ	(115) オーストラリアの海に来たサーファーたち、入り江の入口にある柵が気に入らなかったが、その柵のおかげでサメから守られていることを知る。
ラリー・R・ローレンス	(33) ラリー・R・ローレンス、聖霊が人々の成長を助けるために一人一人に合った勧告を与えてくださる例を幾つか挙げる。
ニール・F・マリOTT	(30) ニール・F・マリOTTは、10年間祈り求めた末に教会を見いだし、教会に入る。マリOTT家族は、自転車事故で亡くなった娘とともに永遠に生きるという信仰を働かせている。
ジェームズ・B・マルティノ	(58) ジェームズ・B・マルティノは、モルモン書を誠心誠意研究してそれについて祈った後、バプテスマを受ける決心をする。
リチャード・J・メインズ	(27) 青葉太一長老は、粘土をろくろの中心に置くことを青少年に教える。ナンシー・メインズは、イエス・キリストの福音を見いだしそれを実行することに真の喜びがあることを知る。
キャロル・F・マッコンキー	(12) 「若い女性表彰」を受けた102歳の姉妹、これを受けられたのは毎日悔い改めたからだと言う。
トーマス・S・モンソン	(83) ある女性とその夫が、悔い改めて教会に戻った後、イエス・キリストの福音を通して平安と望みを得る。 (86) イスラエルの高官、BYUエルサレムセンターに学びに来る末日聖徒の目の中にある光について、どうすればよいのか考え込む。
ウーゴ・モントヤ	(53) ウーゴ・モントヤは七十人に召された後、ラッセル・M・ネルソン会長の笑顔を見て平安を得る。
ラッセル・M・ネルソン	(95) ラッセル・M・ネルソン、若い頃開胸手術に失敗して落胆したとき、妻のビジョンと愛と励ましのおかげで仕事に戻る。ステーキの初等協会会長の靈感あふれる言葉が、ステーキ評議会集会の流れを変える。
リンダ・S・リーブズ	(9) リンダ・S・リーブズは、友人が悩みを話すのを聞き、人から傷つけられた人のことを思って胸を痛める。
デール・G・レンランド	(93) デール・G・レンランドはビショップに召されたとき、主は自分を通して行う必要のある事柄のために自分を召されたのだと兄に言われる。心不全で亡くなった若い男性の両親、デール・G・レンランドを慰める。
グレゴリー・A・シュワイツァー	(98) グレゴリー・A・シュワイツァーは、ピアノを練習する孫が賛美歌のメロディーとメッセージを感じられるようアドバイスをする。
バーン・P・スタンフィル	(55) バーン・P・スタンフィル、暗いトンネルの中でサイクリストのグループ全員のライトを合わせた光に頼りながら、不安を克服する。
キャロル・M・スティープズ	(118) キャロル・M・スティープズ、孫娘を車の座席にじっと座らせるために、愛していることを伝える。
ゲアリー・E・スティープソン	(91) 使徒に召された後、ゲアリー・E・スティープソンと妻のリサは、自分たちの基がイエス・キリストを信じる信仰と救いの計画の知識であることを確認する。
ディーター・F・ウークトドルフ	(15) 11歳の少女、神と子供たちを愛することが幸せの鍵だということを、大おばから学ぶ。 (20) ある扶助協会の教師は、シンプルにするというレッスンのために徹夜でキルトを作る。 (76) ディーター・F・ウークトドルフ、神から距離を置いているアロン神権者の話を聞いて驚き、悲しく思う。
ローズマリー・M・ウィクソム	(6) 天の御父が自分を愛しておられるのを知りたいという若い女性の祈りに、御父はこたえられる。エチオピアの男性、自分が飢えているのに、親のいない赤ん坊を気遣う。



## ロナルド・A・ラズバンド長老

十二使徒定員会

□ ナルド・A・ラズバンド長老は、十二使徒定員会で奉仕するよう召しを受けた後で、ヨハネによる福音書第15章16節を読みました。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。そして、あなたがたを立てた。」

ラズバンド長老はこう語ります。「この召しには……自分で望んだところが少しもないと心に感じました。主がお決めになったのです。」

19歳のとき、ラズバンド長老は、主が決められたことに従うことについて、既に同様の教訓を学んでいました。父親や兄のように、ドイツで伝道したいと望んでいましたが、召された所は（アメリカ合衆国の）東部諸州伝道部でした。そこで聖文を開き、教義と聖約の第100章を読みました。

「それゆえ、わたしに従い、わたしがあなたがたに与える勧告を聴きなさい。

……この東の地における周りの地域で、効果的な門が開かれるであろう。

それゆえ、まことに、わたしはあなたがたに言う。この民に向かって声を上げなさい。」(2節, 3節, 5節)

主は自分に東部諸州伝道部で奉仕するよう望んでおられるという証<sup>あかし</sup>を得たのです。

ラズバンド長老は1951年2月6日に生まれました。家は裕福ではありませんでした。「[パンを運送する]トラック運転手と[専業主婦である]心優しい母のもとに生まれました。」彼はそう語ります。多くの世代にわたる末日聖徒の家系であり、この受け継ぎをラズバンド長老は大切にしています。

1973年に、ラズバンド長老はメラーニー・トウィッチェルと結婚しました。夫妻には5人の子供と24人の孫がいます。ラズバンド長老は、自分が今の自分になれたのは、これまで42年にわたって助けてくれた妻のおかげであると考えています。「妻はわたしを陶器師の粘土のように手に取り、真の意味で役立つ人間となるよう形作ってくれました。……彼女の霊的な影響力があったからこそ、わたしはこのすばらしい特別な召しを受けることができました。また、それだけでなく、あらゆる霊的なことを成し遂げることもできたのです。」

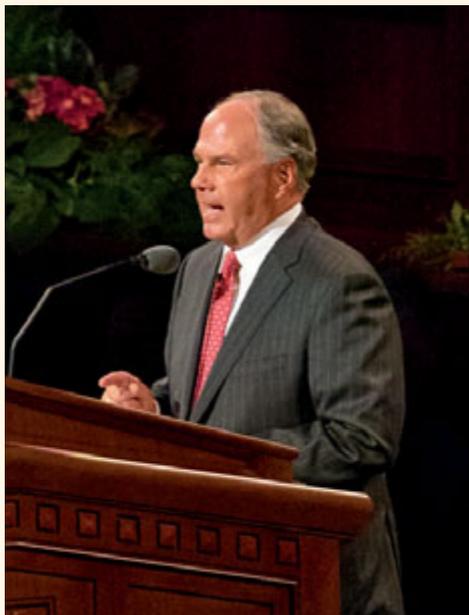
1987年に、ラズバンド長老は、ある

世界的な化学薬品会社の社長兼最高執行責任者となりました。ラズバンド長老は、そのときの指導者から、教会でより効果的に奉仕する方法を学びました。「わたしは仕事を通して……人こそが、わたしたちにできる他のいかなることよりも大切であるということを知りました。」また「中央幹部として仕えるために役立つ……たくさんの指導技術を学びました。」

ラズバンド長老は、こうした技術を活用する機会が、これまでに幾度となくありました。ビショップ、伝道部会長、2000年4月以降は中央幹部七十人、また北アメリカ西地域、北西地域、ユタ州の3地域の管理者、ヨーロッパ中央地域会長会の顧問、神殿部管理ディレクター、2005年以降は七十人会長会会員、そして2009年から七十人会長会前任会長を歴任してきました。

ラズバンド長老は、教会の割り当てを通じて、世界中の末日聖徒に愛を示しました。ラズバンド長老は会員にこう語っています。「皆さんの信仰は、わたしたちの信仰を深めてくれました。皆さんの証は、わたしたちの証を強めてくれました。」(90ページ)

ラズバンド長老は、主イエス・キリストの弟子として、謙遜に仕えます。「わたしはいつも主に仕えたいと望んできました。」ラズバンド長老はそう言います。「わたしは残りの生涯を通じて、自分の時間と才能、持てるもの全てをささげます。そうしようと決意しています。そうできることを誇りに思います。」■





## ゲリー・E・スティーブソン長老

十二使徒定員会

### ゲリー・E・スティーブソン長老は、十二使徒定員会の召しを受けて、主の

王国で、特に使徒として奉仕することについて、導くことにより仕えるよりも、**仕えることにより導く**ことを優先するつもりであることを語りました。

「イエス・キリストは御自身を仕える者とお考えになりました。」使徒として支持を受けた後の記者会見でスティーブソン長老は、そう述べています。「わたしたちも、自分を仕える者と考えなければなりません。」(マルコ 10:44 参照)

ゲリー・E・スティーブソン長老の十二使徒定員会の召しは予期せずして訪れました。しかし、教会において、特に2008年から2012年にかけては中央幹部七十人として、また2012年からは管理ビショップとして奉仕したことは、新たな責任への備えをする助けになったと感じています。

主の奉仕の業の中で学んだ最も重要な教訓の一つは、天の御父の子供たちが大きな価値を持つということでした。スティーブソン長老は、使徒として世界中の神の子供たちと関わり、彼らに証する機会がさらに増えることを楽しみにしています。

また、主の教会を導く人々と続けて関われることも楽しみにしています。「定員会で学べることや、彼らから教えるを受けること、その強さやイエス・キリストと<sup>あかし</sup>に対する証を感じるができる」と考えただけで、すばらしい経験になるだろうと確信しています。」

ゲリー・E・スティーブソン長老は1955年8月6日、エバン・N・スティーブソンとジーン・スティーブソンのもとに誕生しました。ユタ州の初期の末日聖徒の開拓者の子孫です。ユタ州北部のキャッシュ・バレーで福音を中心とした家庭で育ち、熱心に働くことの価値と奉仕の大切さを学びました。「[長老が]青少年の間、ビショップとして奉仕していた」父親は、よく彼を連れてワード内に住んでいた多くの未亡人を訪問しました。若きゲリーが、父親から学んだキリストのような思いやりと奉仕についての教訓は、忘れられない印象を残し、管理ビショップとして奉仕する際にも影響を及ぼしました。

「教会のビショップたちは、本当にわたしのヒーローです」と長老は語ります。

スティーブソン長老の教会における熱心な奉仕は、日本福岡伝道部で専任宣教師として召されたときに始まりました。日本人と日本語に対する愛はそのときに生まれ、今も日本語を流ちょうに話します。伝道後、ユタ州立大学で学び、そこでリサ・ジーン・ヒ



グレイと出会います。二人は1979年、アイダホフォールズ神殿で結婚し、4人の息子がいます。スティーブソン長老は特にマーケティングを専門として、経営学の学位を取得しました。後に、世界でも有数の運動器具の製造販売の会社を共同で設立し、社長兼最高経営責任者を務めました。

スティーブソン家族は数年間日本に住みました。2004年、スティーブソン長老は日本名古屋伝道部の伝道部長として召されました。2008年に七十人として召された後、長老はアジア北地域の会長顧問として、後に会長として奉仕しました。2011年に地域会長として奉仕していたとき、日本北部の海岸を大地震が襲い、それに伴い巨大な津波が何千もの命を奪いました。そのときの経験は長老の人生を大きく左右するものとなりました。

スティーブソン長老は教会が食糧や援助、支援、また長期にわたる支援を提供するに当たり、その対応を決定するのを助けた。

「これによって、イエス・キリスト教会が、貧しい者や助けが必要な者を助けるという神から与えられた責任の一つを果たす姿を示すことができました。」長老はこの経験について「教え導き、祝福し、支援を組織する」神聖な特権だったと述べています。

スティーブソン長老は記者会見で次のように語りました。「主は、末日聖徒に『弱い者を助け、垂れている手を上げ、弱くなったひびを強めなさい』と勧めておられます(教義と聖約 81:5)。その中で、十二使徒定員会の会員として、また使徒として、キリストのような奉仕をなすように求められていると感じています。」■





## デール・G・レンランド長老

十二使徒定員会

十二使徒定員会に召されて驚いたデール・G・レンランド長老は、妻のルースとともにひざまずき、「このように導かれたのは主である」という確証を求めて祈りました。

レンランド長老は中央幹部七十人として、心臓専門医として、また夫、父親として、何度もこの導きを求めてきました。例えば、アメリカ合衆国メリーランド州で研修医として働いていたときに、妻が卵巣がんを発症しました。娘のアシュレーはまだ16か月でした。この困難な時期に、ルースは祈りの中で、神殿で受けた結び固めについて主に感謝しました。そのとき、レンランド長老は再び主を近くに感じるようになりました。

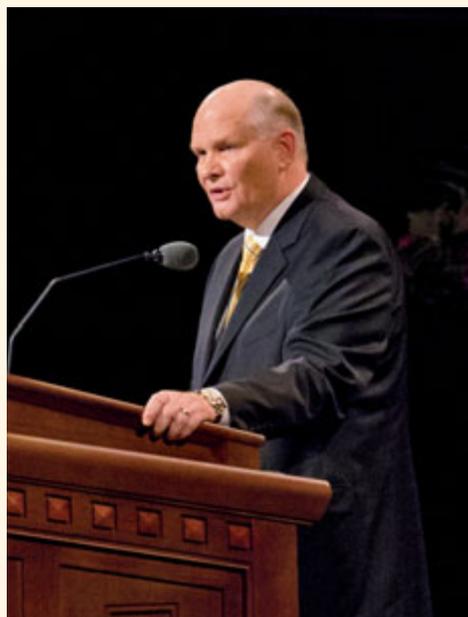
レンランド長老は心臓専門医として働き、心臓疾患のある患者の治療に当たってきました。その間、大勢の患者が亡くなるのを見ました。医師として危機に遭うと、常に感情を切り離すようにしていましたが、チャドという患者が亡くなり、緊急処置室にチャドの両親が入って来たときに、それができなくなりました。親の目を通してチャドを見たのです。

この経験についてレンランド長老はこう述べています。「教会で人々に効果的に奉仕するには、親の目、すなわち天の御父の目を通して人々を見なければならぬと、今実感しています。そうして初めて、人の真の価値を理解し始め……ます。」(94 ページ)

レンランド長老の幼少期の経験と教会での奉仕も、人々を主の目を通して見、教会員の多様性を理解する備えとなりました。

デール・レンランドは1952年11月13日、神殿で結び固めを受けるためにユタ州に移って来たスウェーデン系移民の子供として生まれました。少年時代に一家でフィンランドに移り、またスウェーデンに戻りました。その3年後、ユタ州に戻りました。19歳のときに専任宣教師に召され、スウェーデンで奉仕しました。

2009年、中央幹部七十人として奉仕するよう召されました。最初の割り当ては、アフリカ東南地域会長会での奉仕でした。レンランド長老は医師と教授としてのキャリアに終止符を打ちましたが、妻は「もっと大きな犠牲を払ってくれた」と長老は話します。ルースは法律事務所を経営していましたが、レンランド長老が召されたときと同じく退職しました。1977年に結婚して以来、ルースは常に自分の力の源であり、自分の



「全てだった」と長老は話します。

アフリカに滞在中に、レンランド夫妻は「本当に大切なことは何かを聖徒に教えてもらいました。」あるとき、コンゴ民主共和国を訪問したレンランド長老は、どのような困難に遭っているか会員たちに尋ねました。何度か促された後、「老齢の紳士が立ち上がってこう言いました。『レンランド長老、どうして困難などありませんか。わたしたちにはイエス・キリストの福音があります。』」レンランド長老はこう振り返ります。「妻とわたしはカナンガの聖徒たちのようにになりたいと思っています。……何も持っていないように見えて、彼らはあらゆるものを手にしているのです。」

使徒としての初めての説教の最後に、レンランド長老はこのように証しました。「わたしはイエス・キリストに真に従う者となりたくと心から望んでいます。わたしは 主を愛し、あがめています。主が実に生きておられることを証します。主が油注がれたメシヤであられることを証します。」(94 ページ) ■





**L・ホイットニー・クレートン長老**  
七十人先任会長

L・ホイットニー・クレートン長老は、働くことを楽しみ、家族を愛することを子供のときに学びました。医者である父親は毎週土曜日の朝早く、医療を行うために家を出ました。父親は家を出る前に、その日になすべき用事のリストを黒板に書いていました。帰って来ると息子たちの隣で一緒に働きました。クレートン長老は父親から労働倫理を学び、それは彼の人生を祝福しました。

また、クレートン長老の家族にとって、夕食は家族の時間を意味しました。「政治、学校での出来事、近隣のこと、福音、教会について語り合いました。……すばらしい成長の基となりました。」クレートン長老と妻は、食事のときに話し合う慣習を子供たちと続けています。

クレートン長老は、2015年10月6日に七十人先任会長に指名されました。十二使徒定員会に召されたロナルド・A・ラズバンド長老の後任です。

クレートン長老は、2001年3月31日に中央幹部七十人として支持されました。2008年から七十人会長会の一員を務め、ユタ州の地域を管理する責任にありました。アフリカ南東地域およびアフリカ西地域を管理する十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老を補佐していました。また、広報委員会の一員としても奉仕しています。クレートン長老は2002年から2003年まで南アメリカ南地域会長会顧問として、2003年から2006年まで同地域会長としてその務めを果たしました。

1950年にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで生まれ、1973年にソルトレーク神殿においてキャシー・アン・キップと結婚しました。夫妻には7人の子供と20人の孫がいます。

クレートン長老は、ユタ大学で財政学の学士号を、パシフィック大学で法律の学位を取得しました。1981年から2001年までアメリカ合衆国カリフォルニア州で弁護士をしていました。

これまでに地域七十人、地区代表、伝道部会長会顧問、高等評議員、ビショップ、ステーキ伝道部会長、福音の教義クラス教師として奉仕してきました。1970年から1971年、ペルーにおいて専任宣教師として奉仕しました。■



**ジェリット・W・ゴング長老**  
七十人会長

先ごろ七十人会長会で奉仕するように召されたジェリット・W・ゴング長老は、台湾で宣教師として伝道していたときに感じた促しについて思い出しています。

一人の求道者が聖餐会にやってきました。「わたしは彼にモールズ信号で『聖餐会へようこそ。あなたが来てくださりうれいです！』というような短いメッセージを書いて渡すように靈感を受けました。」

求道者はたまたま通信士だったので、メッセージをもらうととても喜びました。「わたしは何年も前に学んだことが特別な方法で、ある個人に手を差し伸べるために自分を助けたことに驚きました」とゴング長老は言います。

ボーイスカウトでモールズ信号を習ったときから、学び、人に手を差し伸べるということは、ゴング長老の子供の頃からの方針でした。1977年に長老はブリガム・ヤング大学からアジア研究と大学研究の文学士号を取得し、1979年には哲学の修士号を取得し、1981年にはオックスフォード大学から国際関係論の博士号を取得しました。

ゴング長老はこれまで、高等評議員、大祭司グループリーダー、ステーキ日曜学校会長、セミナー教師、ビショップ、ステーキ伝道部会長、ステーキ会長、地域七十人など、多数の教会の召しを果たしてきました。2010年に中央幹部七十人としての召しを受けたときは、ユタ南地域の七十人第五定員会の一員として奉仕していました。

1985年にゴング長老はアメリカ合衆国国務省の州次官の特別補佐として勤め、1987年には中国・北京のアメリカ合衆国大使の特別補佐を勤めました。1989年から2001年にかけて、長老はワシントン D.C. の戦略・国際問題研究所の複数の役職を勤めました。

ジェリット・W・ゴングは1953年、アメリカ合衆国カリフォルニア州レッドウッド・シティーで生まれました。妻スーザン・リンゼイ・ゴングとの間には、4人の子供と3人の孫がいます。ゴング長老の祖父母は中国からアメリカに移住しました。長老は先祖を33代遡り、紀元837年に唐王朝後期に中国南部で生まれた初代ドラゴン・ゴングまでたどり着きました。■



ジェラルド・コセー  
 ビショップ  
 管理ビショップ

ジェラルド・コセーはフランスの食品流通業界においてキャリアを築き始めた33歳のとき、社長に呼ばれました。社長はジェラルドの精神的信念と正しい判断力、従業員をまとめる能力に気づきました。それらは、教会における活動や奉仕、リーダーシップを通して培われた特質です。社長はジェラルドこそ信頼できる男だと結論付けました。

驚いたことに、ジェラルドはすぐに1,800人の従業員を管理する責任を与えられました。およそ10年後、2008年4月に中央幹部七十人として召されたときには、幾つもの食品流通会社を管理していました。

コセービショップのビジネスと管理のスキルは、宗務奉仕や指導の経験とともに教会の新たな管理ビショップとしての召しに役立つことでしょう。2012年3月から管理ビショップリックの第一顧問として奉仕してきたコセービショップは、10月の総大会のほんの数日後に新たな召しを受けました。2015年10月3日に十二使徒定員会に支持されたゲーリー・E・ステイブソン長老の後任です。

教会の第15代管理ビショップであるジェラルド・ジーン・コセービショップは、1963年にフランスのボルドーで生まれました。彼はバレリー・リュシエンヌ・バビンとスイス・ベルン神殿で1986年に結婚しました。夫妻には5人の子供と5人の孫がいます。

管理ビショップリックおよび七十人としての奉仕の他に、ヨーロッパ地域会長顧問、地域七十人、ステーキ会長、ステーキ会長顧問、ビショップリック顧問、大祭司グループリーダー、長老定員会会長として奉仕してきました。

コセービショップは若いときに、教会における奉仕を通して信仰はもちろん幸福も見いだしました。12歳で初等協会の伴奏者として、16歳で日曜学校の会長として奉仕しました。アロン神権の義務を果たすことにも熱心でした。

父親がビショップや支部会長の責務を果たすのを手伝ったことも含めて、「教会で奉仕したことは、証を得る助けとなりました」と語っています。

コセービショップは、1987年にフランスのエセック経済商科大学院大学で経営学修士号を取得しました。会社に勤める以前はフランス空軍に所属し、NATOの機関に割り当てられていました。■



ディーン・M・デイビーズ  
 ビショップ  
 管理ビショップリック第一顧問

「10代の若者として、近所で一番きれいに刈られた芝生は自分にとって喜びでした。また、少し余分に手間をかけることで、わたしたちが行うほとんどのことに真の 違いを生むという重要なことを学びました」とディーン・M・デイビーズビショップは言います。少し余分に手間をかけるということが今では普通になっていて、それは新たな管理ビショップリックの召しでも役に立つことでしょう。

デイビーズビショップは、2015年10月3日に十二使徒定員会の会員として支持を受けたゲーリー・E・ステイブソンビショップの第二顧問を務めていました。

ディーン・マイロン・デイビーズは、1951年にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティで生まれました。8人きょうだいの一人として育ちました。子供たちを愛し育ててくれただけでなく、働くことによりもたらされるものの価値を理解して感謝できるように教えてくれた両親に感謝を述べています。1973年、ダーラ・ジェームズとソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には5人の子供と14人の孫がいます。

デイビーズビショップは、1989年、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコに住んでいるときにも大切なことを学びました。地震のとき、堅固な基の上に建てられていないアパートが大きな被害を受けるのを目の当たりにしました。「その日の出来事を深く考えるときに心と思い再認識するのは、人生の嵐や地震や災難に耐え抜くには堅固な基、……イエス・キリストという基の上に建てなければならないということです。」(「堅固な基」『リアホナ』2013年5月号,9)

デイビーズビショップは、1995年7月から教会職員として働いてきました。最近、特別プロジェクト部の実務運営ディレクターとして、特殊用途の不動産、神殿設計、神殿建設などに関する責任を担っていました。

教会職員になる前は、ペンシルベニア州ランカスターのハイ・インダストリー社とカリフォルニア州サンフランシスコのベクテル・インベストメント社に勤めていました。ブリガム・ヤング大学で農業経済学の学士号を取得し、スタンフォード大学とノースウェスタン大学で上級管理課程を修了しました。

デイビーズビショップはこれまで、プエルトリコ・サンファン伝道部会長、伝道部会長顧問、ステーキ会長、ステーキ会長顧問、ステーキ幹部書記、高等評議員、ビショップリックとして、またウルグアイ・バラグアイ伝道部で専任宣教師として奉仕してきました。■



## W・クリストファー・ワデル ビショップ

管理ビショップリック第二顧問

クリストファー・ワデルはスポーツ選手として、アメリカ合衆国カリフォルニア州のサンディエゴ州立大学でバレーボールの奨学金を受けました。しかし休暇で家に戻ったとき、ビショップが他のことを尋ねてくれたことに感謝を覚えました。

『バレーボールはどうだい?』とは言わず、『元気? お祈りはしている? 強い信仰を保って教会に活発でいるかい?』と、尋ねたのです。最も大切なことについて質問してくれたことをとても感謝しています」とワデルビショップは振り返ります。

最も大切なことに重点を置くことは、二つの家訓「名誉の帰還」と「主を信頼する」を実践する助けとなりました。信頼していたので、バレーボールを中断して伝道に出ることができました。また、伝道からの帰還後、他の大学の女性との遠距離恋愛を続けることができました。後に、結婚してから引越しの決断をするときに、主への信頼により御霊に耳を傾けることができました。

「主の方法で行えば、物事はうまくいきます」と語ります。

2011年4月から中央幹部七十人として奉仕してきたワデルビショップですが、主への信頼による祝福は、管理ビショップリック第二顧問になっても続くでしょう。

ウェイン・クリストファー・ワデルは1959年にカリフォルニア州ロサンゼルスで生まれました。1984年7月にキャロル・スタンセルとカリフォルニア・ロサンゼルス神殿で結婚しました。夫妻には4人の子供と3人の孫がいます。南アメリカ北西地域の地域会長会顧問を務めてきました。少しの間、ペルーにとどまります。

ワデルビショップは、1984年にサンディエゴ州立大学で学士号を取得しました。また、ブリガム・ヤング大学のエグゼクティブMBAプログラムで大学院課程を履修しました。1984年からメリル・リンチで働き、投資担当の上級副社長になりました。

ワデルビショップはこれまで、地域七十人、(若いときに専任宣教師として奉仕した)スペイン・バルセロナ伝道部の会長、ステーキ会長、ステーキ会長会顧問、伝道部会長会顧問、ビショップ、ビショップリック顧問として奉仕してきました。■



## ブライアン・K・アシュトン

中央日曜学校会長会第二顧問

ブライアン・K・アシュトン兄弟は、テキサス州ヒューストン南伝道部会長としての任期を終えるとすぐに、中央日曜学校会長会で奉仕するよう召されました。この召しは6月に発表され、兄弟は2015年10月の総大会で支持されました。

タッド・R・カリスター兄弟は引き続き会長を務め、2014年4月から第二顧問として奉仕していたデビン・G・デュラント兄弟が第一顧問となりました。

会長会の空席は、ジョン・S・ターナーのブリガム・ヤング大学ハワイ校学長への指名によるものです。

ブライアン・ケント・アシュトンは、1969年、アメリカ合衆国ユタ州プロボにおいてケント・アシュトンとビッキー・ブラウン・アシュトンの間に生まれました。9人の子供のうちの最年長です。両親が家庭で常に福音の教師となっていたのを覚えています。

アシュトン兄弟はペルー・リマ南伝道部で専任宣教師として働きました。伝道に行く必要があると告げるよう促されたある良い友人に影響され、伝道に出る決意をしました。友人が彼の気持ちを話したとき、ブライアンは聖霊の確認を受けました。伝道中、ある大きな支部の会長として使えるよう召されたとき、ブライアンは重大な健康上の問題に悩んでいました。このとき、天の御父に助けを求めて熱心に、継続的に祈りました。「神に頼ることを学び、神はわたしを持ちこたえさせてくださいました。」「神を信頼することを学んで、全てのことは大きな違いを生み出しました。」

伝道後はブリガム・ヤング大学で学び、そこで将来の妻となるメリнда・アールと出会いました。しかし、二人が結婚する前、メリндаはスペイン・マラガ伝道部で伝道し、アシュトン兄弟は合衆国中西部で働きました。彼女の伝道後、二人はユタ州セントジョージ神殿で結婚しました。二人には5人の子供がいます。

アシュトン姉妹は医学部に通い、アシュトン兄弟はハーバード大学の経営学修士号を受けました。アシュトン兄弟は起業家で、幾つかの会社を立ち上げています。

アシュトン兄弟はビショップ、高等評議員、長老定員会会長、福音の教義クラス教師を歴任してきました。■

## 教会評議会に女性指導者が加わる

**教**会には女性に、3つの主要な指導者評議会に奉仕するよう招へいした。

中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は、これから神権・家族管理評議会（前：神権役員評議会）で奉仕することとなる。中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン姉妹は宣教師管理評議会、中央初等協会会長のローズマリー・

M・ウィクソム姉妹は神殿・家族歴史管理評議会にそれぞれ奉仕する。

これまでも数十年にわたり、扶助協会、若い女性、初等協会の中央会長会の女性たちは、定期的にこれらの評議会に貢献し、助言を与えてきたが、今回の招へいにより、評議会における継続的な役割が与えられることとなった。■

## ポルトガル語の 末日聖徒版聖書

**ポ**ルトガル語の末日聖徒版聖書が9月に、オンラインのAsEscrituras.lds.orgで、またモバイルアプリケーションの福音ライブラリーで閲覧可能になった。その他 ePub や PDF 版などのフォーマットも入手できる。印刷版は2016年3月に入手できるようになるが、音声や点字版も2016年中に提供される予定。

『Bíblia Sagrada, Almeida 2015』と題する新版は、ジョアン・フェレイラ・アンネス・デ・アルメイダによる1914年版聖書訳に基づいている。その訳が高品質であることから、このたび選択された。大管長会と十二使徒定員会の指示の下で、中央幹部や地域七十人、言語学の専門家、その他の教会員から成るチームが5年の歳月をかけて末日聖徒版を見直し準備してきた。ポルトガル語を話す教会員は140万人近くに上る。■



左から——中央初等協会会長のローズマリー・M・ウィクソム；中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン；中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン

## 難民支援

**教**会の人道支援機関であるLDS慈善事業団は、さまざまな危機的状況が原因で悲惨な環境に追いやられた多くの人々のいる地域において支援活動を続けている。以下に3つの事例を紹介する。

- 2014年以降、親ロシア派とウクライナ軍の紛争により、100万人が強制的に退去させられ、そのうち高齢者は60パーセントに達する。LDS慈善事業団は国連開発計画に協力を申し出、地元の複数の非政府組織と共同で、退去させられた貧しい人々と高齢者の保護活動を行っている。LDS慈善事業団は37施設にいる13,000人のために、衛生用品、携帯用トイレ、それに3か月分の食料を提供した。
- 1月以降、35万人以上がシリアの内戦を逃れてヨーロッパに避難しているが、

年度末までにその数は倍増すると見込まれている。LDS慈善事業団は難民の必要に応えるため、国際的な非政府組織、地元自治体、それに国家行政組織と協力態勢を敷いており、さらに、支援要請に応えた各地の教会ユニットが使用する物資を配給している。

- 世界中の難民収容所に環境の良い避難所を提供するため、LDS慈善事業団は国際連合難民高等弁務官事務所が行うプロジェクトに参加している。ある多国籍の家具小売業者はテントに比べて優れた住居を考案。その住居には、安全性を高めるために扉と窓が取り付けられ、屋根もこれまでよりしっかりした作りで、風雨や暑さ寒さから居住者を守ることができる。現在、LDS慈善事業団がイラクのクルディスタン地域にある難民キャンプのために用意した333戸の組み立てが進められている。■



## クリスマスメディアの取り組み

2015年のクリスマスの季節に、教会は「救い主がお生まれになった」というマルチメディアをリリースする。これはイエス・キリストを見だし、知り、従うことにより、主の降誕、教え、そして贖いにより可能となった祝福を受けることに焦点を当てている。この取り組みの目玉となるのは、世界中の子供たちが救い主の証を分かち合い、2000年以上前のベツレヘムでの主の誕生を祝うことを特集する新しいビデオである。**christmas.mormon.org** にアクセスし、ビデオを見て、イエス・キリストの重要性についてさらに学んでください。■





## 子供たちは言う、「わたしたちは主の手です」

教会機関誌が呼びかけた奉仕のキャンペーンに世界中の子供たちが熱心に応えている。機関誌は子供たちに、奉仕の機会を見つけて、紙に自分の手形をなぞって、その手形に奉仕の行いを書き、『リアホナ』に送るよう招いている。

機関誌は3万を超える手形を子供たちから受け取った。世界中の子供たちは救い主の愛を伝えるために行動し、家族や近所の人々に祝福をもたらした。

2010年4月の総大会で大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長は「あなたは、わたしの手である」という説教を行った。このキャンペーンはその話に靈感されて始まった。ワークトドルフ管長は、第二次世界大戦で被害を受けたあるイエス・キリストの像の話をした。これを修復するに当たり、像の手を交換することができなかった町の住人

たちは、台座に次のような言葉を加えた。「あなたは、わたしの手である」

送られてきた手形を見るとさまざまな特徴があるように、子供たちの奉仕の行いもさまざまである。例えば、

ナタリー・S、5歳(香港)は二つの手形を送ってきた。一つには、「お母さんの家事を手伝いました」もう一つには「車いすに乗った人を押すのを助めました」と書いている。

エリック・S、11歳(ロシア)は「わたしの住んでいる町では冬は寒いです」と説明している。その町にある家族が引っ越して来て、暖かい服がなかったので「アートゥに自分のコートをあげることができました。そして友達になりました」と書いている。



10歳のガブリエラ・P(ベネズエラ)は手形にこう記した。「学校で、友達とチェスのクラスで会いました。チェスの相手を探していたとき、新しく入った男の子が悲しそうな顔をしているのを見て、助けようと思いましたが、どうしたらよいか分かりませんでした。そしたら、友達になればいい、という声があったのでその男の子のところに行って話しかけました。今では一番の仲良しです。」

手形は9月から10月にかけての2週間、アメリカ合衆国ユタ州、ソルトレーク・シティーの教会本部に展示された。■



## 神権の回復の史跡が奉献される

2015年9月19日、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長は、アメリカ合衆国ペンシルベニア州にある史跡の奉献式を管理した。そこはジョセフ・スミスとオリバー・カウドリがバプテスマのヨハネからアロン神権を授けられた場所である。1820年代には、この地域はペンシルベニア州ハーモニーとして知られ、ここでは回復された初期の教会における多くの歴史的な出来事があった。

- ジョセフ・スミスがエマ・ヘイルと出会い、交際し、そして結婚初期まで住んでいた。
- 筆記者としてモルモン書の翻訳を助けるためにオリバー・カウドリが訪れた。
- モルモン書の翻訳の大部分が行われた。
- アロン神権の回復と（具体的な場所は不明であるが）メルキゼデク神権の回復。

- 現代において神権の権能によって執行された最初のバプテスマ。
- 後に教義と聖約第15章および高価な真珠の一部となる啓示が与えられた。

新しく改修された史跡は、地元の支部が集う教会堂としての機能も果たすために拡張された訪問者センター、改築されたジョセフとエマの自宅およびエマの両親であるアイザック・ヘイルと妻エリザベスの自宅、そしてジョセフとオリバーがバプテスマを受けたと信じられているサスケハナ川の川岸の一角である。

ネルソン会長は、「ハーモニーはジョセフにとって、モルモン書の翻訳に集中するために必要な静寂と守りを提供する場所となったのです。この時期に、主はジョセフが預言者、聖見者、啓示者としての神聖な役割を果たせるように彼を教え導かれたのです」と述べた。■



## 学習の質を高める セミナーの 生徒たち

セミナーの生徒たちは、昨年引き上げられた卒業のための必要条件によく応えている。最近発表された数字では、履修届を出している生徒の81パーセントが学期末の理解度調査に合格し、出席率は71パーセントから77パーセントに上がったことを示している。さらに、読書課題の達成率もほぼ80パーセントに達している。

必要条件が新たになったことで、教師は重要な教義を強調して教えることができるようになり、また、生徒も同じ教義を重点的に学ぶことができるようになった。

世界中でおよそ40万人の若い男性と若い女性がセミナーを履修している。■

ジョセフ・スミスと  
エマ・スミスの自宅を  
見学するラッセル・M・  
ネルソン会長と  
妻のウェンディ。  
この場所でモルモン書の  
大部分の翻訳が行われた。





### 七十人会長会

前列左から——L・ホイットニー・クレートン長老、ドナルド・L・ホルストロム長老、リチャード・J・メインズ長老、クレグ・C・クリステンセン長老。  
後列左から——ウリセス・ソアレズ長老、リン・G・ロビンズ長老、ジェリット・W・ゴング長老。



「兄弟姉妹の皆さん、どのような環境にあるときにも、わたしたちの周囲は、毎日、光を輝かす機会であふれています。」

トーマス・S・モンソン大管長は、  
教会の第185回半期総大会でそう語った。

「救い主の模範に従うとき、  
家族であれ、友人であれ、職場の同僚であれ、  
ただの知り合いであれ、まったく見ず知らずの人であれ、  
それは他の人々の生活に  
光をもたらす機会となるのです。」

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

